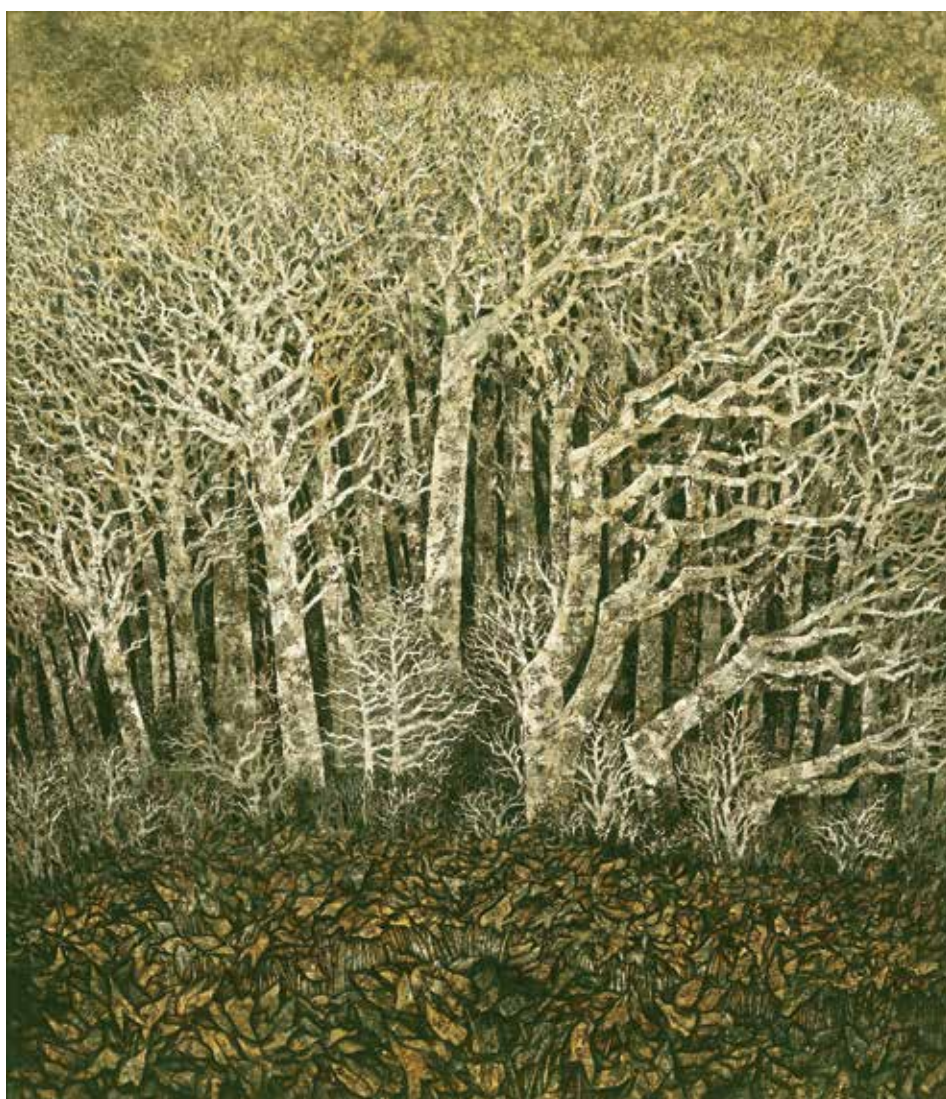


病院年報

第 28 卷

— 2018 —



「病院年報」

表紙題字 名誉院長 故 森 泰 樹

序



院長 加藤 岳人

2018年の病院年報を発刊するにあたりご挨拶申し上げますとともに、2018年度の病院の歩みを振り返りたいと思います。

ハード面で特筆すべきは、2019年2月に手術センター棟が完成し、新しい手術室を3室増設したことです。3室は、ロボット支援手術および内視鏡手術用とハイブリッド手術室であり、いずれも低侵襲の先進的手術を担う設備を備えています。長年の課題であった手術室不足の解消、患者さんの手術待機期間の短縮を期待しています。

新しい組織編制としてのトピックは、2018年4月にゲノム診療センターと入退院支援センターを設置したことが挙げられます。ゲノム診療センターは、今後発展が予想されるゲノム医療に対応するため設置されたもので、中核拠点病院である名古屋大学病院の連携施設として指定されました。入退院支援センターは、退院困難要因のある患者への早期介入を行うため、2015年に設置された入院支援センターを発展させた組織です。現在仮設スペースでの業務ですが、2019年度の院内施設整備でスペースを拡充する予定です。

もうひとつのトピックは2019年3月に中央臨床検査室が国際規格「ISO15189」を取得したことです。これは、中央臨床検査室が行う品質マネジメントシステムの体制と運営について、適格な技術、適切な結果を出す能力があることを第三者機関が認証したもので、当院の中央臨床検査室の評価を高め、他施設との差別化を明確にできたと思っています。

経営面においては、2018年度の経営収支も黒字決算を達成することができました。職員が自分の能力を発揮し、また、先進医療にチャレンジすることで、地域住民の方々に最良の医療を提供できるよう、設備改修や医療機器の更新を継続することで、東三河南部医療圏における「(高度)急性期病院」としての役割を果たしていきたいと考えています。

さて、病院の年報は1年間の足跡を記録し、学術的業績を蓄積してゆくための貴重な財産であり、各部署の努力を客観的データとして整理したものです。職員各位は年報に示された成績をもとに1年間を振り返り、今後の当院の発展、目標達成に向けた改善のために利用していただきたいと思います。

最後に、膨大な業績をまとめられた医療情報課の皆さんに深く感謝します。

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術と、人に優しい思いやりのある心を持ち、
地域に開かれた安らぎのある病院を目指します。

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

患者の権利と責任

豊橋市民病院は、十分に説明され、理解し納得した上での同意を基本姿勢として、患者さんと信頼関係で結ばれた医療を目指しています。ここに患者さんの権利と責任について明らかにし、病院と患者さんが協力して理想的な医療を行うために以下のことを確認します。

1. 最善の医療を受ける権利

患者さんは、生命の尊重と人間愛に基づいた最善の医療を受ける権利を有します。

2. 知る権利

患者さんは、病名、症状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受けることができます。医師は、薬の治験など、研究途上にある医療行為を行う場合には事前に患者さんに説明をする義務があります。患者さんは、治療に要する見込みの費用や、要した費用の明細について説明を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によりご家族、代理の方に説明することがあります。

3. 自己決定の権利

患者さんは、緊急時などの場合を除き、十分な情報と医療従事者の助言を得た上で、ご自分の意志により、検査、治療などの医療行為に同意、選択或いは拒否する権利を有し、その場合に医学的にどのような結果になるかを知られる権利を有します。

また、患者さんは担当医などの医療従事者を選択すること、紹介状を請求して別の病院にかかわること及び患者さんの求める他の医師の意見を聞くことができます。

4. プライバシーが保護される権利

患者さんは、個人の情報を直接医療にかかわる医療従事者以外の第三者に開示されない権利を有します。また、私的なことに干渉されない権利を有します。

5. 参加と共同の責任

これらの権利を守るため、患者さんは医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。

目 次

I	沿革	1
II	現況	3
	1. 施設の概要	3
	2. 承認事項・診療科の状況	4
	3. 病床の状況	4
	4. 機構図	5
	5. 職員数	6
	6. 病棟別病床数	6
	7. 施設案内	7
	8. 指定医療機関及び専門医研修施設等	8
III	患者動向	11
	1. 入院科別患者数	11
	2. 外来科別患者数	12
	3. 病棟別患者数	13
	4. 救急外来センター来院方法別受診状況	13
	5. 救急外来センター受診後の動向	14
	6. 救急入院センター・集中治療センター患者数	14
	7. 地域別患者割合	14
	8. 紹介・逆紹介患者数及び率	15
	9. 手術件数	15
	9-2. 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数	16
	10. 分娩件数	16
IV	疾病統計	17
	1. 入院患者の疾病分類別（大分類）患者数	17
	2. 死亡症例	17
	3. 24時間以内死亡患者数	18
	4. 死亡要因上位件数	18
	5. 悪性新生物新患者数	18
V	診療業務概要、活動報告	19
	総合内科	19
	呼吸器内科・アレルギー内科	20
	消化器内科	22
	循環器内科	25
	腎臓内科	28
	糖尿病・内分泌内科	30
	神経内科	33
	血液・腫瘍内科	36
	一般外科・小児外科・肛門外科	38
	呼吸器外科	44
	心臓外科・血管外科	46
	移植外科	48
	整形外科	50
	リウマチ科	53
	脊椎外科	56
	脳神経外科	58
	小児科	61
	小児科（新生児部門）	64

産婦人科	66
産婦人科（生殖医療）	74
女性内視鏡外科	76
耳鼻いんこう科	77
眼科	79
皮膚科	82
泌尿器科	84
放射線科	87
麻酔科（ペインクリニック）	90
リハビリテーション科	94
病理診断科	96
臨床検査科	97
歯科口腔外科	99
医療安全管理室	102
診療記録管理室	105
臨床研究管理室	107
感染症管理センター	108
シミュレーション研修センター	111
卒後臨床研修センター	112
専門医研修センター	114
救急外来センター	116
救急入院センター	118
集中治療センター	120
周産期母子医療センター（母体・胎児部門）	121
周産期母子医療センター（新生児部門）	122
総合生殖医療センター	123
リハビリテーションセンター	124
血液浄化センター	125
予防医療センター	126
輸血・細胞治療センター	129
ゲノム診療センター	131
外来治療センター	132
手術センター	134
口唇口蓋裂センター	136
患者総合支援センター	137
入退院支援センター	140
診療技術局	144
放射線技術室	145
中央臨床検査室	148
リハビリテーション技術室	159
臨床工学室	162
栄養管理室	172
薬局	175
看護局	181
事務局	192
医師事務作業補助者	200
Ⅵ 研究・業績	204
Ⅶ 院内委員会の活動記録	248

I 浴 革

I 沿 革

明治21(1888)年	6月	私立豊橋慈善病院として開業
明治35(1902)年	6月	社団法人豊橋病院と改組
昭和7(1932)年	6月	社団法人豊橋病院を買収して、市立豊橋病院を開院
昭和21(1946)年	7月	豊橋市立豊橋市民病院と改称
昭和26(1951)年	7月	豊橋市民病院改称(医療法による総合病院に指定)
昭和46(1971)年	3月	人工腎臓センターを設置
昭和57(1982)年	3月	救命救急センター完成(地下1階、地上6階)
	3月	リハビリテーションセンター完成(地下1階、地上3階)
平成5(1993)年	4月	「臨床研修病院」の指定
平成8(1996)年	5月	豊橋市民病院桜ヶ岡分院を統合し、青竹町地内に移転 健診センターを設置
	6月	病診連携室を設置
	11月	「地域災害医療センター」の指定(災害拠点病院の指定)
平成9(1997)年	12月	(財)日本医療機能評価機構より「病院機能評価」の認定を受ける
平成10(1998)年	4月	輸血センターを設置
	7月	「地域周産期母子医療センター」の認定を受ける
平成11(1999)年	4月	「第2種感染症指定医療機関」の指定を受ける 不妊センターを設置
平成12(2000)年	8月	許可病床数 910 床に変更
平成13(2001)年	4月	人工腎臓センターを血液浄化センターに改称
平成14(2002)年	4月	「へき地医療拠点病院」の指定を受ける 未熟児センターを新生児医療センターに改称
	8月	治験管理センターを設置
平成15(2003)年	2月	(財)日本医療機能評価機構より2回目の「病院機能評価(一般病院)」の認定を受ける
	4月	感染症管理センターを設置
	8月	「地域がん診療拠点病院」の指定を受ける
平成16(2004)年	4月	健診センターを予防医療センターに改称
平成17(2005)年	4月	機構改革により医療安全管理室の設置
	6月	「DPC(診断群分類による包括医療制度)調査協力病院」の認定を受ける
平成18(2006)年	4月	院内保育所開設
	5月	外来治療センターを設置 「DPC対象病院」に認定されDPC制度による診療報酬請求の開始 文書作成支援システム開始(各科外来)
平成19(2007)年	12月	(財)日本医療機能評価機構より3回目の「病院機能評価(審査体制区分4)」の認定を受ける
平成20(2008)年	2月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受ける(2回目)
平成21(2009)年	2月	「豊橋市民病院改革プラン」を策定
平成22(2010)年	4月	患者総合支援センターを設置
	5月	病院総合情報システム(電子カルテシステム)稼働
	7月	「7対1看護基準」の取得

平成23(2011)年	2月	「豊橋市民病院改革プラン(改訂版)」を策定
	12月	「NPO法人卒後臨床研修評価機構」の認定を受ける〔認定期間 2011.12.1 ～ 2013.11.30〕
平成24(2012)年	4月	許可病床数836床に変更(一般病床811床・結核病床15床・感染症病床10床)
	12月	(財)日本医療機能評価機構より4回目の「病院機能評価(審査体制区分6)」の認定を受ける
平成25(2013)年	10月	手術支援ロボットシステム「ダヴィンチ」を導入
	11月	救命救急センターを救急外来センター、救急入院センター及び集中治療センターに分化
	12月	地域連携登録医制度の導入 「NPO法人卒後臨床研修評価機構」の更新認定〔認定期間 2013.12.1 ～ 2017.11.30〕
平成26(2014)年	2月	「第2次豊橋市民病院改革プラン」を策定
	4月	許可病床数820床に変更(一般病床800床・結核病床10床・感染症病床10床) 総合周産期母子医療センター及びバースセンターを設置
	9月	「地域医療支援病院」の指定を受ける
	10月	輸血センターを輸血・細胞治療センターに改称
平成27(2015)年	3月	「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受ける(3回目)
	5月	入院支援センターを設置
平成28(2016)年	4月	許可病床数800床に変更(一般病床780床・結核病床10床・感染症病床10床) 「DPC医療機関群Ⅱ群」の指定を受ける
	10月	高度放射線棟開設
平成29(2017)年	4月	診療記録管理室、臨床研究管理室及びシミュレーション研修センターを設置
	4月	卒後臨床研修センターを初期臨床研修センター及び後期臨床研修センターに分化
	12月	(財)日本医療機能評価機構より5回目の「病院機能評価(一般病院2)」の認定を受ける 「NPO法人卒後臨床研修評価機構」の更新認定〔認定期間 2017.12.1 ～ 2019.11.30〕
平成30(2018)年	3月	厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」の指定を受ける
	4月	ゲノム診療センターを設置 初期臨床研修センターを卒後臨床研修センター、後期臨床研修センターを専門医研修センターに改称 入院支援センターを入退院支援センターに改称
平成31(2019)年	2月	手術センター棟しゅん工
	3月	臨床検査室認定機関国際規格「ISO15189」の認定を取得 「地域がん診療連携拠点病院」の指定(4回目)を受ける

Ⅱ 現 況

Ⅱ 現 況

平成31年 3 月31日

1. 施設の概要

所 在 地	豊橋市青竹町字八間西50番地	
施設規模	敷地面積（企業会計財産）	92,204.52㎡
	建物延面積	63,130.92㎡
	建物 地上 9 階	鉄骨・鉄筋コンクリート造
	診療部門	13,621.75㎡
	病棟部門	21,376.79㎡
		（感染症病床422.78㎡を含む）
	救命救急センター	2,620.90㎡
		（集中治療室1,451.72㎡を含む）
	新生児医療センター	619.83㎡
	リハビリテーションセンター	818.97㎡
	血液浄化センター	418.03㎡
	予防医療センター	199.15㎡
	外来治療センター	259.30㎡
	患者総合支援センター	256.04㎡
	高度放射線棟	4,129.09㎡
	サービス部門	10,946.79㎡
	管理部門	5,521.70㎡
	特別高圧変電所	813.08㎡
	手術センター棟	1,529.50㎡

2. 承認事項・診療科の状況

(豊橋市病院事業の設置等に関する条例)

(1) 承認事項

開業開始年月日	法適用年月日	法適用区分	救急告示の有無
昭和7年6月1日	昭和39年4月1日	当然財務	有(30床) (平成29年7月18日)

(2) 診療科

内 科	呼 吸 器 内 科	消 化 器 内 科	循 環 器 内 科
ア レ ル ギ ー 科	感 染 症 内 科	腎 臓 内 科	糖 尿 病 ・ 内 分 泌 内 科
神 経 内 科	血 液 ・ 腫 瘍 内 科	外 科	呼 吸 器 外 科
心 臓 外 科	血 管 外 科	小 児 外 科	形 成 外 科
肛 門 外 科	移 植 外 科	整 形 外 科	リ ウ マ チ 科
脳 神 経 外 科	小 児 科	小 児 科 (新 生 児)	産 婦 人 科
産 婦 人 科 (生 殖 医 療)	女 性 内 視 鏡 外 科	耳 鼻 い ん こ う 科	眼 科
皮 膚 科	泌 尿 器 科	放 射 線 科	精 神 科
麻 酔 科	救 急 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	病 理 診 断 科
歯 科 口 腔 外 科			

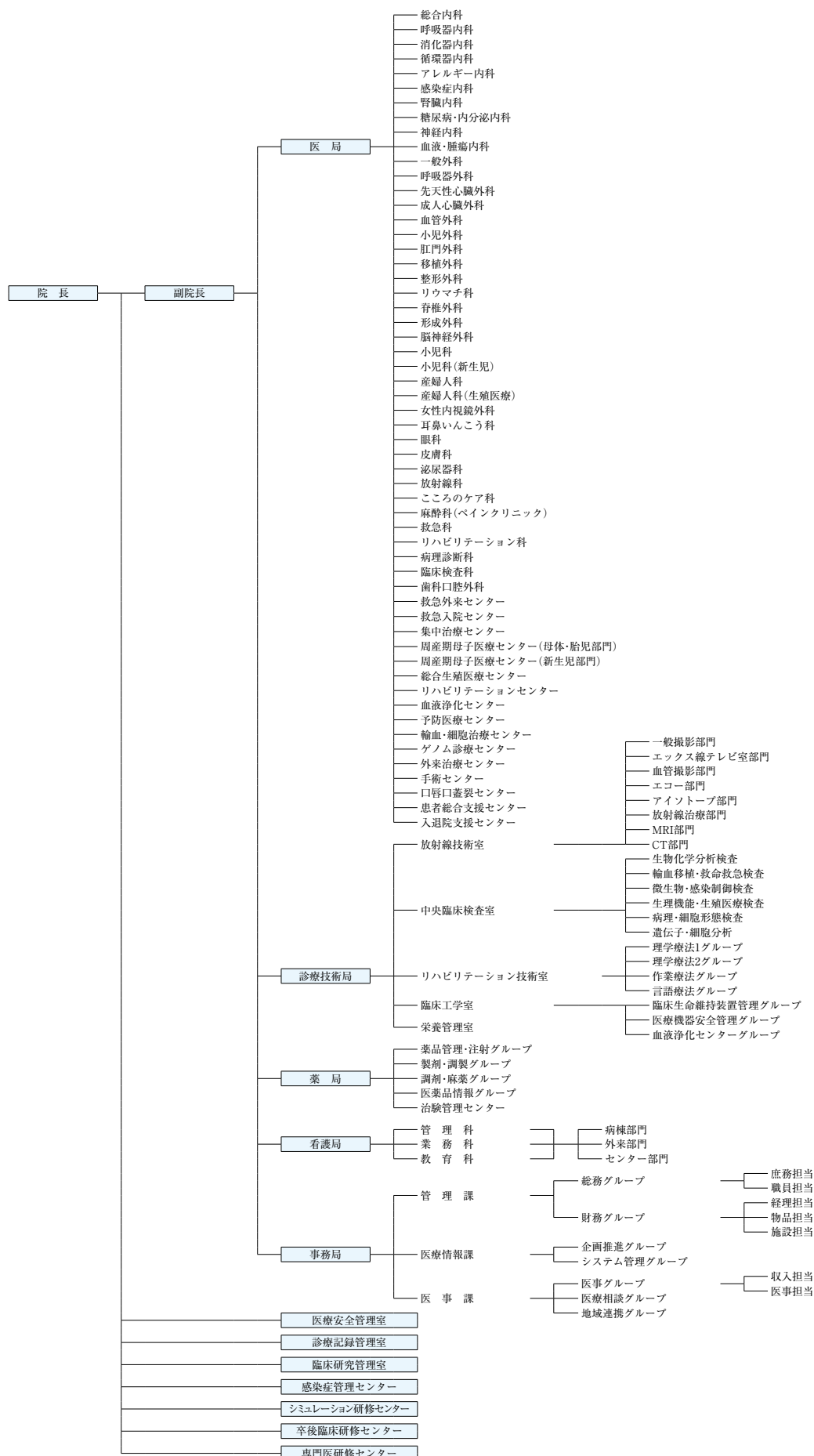
3. 病床の状況

許 可 病 床 数	一 般	精 神	結 核	感染症	合 計
	780床	—	10床	10床	800床

特定入院料算定病床	救急入院	ICU	MFICU	NICU	小児 (NMC)	小児 (東2)
	24床	6床	6床	12床	23床	43床

4. 機構図

平成31年3月31日



5. 職員数

平成31年3月31日

(人)			(人)		
区 分		人数	区 分		人数
医 師 職	医 師	185	看護保健職	看 護 師	827
	研 修 医	35		准 看 護 師	29
医療技術職	薬 剤 師	53		保 健 師	2
	臨 床 検 査 技 師	58	一般行政職	管 理 課	26
	臨 床 工 学 技 士	22		医 療 情 報 課	11
	放 射 線 技 師	45		医 事 課	22
	歯 科 衛 生 士	6		医療安全管理室	2
	理 学 療 法 士	25		医 局	1
	作 業 療 法 士	12	技能労務職	事務労務職助手	2
	言 語 聴 覚 士	7	そ の 他 臨 時 職 員	助手(病棟助手等)	72
	視 能 訓 練 士	6		ドクターーク	21
	栄 養 士	12		外 来 ク ラ ーク	23
				その他(事務等)	72
			合 計		1,576

6. 病棟別病床数

平成31年3月31日現在

区 分	許可(稼働)病床	病 床 内 訳
東病棟 2 階	43 床	小児科 35 小児外科 4 耳鼻いんこう科(小児) 4
〃 3 階	50 床	循環器内科 25 呼吸器外科 8 心臓外科・血管外科 9 腎臓内科 8
東病棟 4 階	50 床	バースセンター 20 婦人科 6 MFICU 6 産科 18
西病棟 4 階		
東病棟 5 階	46 床	一般外科 37 消化器内科 7 移植外科 2
〃 6 階	52 床	消化器内科 49 総合内科 3
〃 7 階	49 床	呼吸器内科 34 耳鼻いんこう科 15
〃 8 階	51 床	整形外科・リウマチ科 48 産婦人科(生殖医療) 3
〃 9 階	47 床	糖尿病・内分泌内科 12 産婦人科19 眼科 16
西病棟 2 階	44 床	脳神経外科 28 神経内科 16
〃 3 階	30 床	集中治療 6 救命救急 24
〃 5 階	46 床	一般外科 33 皮膚科 13
〃 6 階	50 床	消化器内科 47 腎臓内科 3
〃 7 階	52 床	呼吸器内科 44 歯科口腔外科 8
〃 8 階	46 床	泌尿器科 35 整形外科 11
〃 9 階	49 床	血液・腫瘍内科 49
南病棟 1 階	40 床	神経内科 24 整形外科・リウマチ科 16
〃 2 階	20 床	結核 10 感染症 10
新生児医療センター	35 床	NICU 12 GCU 23
計	800 床	

診療科別病床数

呼 吸 器 内 科	78 床	心臓外科・血管外科	9 床	耳 鼻 い ん こ う 科	19 床
消 化 器 内 科	103	呼 吸 器 外 科	8	眼 科	16
循 環 器 内 科	25	小 児 外 科	4	皮 膚 科	13
腎 臓 内 科	11	移 植 外 科	2	泌 尿 器 科	35
糖尿病・内分泌内科	12	整 形 外 科 ・ リ ウ マ チ 科	75	歯 科 口 腔 外 科	8
神 経 内 科	40	形 成 外 科	0	集 中 治 療	6
血 液 ・ 腫 瘍 内 科	49	脳 神 経 外 科	28	救 命 救 急	24
総 合 内 科	3	小 児 科	70	感 染 症 病 床	10
一 般 外 科	70	産 婦 人 科	72	結 核 病 床	10
				計	800

7. 施設案内

平成31年3月31日現在

名 称	各階	主 な 施 設
診 療 棟	1 階	総合内科 呼吸器内科・アレルギー内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 神経内科 血液・腫瘍内科 整形外科 脊椎外科 リウマチ科 形成外科 産婦人科（生殖医療）・総合生殖医療センター 放射線科 一般外科 小児外科 呼吸器外科 移植外科 心臓外科 血管外科 肛門外科 麻酔科（ペインクリ ニック） 脳神経外科 泌尿器科 救急外来センター 救急外来・入院受付 外来治療センター 患者総合支援センター がん相談支援センター 入退院支 援センター エックス線撮影室 CT室 テレビカメラ室 MRI室 内視鏡・ エコー室 薬局 医事課 総合案内所 防災センター
	2 階	こころのケア科 皮膚科 糖尿病・内分泌内科 耳鼻いんこう科 産婦人科 小児科 病理診断科 臨床検査科 歯科口腔外科・口唇口蓋裂センター 眼科 血液浄化センター 予防医療センター 中央臨床検査室 輸血センター 薬局 臨床工学室 中央滅菌材料室 中央倉庫 カルテ室 中央監視室 レストラン 売店
	3 階	新生児医療センター 手術センター 院長室 医療安全管理室 副院長室 医局長室 医局 看護局長室 管理科 業務科 教育科 事務局長室 管理課 医療情報課 医学情報室 診療記録管理室 臨床研究管理室 講堂 応接室 会議室 当直室 仮眠室 電話交換室 職員食堂
管 理 棟	1 階	院内保育所
	2 階	情報研修室 レセプト点検室
	3 階	研修医室
手 術 セ ン タ ー 棟	1 階	委託業者等更衣室 清掃業者控室等
	2 階	大型機材室 自己血採血室 幹細胞処理室 感染症管理センター 医療ガスボンベ室 電気室
	3 階	ハイブリッド手術室 内視鏡手術室
東 病 棟	1 階	栄養管理室
	2 階	小児科 小児外科 耳鼻いんこう科（小児）
	3 階	呼吸器外科 心臓外科 血管外科 循環器内科 腎臓内科
	4 階	産婦人科 バースセンター
	5 階	一般外科 消化器内科 移植外科
	6 階	消化器内科 総合内科
	7 階	呼吸器内科 耳鼻いんこう科
	8 階	整形外科 産婦人科（生殖医療） リウマチ科
	9 階	糖尿病・内分泌内科 産婦人科 眼科
西 病 棟	1 階	リハビリテーションセンター 解剖室 霊安室 喫茶室
	2 階	脳神経外科 神経内科
	3 階	集中治療センター（ICU） 救急入院センター
	4 階	産婦人科 母体胎児集中治療室（MFICU）
	5 階	一般外科 皮膚科
	6 階	消化器内科 腎臓内科
	7 階	呼吸器内科 歯科口腔外科
	8 階	泌尿器科 整形外科
	9 階	血液・腫瘍内科
南 病 棟	1 階	整形外科 神経内科 リウマチ科
	2 階	結核病床 感染症病床
高 度 放 射 線 棟	1 階	放射線治療室 CTシミュレーター室 腔内照射室 アイソトープ検査室 PET-CT検査室 ガンマカメラ室 SPECT-CT室
	2 階	シミュレーション研修センター 治験管理センター 医薬品情報室 モニタリング室 ME機材室 空調機械室 屋上庭園
	3 階	備蓄倉庫 電気室

8 指定医療機関及び専門医研修施設等

(1) 機関指定

- ・ 保険医療機関
- ・ 労災保険指定病院
- ・ 更生医療指定病院
- ・ 育成医療指定病院
- ・ 母体保護法指定医
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 児童福祉施設(助産施設)
- ・ エイズ治療拠点病院
- ・ 日本病院会・優良短期人間ドック施設
- ・ 救命救急センター
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ 特定不妊治療指定医療機関
- ・ 難病指定医療機関
- ・ 救急病院
- ・ 生活保護法等指定医療機関
- ・ 養育医療指定病院
- ・ 結核指定医療機関
- ・ 身体障害者福祉法指定医
- ・ 公害医療機関
- ・ 基幹型臨床研修病院
- ・ 単独型臨床研修施設(歯科)
- ・ 災害拠点病院
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ へき地医療拠点病院
- ・ DMAT指定医療機関
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関

(2) 施設基準届出事項

○基本診療料

- ・ 一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)
- ・ 結核病棟入院基本料(7対1入院基本料)
- ・ ADL維持向上等体制加算
- ・ 総合入院体制加算3
- ・ 超急性期脳卒中加算
- ・ 診療録管理体制加算1
- ・ 医師事務作業補助体制加算2(20対1)
- ・ 急性期看護補助体制加算(50対1)
- ・ 看護職員夜間配置加算(16対1配置加算)
- ・ 療養環境加算
- ・ 重症者等療養環境特別加算
- ・ 無菌治療室管理加算1
- ・ 栄養サポートチーム加算
- ・ 医療安全対策加算1、医療安全対策地域連携加算1
- ・ 感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ ハイリスク妊娠管理加算
- ・ ハイリスク分娩管理加算
- ・ 呼吸ケアチーム加算
- ・ 後発医薬品使用体制加算2
- ・ 病棟薬剤業務実施加算1
- ・ 病棟薬剤業務実施加算2
- ・ データ提出加算2(イ 200床以上)
- ・ 入退院支援加算1、入院時支援加算
- ・ 入退院支援加算3
- ・ 認知症ケア加算
- ・ 精神疾患診療体制加算
- ・ 救命救急入院料1
- ・ 特定集中治療室管理料4
- ・ 新生児特定集中治療室管理料1
- ・ 総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
- ・ 小児入院医療管理料2
- ・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・ 歯科外来診療環境体制加算2
- ・ 歯科診療特別対応連携加算

○特掲診療料関係

- ・ 糖尿病合併症管理料
- ・ がん性疼痛緩和指導管理料
- ・ がん患者指導管理料イ
- ・ がん患者指導管理料ロ
- ・ がん患者指導管理料ハ
- ・ 移植後患者指導管理料(臓器移植後)
- ・ 糖尿病透析予防指導管理料
- ・ 乳腺炎重症化予防・ケア指導料
- ・ 院内トリアージ実施料
- ・ 外来放射線照射診療料
- ・ 療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算
- ・ 開放型病院共同指導料
- ・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
- ・ 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
- ・ 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- ・ 経皮的中隔心筋焼灼術
- ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
- ・ 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- ・ 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
- ・ 腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・ 腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

- ・がん治療連携計画策定料
- ・排尿自立指導料
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・ハイリスク妊産婦連携指導料1
- ・薬剤管理指導料
- ・医療機器安全管理料1
- ・医療機器安全管理料2
- ・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
- ・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- ・遺伝学的検査
- ・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
- ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ・検体検査管理加算(Ⅰ)
- ・遺伝カウンセリング加算
- ・検体検査管理加算(Ⅳ)
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・長期継続頭蓋内脳波検査
- ・神経学的検査
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・内服・点滴誘発試験
- ・ポジトロン断層撮影
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算1
- ・無菌製剤処理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・リンパ浮腫複合的治療料
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
- ・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
- ・硬膜外自家血注入
- ・人工腎臓
- ・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
- ・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・センチネルリンパ節加算
- ・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
- ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
- ・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
- ・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)(及び脳刺激装置交換術)
- ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)
- ・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算1
- ・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る)
- ・体外衝撃波胆石破碎術
- ・腹腔鏡下肝切除術
- ・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
- ・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
- ・同種死体腎移植術
- ・生体腎移植術
- ・膀胱水圧拡張術
- ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- ・人工尿道括約筋植込・置換術
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- ・腹腔鏡下仙骨腔固定術
- ・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術等)
- ・輸血管理料Ⅰ
- ・輸血適正使用加算
- ・貯血式自己血輸血管理体制加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・麻酔管理料(Ⅰ)
- ・麻酔管理料(Ⅱ)
- ・放射線治療専任加算
- ・外来放射線治療加算
- ・高エネルギー放射線治療
- ・1回線量増加加算
- ・強度変調放射線治療(ⅠMRT)
- ・画像誘導放射線治療(ⅠGRT)
- ・定位放射線治療
- ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- ・病理診断管理加算1
- ・悪性腫瘍病理組織標本加算
- ・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- ・医療機器安全管理料(歯科)
- ・精密触覚機能検査
- ・歯科口腔リハビリテーション料2
- ・手術用顕微鏡加算
- ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
- ・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
- ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・歯根端切除手術の注3
- ・口腔病理診断管理加算1
- ・クラウン・ブリッジ維持管理料

(3) 専門医研修施設等

- ・日本内科学会専門医教育病院
- ・日本呼吸器学会専門医認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医認定施設
- ・日本アレルギー学会準教育研修施設
- ・日本消化器病学会専門医認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- ・日本消化器がん検診学会認定医指導施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本高血圧学会認定研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
- ・日本腎臓学会専門医研修施設
- ・日本透析医学会専門医認定施設
- ・日本糖尿病学会糖尿病専門医認定教育施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定教育施設
- ・日本甲状腺学会認定専門医施設
- ・日本神経学会専門医教育施設
- ・日本血液学会認定研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本外科学会専門医指定施設
- ・日本消化器外科学会専門医指定修練施設(認定施設)
- ・日本乳癌学会乳癌専門医認定施設
- ・日本乳房オンコプラステックサージャリー学会インプラント実施施設(一次・二期再建)
- ・日本乳房オンコプラステックサージャリー学会エキスパンダー実施施設(一次再建)
- ・呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(基幹施設)
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設(関連施設)
- ・日本脾臓学会認定指導施設
- ・日本超音波医学会専門医研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会認定実施施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST実地修練認定教育施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本手外科学会認定研修関連施設
- ・日本リウマチ学会専門医教育施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修病院
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本小児科学会専門医研修支援施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期(新生児)専門医基幹施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎児)専門医基幹施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本生殖医学会専門医認定研修施設
- ・日本産科婦人科学会生殖補助医療実施登録施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医研修施設
- ・日本皮膚科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- ・日本医学放射線学会専門医修練施設
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本麻酔科学会専門医認定病院
- ・日本病理学会専門医認定施設
- ・日本臨床細胞学会専門医認定施設
- ・日本口腔外科学会認定研修施設
- ・日本女性医学学会認定研修施設
- ・日本胆道学会認定指導施設

(4) 研修施設等(名称・認定団体)

①放射線技術室

マンモグラフィ検診施設認定
日本消化器がん検診学会認定指導施設

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
日本消化器がん検診学会

②中央臨床検査室

日本臨床検査標準協議会精度保障施設
日本臨床細胞学会認定施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
認定輸血検査技師制度指定施設
骨髓検査技師認定制度研修施設
日本病理学会研修認定施設
臨床輸血看護師制度指定研修施設
日本輸血・細胞治療学会I&A認証施設

日本臨床検査標準協議会
日本臨床細胞学会
日本臨床微生物学会
日本輸血細胞治療学会
日本検査血液学会
日本病理学会
日本輸血・細胞治療学会
日本輸血・細胞治療学会

③栄養管理室

NST(栄養サポートチーム)稼働施設
「栄養サポートチーム専門療法士」認定教育施設
NST稼働施設

日本静脈経腸栄養学会
日本静脈経腸栄養学会
日本栄養療法推進協議会

④薬局

がん専門薬剤師研修施設
薬学生実務実習受入施設

日本医療薬学会
薬学教育協議会

Ⅲ 患者動向

Ⅲ 患者動向

1. 入院科別患者数

区 分	平成30年度				平成29年度				平成28年度			
	延患者数 (人)	一日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	一日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	一日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)
内 科	112,006	307	44.5	7,759	118,790	325	45.8	7,483	116,715	320	46.2	7,075
総合内科	756	2	0.7	41	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
呼吸器内科	27,958	77	25.0	1,863	27,038	74	22.8	1,684	23,606	65	20.2	1,517
消化器内科	31,470	86	28.1	2,623	39,866	109	33.6	2,689	41,656	114	35.7	2,615
循環器内科	7,549	21	6.7	777	7,604	21	6.4	821	8,326	23	7.1	917
アレルギー内科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
感染症内科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
腎臓内科	6,124	17	5.5	463	4,774	13	4.0	374	4,809	13	4.1	339
糖尿病・内分泌内科	3,097	8	2.8	252	3,214	9	2.7	277	3,201	9	2.8	259
神経内科	17,894	49	16.0	983	18,430	50	15.5	970	17,025	46	14.6	822
血液・腫瘍内科	15,846	43	14.1	735	16,559	45	13.9	655	16,784	46	14.4	575
結核	1,312	4	1.2	22	1,305	4	1.1	13	1,308	4	1.1	31
外 科	24,440	67	9.7	2,210	24,183	66	9.3	2,139	23,198	64	9.2	2,040
呼吸器外科	2,611	7	1.0	226	2,088	6	0.8	194	1,889	5	0.7	198
心臓・血管外科	2,771	8	1.1	180	2,996	8	1.2	174	3,474	9	1.4	193
移植外科	556	2	0.2	62	697	2	0.3	68	736	2	0.3	70
整形外科	22,770	63	9.0	1,310	23,195	64	8.9	1,278	24,191	66	9.6	1,225
形成外科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
脳神経外科	15,534	43	6.2	778	13,550	37	5.2	715	12,070	33	4.8	635
小児科	18,878	52	7.5	2,050	19,130	52	7.4	1,899	19,303	53	7.6	1,831
産婦人科	19,312	53	7.7	2,405	20,269	56	7.8	2,419	19,352	53	7.6	2,448
耳鼻いんこう科	8,254	23	3.3	730	7,808	21	3.0	660	7,861	21	3.1	643
眼 科	4,208	12	1.7	853	5,251	14	2.0	983	4,742	13	1.9	908
皮膚科	5,207	14	2.1	308	5,324	15	2.1	295	4,957	14	2.0	264
泌尿器科	12,613	35	5.0	1,248	13,423	37	5.2	1,194	11,870	32	4.7	1,018
放射線科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
麻酔科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
リハビリテーション科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
こころのケア科	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0
歯科口腔外科	2,510	7	1.0	492	2,862	8	1.1	465	2,390	7	0.9	431
計 ①	251,670	690	100	20,611	259,566	711	100	19,966	252,748	692	100	18,979
前年度 ②	259,566	711	-	19,966	252,748	692	-	18,979	258,733	707	-	19,660
比較(①-②)	△ 7,896	△ 21	-	645	6,818	19	-	987	△ 5,985	△ 15	-	△ 681

2. 外来科別患者数

区 分	平成30年度				平成29年度				平成28年度			
	延患者数 (人)	一日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	一日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	延患者数 (人)	一日平均 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)
内 科	161,628	662	34.2	14,513	156,917	643	34.0	13,767	156,651	643	34.1	13,814
総 合 内 科	7,589	31	4.7	1,866	7,456	31	4.8	1,486	8,038	33	5.1	1,601
呼吸器内科	28,053	115	17.4	2,512	24,473	100	15.6	2,268	23,665	97	15.1	2,293
消化器内科	50,167	206	31.0	5,267	50,439	207	32.1	5,289	50,170	206	32.0	5,183
循環器内科	17,111	70	10.6	1,255	16,883	69	10.8	1,213	16,206	67	10.3	1,143
アレルギー内科	2	0	0.0	1	3	0	0.0	1	24	0	0.0	5
感染症内科	21	0	0.0	0	13	0	0.0	0	11	0	0.0	0
腎 臓 内 科	9,458	39	5.9	455	9,374	38	6.0	525	12,695	52	8.1	612
糖 尿 病・内 分 泌 内 科	19,611	80	12.1	1,147	19,690	81	12.5	1,027	19,639	81	12.5	1,072
神 経 内 科	11,929	49	7.4	1,483	12,284	50	7.8	1,552	12,010	49	7.7	1,450
血液・腫瘍内科	17,687	72	10.9	527	16,302	67	10.4	406	14,193	58	9.1	455
外 科	38,877	159	8.2	2,440	36,831	151	8.0	2,269	34,494	142	7.5	2,260
呼吸器外科	2,687	11	0.6	341	2,705	11	0.6	324	2,606	11	0.6	309
心臓・血管外科	3,005	12	0.6	202	2,894	12	0.6	176	2,864	12	0.6	205
移 植 外 科	1,423	6	0.3	56	1,410	6	0.3	53	1,394	6	0.3	47
整 形 外 科	40,261	165	8.5	4,491	40,321	165	8.7	4,615	40,600	167	8.8	4,604
形 成 外 科	1,542	6	0.3	256	1,971	8	0.4	303	2,075	9	0.5	305
脳神経外科	12,791	52	2.7	1,997	11,798	48	2.6	1,991	11,536	47	2.5	1,928
小 児 科	29,847	122	6.3	2,897	28,599	117	6.2	2,772	29,490	121	6.4	2,631
産 婦 人 科	41,338	169	8.8	2,537	41,098	168	8.9	2,525	40,557	167	8.8	2,391
耳 鼻 い 科 ん こ う 科	24,908	102	5.3	3,380	24,575	101	5.3	3,187	24,921	103	5.4	3,195
眼 科	22,375	92	4.7	1,999	24,839	102	5.4	2,274	26,421	109	5.8	2,440
皮 膚 科	27,641	113	5.9	3,179	25,955	106	5.6	3,109	26,045	107	5.7	3,334
泌 尿 器 科	26,137	107	5.5	1,682	26,507	109	5.7	1,784	26,374	109	5.7	1,775
放 射 線 科	15,659	64	3.3	812	12,931	53	2.8	729	12,768	53	2.8	666
麻 酔 科	420	2	0.1	58	467	2	0.1	41	457	2	0.1	47
リハビリテーション科	309	1	0.1	206	284	1	0.1	208	270	1	0.1	201
こころのケア科	5,901	24	1.3	24	5,326	22	1.2	16	4,717	19	1.0	24
歯科口腔外科	15,232	62	3.2	3,554	15,598	64	3.4	3,366	15,325	63	3.3	3,065
計 ①	471,981	1,934	100	44,624	461,026	1,889	100	43,509	459,565	1,891	100	43,241
前 年 度 ②	461,026	1,889	-	43,509	459,565	1,891	-	43,241	484,692	1,995	-	50,444
比較(①-②)	10,955	45	-	1,115	1,461	△ 2	-	268	△ 25,127	△ 104	-	△ 7,203

3. 病棟別患者数

区 分	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	延患者数 (人)	1日平均 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)	延患者数 (人)	1日平均 (人)
東 病 棟 2 階	12,070	33	11,756	32	10,586	29
西 病 棟 2 階	15,883	44	15,854	43	15,880	43
東 病 棟 3 階	16,624	46	16,440	45	16,244	44
西 病 棟 3 階	4,006	11	4,632	13	4,752	13
東 病 棟 4 階	7,388	20	7,301	20	6,642	18
西 病 棟 4 階	7,070	19	7,284	20	6,630	18
東 病 棟 5 階	14,765	40	15,976	44	15,570	43
西 病 棟 5 階	15,776	43	16,119	44	16,261	44
東 病 棟 6 階	17,218	47	18,818	52	18,831	51
西 病 棟 6 階	16,813	46	18,110	50	17,900	49
東 病 棟 7 階	17,500	48	17,872	49	16,714	46
西 病 棟 7 階	18,396	50	18,435	51	16,849	46
東 病 棟 8 階	16,720	46	17,332	47	17,187	47
西 病 棟 8 階	16,249	45	16,647	46	15,919	43
東 病 棟 9 階	14,594	40	15,918	44	14,678	40
西 病 棟 9 階	15,928	44	16,608	46	16,391	45
新生児医療センター	8,735	24	8,758	24	10,318	28
南 病 棟 1 階	14,623	40	14,401	39	14,088	38
南 病 棟 2 階	1,312	4	1,305	4	1,308	4
計	251,670	690	259,566	711	252,748	691

4. 救急外来センター来院方法別受診状況

区 分	入外区分	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
		患者数 (人)	合計に占める比率 (%)	患者数 (人)	合計に占める比率 (%)	患者数 (人)	合計に占める比率 (%)
救 急 車	外来	3,922	14.3	3,582	13.3	3,324	12.8
	入院	3,581	13.1	3,536	13.1	3,134	12.1
	計	7,503	27.4	7,118	26.5	6,458	24.9
ドクターヘリ 防災ヘリ	外来	19	0.1	15	0.1	19	0.1
	入院	35	0.1	28	0.1	42	0.2
	計	54	0.2	43	0.2	61	0.2
ウォークイン	外来	16,717	61.1	16,762	62.3	16,637	64.1
	入院	3,096	11.3	2,968	11.0	2,796	10.8
	計	19,813	72.4	19,730	73.4	19,433	74.9
合 計	外来	20,658	75.5	20,359	75.7	19,980	77.0
	入院	6,712	24.5	6,532	24.3	5,972	23.0
	計	27,370	100.0	26,891	100.0	25,952	100.0

5. 救急外来センター受診後の動向

区 分	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	患者数 (人)	救急搬入数 (人)	比率	患者数 (人)	救急搬入数 (人)	比率	患者数 (人)	救急搬入数 (人)	比率
帰 宅	20,627	3,919	19.0%	20,333	3,578	17.6%	19,947	3,316	16.6%
入 院	6,521	3,428	52.6%	6,361	3,396	53.4%	5,781	2,988	51.7%
転 院	31	22	71.0%	26	19	73.1%	33	27	81.8%
死 亡	191	188	98.4%	171	168	98.2%	191	188	98.4%
計	27,370	7,557	27.6%	26,891	7,161	26.6%	25,952	6,519	25.1%

※救急搬入とは、救急車、ドクターヘリ、防災ヘリのこと

6. 救命救急センター患者数

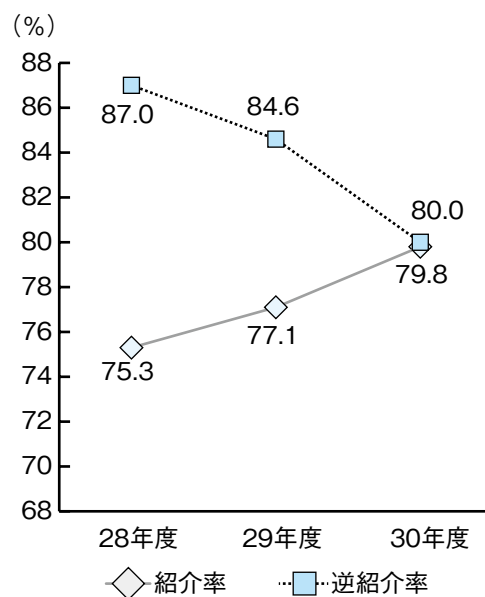
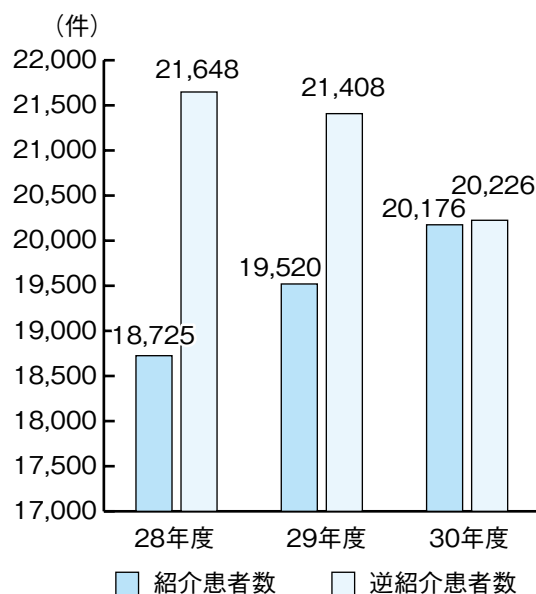
区 分	病床数 (床)	実患者数 (人)	延患者数 (人)	平均在院日数 (日)	1日当たり患者数 (人)
内 科	11	881	1,415	1.6	4
外 科	11	422	596	1.4	2
心臓血管・呼吸器外科	3	238	520	2.2	1
脳 神 経 外 科	5	575	1,158	2.0	3
そ の 他	—	272	512	1.9	1
計	30	2,388	4,201	1.8	12
内訳:集中治療センター	6	682	1,537	2.3	4

7. 地域患者割合

(%)

区 分	入 院			外 来		
	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
豊 橋 市	73.7	74.0	72.1	71.9	72.0	71.4
豊 川 市	9.7	9.7	10.2	11.1	11.1	11.2
蒲 郡 市	2.7	3.3	3.5	3.3	3.5	3.6
田 原 市	7.1	6.5	7.2	7.6	7.3	7.3
新 城 市	2.8	2.5	2.5	2.4	2.4	2.5
その他	県 内	2.3	2.0	2.0	1.8	2.1
	県 外	1.7	2.0	1.7	1.9	1.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

8. 紹介・逆紹介患者数及び率



9. 手術件数

区 分		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
外科	一般外科	1,624	106.5	1,525	105.7	1,443	99.9
	心臓血管・呼吸器外科	319	113.1	282	92.5	305	91.9
	小児外科	127	105.0	121	96.8	125	90.6
	肛門外科	23	82.1	28	77.8	36	100.0
整形外科		1,443	108.7	1,327	100.8	1,317	95.1
リウマチ科		19	48.7	39	86.7	45	136.4
形成外科		1	100.0	1	14.3	7	87.5
脳神経外科		368	117.2	314	101.6	309	89.8
産婦人科		1,581	99.4	1,591	93.5	1,702	97.1
耳鼻いんこう科		444	104.5	425	103.7	410	99.8
皮膚科		90	84.1	107	100.9	106	105.0
泌尿器科		628	114.8	547	109.8	498	87.8
眼科		881	86.7	1,016	106.3	956	88.4
歯科口腔外科		449	111.1	404	101.0	400	97.6
その他		154	113.2	136	106.3	128	93.4
計		8,151	103.7	7,863	101.0	7,787	95.2

9- 2. 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数

区 分		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
外科	一 般 外 科	523	117.0	447	109.3	409	115.2
	(内:ダヴィンチ)	34	178.9	19	111.8	17	63.0
	小 児 外 科	63	71.6	88	74.6	118	92.2
	肛 門 外 科	68	87.2	78	95.1	82	130.2
整 形 外 科		112	131.8	85	89.5	95	94.1
リ ウ マ チ 科		0	—	0	—	0	—
産 婦 人 科		512	116.6	439	103.1	426	83.9
(内:先進医療、自費診療)		4	23.5	17	121.4	14	66.7
(内:ダヴィンチ)		64	914.3	7	100	7	—
泌 尿 器 科		153	120.5	127	107.6	118	96.7
(内:ダヴィンチ)		75	113.6	66	113.8	58	111.5
そ の 他		5	125.0	4	57.1	7	70.0
計		1,436	113.2	1,268	101.0	1,255	97.4

10. 分娩件数

区 分		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
		件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)	件数(件)	前年度対比(%)
産 婦 人 科		883	100.6	878	94.1	933	93.3

IV 疾病統計

Ⅳ 疾 病 統 計

1. 入院患者の疾病分類別（大分類）患者数

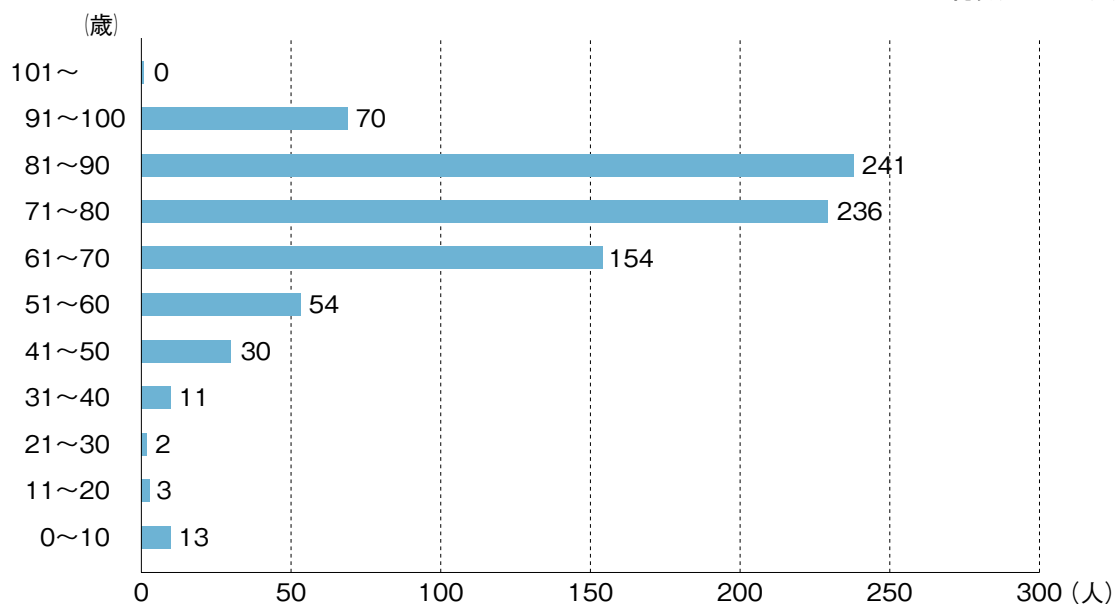
MDC2桁	疾 患 名	2018年	2017年	2016年
01	神経系疾患	1,541	1,416	1,248
02	眼科系疾患	880	979	875
03	耳鼻咽喉科系疾患	715	640	639
04	呼吸器系疾患	2,622	2,327	2,132
05	循環器系疾患	968	994	1,099
06	消化器系、肝臓・胆道・膵臓疾患	4,269	4,198	3,971
07	筋骨格系疾患	670	609	617
08	皮膚・皮下組織の疾患	456	401	392
09	乳房の疾患	209	194	184
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	595	579	592
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	1,710	1,551	1,453
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,904	1,877	1,866
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	834	803	685
14	新生児疾患、先天性奇形	642	596	626
15	小児疾患	113	256	194
16	外傷・熱傷・中毒	894	930	902
17	精神疾患	18	22	9
18	その他	187	247	216
計		19,227	18,619	17,700

※EVE抽出データより集計しています。

2. 死亡症例

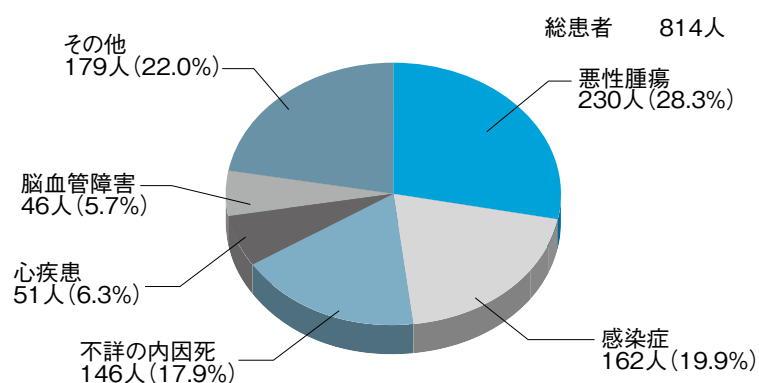
(1) 年代別年間死亡患者数

総数：814人



3. 24時間以内死亡患者数 81人

4. 死亡要因上位件数



5. 悪性新生物新患者数

部 位	診断年症例(件)		
	2018年	2017年	2016年
口腔咽頭	74	75	59
食道	47	47	43
胃	246	227	231
大腸	371	364	355
(結腸)	(241)	(234)	(230)
(直腸)	(130)	(130)	(125)
肝臓	50	80	71
胆嚢胆管	37	47	34
膵臓	79	75	75
喉頭	25	19	27
肺	306	256	225
骨軟部	8	8	11
皮膚	106	120	131
乳房	213	185	165
子宮頸部	117	114	94
子宮体部	77	52	71
子宮	0	0	0
卵巣	50	52	38
前立腺	187	160	171
膀胱	85	100	82
腎尿路	86	99	74
脳神経	55	83	64
甲状腺	37	32	30
悪性リンパ腫	48	53	54
多発性骨髄腫	20	30	23
白血病	53	37	52
他の造血器腫瘍	35	56	34
その他	112	83	64
総 数	2,524	2,454	2,278

※がん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計への報告件数

V 診療業務概要・ 活動報告

～解説～

①概要について

1年間の活動内容等を掲載しています。

②新規登録疾患について

2018年に登録した病名を診療科別に抽出し、ICD-10（国際疾病分類）3桁で集計を行い円グラフで掲載しています。

抽出条件

- (1) 2018年1月1日から 2018年12月31日に受診した患者。
- (2) 診療科別で対象患者に主病名登録した病名（疑いは除外）を抽出。
- (3) ICD-10 3桁で集計、上位を表記し、それ以下はその他と表記。

留意事項

- (1) 複数の病名が登録されている患者については病名ごとに集計（延べ）。
- (2) 比率については小数点第2位 四捨五入。

③活動報告について

この項目は、各々の希望に応じた資料を掲載しています。

V 診療業務概要・活動報告

総合内科

1. 概要

高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は狭心症や心筋梗塞など虚血性心疾患の強力な危険因子である。これまで総合内科ではとくに糖尿病をメインに、内臓脂肪の過剰蓄積・耐糖能障害・高血圧・高中性脂肪血症をあわせもつメタボリックシンドロームや高尿酸血症に関しても、積極的に診療をおこなってきた。

1996年来、総合内科ではながらく糖尿病・耐糖能障害、高血圧症、脂質異常症などの外来診療と糖尿病体験入院をおこなってきた。2010年4月、糖尿病・内分泌内科の新設にともない、糖尿病外来や糖尿病教育入院などの糖尿病診療はおもに糖尿病・内分泌内科にておこなわれている。2010年4月からは、新規を除く糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの外来診療を継続するとともに、原因不明の発熱、専門科に振り分けられない初診患者の診療をおこなっている。

総合内科の病床は2010年よりなくなっていたが、総合内科医師の赴任とともに、不明熱の原因検索などの入院のために2018年4月より3床が復活した。

(第二部長 鳥居 俊男)

2. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	7,475人	年間外来新患者数	1,661人
年間入院患者数	628人	年間入院新患者数	33人

呼吸器内科・アレルギー内科

1. 概要

2018年度は、部長1人（菅沼）、副部長3人（竹山、真下、大館）、医員2人（倉橋、飯島）の、専任スタッフ6人で診療を行った。

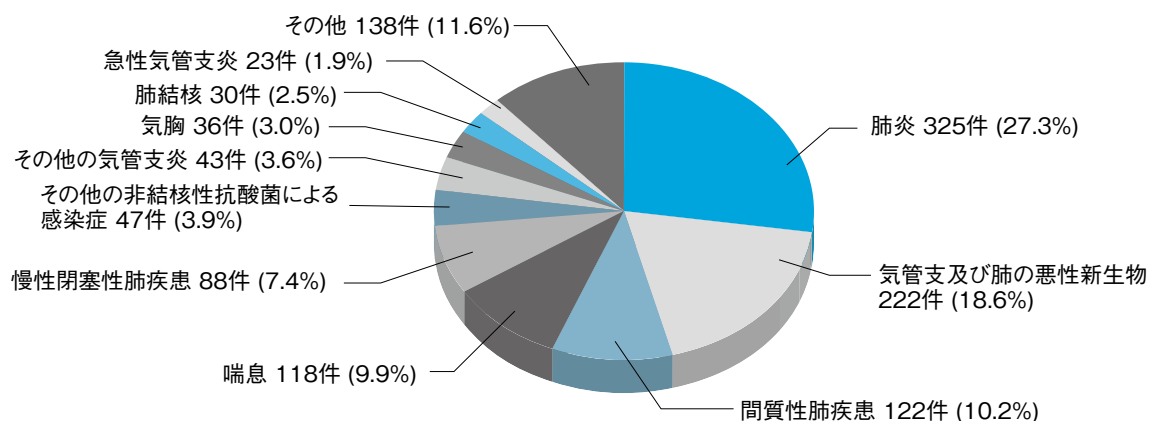
患者中心の医療を心掛け、外来・病棟看護師、薬剤師、リハビリテーション技師と協力して診療に当たっている。また、呼吸器外科医師、放射線科医師とも連携を密にし、治療方針決定のために定期的に合同でカンファレンスを行っている。

日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会の教育認定施設として、研修医や専攻医の教育に当たるばかりでなく、スタッフ一同もより良い医療ができるよう日々研鑽を積んでいる。また、東三河地区の地域がん診療連携拠点病院の役割を担い、名古屋大学呼吸器内科の関連病院として臨床研究にも努めている。

（部長 菅沼 伸一）

2. 新規登録疾患

総数：1,192件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
肺炎	肺炎,詳細不明	263	J189
	食物及び吐物による肺臓炎	21	J690
気管支及び肺の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物気管支又は肺,部位不明	176	C349
	気管支及び肺の悪性新生物上葉,気管支又は肺	21	C341
間質性肺疾患	間質性肺疾患,詳細不明	71	J849
	肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	38	J841
喘息	喘息,詳細不明	100	J459
	喘息発作重積状態	18	J46
慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患,詳細不明	57	J449
	気管支拡張症	18	J47
その他の非結核性抗酸菌による感染症	非結核性抗酸菌感染症,詳細不明	45	A319
その他の気管支炎	詳細不明の慢性気管支炎	28	J42
	気管支炎,急性又は慢性と明示されないもの	15	J40
気胸	その他の自然気胸	32	J931
肺結核	肺結核,細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	20	A162
急性気管支炎	急性気管支炎,詳細不明	23	J209

3. 活動報告

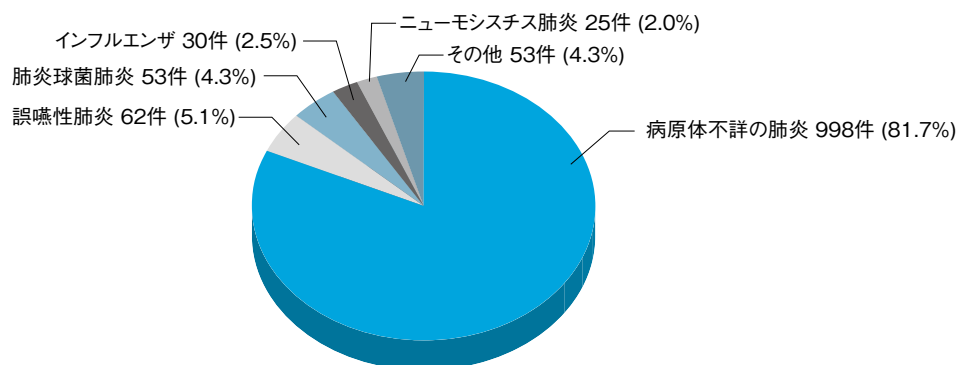
(1) 患者状況

年間外来患者数 26,943人 年間外来新患者数 2,439人

年間入院患者数 27,632人 年間入院新患者数 1,813人

(2) 肺炎別頻度

総数：1,221件



(3) 科指定5疾患

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	肺炎	1,221	4	間質性肺炎	401
2	肺癌	472	5	慢性閉塞性肺疾患	367
3	気管支喘息	420		計	2,881

消化器内科

1. 概 要

浦野副院長を筆頭とする6人のスタッフ、専攻医8人、後期研修医1～2人で診療に従事している。
山田、山本、坂巻が消化管、浦野、内藤が肝臓、松原が胆道・膵臓を担当し、

- ①消化器癌のX線・内視鏡・US診断
- ②食道・胃・大腸腫瘍に対する、ESDをはじめとする内視鏡的治療
- ③IBDに対する内科的治療
- ④胆道・膵疾患に対するEUS（-FNA）、造影US・EUS、ERCP（-IDUS）の診断成績
- ⑤ERCP後膵炎の予防
- ⑥閉塞性黄疸に対するERCP（経乳頭の内視鏡）下、EUS（超音波内視鏡）下治療
- ⑦ウイルス性肝炎の治療と長期経過
- ⑧肝癌の画像診断と内科的治療-TACE、RFA、リザーバーを用いた化学療法など

を主な研究テーマとしている。

一方、全消化器領域に対応すべく日常診療を行っており、嚥下困難患者に対する内視鏡的胃瘻造設術の依頼にも随時対応している。

この他、食道胃静脈瘤、胃・十二指腸潰瘍、大腸憩室などからの急性消化管出血に対するEIS、EVLやクリッピング止血、内因性肝出血や壊死性膵炎に対するIVR、急性胆道炎に対するERCP、PTBD、PTGBD、EUS下ドレナージ、そして劇症肝炎や重症急性膵炎など重症消化器疾患に対する集中治療を積極的に行い、地域の救命救急医療に貢献している。

学会発表並びに若手医師に対する教育・指導も重要視しており、2018年には日本内科学会東海支部主催第234回東海地方会 優秀演題賞、日本消化器病学会東海支部第128回例会 研/専修医奨励賞を受賞した。

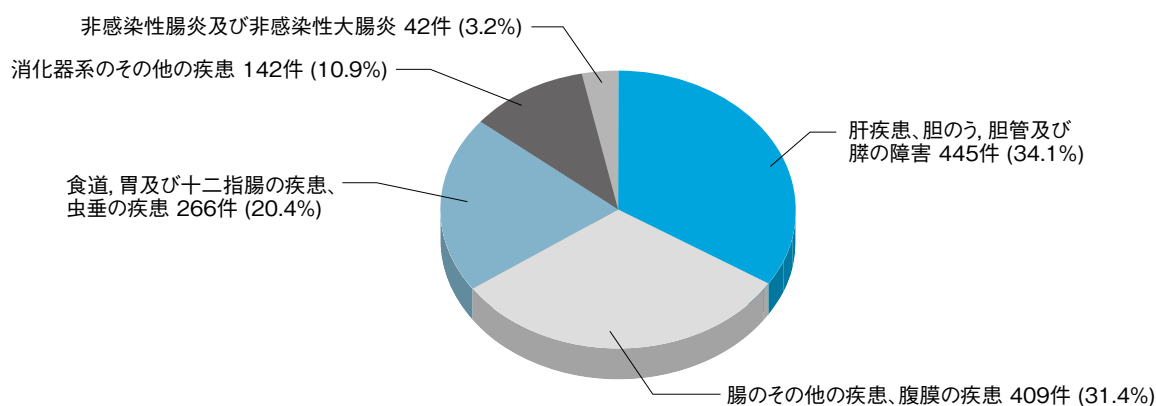
（第一部長 浦野 文博）

（文責 第四部長 松原 浩）

2. 新規登録疾患

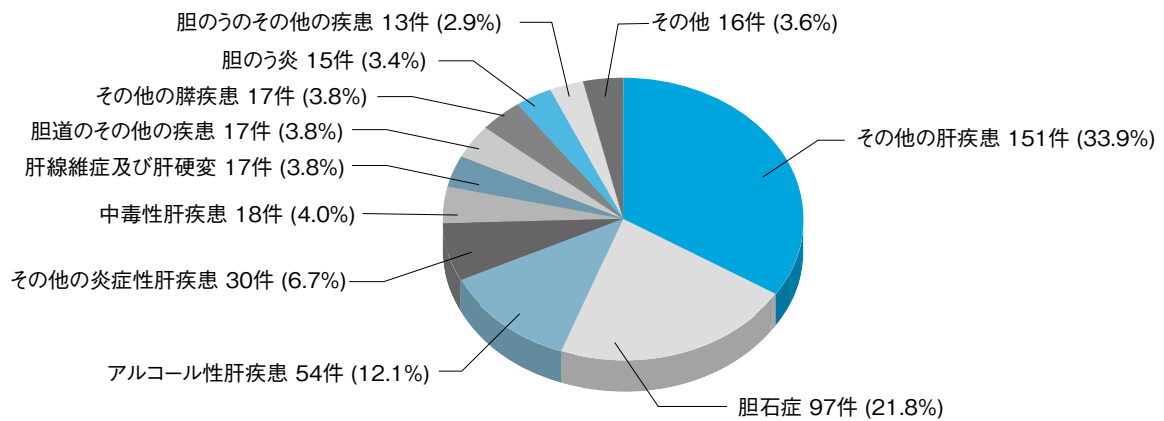
（1）新生物以外

総数：1,304件

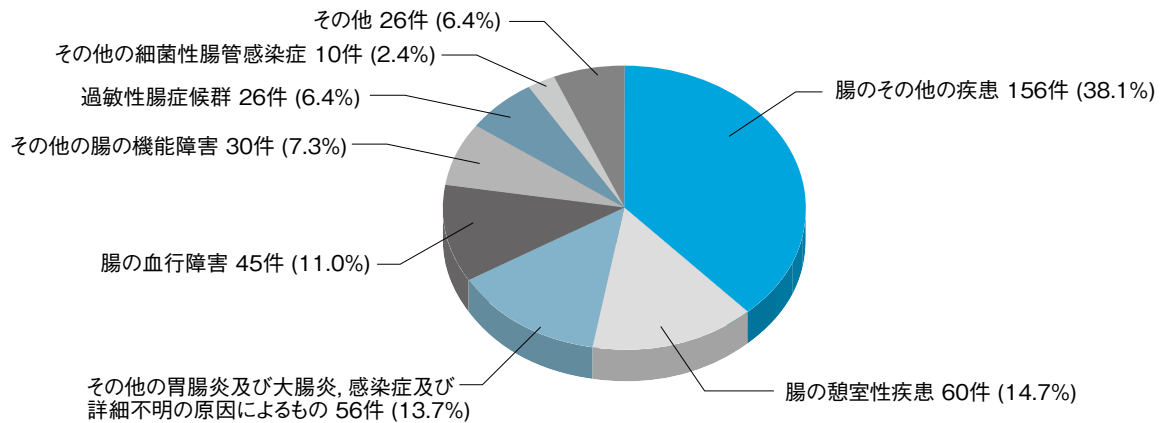


上位3位の詳細

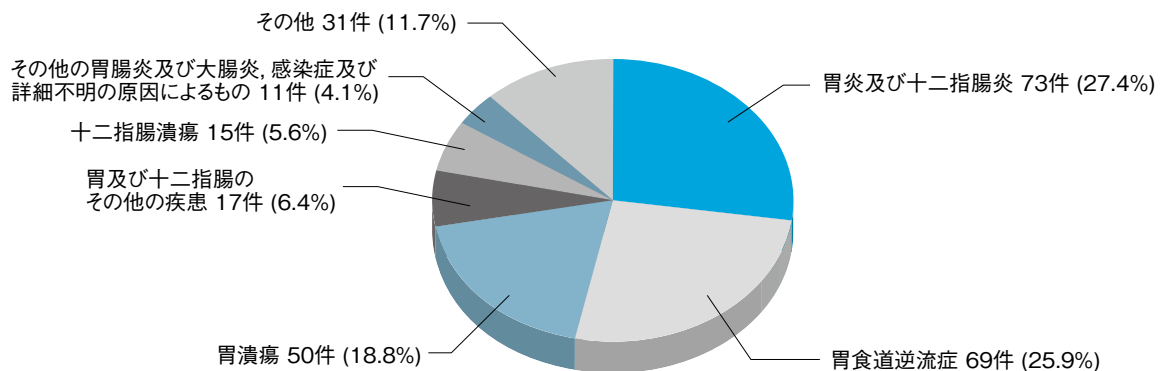
①肝疾患、胆のう、胆管及び膵の障害：445件



②腸のその他の疾患、腹膜の疾患：409件

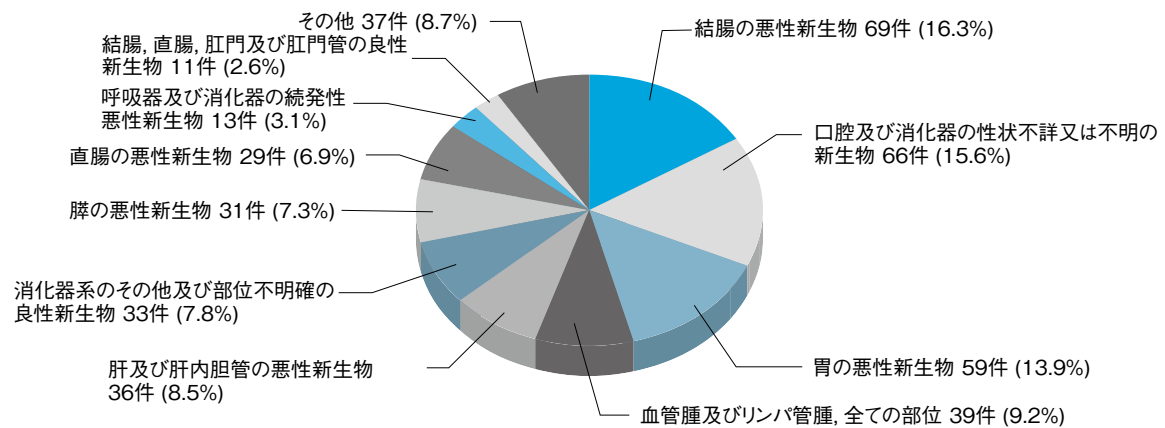


③食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患：266件



(2) 新生物

総数：423件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	49,702人	年間外来新患者数	5,225人
年間入院患者数	32,348人	年間入院新患者数	2,647人

(2) 当科で経験した主な疾患の新規症例数

胃癌	241例
大腸癌	237例
肝細胞癌	75例
脾癌	49例
胆道癌	43例

(3) 主な検査治療実績

胃内視鏡検査	6,847件
大腸内視鏡検査	4,198件
消化管超音波内視鏡検査	98件 (うち穿刺生検 19件)
内視鏡的粘膜下層切開剥離術	食道/胃 111件、大腸 44件
胆膵超音波内視鏡検査	305件 (うち穿刺生検 52件)
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	581件
腹部血管造影検査	125件
うち 動脈塞栓術	121件
動注化学療法	12件
リザーバー留置による動注化学療法	3件
ラジオ波焼灼術	39件

循環器内科

1. 概 要

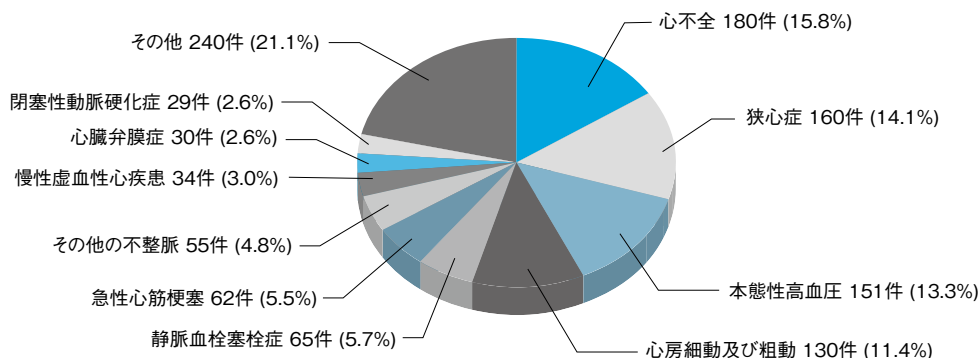
2018年は、心血管/造影カテーテル検査を561件（うち緊急検査147件）に施行した。経皮的冠動脈インターベンションは163例（成功率95.7%）で、その内、血管内超音波を157例に、ステント留置術は149例に施行した。再狭窄防止のための薬剤溶出性バルーンは9件に使用した。観血的虚血評価のため、圧ワイヤー検査を17件に施行した。また、血行動態の悪い症例には、大動脈内ポンピングを13例に施行した。心原性ショック例・心停止例（来院時心肺停止も含む）には、経皮的心肺補助装置を装着した（4例）。一方、不整脈診断の為に心臓電気生理学的検査を51例に、カテーテルアブレーションを36例に施行した。

多列検出器CTによる冠動脈CT検査を164例に施行した（320列多列検出器CTが新たに導入され、より短時間に低被ばくで冠動脈CTの撮影が可能となった）。

（部長 成瀬 賢伸）

2. 新規登録疾患

総数：1,136件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
心不全	うっ血性心不全	118	I500
	心不全, 詳細不明	55	I509
狭心症	狭心症, 詳細不明	68	I209
	その他の型の狭心症	45	I208
本態性高血圧	本態性(原発性)高血圧(症)	151	I10
心房細動及び粗動	発作性心房細動	65	I480
	心房細動及び心房粗動, 詳細不明	60	I489
静脈血栓塞栓症	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎	65	I802
急性心筋梗塞	下壁の急性貫壁性心筋梗塞	27	I211
	前壁の急性貫壁性心筋梗塞	23	I210
その他の不整脈	心室性早期脱分極	24	I493
	心室細動及び粗動	10	I490
慢性虚血性心疾患	陳旧性心筋梗塞	21	I252
心臓弁膜症	大動脈弁狭窄(症)	21	I350
閉塞性動脈硬化症	全身性及び詳細不明のアテローム硬化(症)	25	I709

3. 活動報告

(1) 患者状況

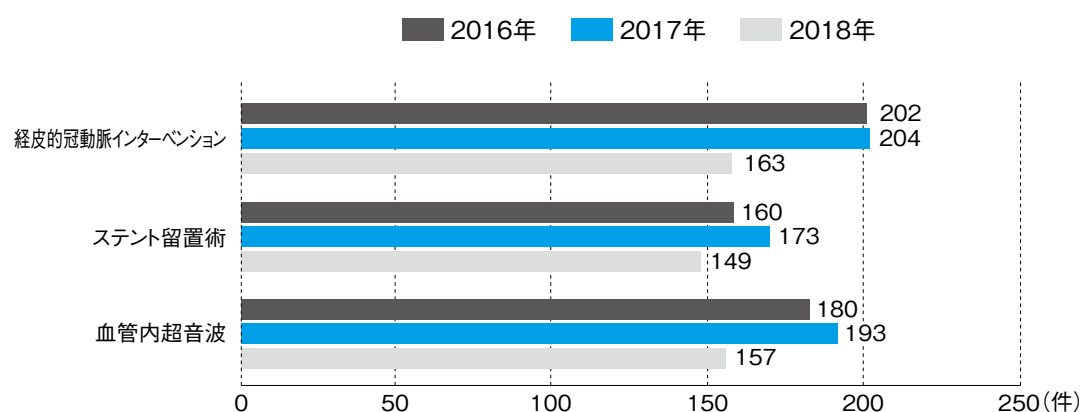
年間外来患者数 17,043人 年間外来新患者数 1,212人
年間入院患者数 7,649人 年間入院新患者数 793人

(2) 科指定4疾患

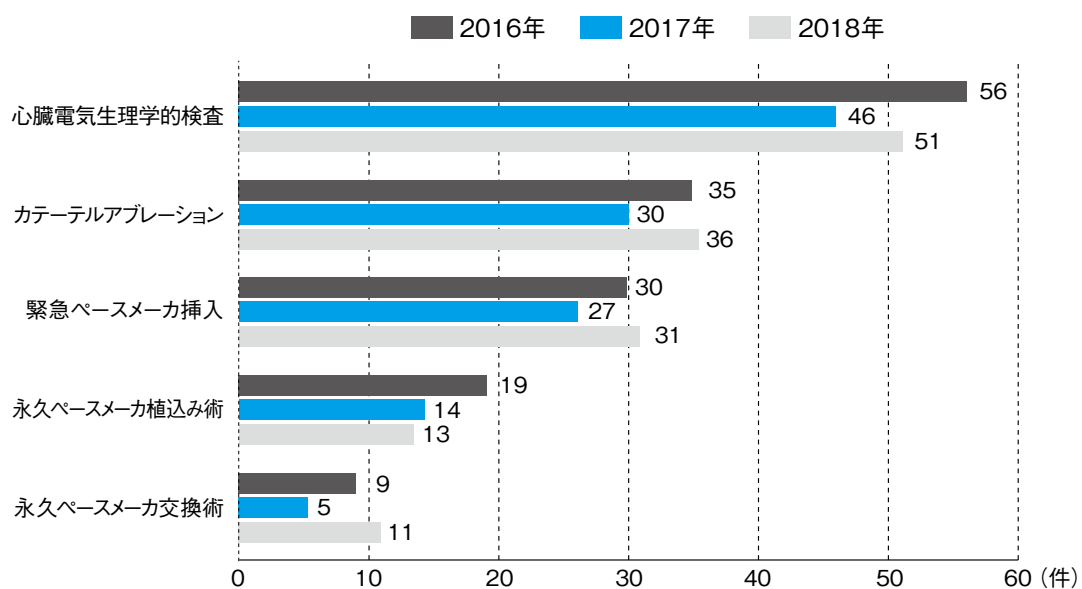
	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	心不全	642	4	肺血栓塞栓症	22
2	狭心症	418		計	1,221
3	急性心筋梗塞	139			

(3) 治療実績

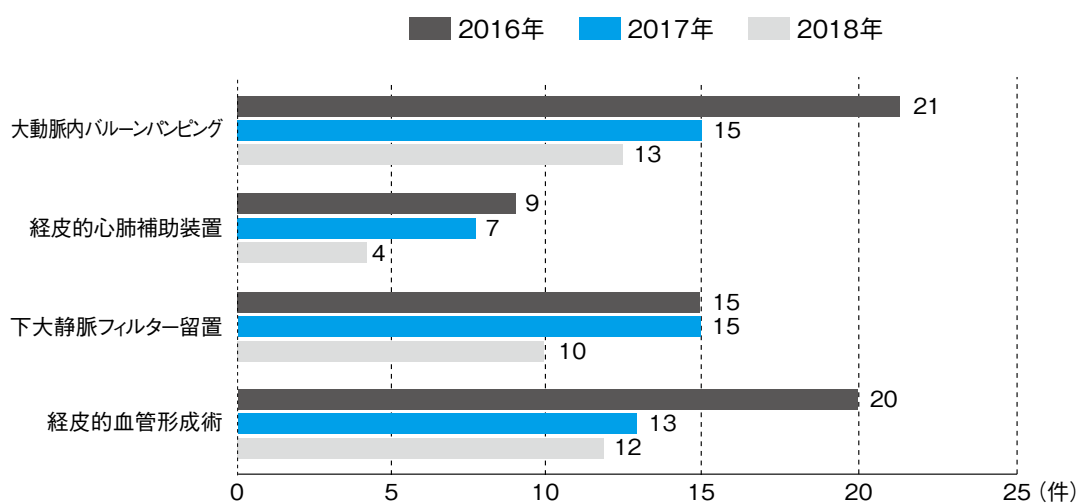
①虚血性心疾患治療



②不整脈治療



③その他の観血的治療



腎臓内科

1.概要

当科の主な診療領域は、腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全（腎後性腎不全は除く）等の内科的腎臓病一般の他に、透析を含む血液浄化である。尿路結石・腫瘍・感染症は、取り扱っていない。また、透析患者のシャントトラブルも扱っていない。

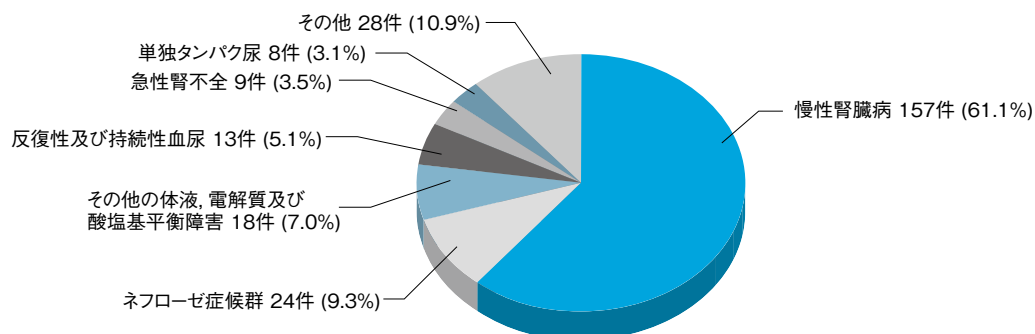
当院は東三河地域の基幹病院であるが、その中で常勤医師数からして最も小さな科の一つであるものの、多種多様な病態の診療に携わっている。実際、急性腎不全（AKI）をはじめとする重症患者の血液浄化の依頼やコンサルトは多く、維持透析患者の合併症や保存期の慢性腎不全（CKD）患者の治療にも関わっている。

腎炎やネフローゼ症候群には、名古屋大学腎臓内科の御支援の下、積極的に腎生検を行い、診断・治療に役立てている。末期腎不全に対しては、スタッフ不足から新規の通院透析患者は受け入れられないものの、移植外科と連携して腎移植には対応可能である。その他に、MEや看護師の協力により、血漿交換・免疫吸着・持続的血液ろ過透析（CHDF）等を病態に応じて施行している。

（部長 山川 大志）

2. 新規登録疾患

総数：257件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
慢性腎臓病	慢性腎臓病, 詳細不明	108	N189
	慢性腎臓病, ステージ 5	24	N185
ネフローゼ症候群	ネフローゼ症候群, 詳細不明	21	N049
その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	低浸透圧及び低ナトリウム血症	10	E871
反復性及び持続性血尿	反復性及び持続性血尿, その他	13	N028
急性腎不全	急性腎不全, 詳細不明	5	N179
	尿細管え死を伴う急性腎不全	2	N170
単独タンパク尿	単独タンパク尿	8	R80

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 9,183人 年間外来新患者数 510人

年間入院患者数 6,128人 年間入院新患者数 431人

(2) 科指定5疾患

	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	慢性腎不全	259	4	IgA腎症	15
2	ネフローゼ症候群	123	5	急速進行性糸球体腎炎	9
3	急性腎不全	74		計	480

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

当科の診療内容は、糖尿病と各種内分泌・代謝疾患である。日本糖尿病療養指導士15人他の協力で、糖尿病教育入院の他、療養指導外来、フットケア外来、糖尿病透析予防指導外来を設置している。通常のインスリンポンプ療法（CSII）に加え、SAP（Sensor-Augmented Pump）療法（持続皮下グルコースモニター付きCSII）を行っている。低グルコースでインスリン注入が自動停止する新機種も導入され、低血糖の回避に役立っている。2週間連続で血糖値を記録できる個人用のFlash Glucose Monitoringの利用者も増加している。

日本糖尿病協会の支部として友の会があり、11月の全国糖尿病週間に合わせて例年通り講演会を行った。また院内での啓発活動として、アトリウムでのミニ糖尿病教室とポイントラリー形式の参加型展示も行った。

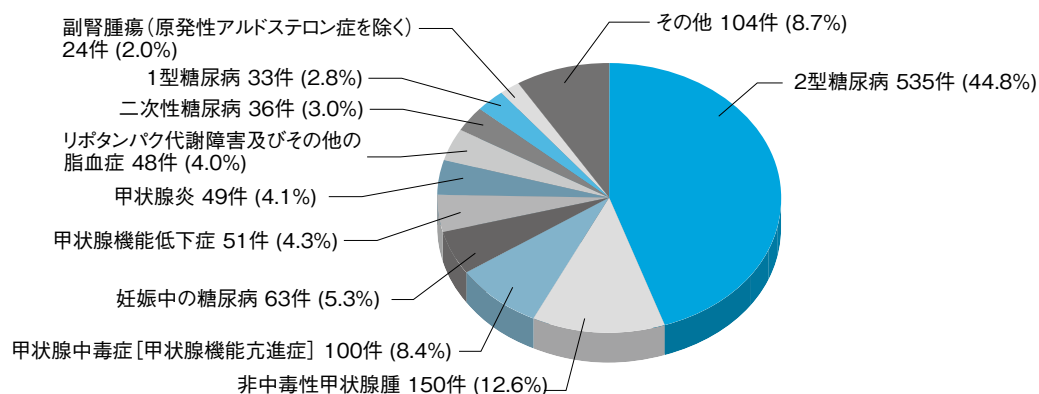
各種内分泌疾患に対しては各種負荷試験、画像診断を元に正確な診断を行い、一般外科、泌尿器科、移植外科、脳神経外科、放射線科などとの密接な連携の元に治療を行っている。放射線科には原発性アルドステロン症に対する選択的副腎静脈サンプリングも依頼している。

人事面では3月に奥地剛之医長が退職し、12月より七原佳洋医師が加入した。

（部長 山守 育雄）

2. 新規登録疾患

総数：1,193件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
2 型糖尿病	2 型糖尿病	416	E11
	2 型糖尿病, 多発合併症を伴うもの	40	E117
非中毒性甲状腺腫	非中毒性甲状腺腫, 詳細不明	126	E049
	非中毒性多結節性甲状腺腫	14	E042
甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	びまん性甲状腺腫を伴う甲状腺中毒症	80	E050
	甲状腺中毒症, 詳細不明	17	E059
妊娠中の糖尿病	妊娠中に発生した糖尿病	57	O244
甲状腺機能低下症	甲状腺機能低下症, 詳細不明	51	E039
甲状腺炎	自己免疫性甲状腺炎	44	E063
リポタンパク代謝障害及びその他の脂血症	高脂血症, 詳細不明	44	E785
二次性糖尿病	その他の明示された糖尿病	32	E13
1 型糖尿病	1 型糖尿病	15	E10
副腎腫瘍(原発性アルドステロン症を除く)	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物, 副腎	20	D441

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	19,351人	年間外来新患者数	1,082人
年間入院患者数	3,136人	年間入院新患者数	255人

(2)研究会開催

第32回東海糖尿病治療研究会糖尿病患者教育担当者セミナー

代 表 山守育雄

実行委員長 内田一豊(診療技術局)

副実行委員長 山口三恵子(看護局)

事務局長 手嶋充善(診療技術局)

特別講演1題 シンポジウム1題 糖尿病劇場1題 分科会37演題

2018年9月2日 8時50分～16時30分

愛知産業労働センター・ウインクあいち

参加者 669名

名古屋大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学講座の関連施設を中心に、1987年より毎年、持ち回りで開催されているメディカルスタッフのための研修会である。東三河では1992年の第6回を旧国立豊橋病院が主管して以来、26年ぶりの主管であった。

加藤岳人院長の開会の辞に続き、6会場37演題(当院看護師の1題を含む)による分科会、東京都健康長寿医療センター 荒木厚内科統括部長による特別講演「認知症やADL低下を考慮した高齢者糖尿病の療養指導と治療」(座長 山守育雄)、空野医院 空野武彦院長、ゆたか調剤薬局 佐々木豊管理薬剤師、春日井市民病院 鈴木香里糖尿病看護認定看護師、新城市在宅医療サポートセンター 前沢弘代看護師の4人のシンポジストによるシンポジウム「高齢糖尿病患者を地域で支えるためには」(座長 金田成康、山口三恵子)、名古屋大学大学院医学系研究科地域医療教育学寄附講座・総合診療科 岡崎研太郎講師をファシリテーターとした糖尿病劇場「『雷蔵、薬がなくなる』の巻」が行われた。

14人の当院職員による実行委員会(代表：山守育雄、実行委員長：内田一豊、副実行委員長：山口三恵子、事務局長：手嶋充善、実行委員：石原礼子、金田成康、河合希始、京極多見、榊原沙知、成瀬透、橋本雅子、濱田智博、村山智子、山本晃士)を中心に、医局、診療技術局、看護局、薬局、事務局から総勢52人の当院職員が当日の運営にあたり、滞りなく終了した。なお、本会は日本糖尿病療養指導士認定機構の「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」に認定され、日本糖尿病療養指導士240人に更新単位(6時間で2単位)が認められた。

神経内科

1. 概要

2018年のスタッフは、2017年9月以降は4人体制となっていたが、関連医局である名古屋大学神経内科から上田雅道先生(2018年1月～3月)、同年4月からは横井孝政先生が赴任され、5人体制となった。常勤医5人で診療に当たっているが、入院患者数は年々増加しており、2018年の入院患者数は985人(前年911人、前々年795人)であった。常に神経内科の定床数をオーバーしており、多くの病棟に入院患者が分散しているため、回診に時間を要した。

今年度の主なトピックは、以下のとおりである。

- ①高齢患者の軽症脳梗塞や一過性脳虚血発作も増加傾向が続く。
- ②高齢者のてんかん関連、意識障害関連の入院が目立つ。
- ③慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者、 γ グロブリン維持療法反復入院が多い。
- ④筋萎縮性側索硬化症の患者で、ラジカット導入入院や合併症による入院がやや目立った。
- ⑤家族背景や社会的背景の難しい患者が多く、安定後の療養先について患者や家族への早期説明の実施や、患者総合支援センターによる介入が増えている。
- ⑥年度の終盤にかけて、新たに東病棟5階に神経内科5床増床得られ、患者が少しまとまりやすくなった。

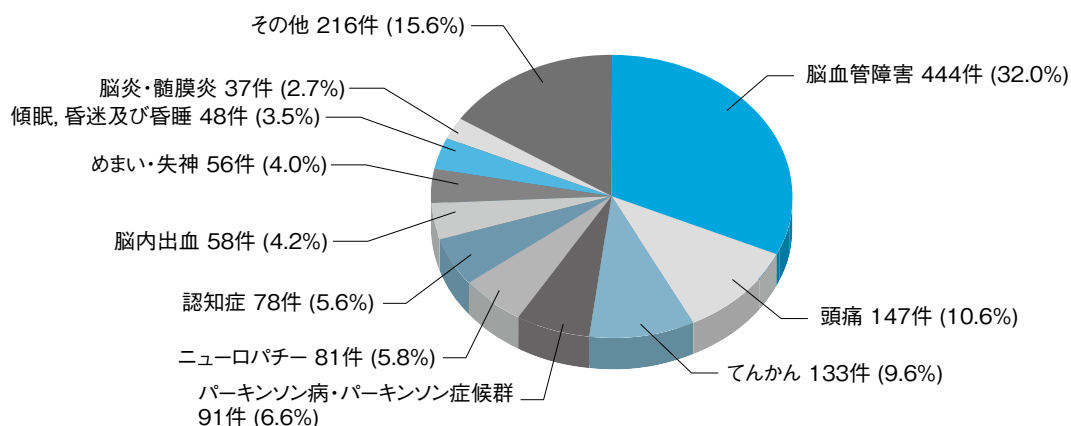
外来診療においては、前部長である空野謙次先生を始め、非常勤医3人の応援を得て診療を行っている。外来の年間受診者総数は、11,929人(2018年度医事統計)で前年の12,284人と比べて300人余減少した。また、初診患者数は1,483人と前年の1,522人に比べ、40人弱減少した。MCR体制に加え、紹介状持参での予約外患者も多く、可能な範囲で対応している。

日本神経学会より、標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」に変更することが決定され、当科も変更する方針となった。2018年度中に周知、2019年度以降は「脳神経内科」と標榜する計画とし、事務的な部分も含めて周知に努めた。当科は、1975年の「神経内科」標榜以来、科の特性についてPRに努めてきたが、対応する主な疾患が脳卒中・認知症・頭痛など多岐にわたっていることから、いまだに心療内科や精神神経科と混同されることがある。標榜診療科名を変更することで、患者に当科の診療内容をより広く正しく理解してもらいたい、という願いがある。

(部長 岩井 克成)

2. 新規登録疾患

総数：1,389件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脳血管障害	脳動脈の血栓症による脳梗塞	214	I633
	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	60	I634
頭痛	頭痛	80	R51
	緊張性頭痛	43	G442
てんかん	その他のてんかん	64	G408
	てんかん, 詳細不明	39	G409
パーキンソン病・パーキンソン症候群	パーキンソン病	85	G20
ニューロパチー	多発(性)ニューロパチー, 詳細不明	65	G629
	ギラン・バレー症候群	11	G610
認知症	詳細不明の認知症	35	F03
	アルツハイマー病, 詳細不明	33	G309
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	38	I610
	脳幹の脳内出血	10	I613
めまい・失神	めまい感及びよろめき感	48	R42
傾眠, 昏迷及び昏睡	昏睡, 詳細不明	48	R402
脳炎・髄膜炎	脳炎, 脊髄炎及び脳脊髄炎, 詳細不明	11	G049

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	11,849人	年間外来新患者数	1,466人
年間入院患者数	18,457人	年間入院新患者数	987人

(2) 神経難病6疾患

	疾 患 名	件 数 (件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	87
2	多系統萎縮症	4
3	脊髄小脳変性症	11
4	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	15
5	重症筋無力症	12
6	多発性硬化症	11
	計	140

血液・腫瘍内科

1. 概要

2018年度は5人のスタッフにて、1日平均約70人の外来と、同様に約45人の入院患者に対する診療を行った。入院患者数はあまり変化がないが、外来患者数は次第に増加している。

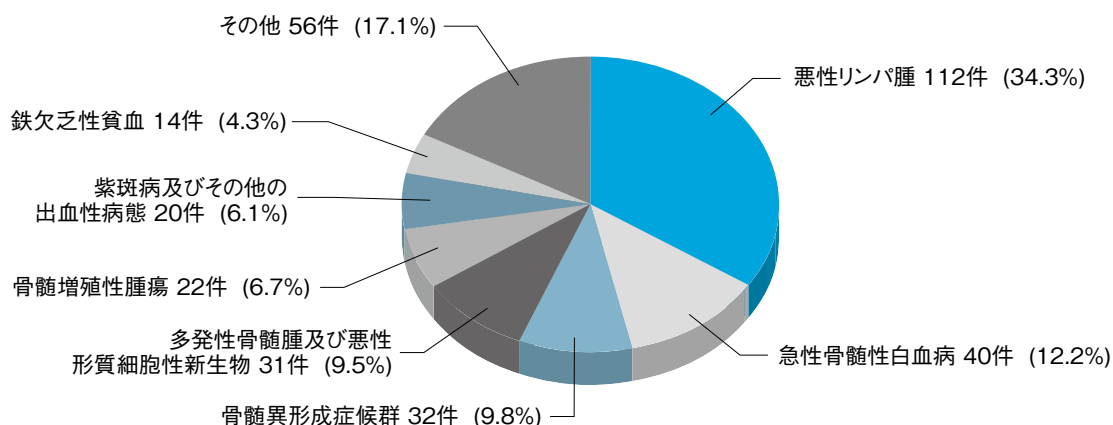
本年度も東三河全域や静岡県西部などから、多くの患者が来院した。疾患のほとんどは血液悪性腫瘍であるが、化学療法で治癒や深い奏功を目指す疾患も多く、若年者のみならず高齢者においても積極的に化学療法を行っている。また、自己および同種造血幹細胞移植においても、しっかり適応を判断したうえ、該当する症例においては積極的に行っている。造血幹細胞移植や高齢者の化学療法などにおいては、治療の合併症が比較的起きやすいが、他領域専門職種とのチーム医療を積極的に行うことで、生活の質を下げずに速やかに外来治療に移行できるよう、本年度も取り組んだ。また、血液良性疾患、凝固疾患なども含め、あらゆる血液疾患に対応できるよう、体制を整えている。

(第一部長 杉浦 勇)

(文責 第二部長 倉橋 信悟)

2. 新規登録疾患

総数：327件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	43	C833
	ろ胞性リンパ腫グレードⅡ	13	C821
急性骨髄性白血病	急性骨髄性白血病	40	C920
	慢性骨髄性白血病	13	C921
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群, 詳細不明	26	D469
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	19	C900
	単クローン性異常免疫グロブリン血症	11	D472
骨髄増殖性腫瘍	真正赤血球増加症	12	D45
	本態性(出血性)血小板血症	10	D473
骨髄増殖性腫瘍	特発性血小板減少性紫斑病	20	D693
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血, 詳細不明	14	D509

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	17,627人	年間外来新患者数	518人
年間入院患者数	15,255人	年間入院新患者数	723人

一般外科・小児外科・肛門外科

1. 概要

(1)一般外科・小児外科

2018年の手術総数は1,724件で、2017年の1,725件と変わりなかった。そのうち15歳以下の小児手術は144件、全緊急手術は371件（371/1,724、22%）で小児は2017年（179件）に比べ減少したが、緊急手術は、数も割合も若干増加した（2017年、338件、20%）。うち腹腔鏡手術は112件（112/371、30%）でこの傾向は2017年と変わりなかった。

一般外科・小児外科ユニットにおいて、対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から甲状腺（26件）・消化器・乳腺（163件）まで幅広い。腹腔鏡手術は、胃癌手術38件（38/110、35%、昨年28%）、大腸癌手術102件（102/270、38%、昨年33%）、肝臓手術（部分切除のみ）11件（11/21、52%；昨年23件、58%）に対し行われた。例年通り虫垂や成人鼠径ヘルニアに対しても積極的に腹腔鏡を使用し、2018年には虫垂炎手術78件（78/121、64%、昨年40%）、鼠径ヘルニア手術20件（20/180、11%、昨年16%）であった。緊急例も含めた腹腔鏡手術全体では552件で昨年の532件から増加している。特殊な治療として、肝嚢胞に対する腹腔鏡天蓋切除が6例に行われた。ロボット支援下腹腔鏡手術は、直腸癌で17件、胃癌で16件行った。今年から新たに肥満外科を導入し、肥満症に対して腹腔鏡スリーブ状胃切除術を3件に行った。今後増加していくと思われる。また、今年は副腎腫瘍に対しての内分泌外科手術で、腹腔鏡手術を3件に行った。

乳癌治療において、センチネルリンパ節生検陰性は105件で、例年同様の傾向であった。乳腺専門医と形成外科医による乳房全摘同時再建手術（Tissue expander挿入）は2件（昨年4件）に行われた。

肝切除は38件で、疾患別内訳は、原発性肝癌 20件、転移性肝癌 12件、胆道癌 3件、肝血管腫 2件、肝内結石症1件。膵頭十二指腸切除は26件で、この疾患別内訳は、膵癌 13件、胆嚢・胆管癌 6件、乳頭部癌 2件、十二指腸癌2件、胃癌1件、十二指腸神経内分泌腫瘍1件、慢性膵炎1件。食道悪性腫瘍は10件（1件はGIST（郭清なし））に根治手術が行われ、食道癌は9件で、このうち3領域郭清が3件、2領域郭清が6件であった。

上部消化管潰瘍穿孔は22件経験し、緊急手術は18件、保存治療は4件行われた。腸閉塞入院は173件でうち40件（23%）に手術が施行された。

小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携して治療に当たっており、総数は163件で、新生児手術は2件であった。一般外科全体の入院総数は2,276人と昨年の2,310人よりわずかに減少した。平均入院期間は10.4日とこちらは昨年の10.6日より減少し、昨年に引き続き連続して減少し続けている。総合すると2018年は、肥満手術、内分泌外科手術などの新たな腹腔鏡手術への挑戦がみられたが全体としてみた場合、昨年と比べて大きな変化はなかったと判断している。

（第一部長 平松 和洋）

(2)肛門外科

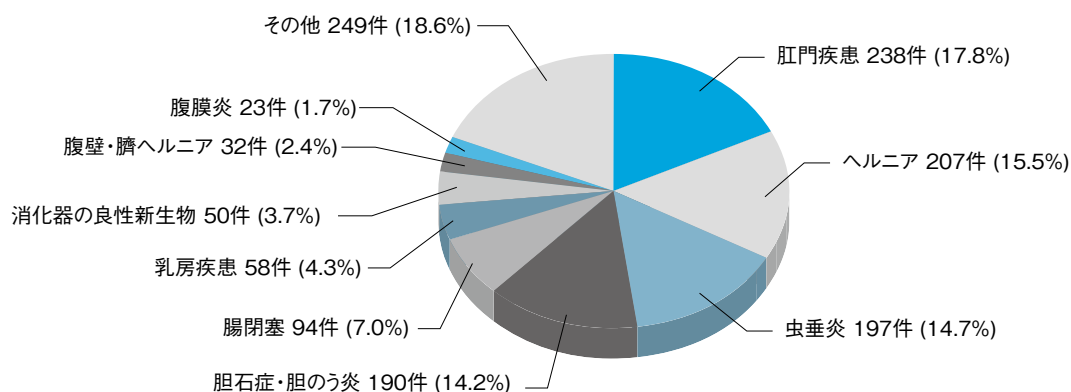
“肛門外科”は当院移転新設に伴い「こうもん科」として単科標榜された。現在は厚生労働省の標榜変更にて『肛門外科』診療だが、診療・治療は一般外科と共同で運営している。外科外来診療における統計では、悪性疾患治療を除くと痔核を筆頭とした肛門疾患、症状にて受診される患者が多い。多くの施設がそうであるように外科が担当している場合もあるが、肛門というデリケートな部分で専門性を必要とするため、やはり専門家での診療・治療を希望される方も多い。当院肛門外科は、近隣の診療施設から併存症を有する患者の紹介も多い。肛門外科標榜での診療日は木曜日の一日だけであるが、常勤で外科診療に携わっている利点から、日々時間が許す限り診察や治療に当たっている。外来診察の際は、患者が安心して受診できるような対応・環境整備を心掛け、診察で患者に不自由・不快な思いを持たないように努力している。多くは良性疾患であり、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、患者の症状によって手術適応を決めている。近年大腸がんも増加傾向にあり、肛門症状で受診された患者様には大腸検査を受けていただくようにしている。専門外来として“ストーマ外来”を認定看護師とともにやっている。

（部長 柴田 佳久）

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

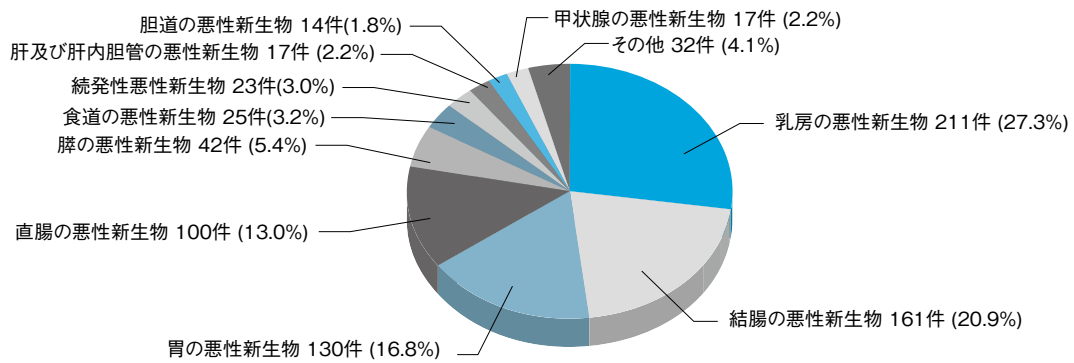
総数：1,338件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
肛門疾患	痔核, 詳細不明	131	K649
	裂肛, 詳細不明	26	K602
ヘルニア	一側性又は患側不明のそけいヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	189	K409
虫垂炎	急性虫垂炎, その他及び詳細不明	117	K358
	詳細不明の虫垂炎	62	K37
胆石症・胆のう炎	胆のう炎を伴わない胆のう結石	107	K802
	急性胆のう炎	46	K810
腸閉塞	閉塞を伴う腸癒着[索条物]、イレウス, 詳細不明	30	K565、K567
乳房疾患	乳房の良性新生物	58	D24
消化器の良性新生物	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, その他の消化器	11	D377
腹壁・臍ヘルニア	臍ヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	14	K429
	癒痕ヘルニア, 閉塞及びえ疽を伴わないもの	11	K432
腹膜炎	急性腹膜炎	22	K650

(2) 悪性新生物

総数：772件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房, 部位不明	97	C509
	乳房の悪性新生物, 乳房上外側 4 分の 1	47	C504
結腸の悪性新生物	結腸の悪性新生物, S 状結腸	61	C187
	結腸の悪性新生物, 上行結腸	51	C182
胃の悪性新生物	胃の悪性新生物, 胃, 部位不明	96	C169
	胃の悪性新生物, 幽門	13	C164
直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	100	C20
膵の悪性新生物	膵の悪性新生物, 膵, 部位不明	20	C259
	膵の悪性新生物, 膵頭部	10	C250
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 食道, 部位不明	9	C159
	食道の悪性新生物, 胸部食道	7	C151
続発性悪性新生物	肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物	11	C787
肝及び肝内胆管の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物, 肝細胞癌	13	C220
胆道の悪性新生物	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物, 肝外胆管	12	C240
甲状腺の悪性新生物	甲状腺の悪性新生物	17	C73

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 38,116人 年間外来新患者数 2,419人
 年間入院患者数 24,212人 年間入院新患者数 2,131人

(2) 2018年1月～2018年12月入院概要（全2,276人、平均入院期間10.4日、未退院4名除く）

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 日数(日)
イレウス	手術	40	17.3
	保存療法	133	8.9
外傷	手術	11(1)	23.5
	IVR	1	15
	保存療法	11	7.8
血管系緊急(塞栓・解離など)	手術	0	-
	IVR	2	8
	保存	6	6.5
合併症治療	保存治療	28(1)	13.9
	緊急手術	4	30.8
	予定手術	1	13
	緩和治療	1	24
抗がん剤有害事象	保存療法	48	7.9
	緩和治療	1	39
その他	保存治療	39	8.7
	予定手術	22	3.18
	緊急手術	3	10
	保存治療	2	20.0
その他/悪性	化学療法	1	43
	放射線治療	1	51
	予定手術	14	11.6
甲状腺/良性	手術	17	4.4
甲状腺/悪性	手術	11	6.7
内分泌	予定手術	3	4.7
非新生児	手術	121	3.1
	保存療法	13	2.2
腹腔内癌再発	手術	6	18.3
	保存・緩和療法	9	10.6
腹膜炎	手術	28(1)	22.9
	保存療法	16	9.7
ヘルニア	手術	178	3.1
	保存療法	7	3.9
痔核・痔瘻	手術	16	4.2
	保存療法	3	11.3
虫垂	手術	120	5.4
	保存療法	25	7.5
胃十二指腸/良性	緊急手術	18	23.6
	保存治療	5	7.8
肥満症	予定手術	3	12

疾患名	治療法	患者数 (人)	平均入院 日数(日)
胃十二指腸/悪性	手術	129	14.0
	化学療法	7	5.6
	IVR	2	26.0
	緩和療法	5	23.2
	保存療法	36	12.3
肝胆膵脾	手術	280	8.9
	保存療法	44	12.4
	緩和療法	3	16.7
	化学療法	0	0.0
小・大腸/悪性	放射線療法・IVR	3	25.3
	手術	287(1)	14.6
	化学療法	3	2.3
	保存療法	119	13.5
	緩和療法	9	13.2
小・大腸/良性	放射線療法・IVR	2	32.0
	手術	40	18.0
	保存療法	10	9.7
	手術	12	29.8
食道/悪性	保存療法	19	21.9
	化学/放治	14	27.3
	緩和療法	0	0.0
	手術	12	3.9
乳腺/その他	保存療法	0	0
	手術	150	6.8
乳腺/悪性	保存療法	44	14.3
	緩和療法	5	17.8
	化学/放治	5	28
	手術	12	29.8

() : 未退院の数

(3) 一般外科・小児外科手術数(2018年) 1,724例

総数	1,724	(オ)小腸・大腸	367
全身麻酔	1,387	a良性疾患	97
脊髄麻酔	79	(a)小腸切除	24(1)
局部麻酔	258	(b)腸瘻造設	3
①一般外科	1,580	(c)腸瘻閉鎖	16
(ア)甲状腺		(d)腸吻合	1
a良性疾患	15	(e)結腸直腸切除	25(11)
(a)部分切除	0	(f)大腸亜全摘	0
(b)葉切、亜全摘、全摘	15	(g)癒着剥離	26(1)
b悪性疾患	11	(h)経肛門/経仙骨	0
(a)部分切除、亜全摘、他	3	(i)単開腹/その他	2(2)
(b)全摘	7	b悪性疾患	270
(c)その他	1	(a)腸瘻造設	28(1)
(イ)乳腺	163	(b)腸吻合	0
a良性疾患	13	(c)小腸切除	5
(a)摘出	5	(d)結腸切除	152(65)
(b)腺管区域切除	8	(e)直腸切除(高位、低位)	62(17、ロボット15)
b悪性疾患	150	(f)直腸切断	13(1、ロボット2)
(a)定型乳切	0	(g)経肛門/仙骨的切除	0
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	32	(h)骨盤内臓全摘	7
(c)Bt±SLNB	66	(i)大腸亜全摘	0
(d)乳房温存手術±SLNB	49	(j)単開腹/その他	0
(ウ)食道	10	(カ)虫垂炎(虫垂/回盲部切除)	123(73)
a良性疾患	0	(キ)肝/胆/膵/脾	283
b悪性疾患	10	(a)肝部分切除	21(11)
(a)胸部食道切除	10	(b)肝区域/葉切除	17(1)
(b)その他	0	(c)胆嚢床切除	1
(エ)胃・十二指腸	153	(d)肝嚢胞手術	5(5)
a良性疾患	28	(e)開腹胆嚢摘出術	21
(a)胃切除、胃全摘	1	(f)腹腔鏡下胆嚢摘出術	171
(b)体網充填	24	(g)開腹胆管切開術	2
(c)スリーブ状胃切除	3(3)	(h)胆管消化管吻合	0
b悪性疾患	125	(i)胆管切除	2
(a)幽門側胃切除	75(19、ロボット14)	(j)膵頭十二指腸切除(PD)	0
(b)胃全摘	26(3、ロボット2)	(k)亜全胃温存PD	23
(c)噴門側胃切除	1	(l)膵尾部切除	7(1)
(d)胃腸吻合	3	(m)膵全摘	2
(e)楔状切除/十二指腸切除	15(7、LECS3)	(n)膵部分切除	1
(f)PD	1	(o)膵管空腸吻合	0
(g)試験開腹/その他	4	(p)脾摘	4(2)
		(q)胃腸吻合	0

(r)単開腹/その他	6	②小児外科(全例全身麻酔)	144
(ク)内分泌	3	(ア)新生児手術	2
(a)副甲状腺	0	(イ)鼠径ヘルニア	50(48)
(b)副腎	3(3)	(ウ)虫垂切除	32(21)
(ケ)ヘルニア	197	(エ)精巣固定	12(3)
(a)鼠径大腿	180(19)	(オ)臍形成	14
(b)腹壁・臍・閉鎖孔など	17(3)	(カ)幽門筋切開	3(3)
(コ)痔核痔瘻	19	(キ)その他	31(8)
(サ)局麻手術	122	()はその内の鏡視下手術件数、ロボット支援手術	
(a)摘出、生検	37		
(b)その他	85		
(シ)外傷/医原性	15(1)		
(ス)腹膜炎	42(2)		
(セ)腹腔内癌再発	19(1)		
(ソ)その他	38(1)		

呼吸器外科

1. 概要

心臓と食道、乳がんを除く胸部疾患を対象としている。主対象である肺癌は、死因の第1位で増加の一途をたどっている。ヘビースモーカーの多かった団塊の世代が、肺癌好発年齢の中心を占め、今後しばらく減少する気配は見られない。

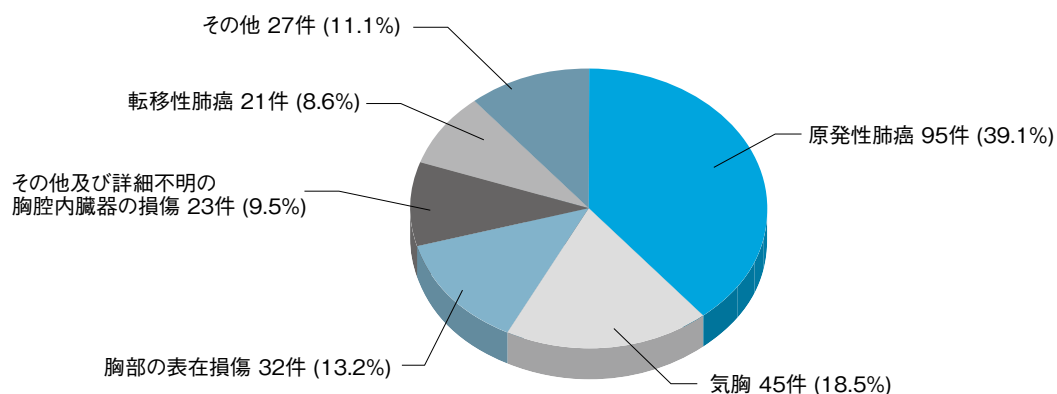
近年では胸腔鏡を用いて開胸創をより小さく、手術侵潤を軽減することで、標準的な肺癌手術でも、手術前日の入院から退院まで5から7日間の治療が可能となっている。残念ながら、定期健診を受けずに進行癌となつてから来院されるケースもあり、この場合はすでにリンパ節や他臓器に転移していることも多く、再発の危険が増すばかりか抗癌剤投与や放射線治療の追加が必要となり、経済面や治療時間においても負担が大きくなる。したがって早期発見のため、無症状のうちに受ける住民健診等による定期的なスクリーニングが極めて重要である。

毎週定期的に、呼吸器内科・放射線科と合同カンファレンスを行って、個々の症例に関して治療方針を検討しており、症例ごと病状に適した治療が行えるよう心がけている。

(部長 成田 久仁夫)

2. 新規登録疾患

総数：243件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
原発性肺癌	気管支及び肺の悪性新生物, 気管支又は肺, 部位不明	93	C349
気胸	その他の自然気胸	32	J931
	その他の気胸	10	J938
胸部の表在損傷	胸部の挫傷	32	S202
その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	外傷性血気胸	9	S2720
	外傷性気胸	4	S2700
転移性肺癌	肺の続発性悪性新生物	21	C780

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 2,625人 年間外来新患者数 338人
 年間入院患者数 2,394人 年間入院新患者数 208人

心臓外科・血管外科

1. 概要

先天性心疾患: NMCにおいて1kgに満たない小さな子たちに救命的な手術を行っている。以前より一貫して将来を見越した胸筋温存による手術を行っており、この術式を取り入れている施設は全国でもごくわずかである。それ以外の症例については他院へお連れして手術を行っている。

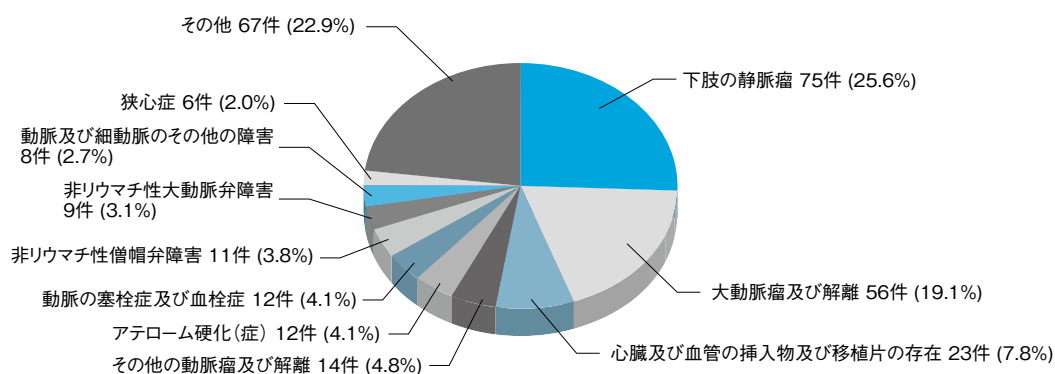
成人心疾患: 症例数が少なく、チームの練度が上がらないのが現状であるが、日々のカンファレンスを充実させ一步一步進んでいる。

血管外科: 下肢静脈瘤に対して血管内焼灼手術を取り入れてから、4年以上が経ち、多数の方々に施行してきたが、静脈瘤の再開通例はなく、海外のデータと比較してもよい成績であると自負している。2019年度から腹部大動脈瘤に対するステント治療が当院で可能となる。より安全で早期回復を目指した手術を行うよう、スタッフともども進めていく所存である。

(部長 中山 雅人)

2. 新規登録疾患

総数：293件



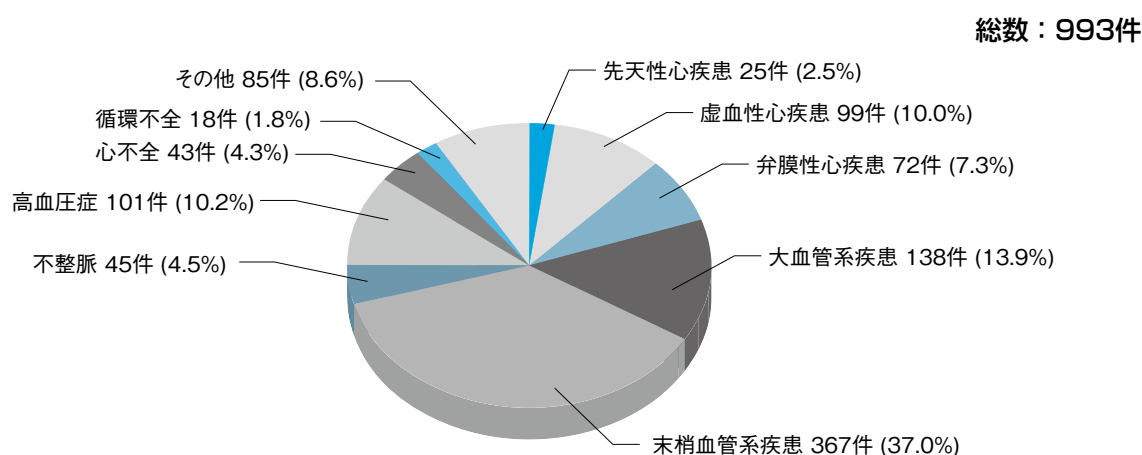
疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
下肢の静脈瘤	潰瘍又は炎症を伴わない下肢の静脈瘤	70	I839
大動脈瘤及び解離	腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの	33	I714
	大動脈の解離[各部位]	15	I710
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	その他の心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	18	Z958
その他の動脈瘤及び解離	部位不明の動脈瘤及び解離	9	I729
アテローム硬化(症)	全身性及び詳細不明のアテローム硬化(症)	12	I709
動脈の塞栓症及び血栓症	詳細不明の動脈の塞栓症及び血栓症	9	I749
非リウマチ性僧帽弁障害	僧帽弁閉鎖不全(症)	11	I340
非リウマチ性大動脈弁障害	大動脈弁閉鎖不全(症)	5	I351
動脈及び細動脈のその他の障害	動脈の狭窄	7	I771
狭心症	狭心症, 詳細不明	6	I209

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数 2,965人 年間外来新患者数 169人
 年間入院患者数 2,725人 年間入院新患者数 186人

(2) 疾患別頻度



移植外科

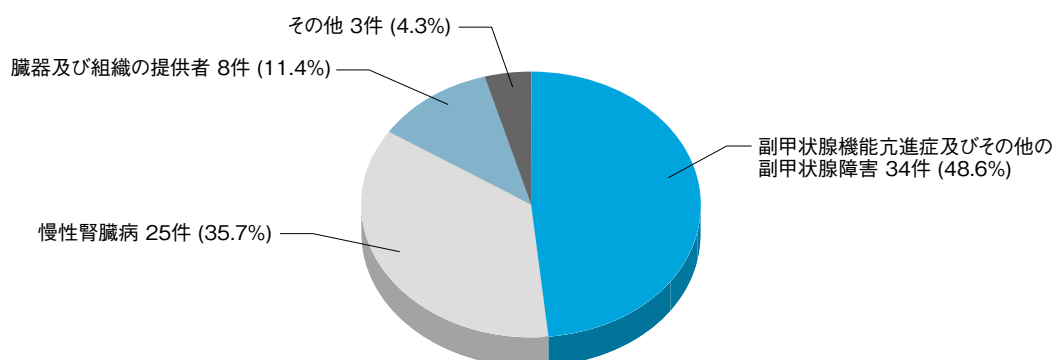
1. 概要

2010年4月より移植外科が標榜されて以来、移植外科医2人体制であったが、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が異動となり、移植外科医は1人となった。2012年10月からは東三河において唯一の腎移植認定施設となってしまったため、当地域の献腎移植登録患者の待機期間中のフォローアップは当院のみで行っている。また、他院で移植された腎移植患者や肝移植患者の定期通院も受け入れており、東三河だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。生体腎移植目的の紹介患者は年々増加しており、今後、腎移植症例はさらに増えてゆくものと思われる。また、高カルシウム血症に伴い尿路結石や骨折を繰り返す原発性副甲状腺機能亢進症や、長期透析に伴う二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺手術（2018年：23例）も年々増加しており、近隣透析施設との病診連携も密に行われている。

（部長 長坂 隆治）

2. 新規登録疾患

総数：70件



3. 活動報告

(1) 患者状況

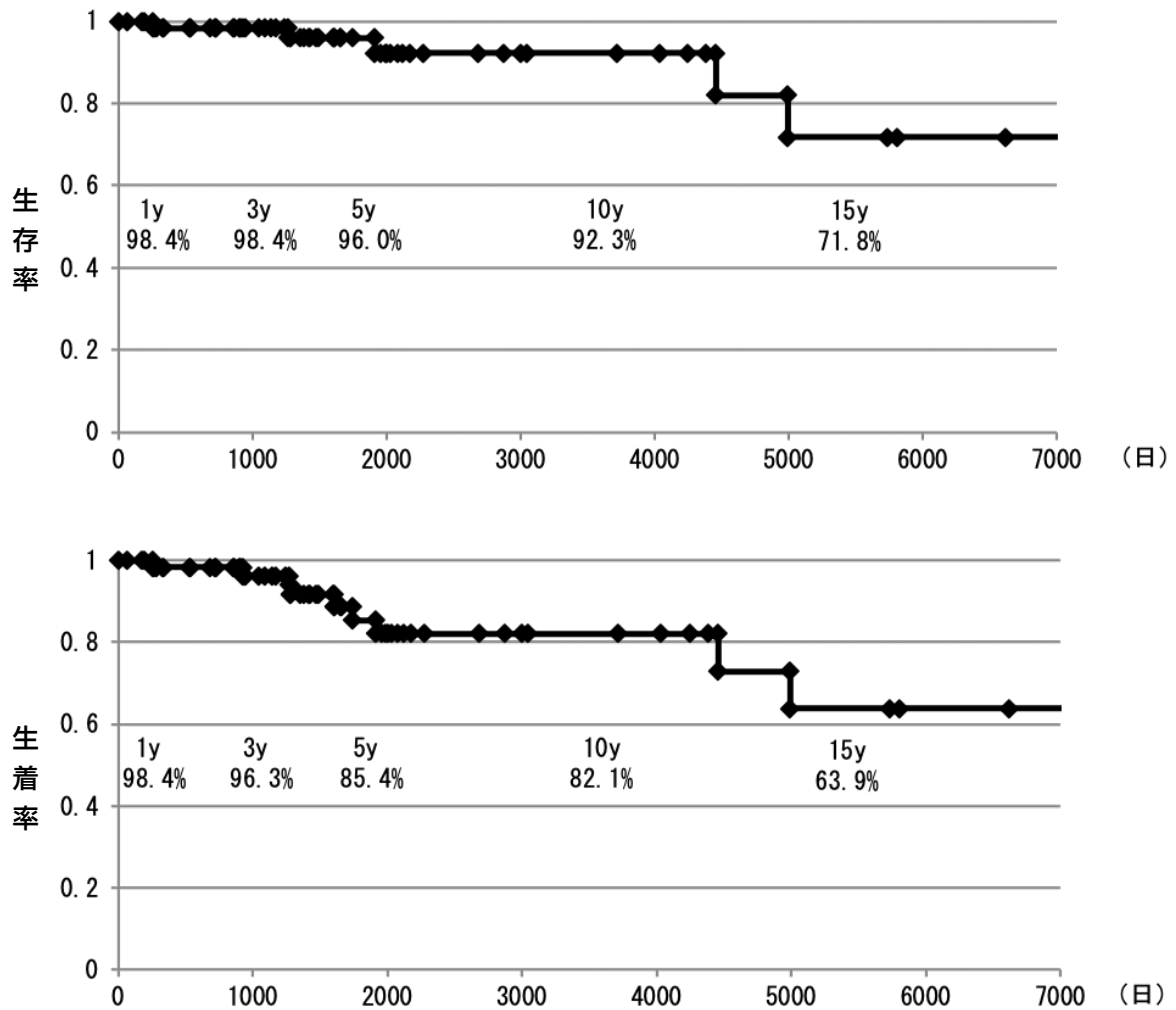
年間外来患者数	1,419人	年間外来新患者数	61人
年間入院患者数	563人	年間入院新患者数	58人

(2) 外来患者の状況

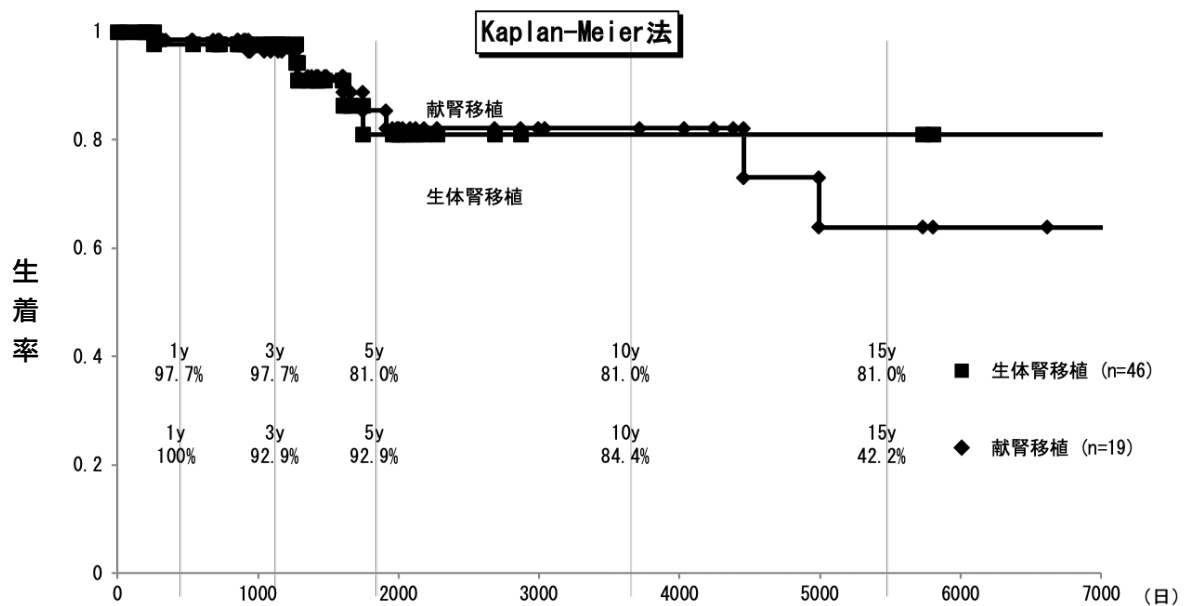
	疾 患 名	件 数 (件)
1	腎移植後	72
2	肝移植後	9
3	脾移植後	1
4	献腎移植登録外来	105
5	副甲状腺手術後	99
6	生体移植ドナー術後（肝臓、腎臓、脾臓）（当院外患者）	11

（2019年3月1日現在）

(3) 当院腎移植症例の生着率と生存率 (2019年3月現在, N=65)



(4) 当院腎移植症例の生着率 (生体腎移植 vs 献腎移植) (2019年3月現在, n=65)



整形外科

1. 概要

2018年12月31日時点の構成は、常勤医(山内健一、古橋範雄、藤田護、三矢聡、三矢未来、福井順、桑原悠太郎)と専攻医(岡田裕也、山田梨紗)である。

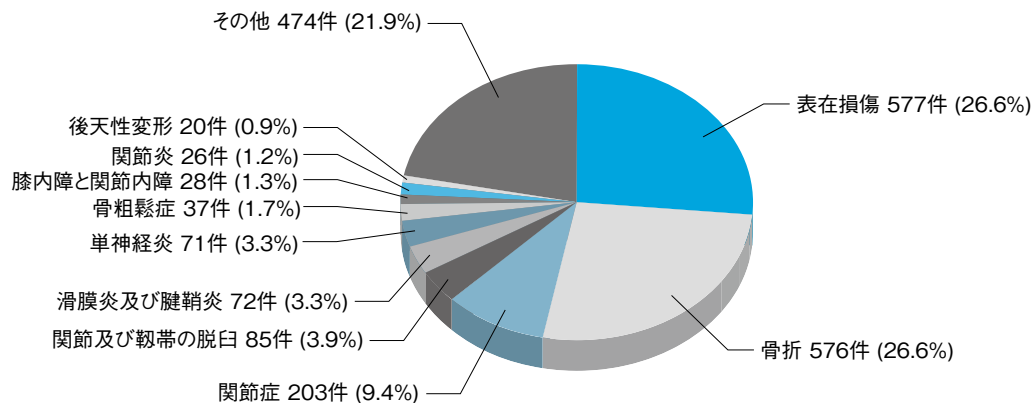
専門外来は股関節(山内)、小児(古橋)、膝・肩関節(藤田)、手(三矢聡)が担当し、月1回第3月曜には骨軟部腫瘍外来(名古屋大学：清水光樹先生)がある。手足の先天異常の手術や切断指の再接着術は三矢聡、膝・肩の鏡視下手術は藤田、人工関節手術は山内と藤田、福井がしている。骨盤骨折に対しても、三矢聡と山内が行っている。大腿骨頸部骨折手術が増え、大腿骨頸部骨折地域連携パスを使用し、市内の回復期病院と連携しているほか、豊橋市こども発達センター「ほいっぷ」に古橋が週1回出張している。

また、名古屋大学整形外科と人事交流し、豊橋整形外科研修セミナーを主催した。東三河整形外科医会、三河関節外科、三河骨軟部腫瘍研究会、名静会の研究会で近隣の医療機関の医師とも交流を深めている。

(第一部長 山内 健一)

2. 新規登録疾患

総数：2,169件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
表在損傷	頸部の表在損傷, 部位不明	137	S109
	下背部及び骨盤部の挫傷	52	S300
骨折	橈骨遠位端骨折	69	S5250
	大腿骨頸部骨折	57	S7200
関節症	膝関節症, 詳細不明	90	M179
	股関節症, 詳細不明	62	M169
関節及び靱帯の脱臼	膝の(前)(後)十字靱帯の捻挫及びストレイン	16	S835
	半月裂傷, 新鮮損傷	15	S832
滑膜炎及び腱鞘炎	ばね指	27	M6534
	滑膜炎及び腱鞘炎, 詳細不明	15	M6599
単神経炎	手根管症候群	40	G560
	尺骨神経の病変	15	G562
骨粗鬆症	骨折の骨癒合不全[偽関節]	9	M8419
	骨粗しょう症, 詳細不明	9	M8199
膝内障と関節内障	膝内障, 詳細不明	8	M2399
	関節拘縮	4	M2452
関節炎	化膿性関節炎, 詳細不明	10	M0096
後天性変形	指の変形	15	M200

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	27,638人	年間外来新患者数	4,278人
年間入院患者数	22,682人	年間入院新患者数	1,248人

(2) 骨折頻度

	部 位	件 数 (件)		部 位	件 数 (件)
1	肩及び上腕	95	5	手首及び手	78
2	大腿骨	122	6	足（足首を除く）	35
3	前腕	107	7	その他	63
4	下腿（足首を含む）	76		計	576

(3) 手術実績

①手術症例件数 1,218件

②麻酔別症例件数（重複あり）

名 称	件 数(件)
全身麻酔	223
腰椎麻酔	501
伝達麻酔	495
局所麻酔	344
その他	91
計	1,654

③分野別症例件数（重複あり）

（ア）関節外科

a 人工関節

名 称	件 数(件)
人工股関節	79
人工骨頭股関節	33
人工膝関節	36
人工肩関節	1
計	149

b 関節形成術

名 称	件 数(件)
股関節	3
膝関節	2
肩関節	4
足関節	2
計	11

c 関節鏡視下手術

名 称	件 数(件)
手関節	45
膝関節	41
肩関節	8
足関節	3
計	97

a+b+c 257件

（イ）手の外科

名 称	件 数(件)
肘・前腕	122
手指	153
手関節	49
マイクロサージャリー	17
足趾、多合指(趾)	11
計	352

（ウ）骨軟部外傷

名 称	件 数(件)
骨盤	7
大腿骨近位部	158
大腿	11
膝	26
下腿	85
足関節－足	40
鎖骨－上腕	63
抜釘	183
計	573

（エ）切断術(手指を除く) 31件

（オ）骨髄炎・感染症 54件

（カ）腫瘍 35件

（キ）その他 82件

計 1,384件

リウマチ科

1. 概要

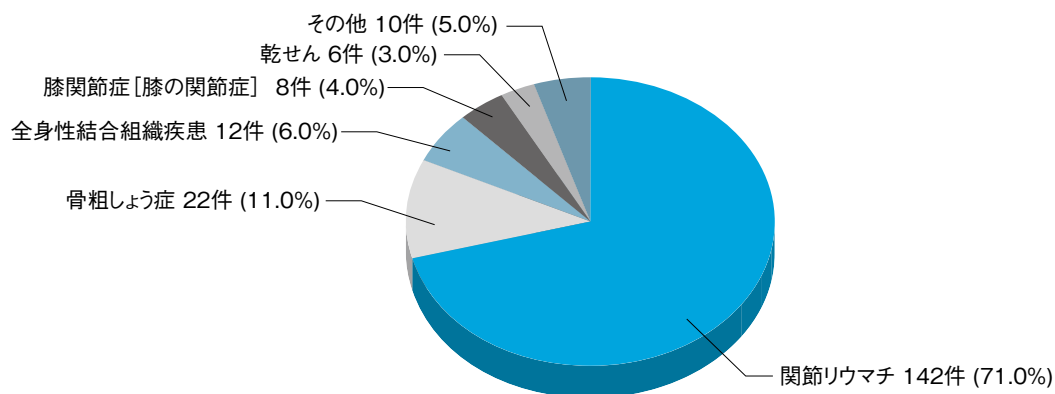
当科は内科的治療を基本とし、整形外科より発展したため外科的治療も行っている。当科の診療の4本柱について記す。2018年は平野、服部（1-3月）、紀平（4-12月）の2人のリウマチ科常勤医を中心に、研修中の整形外科若手医師の助けも借りて診療に当たっていた。

- ① 関節リウマチ（RA）の薬物治療：MTXを中心とした古典的抗リウマチ薬を早期から使用し、効果不十分例には生物学的製剤やJAK阻害剤を導入し関節破壊の防止に努めている。新薬の治験も行っている。
- ② 各種リウマチ性疾患（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、リウマチ性多発筋痛症、SAPHO症候群）：比較的珍しい疾患群であるが対応し、疾患ごとの適切な治療を行っている。
- ③ 骨粗鬆症の診療：古典的薬剤に加え、新規薬剤（テリパラチド、デノスマブ）が出現し、パラダイムシフトが起こっている。骨折診療の潮流は治療から予防に向かっている。
- ④ RAの外科的治療：長期罹病RA患者には外科的治療が必要であり、薬物治療とのコンビネーションこそが最高の結果をもたらす。人工関節置換術、関節固定術、関節形成術を行っている。

（部長 平野 裕司）

2. 新規登録疾患

総数：200件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,653人	年間外来新患者数	230人
年間入院患者数	834人	年間入院新患者数	41人

(2) 実績

関節リウマチ患者背景		
症例数(例)		998
新患者数(各年)(人)		88
性別	男(人)	236
	女(人)	762
	女性率(%)	76.4
平均年齢(歳)		66.3
平均罹病期間(年)		13.5
罹病期間分類(%)	2年以下	14.8
	3年～9年	30.5
	10年以上	54.7
Stage(%)	I	26.7
	II	8.4
	III	28.1
	IV	36.8
Class(%)	1	44.8
	2	43.8
	3	10.6
	4	0.9
RF陽性率(%)		77.7
ACPA陽性率(%)		79.0

関節リウマチ薬物治療	
MTX投与者(例)	621
MTX投与率(%)	62.2
投与例の平均MTX投与量(mg/w)	7.8
GST投与者(例)	21
GST投与率(%)	2.1
SASP投与者(例)	179
SASP投与率(%)	17.9
TAC投与者(例)	161
TAC投与率(%)	16.1
IGU投与者(例)	136
IGU投与率(%)	13.6
BUC投与者(例)	15
BUC投与率(%)	1.5
PSL投与率(%)	15.5
投与例の平均PSL投与量(mg/day)	4.5
生物学的製剤経験者(例)	381
生物学的製剤経験率(%)	38.2

手術件数	
合計手術件数(件)	25
人工膝関節全置換術(件)	12
人工膝関節単顆置換術(件)	2
人工股関節置換術(件)	2
足趾形成術(件)	1
RA手関節手術(件)	3
足関節固定術(件)	0
その他(件)	5

関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療		
骨粗鬆症治療の施行(例)	あり	426
	なし	572
ビタミンD製剤(例)	エディロール	206
	α カルシドール	45
	ロカルトロール	0
	デノタス	48
ビスフォスフォネート製剤(例)	アクトネル	84
	ボノテオ	142
	ボナロンゼリー	11
	ボンビバ	10
	リクラスト	37
SERM(例)	エビスタ	12
	ビビアント	10
PTH製剤(例)	テリボン	0
	フォルテオ(投与中)	2
	フォルテオ(延べ数)	79
抗RANKL抗体(例)	プラリア(投与中)	70
	プラリア(延べ数)	82
その他(例)	グラケー	1

関節リウマチ以外の患者の骨粗鬆症診療	
閉経後骨粗鬆症(例)	62
ステロイド性骨粗鬆症(例)	36
性腺機能不全による骨粗鬆症(例)	8
妊娠後骨粗鬆症(例)	3
男性骨粗鬆症(例)	2
計	111

関節リウマチ臨床成績		
平均CRP(mg/dl)		0.63
平均DAS28(ESR)		2.75
DAS28(ESR)疾患活動性分類(%)	High	4.2
	Moderate	25.6
	Low	21.8
	Remission	48.3
平均SDAI		5.2
SDAI疾患活動性分類(%)	High	2.0
	Moderate	10.8
	Low	36.2
	Remission	51.0
Boolean4(%)		39.4
平均mHAQ		0.330
mHAQ<0.5(%)		73.9

関節リウマチ患者の通院中断		
死亡(例)		22
連絡無く通院中断(例)		21
他医紹介	通院困難(例)	16
	関節リウマチ以外の病気の転院に伴って(例)	5
	遠方への転居(例)	6
	患者希望で紹介(転居通院困難以外)(例)	12
関節リウマチから他疾患に診断変更(例)		2
寛解などで終了(例)		4
その他・分類不能(例)		3
計		91

脊椎外科

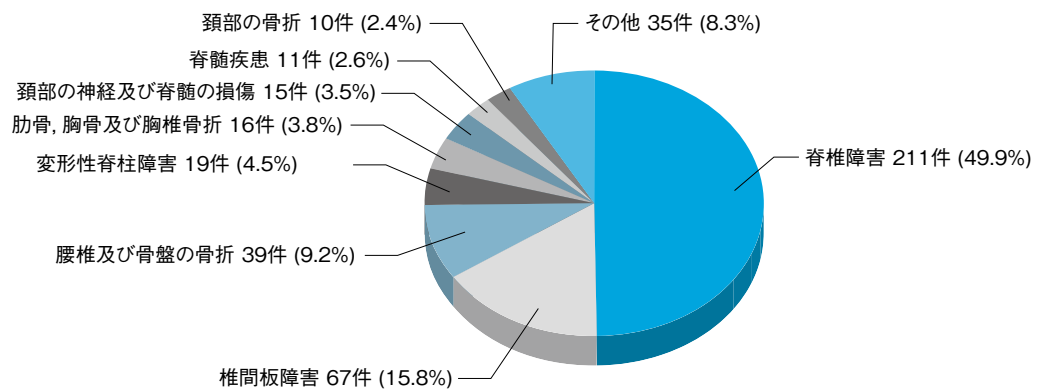
1. 概要

脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。現在、脊椎外科医は吉原永武（部長）、岡田裕也の2人であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行っている。年間200件程の手術治療を行っているが、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアが脊椎外科における3大疾患であり、手術例のほとんどを占める。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら、治療を行っている。2014年から手術室にO-arm CTとナビゲーション機器を導入し、より安全性を向上させた手術が可能となっている。近年、高齢化に伴う骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対するセメント治療（BKP）が全国的に行われるようになり、当院でも導入を始めた。全身麻酔が必要であるため、手術枠の問題で、まだ数は少ないが、今後積極的に行っていく治療になると考える。

（部長 吉原 永武）

2. 新規登録疾患

総数：423件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脊椎障害	脊柱管狭窄(症)	91	M4806
	その他の脊椎症	59	M4782
椎間板障害	その他の明示された椎間板ヘルニア	61	M512
腰椎及び骨盤の骨折	腰椎骨折	36	S3200
変形性脊柱障害	脊椎すべり症	12	M4316
肋骨, 胸骨及び胸椎骨折	胸椎骨折	14	S2200
頸部の神経及び脊髄の損傷	脊髄のその他及び詳細不明の損傷	15	S141
脊髄疾患	脊髄疾患, 詳細不明	9	G959
頸部の骨折	頸部の骨折, 部位不明	5	S1290

3. 活動報告

(1) 主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎圧迫骨折・分離症 頸椎椎間板ヘルニア 後縦靱帯骨化症・黄色靱帯骨化症・黄色靱帯石灰化症 リウマチ脊椎 透析脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍 脊椎感染症 脊椎外傷 その他

(2) 手術実績

術 式	件数(件)
頸椎椎弓形成術	41
頸椎椎間孔拡大術	3
頸椎前方除圧固定	5
頸椎後方固定術	14
胸椎除圧固定	1
胸椎椎弓切除	10
椎間板ヘルニア摘出	19
椎弓切除(腰椎除圧術)	54
脊椎固定術	50
胸腰椎前方固定	6
胸腰椎後方固定	17
胸腰椎前方後方同時固定	1
脊椎脊髄腫瘍	7
その他	11
計	239

脳神経外科

1. 概要

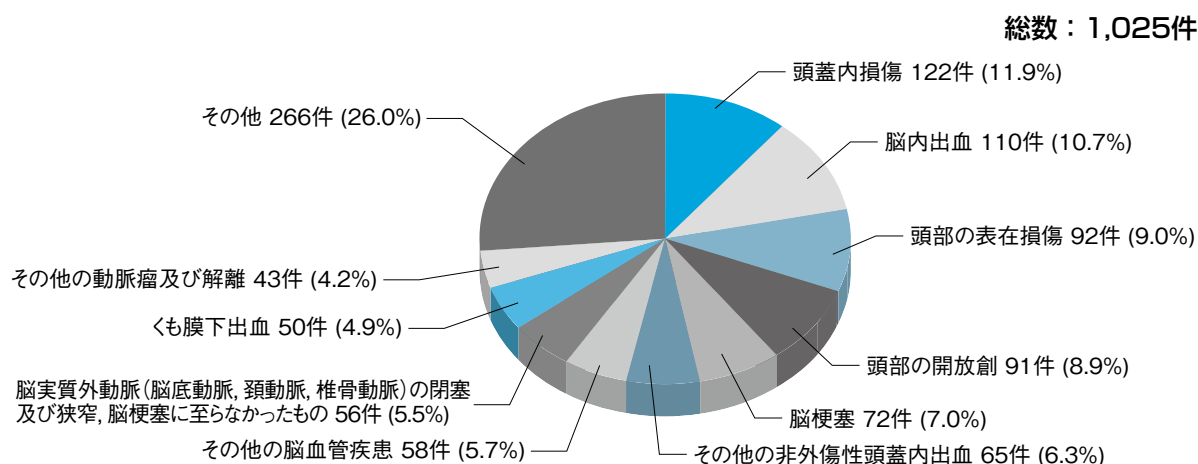
当科では現在7人の常勤医がおり、各専門領域に医師を配置して、新生児から超高齢者まで脳神経外科疾患のほぼ全ての領域を対象に、可能な限り当院にて治療が完結できるよう努めている。高侵襲な手術から、血管内治療や神経内視鏡手術などの低侵襲かつ最先端の治療も行っているが、その中で近年最も飛躍した治療に、急性期脳梗塞に対するカテーテル血栓除去術がある。従来にはない治療効果が得られ、年々その治療症例数は増加をたどり、これに合わせるように間もなく全国規模で脳卒中センターが設立していく計画になっている。当院もその施設基準の取得に向けて準備をしているが、最終的には神経内科の先生方と協力して脳卒中ケアユニットを備えた高度な脳卒中専門施設として機能できるよう整備していきたい。一方、脳卒中の急性期治療後には「穂の国脳卒中地域連携パス」を活用して回復期および維持期施設との円滑な地域連携を図っている。

2019年4月からは、増築された新手術棟にてhybrid手術室が稼働する。脳卒中のみならず脳腫瘍なども含め、より難易度の高い疾患に対応できるようになった。さらなる治療成績の向上に努めたい。少子高齢化時代の中で、スタッフ一同、地域の皆様に広く親しまれ、さらに信頼される病院を目指す所存である。

(第一部長 雄山 博文)

(文責 第二部長 若林 健一)

2. 新規登録疾患



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
頭蓋内損傷	外傷性硬膜下出血	45	S065
	外傷性くも膜下出血	20	S066
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	85	I610
	脳内出血, 詳細不明	10	I619
頭部の表在損傷	頭皮の表在損傷	91	S000
頭部の開放創	頭皮の開放創	75	S010
	眼瞼及び眼球周囲部の開放創	13	S011
脳梗塞	脳梗塞, 詳細不明	33	I639
	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	13	I634
その他の非外傷性頭蓋内出血	硬膜下出血(急性)(非外傷性)	65	I620
その他の脳血管疾患	脳動脈瘤, 非破裂性	38	I671
脳実質外動脈(脳底動脈, 頸動脈, 椎骨動脈)の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	頸動脈の閉塞及び狭窄	50	I652
くも膜下出血	頸動脈サイフォン及び頸動脈分岐部からのくも膜下出血	15	I600
	中大脳動脈からのくも膜下出血	10	I601
その他の動脈瘤及び解離	頸動脈瘤及び解離	31	I720
	椎骨動脈の動脈瘤及び解離	10	I726

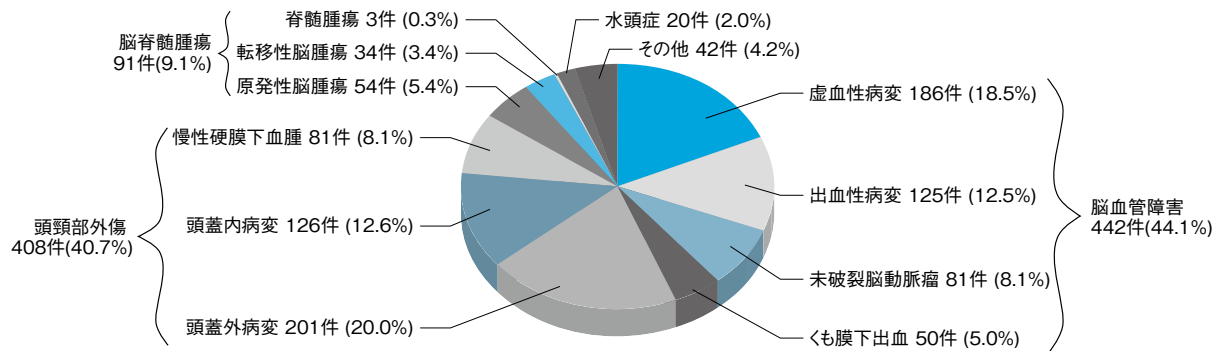
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	12,520人	年間外来新患者数	1,963人
年間入院患者数	14,909人	年間入院新患者数	792人

(2) 疾患群別に見た症例数

総数：1,003件



(3) 血管内手術件数

術 式	件数(件)
経皮的血管形成術	26
急性期再開通療法	28
脳動脈瘤塞栓術	28
硬膜静脈瘻塞栓術	5
脳動静脈奇形塞栓術	2
その他の血管内手術	24
計	113

小児科

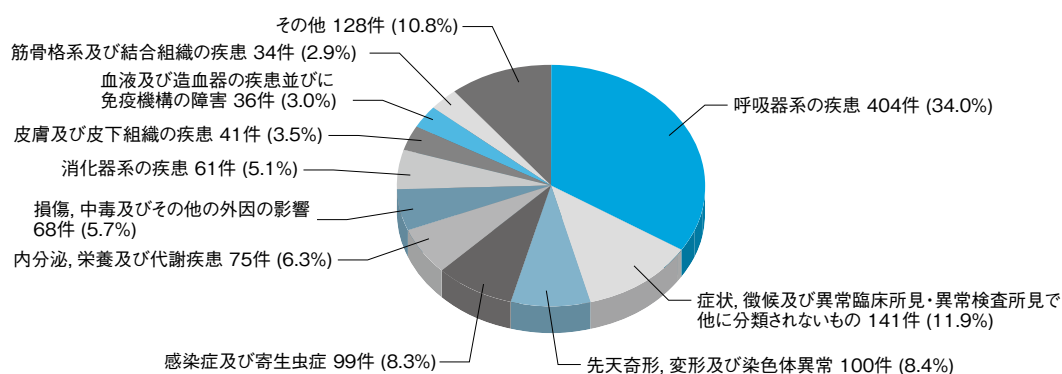
1. 概要

当小児科病棟スタッフは皆、東三河地域の最後の砦を担うという誇りと緊張感を持って日夜対応している。サブスペシャリティとしてはアレルギー疾患、神経疾患、循環器疾患、腎疾患、内分泌疾患、血液腫瘍疾患をカバーし、高度特殊医療を除けば各分野ともに専門施設と比べても引けを取らない医療レベルを提供できている。また、患者には最善の医療を提供すべく、各分野で対応困難な症例については惜しみなく専門施設との連携をとって対応している。このような体制を維持する意義は、極力地域で医療が完結することが患者家族への最高のサービスの一つとなることにある。特に長期入院を必要とする場合、月に何度も専門外来にかかる必要がある場合には切実な問題である。一方で、周囲の一次医療、二次医療、休日夜間診療所の業務、健診医療の充実に支えられてこそ当院が二次、三次医療に集中することが可能であるということも忘れてはならない。

(第二部長 伊藤 剛)

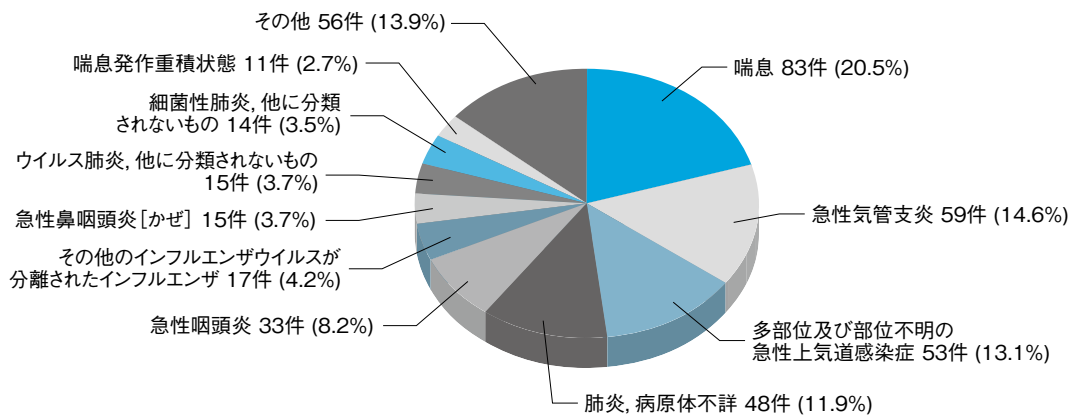
2. 新規登録疾患

総数：1,187件

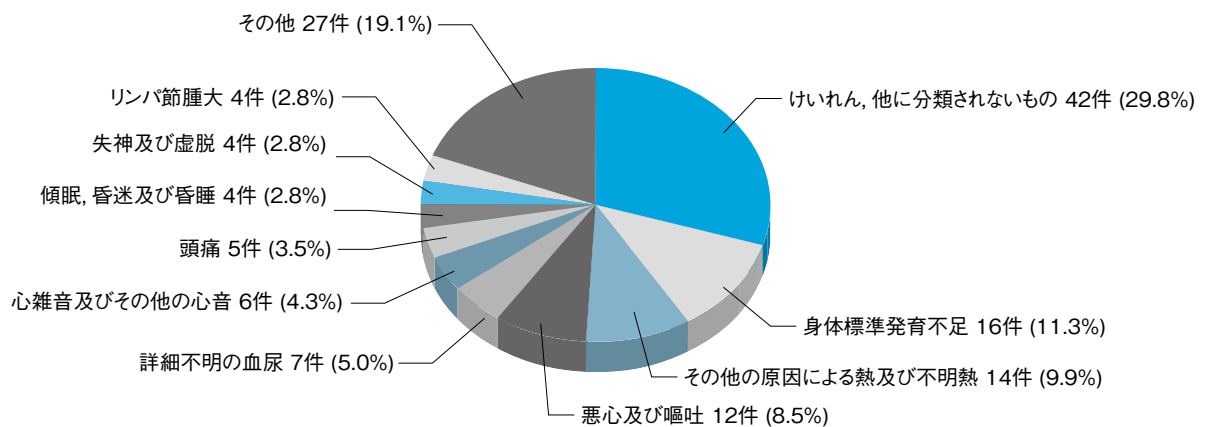


上位3位の詳細

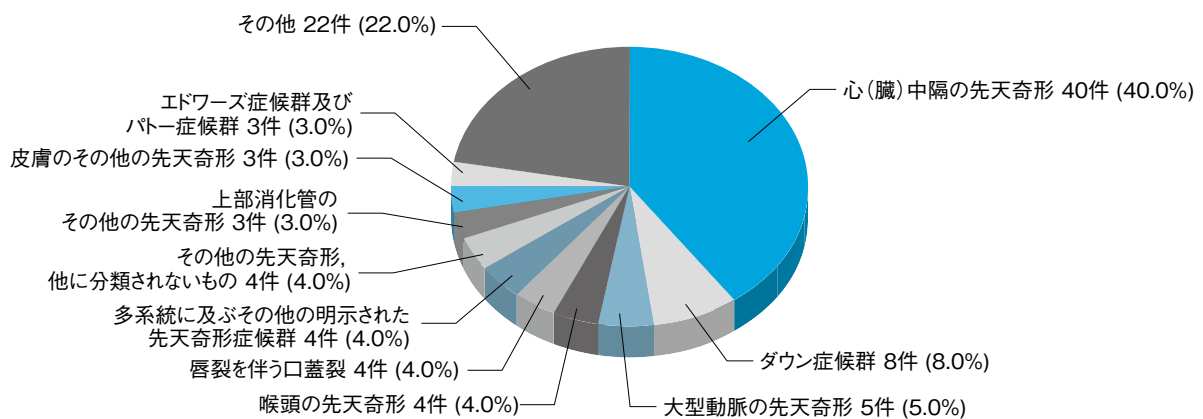
(1) 呼吸器系の疾患：404件



(2) 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの：141件



(3) 先天奇形、変形及び染色体異常：100件

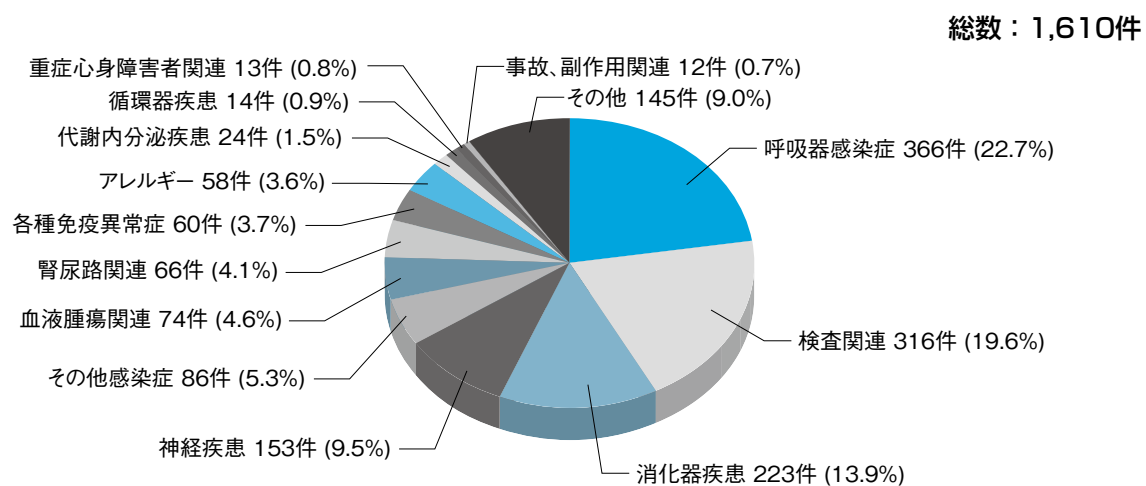


3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	29,143人	年間外来新患者数	2,810人
年間入院患者数	19,075人	年間入院新患者数	1,987人

(2) 入院患者疾患別頻度



小児科（新生児部門）

1. 概要

豊橋市民病院新生児医療センターは、東三河地区唯一の総合周産期母子医療センターに指定されている。

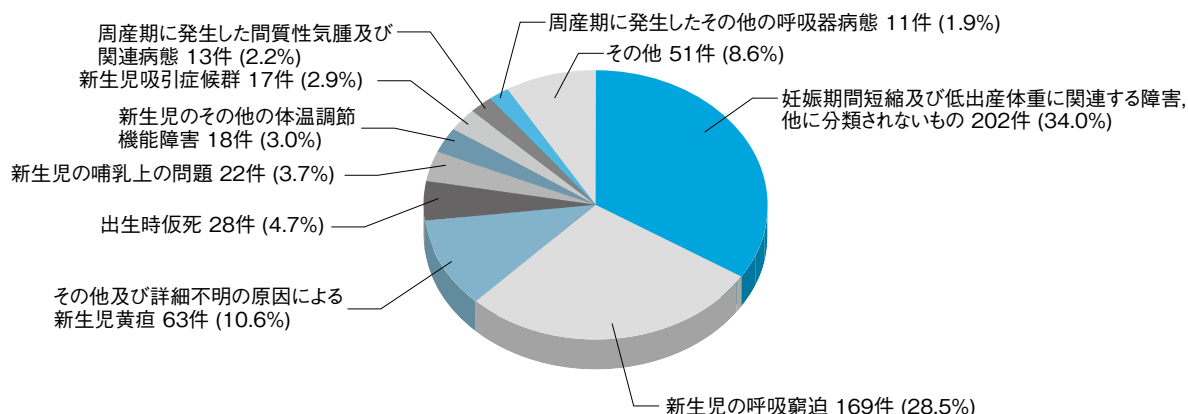
2018年の入院数は508例で内355例は院内出生であった。153例の院外出生例においては医師が救急車に同乗して搬送しており、診察依頼があった全ての新生児に24時間体制で高度な医療を迅速に提供している。一部の外科的治療が必要な例は他施設への搬送を要する例もあるが、その場合も医師が同乗し責任をもって搬送にあたっている。2018年の死亡例は5例であった。新生児期の医療面のみではなく、患児発達支援や、両親の心のサポートを医師、看護師、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーが共同して提供している。近隣産科医院への出張を含めた新生児蘇生講習会を定期開催し、地域の周産期医療レベルの向上にも努めている。

当センターは周産期（新生児）専門医の基幹研修施設に指定されており、若手医師の教育、専門医の育成にも尽力している。

（第二部長 杉浦 崇浩）

2. 新規登録疾患

総件数：594件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	その他の低出産体重(児)のうち, 出産体重1500グラム-2499グラムの児	102	P071b
	その他の早産児	73	P073
新生児の呼吸窮迫	新生児一過性頻呼吸	143	P221
	新生児呼吸窮迫症候群	25	P220
その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	新生児黄疸, 詳細不明	63	P599
出生時仮死	重度出生時仮死	18	P210
新生児の哺乳上の問題	新生児嘔吐	13	P920
新生児のその他の体温調節機能障害	新生児の体温調節機能障害, 詳細不明	18	P819
新生児吸引症候群	新生児の胎便吸引	17	P240
周産期に発生した間質性気腫及び関連病態	周産期に発生した気胸	13	P251
周産期に発生したその他の呼吸器病態	新生児のその他の無呼吸	9	P284
	新生児のその他の明示された呼吸器病態	2	P288

産婦人科

1. 概要

周産期部門では産後2週間健診や産後ケア事業を開始し、助産師とともに昨今問題となっている妊産婦のメンタルヘルスの問題に力を入れた。地域の出生数の減少に伴い、近隣の一次施設を含めると地域の分娩について余力が出てきたと判断し分娩制限を解除した。地域の分娩数の低下にもかかわらず、当院での分娩数、母体搬送数は昨年からはほぼ横ばいとなっており、ハイリスク症例については当院への集約化が進んでいると考えられた。

婦人科手術については、ロボット手術の保険適応が拡大され症例数が増加した。またロボット手術を行うために必要な症例見学施設として当院が全国で4番目の施設認定を受け、多くの見学者を受け入れた（詳細は女性内視鏡外科の頁を参照）。化学療法も新たな分子標的薬が適応となり、予後改善に伴い化学療法の施行回数の増加が見込まれる。

子宮筋腫、子宮内膜症をはじめとした良性疾患については挙児希望のある患者については、総合生殖センターと連携し生殖～周産期へと一貫した治療を目指し、患者のQOLやファミリープランニングを念頭に治療選択に患者自身の積極的関与を促す方法を取り入れている。

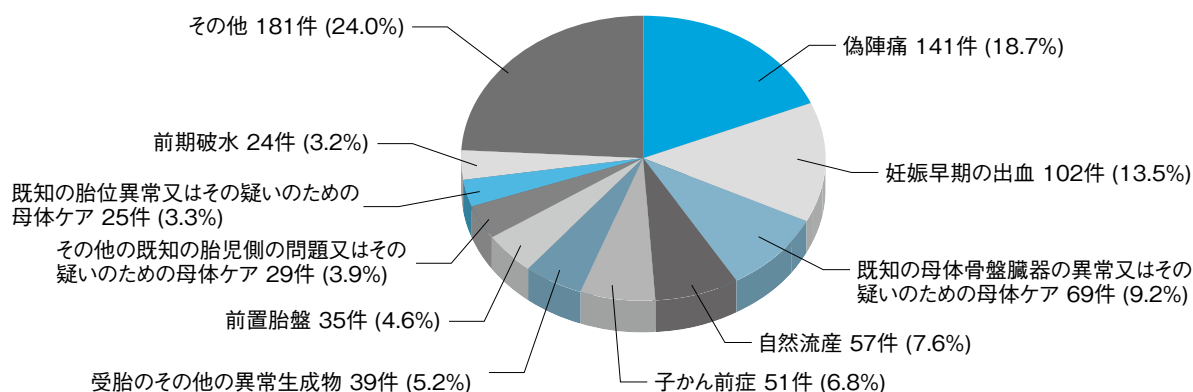
産婦人科（生殖医療含む）医師は2019年4月現在16人、うち産婦人科専攻医6人。4月より新専門医制度に伴う専攻医の交流が始まったが、当院の特徴である周産期、腫瘍、生殖、女性ヘルスケアの産婦人科主要4分野プラス内視鏡について充実した研修体制を提供することで専攻医にとって魅力あるプログラムを提供していきたい。

（第二部長 岡田 真由美）

2. 新規登録疾患

(1) 産科（分娩を除く）

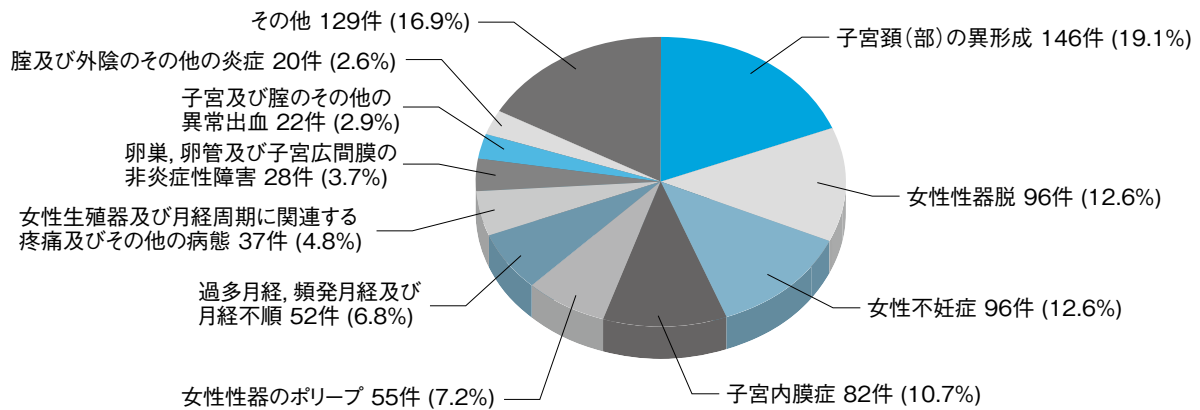
総数：753件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
偽陣痛	妊娠満37週未満の偽陣痛	141	O470
妊娠早期の出血	切迫流産	101	O200
既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	既往手術による子宮瘢痕による母体ケア	63	O342
自然流産	自然流産, 完全流産又は詳細不明の流産, 合併症を伴わないもの	46	O039
	自然流産, 不完全流産, 合併症を伴わないもの	11	O034
子かん前症	重症子かん前症	26	O141
	子かん前症, 詳細不明	19	O149
受胎のその他の異常生成物	稽留流産	39	O021
前置胎盤	出血を伴う前置胎盤	35	O441
その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	その他の同種免疫のための母体ケア	15	O361
既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア	骨盤位のための母体ケア	23	O321
前期破水	前期破水, 詳細不明	24	O429

(2) 婦人科

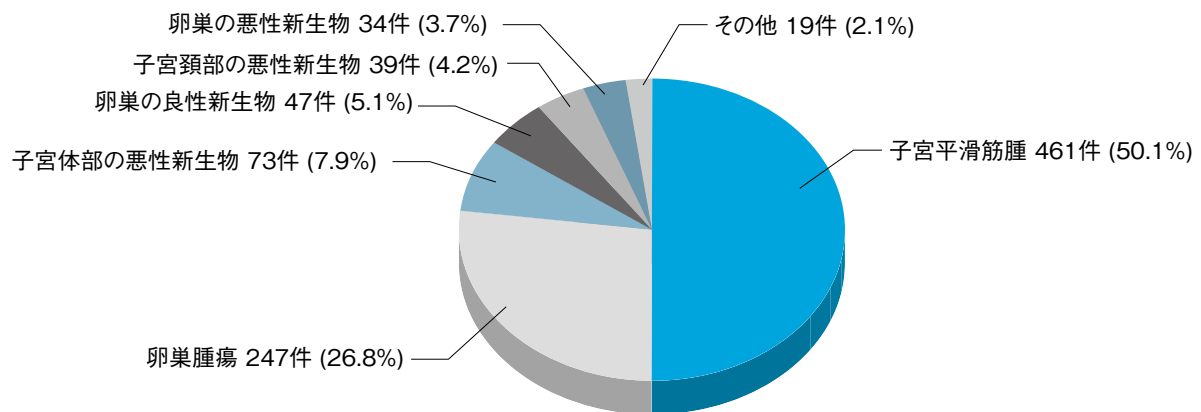
総数：763件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
子宮頸(部)の異形成	子宮頸(部)の異形成, 詳細不明	101	N879
	高度子宮頸(部)の異形成,他に分類されないもの	33	N872
女性性器脱	子宮脱, 詳細不明	36	N814
	膀胱瘤	20	N811
女性不妊症	女性不妊症, 詳細不明	96	N979
子宮内膜症	子宮の子宮内膜症	31	N800
	子宮内膜症, 詳細不明	29	N809
女性性器のポリープ	子宮頸(部)ポリープ	33	N841
	子宮体(部)ポリープ	20	N840
過多月経,頻発月経及び月経不順	不規則周期を伴う過多月経及び頻発月経	23	N921
	規則的周期を伴う過多月経及び頻発月経	18	N920
女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態	月経困難症, 詳細不明	34	N946
卵巣, 卵管及び子宮広間膜の非炎症性障害	卵巣, 卵管及び広間膜のその他の非炎症性障害	20	N838
子宮及び膣のその他の異常出血	子宮及び膣の異常出血, 詳細不明	22	N939
膣及び外陰のその他の炎症	急性膣炎	17	N760

(3) 新生物

総数：920件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
子宮平滑筋腫	子宮平滑筋腫, 部位不明	449	D259
	粘膜下子宮平滑筋腫	12	D250
卵巣腫瘍	女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物, 卵巣	247	D391
子宮体部の悪性新生物	子宮体部の悪性新生物, 子宮体部, 部位不明	57	C549
	子宮体部の悪性新生物, 子宮内膜	15	C541
卵巣の良性新生物	卵巣の良性新生物	47	D27
子宮頸部の悪性新生物	子宮頸部の悪性新生物, 子宮頸(部), 部位不明	39	C539
卵巣の悪性新生物	卵巣の悪性新生物	34	C56

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	41,241人	年間外来新患者数	2,528人
年間入院患者数	19,741人	年間入院新患者数	2,454人

(2) 実績

分娩統計(2018.1-12) (件)

正常	413
バースセンター正常	7
選択の帝王切開	219
緊急帝王切開	153
超緊急帝王切開	11
死産緊急帝王切開	2
鉗子分娩	4
吸引分娩	30
死産	2
未受診正常	1
自宅分娩	4
車中分娩	1
双胎選択帝王切開	25
双胎緊急帝王切開	13
品胎二児IUID・正常分娩	1
品胎選択帝王切開	1
計	887
中期中絶	18
中期流産	9
中期中絶D&C	1
中期流産D&C	1
中期中絶帝王切開	2
双胎流産	1
計	32
母体搬送	199

産婦人科悪性腫瘍治療症例数(2018.1-12) (件)

◎子宮頸部CIN2	計7例
①円錐切除	4
②TLH	2
③ロボット支援下TLH	1
◎子宮頸部CIN3	計78例
①円錐切除	49
②レーザー蒸散	1
③TLH	20
④ロボット支援下TLH	8
◎子宮頸癌	計40例
①子宮頸癌初回手術	26
I A1期	1
I A期	1
I B1期	13
I B2期	1
II A1期	2
II A2期	1
II B期	1
AIS	6
②CCRT(同時化学放射線療法 放射線科 と共同治療)	7
I B2期	1
II A2期	1
II B期	1
III B期	1
IV A期	1
IV B期	2
③放射線療法(主に放射線科で治療)	6
IV A期	2
IV B期	4
④円錐切除	1
I A1期	1
◎子宮体癌(癌肉腫含む)	計69例
①子宮体癌初回手術	68
1A期	38
1B期	10
II 期	4
III A	4

ⅢB期	1
ⅢC1期	4
ⅢC2期	3
ⅣB期	4
②放射線療法	1
ⅠA期	1
◎子宮内膜異型増殖症手術	計2例
◎卵巣癌(悪性腫瘍)	計36例
①手術	35
ⅠA期	2
ⅠC1期	6
ⅠC2期	3
ⅠC3期	4
ⅡB期	5
ⅢA期	3
ⅢB期	5
ⅢC期	4
ⅣA期	2
ⅣB期	1
②化学療法	1
ⅣB期	1
◎卵巣境界悪性腫瘍手術	計12例
ⅠA期	4
ⅠB期	1
ⅠC1期	6
ⅠC2期	1
◎子宮肉腫化学療法	計1例
ⅡB期	1
◎STUMP	計1例
◎腹膜癌-	計2例
◎胞状奇胎手術-	計1例
◎転移性卵巣癌	計5例

化学療法

卵巣癌	66人	のべ435コース
子宮体癌	44人	のべ220コース
子宮頸癌	50人	のべ219コース
腹膜癌	6人	のべ47コース
卵管癌	1人	のべ10コース
子宮肉腫	2人	のべ12コース
外陰癌	1人	のべ2コース
侵入奇胎	1人	のべ3コース

計 171人に対してのべ948コース施行

産婦人科当直帯救急患者数(夜間休日)(2018.1-12)(件)

経陰分娩	339
緊急帝王切開(超緊急帝王切開含む)	96
その他手術	25

救急外来患者数再診

8:30～17:00(休日のみ)	159
17:00～0:00	249
0:00～8:30	116
計	524

救急外来患者初診

(カッコ内は本来他の施設で診察すべき患者数)

8:30～17:00(休日のみ)	83(7)
17:00～0:00	244(22)
0:00～8:30	116(7)
計	443(36)

救急外来患者総数 967

手術総件数(2018.1-12)

産科

帝王切開術	402
前置胎盤を伴う帝王切開術	23
分娩後子宮全摘術	3
会陰部裂傷縫合・腔壁血腫除去術	4
子宮頸管縫縮術	5
その他	2

開腹術(良性)

単純子宮全摘出術(腔上部含む)	54
筋腫核出術	19
子宮付属器切除術	46
その他	6

開腹術(悪性)

子宮悪性腫瘍手術	23
うち広汎子宮全摘術	6
うち拡大子宮全摘術	3
子宮付属器悪性腫瘍手術	36
その他(試験開腹術含む)	6

経腔的・外陰部手術

腔式子宮全摘術(前後会陰形成術含む)	7
経腔的子宮筋腫核出術	2
円錐切除術(蒸散含む)	63
子宮内膜全面搔把術	15
子宮内容除去術(流産手術)	21
子宮内容除去術(人工妊娠中絶術)	13
胞状奇胎娩出術	8
その他	22

内視鏡手術

子宮鏡手術	6
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	38
うち子宮頸癌	20
うち子宮体癌	18
うち広汎子宮全摘術	14
うち拡大子宮全摘術	15
腹腔鏡下子宮全摘術(良性)	146
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	32
腹腔鏡下子宮付属器手術	160
腹腔鏡下仙骨腔固定術	22
腹腔鏡下手術その他	13

ロボット支援下手術	51
うち良性疾患	26
うち子宮頸癌	1
うち子宮体癌	24
うち広汎子宮全摘	1
うち拡大子宮全摘	11
計	1,248

(3) 研究会開催

1. 第11回がんのリンパ浮腫研究会

開催者：河井通泰 豊橋市民病院後援

一般演題6題 クリニカルレクチャー1題 特別講演1題

参加者 103人

豊橋市民病院講堂 13:00～16:35 2017/11/25

婦人科癌、乳癌の手術後に発症する上下肢のリンパ浮腫における診断と治療に関する研究会である。今年で11回目であり東三河地方で開催されるのは初めて。愛知、岐阜、三重3県の産婦人科、外科血管外科、形成外科の医師および看護師、理学療法士、セラピストを対象としている。一般演題（演者 当院北見和久医師 当院窪川芽衣医師 当院長尾有佳里医師 当院森弘幸理学療法士 名古屋大学内堀貴文医師）、クリニカルレクチャー（演者 当院女性内視鏡外科 梅村康太郎 長 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社共催）、特別講演（演者 広田内科クリニック 廣田彰男理事長 中外製薬株式会社共催）が発表された。企業展示も5社（株式会社メディックス 株式会社リムフィックス 九州メディカルサービス株式会社 テルモ株式会社 ナック商会株式会社）の協力が得られ講堂後方で展示を行った。リンパ浮腫に関する熱心な討論がされた。当院の医師、理学療法士、看護師、事務が総勢11人（河井通泰、高野みずき、北見和久、吉原基、森嶋直人、神谷猛、森谷景子、村山智子、加藤浩二、金子剛士、塩野谷順子）で準備した。当日会は滞りなく進み無事閉会した。患者のために今後役立つと思われた有意義な研究会であった。

2. 第21回 愛知県分婉監視研究会 当番世話人：岡田真由美

一般演題3題

特別講演1題

名古屋大学医学部基礎研究棟4F 第4講義室 18:00～19:50 2018/6/30

参加者250人

愛知産科婦人科学会学術講演会に引き続き開催し、運営及び進行を当院スタッフが担当した。

(4) 学会開催

1. 第107回愛知産科婦人科学会学術講演会

学術集会会長 河井通泰

一般演題28題

参加者 230人

名古屋大学医学部基礎研究棟4F 第4講義室 14:00～17:26 2018/6/30

座長は豊橋市民病院スタッフが担当した。第Ⅰ群：河井通泰、第Ⅱ群：梅村康太、第Ⅲ群：安藤寿夫、第Ⅳ群：岡田真由美、第Ⅴ群：河合要介 28演題すべてにおいて活発な討論がなされて有意義な学会であった。

産婦人科（生殖医療）

1. 概要

当院が先駆けとなり運用開始したタイムラプス胚培養も12年目を迎えた。2018年には胚(受精卵)発育の連続画像情報(動画)を基に、コンピュータが74の特性を分析して点数評価する新機種を導入した。この新機種1台の処理可能症例数の限界から、2018年は一時的な患者制限も余儀なくされたが、2019年度には2台目も運用開始となり、胚培養士による胚評価も加えたユニークなレポートをお渡しするなど、令和時代にふさわしい新規タイムラプスARTが本格的に動き出す。

当院では、様々な最新医療技術を用いてもすんなり妊娠していただけない患者さんの共通点を探しだしていき、粘り強く成功に導く努力を毎年重ねてきた。健康長寿に向けて、生活習慣の質的向上が最近重視されてきている。生活習慣は、妊娠分娩やその後の母子の健康状態にも大きく影響を与えるため、生殖医療の成功においても鍵を握っている。当院では食事、運動、睡眠、心理的ストレスの4つのテーマで生活習慣を見直してもらい、何人の子どもを望み、最後の子どもを西暦何年・何歳で出産するかの目標を明確にし、そこから逆算して治療プランを立てるファミリープランニングを意識した生殖医療を最新技術と両輪で推進している。

(部長 安藤 寿夫)

2. 活動報告

(1) 生殖補助医療

2018年	刺激周期数	体外受精数	内、顕微授精	新鮮胚移植	妊娠	融解胚移植	妊娠
1月	13	10	5	2	1	13	5
2月	24	22	12	11	2	5	3
3月	12	12	6	5	1	3	1
4月	12	11	8	8	0	7	3
5月	11	9	7	1	0	4	1
6月	19	16	7	6	1	4	0
7月	13	11	9	5	0	9	2
8月	19	18	13	10	3	7	6
9月	12	10	5	5	1	3	2
10月	16	14	6	6	1	8	4
11月	18	18	13	10	2	4	2
12月	15	13	9	1	0	6	3
計	184	164	100	70	12	73	32
妊娠率					17.1%		43.8%

単胚移植率100%。多胎は0例。異所性妊娠1例。

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられている。

(2) 不妊症妊娠例(カッコ内は多胎妊娠例)

区分	件数(件)
体外受精-新鮮胚移植	13(0)
融解胚移植	34(0)
排卵誘発	9(1)
人工授精	3(0)
習慣流産	2(0)
タイミング法・その他	18(1)
計(重複例を除く)	68(1)

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられています。

女性内視鏡外科

1. 概要

産婦人科における手術治療のうち、主に腹腔鏡と子宮鏡に関わる手術を担当している。東三河においては、以前より開腹術が中心であったが、多くの良性疾患に対して腹腔鏡下手術を行うことが可能となった。この手術は傷も小さく、早期退院、社会復帰が可能な手術で患者にとって負担が少ない手術法であり、2017年度には、約400件の鏡視下手術を行った。入院期間は腹腔鏡下手術で5日前後、子宮鏡下手術では3日間である。良性疾患だけでなく、悪性腫瘍疾患に対しても積極的に本術式を導入し、子宮体癌や子宮頸癌に対しても本方法で手術を行っている。2014年度には、子宮頸癌における腹腔鏡下広汎子宮全摘術を愛知県で初めて先進医療として導入、2017年度には子宮体癌における腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術を先進医療として全国3番目に開始し最先端の治療を行っている。また、ロボット支援下手術も積極的に開始し、より低侵襲で安全な治療を行っている。今後は東三河だけでなく、他の地域での啓蒙活動にも力を入れ、さらなる低侵襲化手術の普及を進める。

(部長 梅村 康太)

耳鼻いんこう科

1. 概要

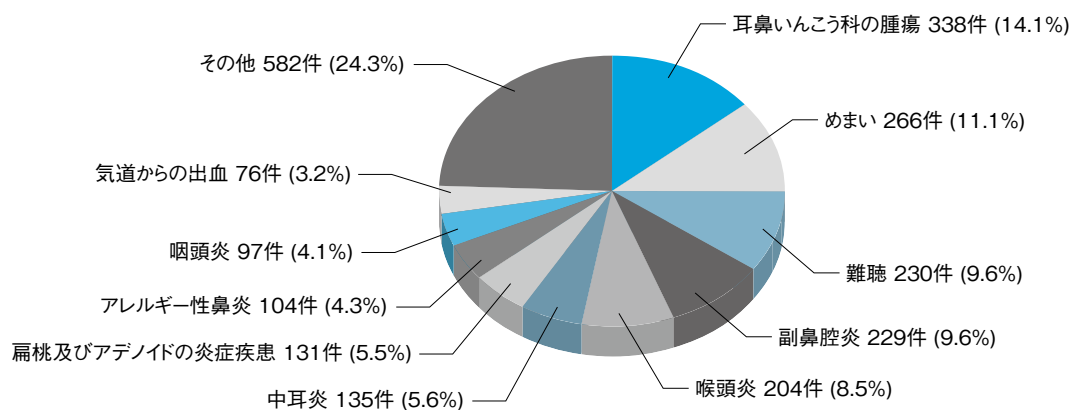
中耳炎、めまい、難聴、顔面神経麻痺に対して投薬治療を行い、改善を認めない場合は当院にて外科的治療を行っている。また、耳鳴り専門外来を設置し、専門的な治療を行っている。

アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症に対して、患者の病態や希望にあった治療(手術療法や投薬治療)を行った。慢性扁桃炎や睡眠時無呼吸症候群に対して、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術を行った。また鼻出血、急性扁桃炎、喉頭蓋炎等の救急疾患については、重症度に合わせて入院治療を行った。咽頭・喉頭・甲状腺・唾液腺等の良性腫瘍に対しては、適応を定めて手術療法を行った。悪性腫瘍に対しては、それぞれの患者の状況に合わせて、根治と機能温存のバランスを取り、手術療法、化学療法、放射線療法の3者を組み合わせて治療を行った。再建を必要とする様な症例も積極的に当院で行った。

(部長 小澤 泰次郎)

2. 新規登録疾患

総数：2,392件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
耳鼻いんこう科の腫瘍	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, 口唇, 口腔及び咽頭	90	D370
	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物, 甲状腺	66	D440
めまい	その他の末梢性めまい	212	H813
	メニエール病	36	H810
難聴	感音難聴, 詳細不明	109	H905
	老人性難聴	36	H911
副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎, 詳細不明	216	J329
喉頭炎	慢性喉頭炎	204	J370
中耳炎	非化膿性中耳炎, 詳細不明	63	H659
	中耳炎, 詳細不明	62	H669
扁桃及びアデノイドの炎症疾患	急性扁桃炎, 詳細不明	57	J039
	扁桃肥大	45	J351
アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎, 詳細不明	102	J304
咽頭炎	急性喉頭咽頭炎	76	J060
	急性咽頭炎, 詳細不明	20	J029
気道からの出血	鼻出血	75	R040

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	24,500人	年間外来新患者数	3,302人
年間入院患者数	8,229人	年間入院新患者数	720人

(2) 入院患者の状況

①主な救急疾患（入院加療を要した）

疾患名	件数(件)
急性扁桃炎・扁桃周囲の腫瘍	46
めまい	34
急性喉頭蓋炎・喉頭炎	17
鼻出血	14
顔面神経麻痺	11
突発性難聴	7
計	129

②主な手術療法（手術室使用）

術式	件数(件)
口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	173
内視鏡下副鼻腔手術	73
リンパ節摘出術	35
鼓膜チューブ留置術	33
甲状腺腫瘍手術	32
頸部郭清術	32
気管切開術	26
喉頭微細手術	21
耳下腺腫瘍手術	18
咽頭悪性腫瘍手術	14
喉頭全摘術	8
顎下腺摘出術	2
計	467

眼科

1. 概要

白内障手術においては、+1.5D加入眼内レンズを新たに導入し、トーリック眼内レンズ（乱視矯正用眼内レンズ）の使用も増加した。多焦点眼内レンズについては先進医療施設認定を目指して適応拡大予定である。また、日帰り入院白内障手術が新たに開始となった。病棟、入院支援センター、外来等相互協力によりさらなる入院期間の短縮を図る予定である。

緑内障手術についてはMIGSの適応が拡大し、マイクロフックを用いたトラベクトミーを新たに導入した。硝子体手術とともに、低侵襲手術化がすすんだ。

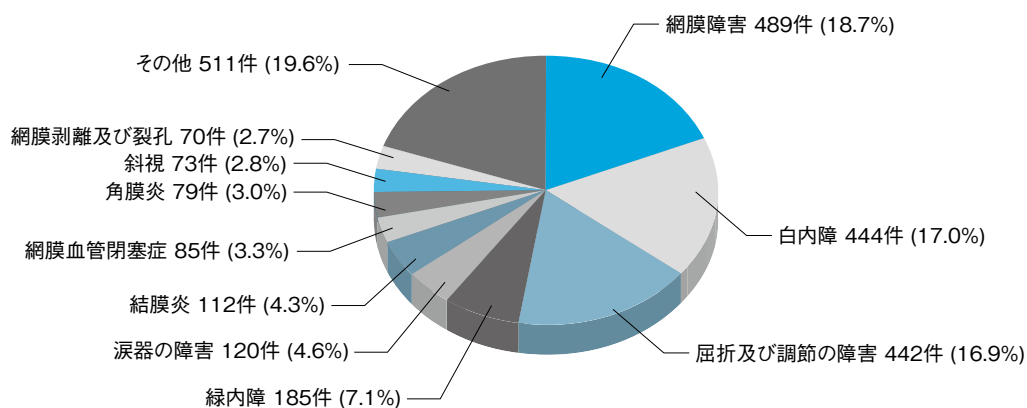
手術室において看護師・臨床工学士と協力して業務の効率化を検討中である。

眼科外来においては、今後、新しいレーザー装置の導入により、従来の網膜光凝固に加え、パターンレーザー・閾値下レーザーも施行可能となる見込みである。

（部長 佐川 宏恵）

2. 新規登録疾患

総数：2,610件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
網膜障害	詳細不明の糖尿病, 眼合併症を伴うもの	219	E143
	黄斑及び後極の変性	142	H353
白内障	乳児, 若年及び初老期白内障	249	H260
	老人性白内障, 詳細不明	84	H259
屈折及び調節の障害	乱視	436	H522
緑内障	緑内障, 詳細不明	126	H409
	緑内障の疑い	21	H400
涙器の障害	涙腺のその他の障害	104	H041
結膜炎	結膜炎, 詳細不明	72	H109
	急性アトピー性結膜炎	36	H101
網膜血管閉塞症	その他の網膜血管閉塞症	77	H348
角膜炎	角膜炎, 詳細不明	29	H169
	角膜潰瘍	20	H160
斜視	間欠性斜視	24	H503
	共同性内斜視	18	H500
網膜剥離及び裂孔	網膜剥離, 網膜裂孔を伴うもの	33	H330
	網膜裂孔, 剥離を伴わないもの	20	H333

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	22,842人	年間外来新患者数	2,089人
年間入院患者数	4,438人	年間入院新患者数	880人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	件数(件)	疾患名	件数(件)
白内障	587	硝子体黄斑牽引症候群	3
黄斑前膜	72	外傷・眼球破裂	2
緑内障	50	眼窩蜂窩織炎	2
網膜剥離	48	眼内異物	2
硝子体出血・混濁	29	眼内炎	2
糖尿病網膜症	23	眼内レンズ脱臼	2
視神経症	16	無水晶体眼	2
黄斑円孔	11	眼瞼腫瘤	1
増殖硝子体網膜症	9	内反症	1
網膜下出血	7	網膜中心動脈閉塞症	1
斜視	4	計	878
角膜穿孔	4		

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	526
網膜光凝固術(PHC)	244
レーザー後発白内障切開術(YAG)	126
レーザー虹彩切開術(LI)	48
涙点プラグ挿入	14
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	4
睫毛電気分解	3
霰粒腫摘出術	2
計	967

②外来特殊検査件数

術式	件数(件)
光干渉断層撮影(OCT)	9,489
動的量の視野検査	779
静的量の視野検査	653
蛍光眼底撮影	483
眼鏡処方	247
計	11,651

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	734
硝子体茎顕微鏡下離断術	185
流出路再建術	32
翼状片手術	23
濾過胞再建術	18
縫着レンズ挿入	12
斜視手術	11
増殖性硝子体網膜症手術	11
霰粒腫摘出術	8
硝子体注入・吸引術	7
眼瞼下垂症手術	7
網膜復位術	6
内反症手術	5
結膜縫合術	4
前房、虹彩内異物除去術	4
硝子体切除術	3
角膜・強膜縫合術	2
虹彩整復・瞳孔形成術	2
角膜・強膜異物除去術	1
外反症手術	1
眼窩内腫瘍摘出術	1
眼瞼腫瘍切除術	1
結膜肉芽腫摘除術	1
結膜嚢形成手術	1
網膜冷凍凝固術	1
計	1,081

皮膚科

1. 概要

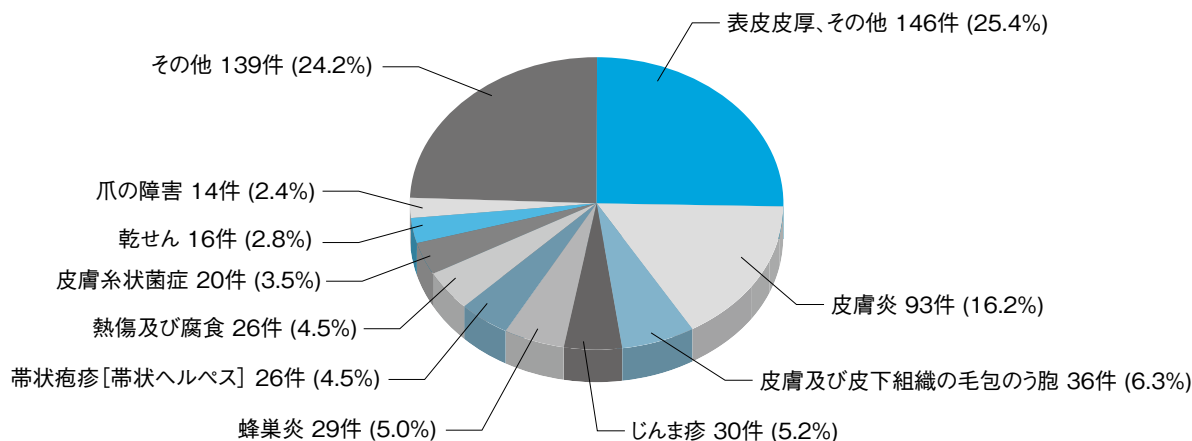
2018年の皮膚科は山田、花村、伊藤、山下の4人体制であった。外来患者数が徐々に増加してきていることと、電子カルテが新システムに移行したことがあり、外来診療時間が伸びている印象がある。入院患者は大きな変化がなかったように思われる。蜂窩織炎や褥瘡感染、带状疱疹などの感染症が多かった。また、例年に比べ重傷熱傷が少なかったように感じた。

(部長 山田 元人)

2. 新規登録疾患

(悪性新生物以外)

総数：575件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
表皮肥厚、その他	皮膚乾燥症	45	L853
	皮膚の慢性潰瘍, 他に分類されないもの	35	L984
皮膚炎	皮膚炎, 詳細不明	21	L309
	薬物及び薬剤による全身の発疹	16	L270
皮膚及び皮下組織の毛包のう胞	表皮のう胞	36	L720
じんま疹	じんま疹, 詳細不明	27	L509
蜂巣炎	蜂巣炎, 詳細不明	26	L039
带状疱疹[带状疱疹]	带状疱疹, 合併症を伴わないもの	24	B029
熱傷及び腐食	第2度熱傷, 部位不明	11	T302
皮膚糸状菌症	足白せん	10	B353
乾せん	尋常性乾せん	15	L400
爪の障害	ボー線	9	L604
	かん入爪(甲)	4	L600

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,980人	年間外来新患者数	3,122人
年間入院患者数	5,446人	年間入院新患者数	311人

(2) 悪性新生物

	部 位	件 数 (件)		部 位	件 数 (件)
1	有棘細胞癌	42	4	パジェット病	5
2	基底細胞癌	45	5	その他	24
3	悪性黒色腫	12		計	128

(3) 良性腫瘍、熱傷、膠原病

	部 位	件 数 (件)		部 位	件 数 (件)
1	良性腫瘍	979	5	皮膚筋炎	54
2	熱傷	123	6	全身性エリテマトーデス	20
3	血管炎	41	7	シェーグレン症候群	7
4	全身性強皮症	7		計	1,231

泌尿器科

1. 概要

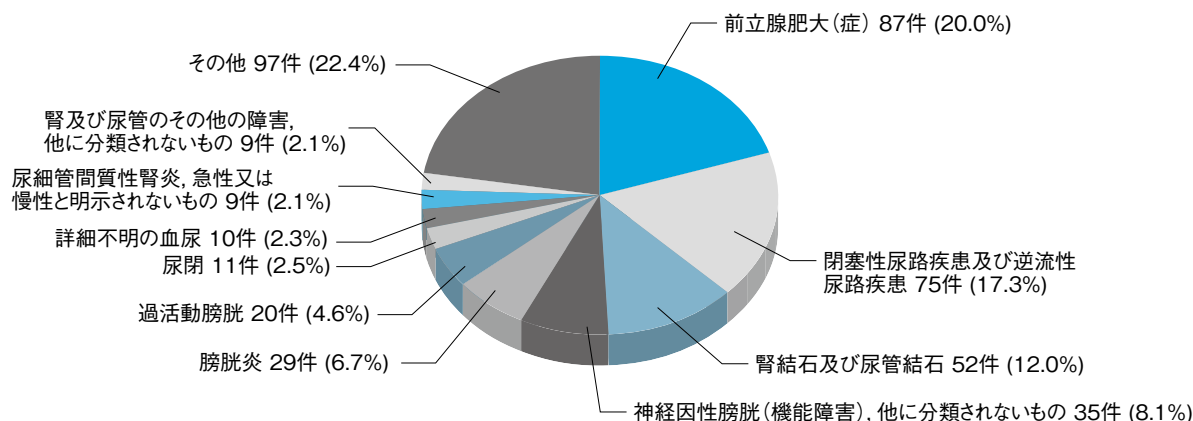
2018年、東三河地区における当院への一極集中状況に大きな変化はなく、相変わらず忙しい日々を送っている。泌尿器悪性腫瘍に対する低侵襲手術は小切開手術、腹腔鏡手術を中心に相変わらず月単位の手術待機をお願いする状況である。ロボット支援手術は、前立腺癌手術の標準手術の地位を確立、腎癌に対する腎部分切除、膀胱癌に対する膀胱全摘術も順調に症例数を伸ばし、当科における日常的な手術の一つとなった。さらに前立腺癌のより正確な診断を求めてMRI-超音波画像融合前立腺生検法が全国で11番目の先進医療として施設認可を受け、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤等の新規薬剤を含むがん化学療法の症例も増加の一途をたどるなど、泌尿器科悪性腫瘍の分野においてよりよい医療を提供する努力を続けている。良性疾患に対しては、排尿ケアチームの活動が徐々に実を結び始め、病院全体の排尿排泄管理意識の向上が見受けられる。結石に対する内視鏡治療など、一般泌尿器科診療を含め、さらなる高みを目指し続けた一年であった。

(部長 長井 辰哉)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

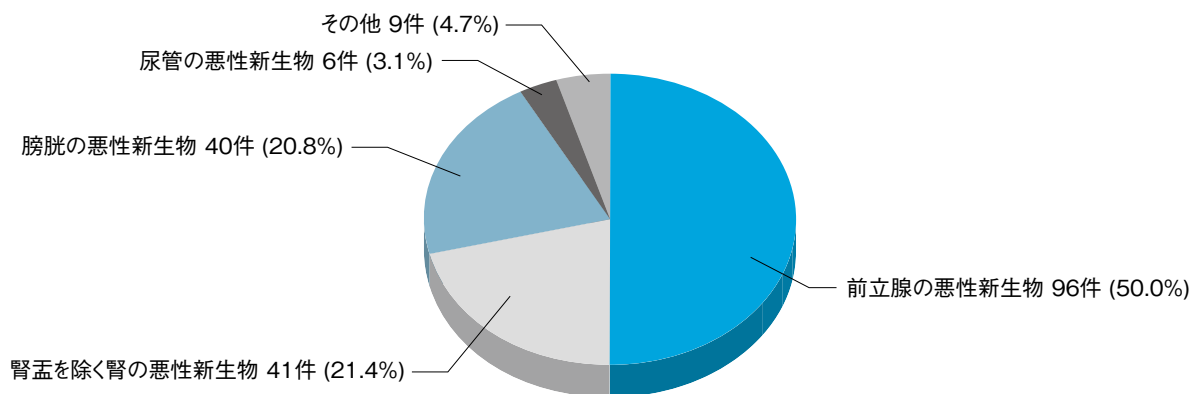
総数：434件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
前立腺肥大(症)	前立腺肥大(症)	87	N40
閉塞性尿路疾患及び逆流性 尿路疾患	腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症	46	N132
	その他及び詳細不明の水腎症	15	N133
腎結石及び尿管結石	尿管結石	34	N201
	腎結石	8	N200
神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの	神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明	34	N319
膀胱炎	その他の膀胱炎	18	N308
	急性膀胱炎	7	N300
過活動膀胱	過活動膀胱	20	N328
尿閉	尿閉	11	R33
詳細不明の血尿	詳細不明の血尿	10	R31
尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの	尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの	9	N12
腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	腎のう胞, 後天性	9	N281

(2) 悪性新生物

総数：192件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
前立腺の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	96	C61
腎盂を除く腎の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	41	C64
膀胱の悪性新生物	膀胱の悪性新生物, 膀胱, 部位不明	40	C679
尿管の悪性新生物	尿管の悪性新生物	6	C66

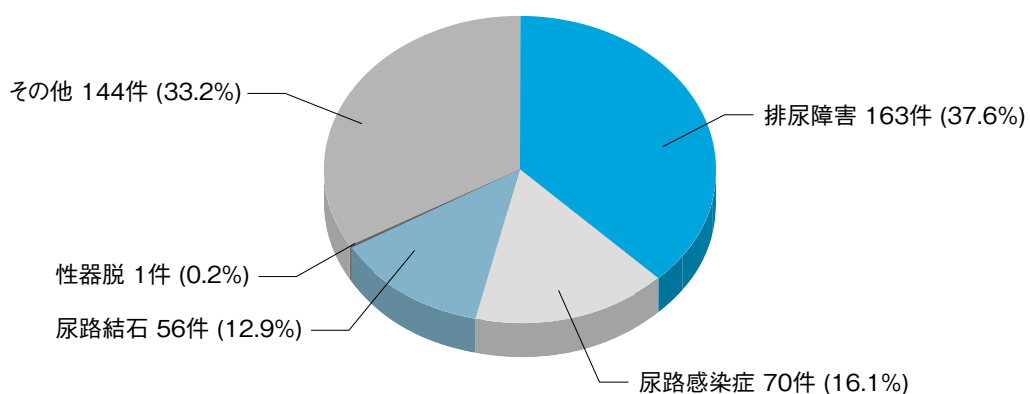
3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,196人	年間外来新患者数	1,717人
年間入院患者数	12,533人	年間入院新患者数	1,253人

(2) 悪性新生物以外の疾患別頻度

総数：434件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
排尿障害	前立腺肥大(症)	87	N40
	神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明	34	N319
尿路感染症	その他の膀胱炎	18	N308
	尿細管間質性腎炎,急性又は慢性と明示されないもの	9	N12
尿路結石	尿管結石	34	N201
	腎結石	8	N200

放射線科

1. 概要

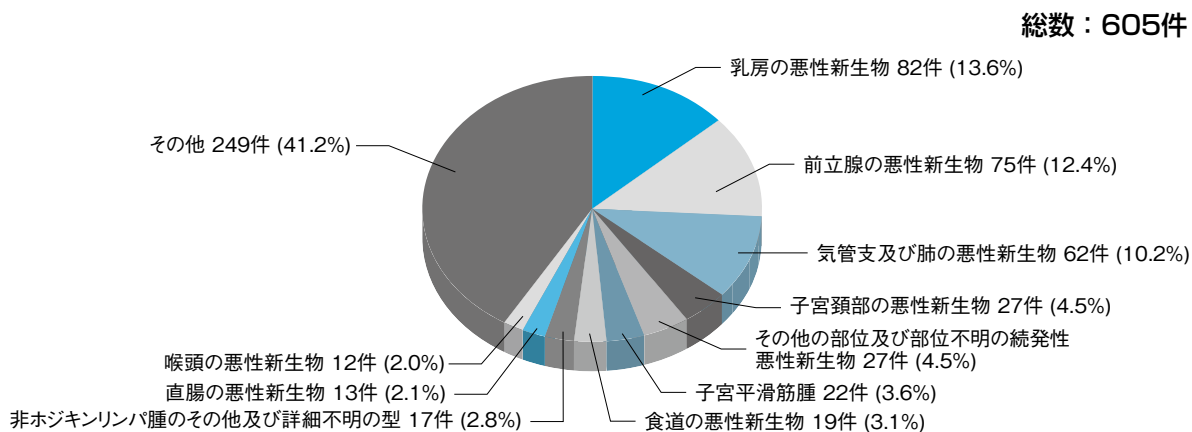
2018年1月には石原部長、高田副部長、中道医長、石口医員、山田医員の5人であったが、6月末に中道医長の異動、7月に島本医員の赴任があり、2018年12月には石原、高田、石口、山田、島本の5人で診療している。画像診断は高田、石口、島本の3人、放射線治療は石原、山田の2人が担当している。

この1年の最大のイベントは2月の読影室移転であった。スペースが広がり、診察室と隣接していることもあり、読影環境は向上している。CTが4台に増えたことなどにより、読影依頼件数も増加している。

この1年間の業務実績は、読影が34,026件（CT 23,430件、MRI 8,441件、アイソトープ 1,012件、PET-CT 1,143件）であった。その他、血管造影・IVR 114件、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法6件、去勢抵抗性前立腺癌の骨転移に対する塩化ラジウム治療4件、放射線治療の新患469件であった。

（第一部長 石原 俊一）

2. 新規登録疾患



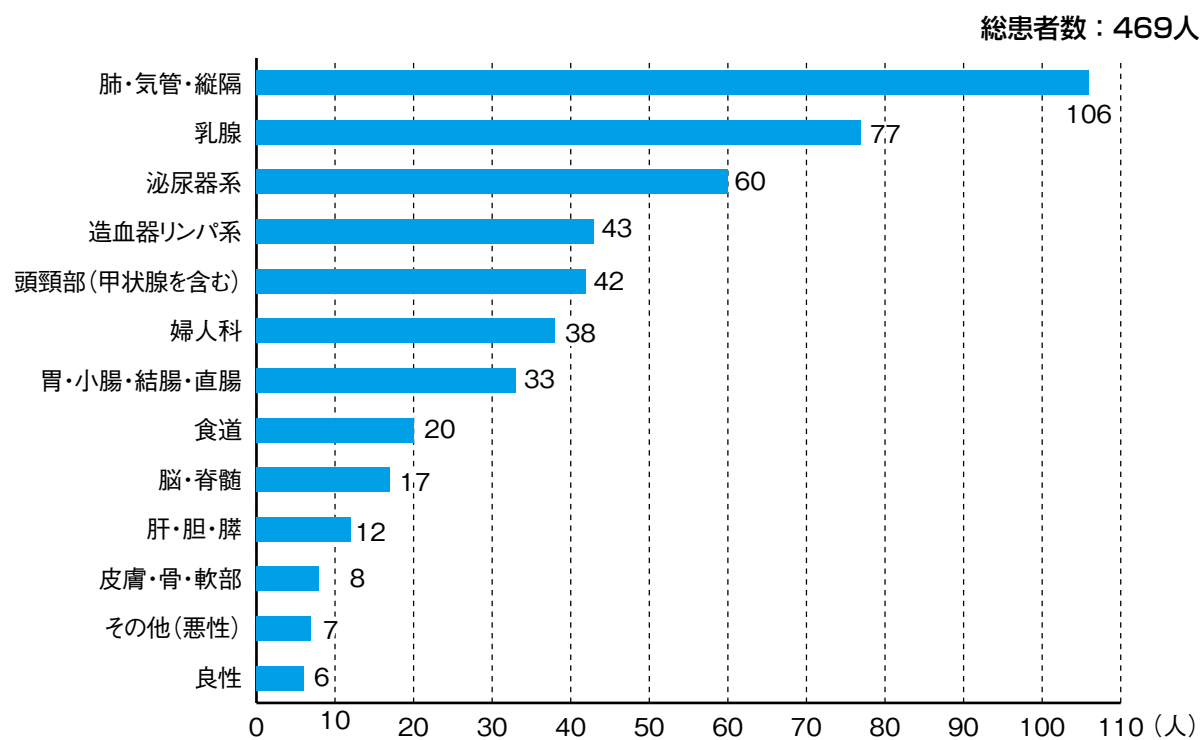
疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房, 部位不明	56	C509
	乳房の悪性新生物, 乳房上外側 4 分の 1	12	C504
前立腺の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	75	C61
気管支及び肺の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物, 気管支又は肺, 部位不明	29	C349
	気管支及び肺の悪性新生物, 上葉, 気管支又は肺	17	C341
子宮頸部の悪性新生物	子宮頸部の悪性新生物, 子宮頸(部), 部位不明	27	C539
その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	骨及び骨髄の続発性悪性新生物	14	C795
	脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物	12	C793
子宮平滑筋腫	子宮平滑筋腫, 部位不明	22	D259
食道の悪性新生物	食道の悪性新生物, 胸部食道	15	C151
非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型	非ホジキンリンパ腫, 詳細不明	17	C859
直腸の悪性新生物	直腸の悪性新生物	13	C20
喉頭の悪性新生物	喉頭の悪性新生物, 声門	5	C320
	喉頭の悪性新生物, 喉頭, 部位不明	4	C329

3. 活動報告

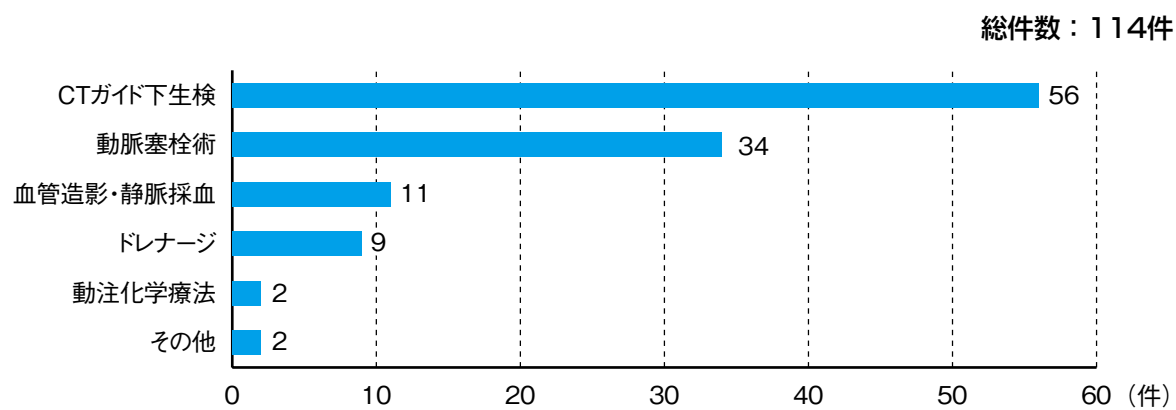
(1) 患者状況

年間外来患者数	14,994人	年間外来新患者数	766人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

(2) 放射線治療原発部位別患者数



(3) 血管造影・IVR手技別件数



麻酔科（ペインクリニック）

1. 概要

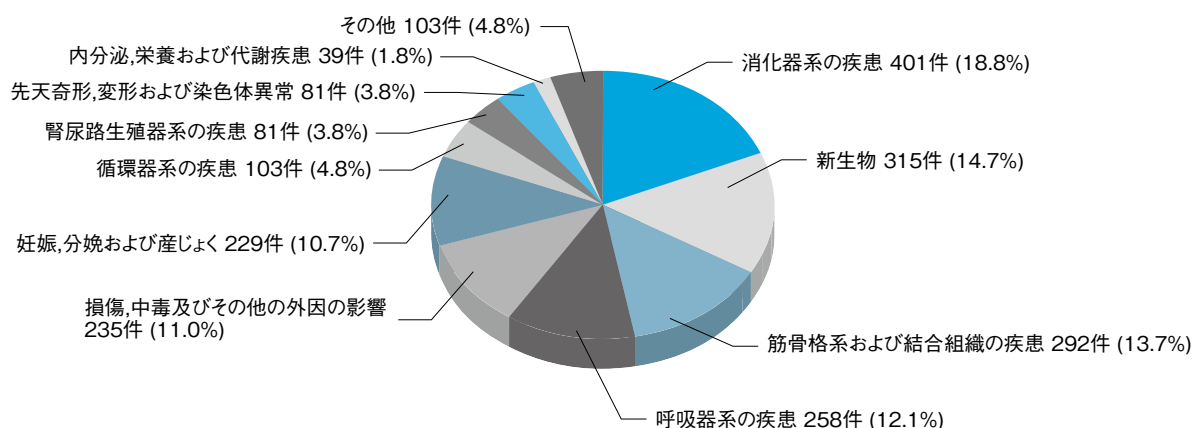
2018年には産休育休取得者が2人いたが、当院への赴任が4月1人と7月1人あり、当院研修医からも1人入局したため、麻酔科担当症例はその分増加した。年間の総手術件数は8,085件であり、全身麻酔件数は3,943件であった。麻酔科管理症例は2,782件であり、そのうち麻酔科管理の全身麻酔は2,545件であった。麻酔科管理の緊急症例は469件あった。各部屋の監視装置を新型に更新することにより、状況把握時間を短縮することができた。デスフルラン気化器が14台に増えた。新しい麻酔関連機器や薬剤を整備でき、全国的にも誇れる麻酔環境が整った。2019年には挿管困難対策機器を更新することで挿管の安全性を高める予定である。また手術室3部屋増設により、1部屋を超緊急手術用の部屋として固定できるため、手術室運営が好転することが期待される。産休育休取得者が1人いて、短時間勤務者が3人に増えるが、4月から他院から専攻医が1人入局するため、麻酔科担当症例は若干増加すると推測される。

（第一部長 寺本 友三）

2. 新規登録疾患

（1）悪性新生物以外

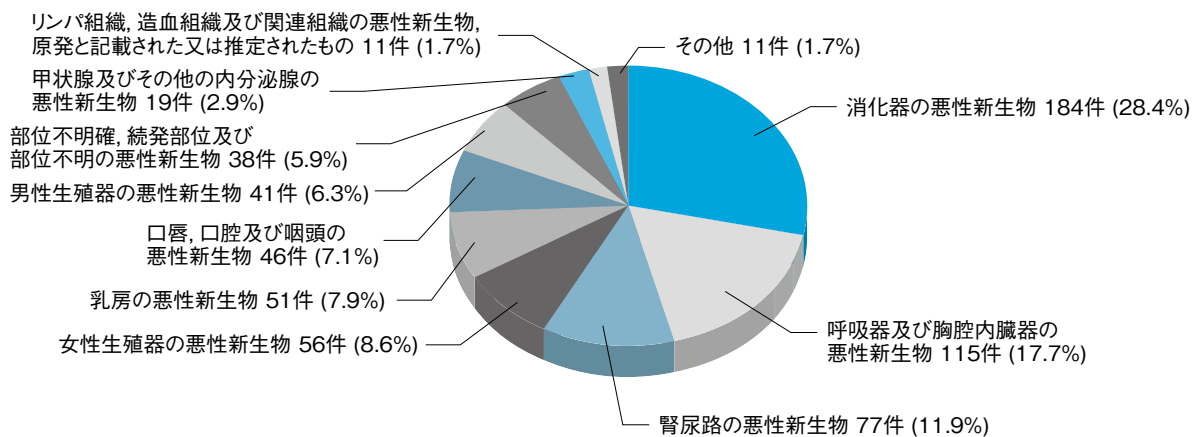
総数：2,137件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
消化器系の疾患	口腔, 唾液腺及び顎の疾患	113	K00-K14
	ヘルニア	83	K40-K46
新生物	良性新生物	167	D10-D36
	性状不詳又は不明の新生物	146	D37-D48
筋骨格系および結合組織の疾患	脊椎障害	137	M40-M54
	関節障害	129	M00-M25
呼吸器系の疾患	上気道のその他の疾患	159	J30-J39
	胸膜のその他の疾患	50	J90-J94
損傷,中毒及びその他の外因の影響	頭部損傷	38	S00-S09
	腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	36	S30-S39
妊娠,分娩および産じょく	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	100	O30-O48
	分娩	56	O80-O84
循環器系の疾患	脳血管疾患	49	I60-I69
	動脈, 細動脈及び毛細血管の疾患	23	I70-I79
腎尿路生殖器系の疾患	女性生殖器の非炎症性障害	46	N80-N98
	腎不全	11	N17-N19
先天奇形,変形および染色体異常	唇裂及び口蓋裂	27	Q35-Q37
	生殖器の先天奇形	12	Q50-Q56
内分泌,栄養および代謝疾患	その他の内分泌腺障害	25	E20-E35

(2) 悪性新生物

総数：649件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
消化器の悪性新生物	直腸の悪性新生物	33	C20
	結腸の悪性新生物, S 状結腸	30	C187
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	気管支及び肺の悪性新生物, 下葉, 気管支又は肺	47	C343
	気管支及び肺の悪性新生物, 上葉, 気管支又は肺	43	C341
腎尿路の悪性新生物	腎盂を除く腎の悪性新生物	33	C64
	膀胱の悪性新生物, 膀胱, 部位不明	16	C679
女性生殖器の悪性新生物	子宮体部の悪性新生物, 子宮内膜	20	C541
	卵巣の悪性新生物	16	C56
乳房の悪性新生物	乳房の悪性新生物, 乳房上外側 4 分の 1	17	C504
	乳房の悪性新生物, 乳房上内側 4 分の 1	11	C502
口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物	舌のその他及び部位不明の悪性新生物, 舌, 部位不明	16	C029
男性生殖器の悪性新生物	前立腺の悪性新生物	38	C61
部位不明確, 続発部位及び部位不明の悪性新生物	肺の続発性悪性新生物	17	C780
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	甲状腺の悪性新生物	18	C73
リンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物, 原発と記載された又は推定されたもの	非ホジキンリンパ腫, 詳細不明	4	C859

3. 活動報告

(1) 主要備品（2019年分も含む）

1. 患者監視装置

①Philips社製 セントラルモニタ IntelliVue インフォメーションセンタ 1式（2017年更新）

②Philips社製IntelliVue MP 70、90 （4台）、MX700（7台）、MX800（8台）

2. 手術部門システム Philips社ORSYS 電子カルテと連動（2017年更新）

術前術後診察機能、同意書作成機能、血中濃度シュミレーター付、縦型24インチタッチパネルモニタ18台、看護端末16台とデータ連係、ステータスモニタ5台、管理端末6台、Web機能によりすべての電子カルテ端末より参照可

3. 超音波診断装置

①心臓麻酔用GE社製 VividS70 1台、Vivid i 1台

②中心静脈穿刺用GE社製 Venue40 Anesthesia 1台

③神経ブロック用ソノサイト社製 S-Nerve 1台

④神経ブロック用GE社製 LOGIQ e Premium 2台

4. 静脈麻酔システム

①テルモ社製ディプリバン専用TCIポンプ 18台

②テルモ社製シリンジポンプ 94台（架台16式）

5. 挿管支援器具

①ペンタックス社製 エアウェイスコープ 10台

②McGRATH MAC 32台（手術室以外の主要部署にも配置）

リハビリテーション科

1. 概要

リハビリテーション科の診療は、リハビリテーションセンターと院内各病棟のベッドサイドで行っている。

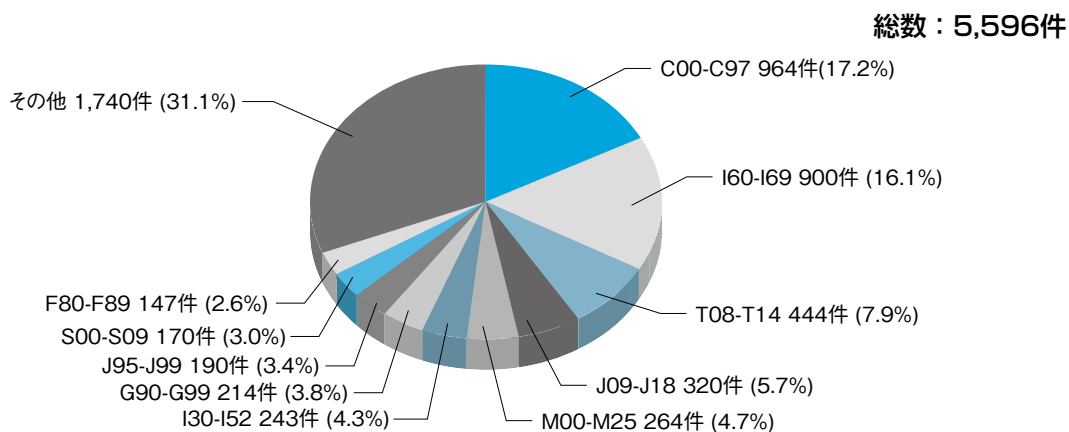
外来診療は、市内の病院・医院では行っていない小児の運動・言語発達遅滞及び神経難病が主な対象疾患である。また、当院入院中のリハビリを外来で継続する場合もある。

入院診療では、脳卒中、頭部外傷、脳神経・脊髄神経疾患の脳血管リハビリ、骨・関節の外傷や疾患への運動器リハビリ、虚血性心疾患や心不全に対する心大血管リハビリ、肺炎・慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器リハビリ、嚥下障害への嚥下リハビリを行っている。また、がん治療の入院患者に行う、がん患者リハビリにも対応している。当院の診療は急性期リハビリが中心であり、地域連携パスを通じて回復期リハビリ病棟を持つ病院に転院できるシステムが整えられている。

2018年から一部病棟で入院患者の日常生活活動の維持・向上を目的としたリハビリを、またリンパ浮腫への新たな対応を開始した。

(部長 石川 知志)

2. 新規登録疾患



ICD-10 中間分類項目
C00-C97:悪性新生物
I60-I69:脳血管疾患
T08-T14:部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷
J09-J18インフルエンザ及び肺炎
M00-M25:関節障害
I30-I52:その他の型の心疾患
I60-I69:脳血管疾患
J95-J99:呼吸器系のその他の疾患
S00-S09:頭部損傷
F80-F89:心理的発達の障害

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	5,681人	年間外来新患者数	18人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人

病理診断科

1. 概要

病理診断科は生検や手術検体の病理組織診断、術中迅速診断、細胞診検査、病理解剖を行っている。また病理診断科を選択した研修医の実習・教育および臨床各科から依頼された学術報告への協力、院内カンファレンスへの参加も同時に行っている。これらの業務を常勤病理医1人と非常勤病理医6人で行った。非常勤病理医は浜松医大から3人、名古屋大学から2人、藤田医科大学から1人派遣された。

2018年の病理組織検査の依頼件数は12,608件で、そのうち術中迅速診断は520件であった。病理解剖は24件で、定期的にCPCを開催し、臨床各科を交えて、症例の診断・治療、病態・死因についての詳細な検討を行った。CPCは研修医の教育の場としても重要で、研修医が一例以上を担当し、症例の発表・報告を行った。提示症例は貴重例が多く教育的効果は大きいものがあつた。さらに剖検診断結果は日本病理学会が刊行している日本病理剖検輯報に掲載され、広く医学に貢献している。

浜松医科大学と名古屋大学の6年次生の臨床実習を引き受けており、浜松医科大学から4人と名古屋大学から1人を受け入れた。

(部長 前多 松喜)

臨床検査科

1. 概要

2012年8月より臨床検査科が開設され、検体検査管理加算（Ⅰ）・（Ⅳ）算定の許可を受けている。2014年度に日本臨床検査医学会臨床検査管理医を取得した。精度が高く、かつ信頼性のある臨床検査サービスを安全に提供し、診療の質の向上に貢献することを目的としている。

精度管理充実のため、2018年も日本医師会・日本臨床衛生検査技師会・愛知県臨床検査技師会の精度管理調査に参加している。

近年、効率的な医療提供体制のために、医療機関間での検査情報の共有化が期待され、基準範囲の共用化が望まれている。このため、当院でも、2018年1月から臨床検査における共用基準範囲（JCCLS）を採用している。

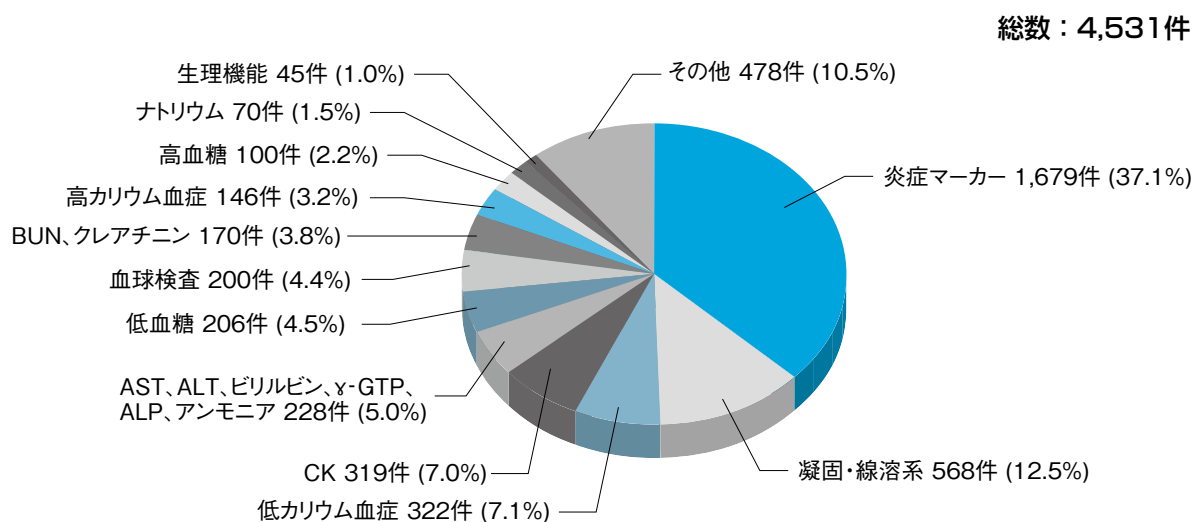
パニック値は直ちに臨床側に報告され、迅速で適切な対応に協力している。パニック値報告は前年に比べ増加した。

また、臨床検査室に特化した、品質と能力に関する国際規格であるISO15189に基づく審査を2018年に受けた。ISO15189の認定取得をした臨床検査室の検査値は国際的に通用することを意味する。

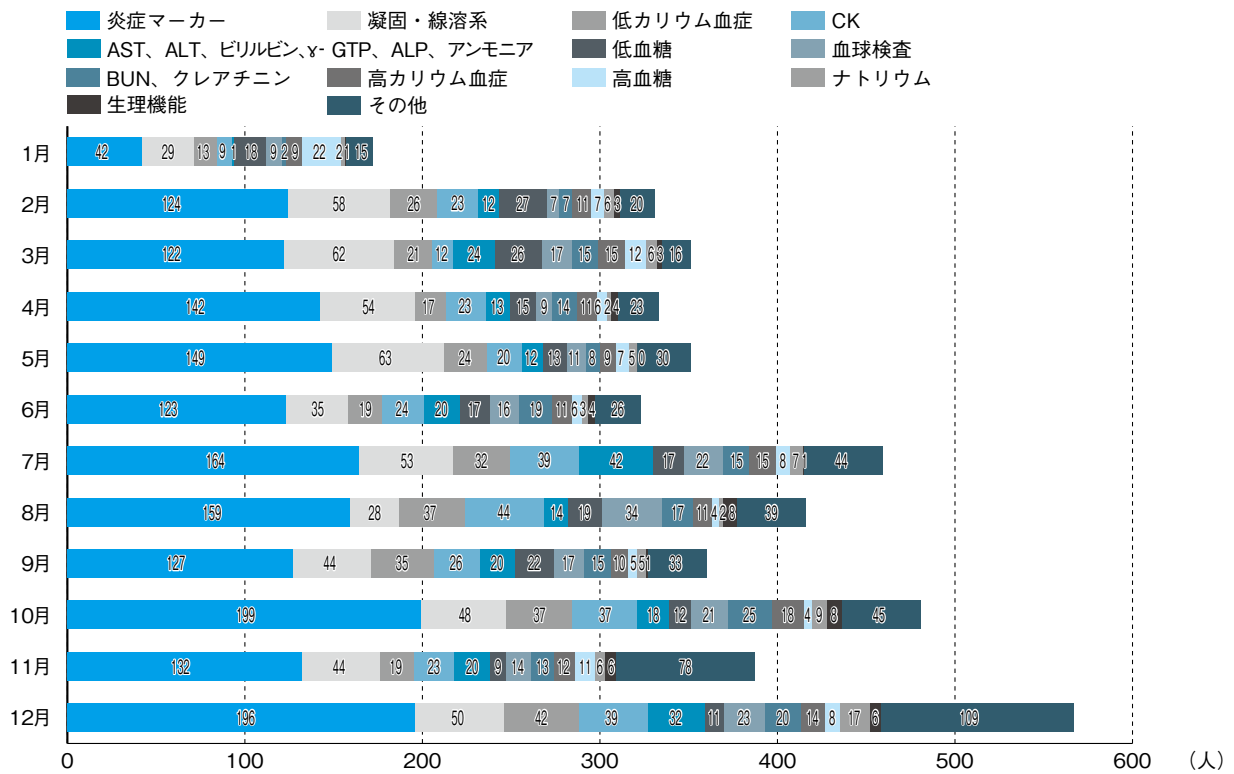
（副部長 出井 里佳）

2. 新規登録疾患

（1）パニック値頻度



(2) 月別パニック値報告



歯科口腔外科

1. 概要

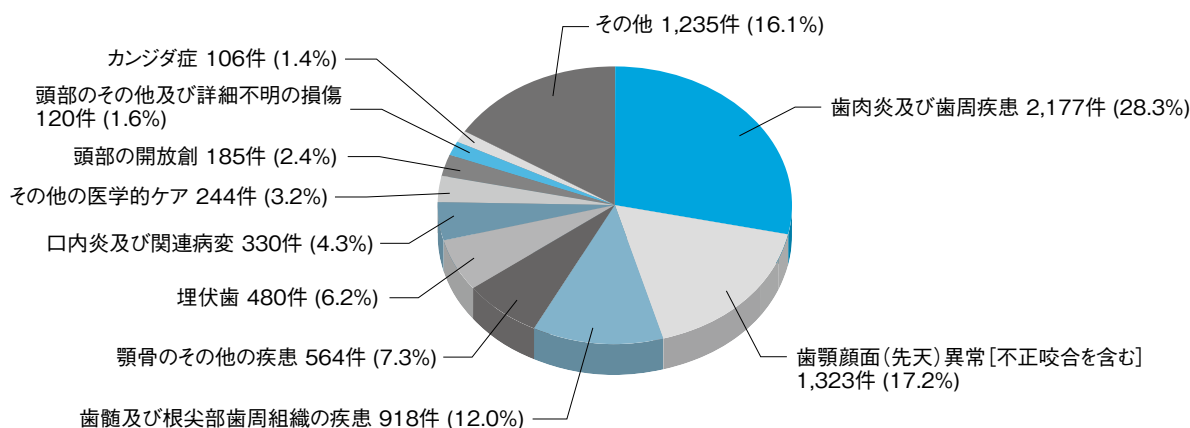
当科は地域医療支援病院の中の口腔外科としての役割を果たすため、密な病診連携の下、豊橋市内外の医科や歯科から多くの紹介をいただきながら、顎口腔領域及び歯科領域の外科治療、ならびに周術期口腔機能管理を行っている。本年度も口腔外科的疾患の各分野においてはほぼ例年通りの安定した患者数を維持している。なかでも顎顔面外傷においては、早期対応・早期治療・早期の社会復帰をモットーに関連各科との医療連携により質の高い医療を提供するよう心掛けている。また、口腔がん治療ではEBMを主軸に、根治と機能温存の両面から手術を主体とした集学的治療を提供し、さらには個々の患者の状況に合わせQOLの維持・向上を視野に入れた治療をも行ってきた。今後も継続していく予定である。歯科的分野においては、昨年にも増して院内患者の周術期口腔管理の依頼件数が増加している。平成30年の診療報酬改定でその適応範囲が大幅に拡大されたためと考えられ、今後もさらなる増加が見込まれると予想されるが、マンパワーや診療室の確保の必要性に加え、専門的な口腔管理の提供体制の見直しなど今後の課題が浮き彫りとなった一年でもあり、質の高い口腔管理の提供に向けた何らかの打開策を講じる必要があるものと思われた。まずは、周術期における口腔の合併症予防のためにも密でシームレスな医療連携を基本に、今後も進めていく予定である。

(第一部長 嘉悦 淳男)

(文責 副部長 寺沢 史誉)

2. 新規登録疾患

総数：7,682件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
歯肉炎及び歯周疾患	慢性歯周炎	2,164	K053
歯顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む]	歯の位置異常	948	K073
	顎関節障害	361	K076
歯髓及び根尖部歯周組織の疾患	慢性根尖性歯周炎	838	K045
	歯根のう胞	41	K048
顎骨のその他の疾患	炎症性顎骨病態	556	K102
埋伏歯	埋伏歯	477	K011
口内炎及び関連病変	その他の型の口内炎	316	K121
その他の医学的ケア	その他の明示された医学的ケア	244	Z518
頭部の開放創	口唇及び口腔の開放創	146	S015
	頭部のその他の部位の開放創	29	S018
頭部のその他及び詳細不明の損傷	頭部の詳細不明の損傷	120	S099
カンジダ症	カンジダ性口内炎	106	B370

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	14,955人	年間外来新患者数	3,349人
年間入院患者数	2,671人	年間入院新患者数	494人

(2) 外来・入院症例数

①外来初診

疾患名	件数(件)
口腔歯の形態異常	1,269
口腔管理	1,111
一般歯科疾患	621
外傷	317
粘膜疾患	234
顎関節疾患	141
炎症感染症	112
嚢胞	104
良性腫瘍	85
顎顔面の形態異常	57
神経疾患	36
唾液腺疾患	27
悪性腫瘍	21
唇顎口蓋裂	20
口腔機能疾患	13
その他	1
計	4,169

②入院

疾患名	件数(件)
口腔歯の形態異常	269
悪性腫瘍	65
良性腫瘍	36
唇顎口蓋裂	30
嚢胞	28
外傷	22
炎症感染症	16
一般歯科疾患	13
顎顔面の形態異常	8
唾液腺疾患	5
粘膜疾患	3
計	495

医療安全管理室

1. 概要

2018年4月より、再任用の薬剤師1名を主査として迎え、副院長である室長を筆頭に、6人の専従職員と6人の兼務職員の計13人の組織となった。

2018年度診療報酬改定において、「医療安全対策地域連携加算」が新設され、当院も新たな加算に基づき他施設との連携・相互チェックに参加した。医療安全対策加算1を取得している施設との相互チェックでは、他施設の医療安全管理者が何を考えどのように活動しているのか、新たな情報やそのノウハウを獲得する良い機会となった。また、医療安全対策加算2を取得している施設訪問では、専任の医療安全管理者が他の業務と兼務しながら活動しており、組織体系の整備も不十分な状況を知ることができた。東三河の中核病院として、この連携を活用し、自施設の医療安全体制の強化及び、地域において安全な医療を提供できる仕組み作りの支援ができるように、今後も継続的に関わっていききたい。

(室長 河井 通泰)

(文責 副室長 宇田あゆみ)

2. 活動報告

本年度は、当院のインシデント・アクシデント報告の中で最も多い、転倒・転落発生件数を少しでも減らせないかと考えた。看護局でリンクナース制度を導入し、医療安全・感染対策に対する委員会として、新たに看護セーフティ委員会が設立された。そこで、セーフティリンクナースを活用し、転倒・転落による有害事象(アクシデントレベル2以上)の発生件数を減らす取り組みを行った。結果としては、アクシデントレベル2以上の転倒・転落発生件数は前年度110件から本年度159件と増加したが、アクシデントレベル3b以上の転倒・転落発生件数は、前年度20件から本年度10件と大幅に減少した。これは、患者観察の強化、受傷の有無の確認のための検査依頼が増え、スタッフの意識変容が報告書の増加につながったためとも考えられる。また、リンクナース会での学びを職場内で共有し、事例カンファレンスなどを実施し、発生時対応が強化された成果といえる。転倒・転落は患者側に要因がある場合が多く、発生件数を減らすことは困難だが、患者が安全に治療を受けられる環境作りを多職種と共に検討し、今後も有害事象を少しでも減らせるように活動を継続していききたい。

(1) 医療安全管理たより (20通配信)

配信日	タイトル
7月24日	転倒・転落時の対応について
9月7日	ナイス！ サポート！ ☆☆☆
10月5日	酸素ボンベの取扱いに注意
10月5日	湿布薬の使用について
10月5日	内部監査を実施しました
10月16日	平成30年医療安全に関する標語募集
10月30日	【薬剤のリスクについて】～ご質問にお答えします～
11月12日	【医療被ばく・MRI】 ご質問にお答えします No1
11月12日	【医療被ばく・MRI】 ご質問にお答えします No2
11月22日	【呼吸療法・酸素療法】～ご質問にお答えします～
11月28日	硬膜外カテーテル固定時の注意
12月10日	検査室に採血スピッツを送る時の注意
12月10日	麻薬の取り扱いに注意
12月11日	平成30年度医療安全に関する標語入賞者発表
12月26日	つり下げ式点滴スタンドが落ちました
12月26日	医療安全推進月間の取り組みありがとうございました
1月9日	薬剤ミキシング時のルールについて
1月30日	組織の凝固及び切開器具の使用時の注意
2月5日	胃管の誤挿入防止について
2月7日	電子カルテの「情報」ボタンの使用【DNR】に関する記載について

(2) 院内安全ラウンド (19回実施)

回	日付	訪問病棟等
1	5月15日	東西2階・東西3階
2	6月5日	病棟4階・東西5階
3	6月19日	東西6階・東西7階
4	7月3日	東西8階・東西9階
5	7月17日	手術センター・NMC・血液浄化センター
6	8月7日	中央臨床検査室・外来1階・外来2階
7	8月21日	薬局・放射線技術室・救急外来
8	9月4日	リハビリセンター・南病棟
9	9月18日	【内部監査】
10	10月2日	東西2階・東西3階
11	10月16日	病棟4階・東西5階
12	11月6日	東西6階・東西7階
13	11月20日	東西8階
14	11月27日	東西9階
15	12月4日	手術センター・NMC・血液浄化センター
16	12月18日	中央臨床検査室・外来1階・外来2階
17	1月15日	薬局・放射線技術室・救急外来
18	2月 5日	リハビリセンター・南病棟
19	2月19日	【フォローアップ監査】

(3) 医療安全推進月間の取り組み

本年度の医療安全重点目標である、①「あいさつと 笑顔でできる 良い病院」 ②「職種越え 声をかけ合い 安全確認」について、各部署で具体的な行動目標を立て、強化月間として取り組んだ。①については、重点目標を意識することで、日々の行動を振り返り、挨拶と共に丁寧な対応を心がけることにつながった。②については、相手の状況に合わせた伝達や連絡がまだまだ不十分であることに気づき、今後も相手に伝わる報告・連絡・相談ができるよう行動を変えていく必要がある。また多職種連携が深まってくる中で、多職種カンファレンスを通じ、患者の安全につながる活動への取り組みも充実してきている。

(4) 医療安全地域連携相互チェック

本年度は初めての試みであったため、国立病院機構の「医療安全相互チェックシート」を活用し、医療安全管理体制についてのみチェックを実施した。次年度以降は、チェック項目を検討し、相互に学び合うことで、より安全かつ質の高い医療の提供につなげたい。

日程	チェック対象病院	チェック実施病院
平成30年11月7日(水)	豊橋市民病院	豊橋医療センター
平成30年11月20日(火)	豊橋医療センター	豊橋市民病院
平成30年12月12日(水)	弥生病院	豊橋市民病院
平成30年12月19日(水)	長屋病院	豊橋市民病院

診療記録管理室

1. 概要

診療記録管理室は、カルテの点検、診療記録監査、紙カルテの貸出管理、院内がん登録を主な業務としており、カルテの点検では重点的に「入院時記録」「入院診療計画書」「退院時サマリ」の点検を行っている。

診療記録の質の向上を図るため、医師の診療記録を対象に2段階による診療記録監査を行っている。当院独自の評価基準項目による一次監査を実施し、一次監査の基準点を下回るものについては、医師やメディカルスタッフを交えた二次監査を行っている。医師及び研修医を対象に年3回実施し、結果は診療記録管理委員会に報告し、監査対象者に通知している。

紙カルテ貸出管理として、平成8年から平成22年4月分までの紙カルテを管理している。電子カルテに移行後8年経過しても、診療情報提供や症例の研究・調査、診断書作成等の理由により、貸出依頼は続いている。外来カルテの貸出依頼は昨年と変わらず年3,000件以上あり、入院カルテの貸出依頼は廃棄の影響もあり、昨年より大幅減少して年300件程度となっている。

当院は地域がん診療連携拠点病院に承認されているため、院内がん登録は重要な業務であり、2010年から年2,000件以上の症例を登録している。

今年度は診療記録管理業務に従事する職員の採用に積極的に取り組み、上位の施設基準である「診療記録管理体制加算1」を平成30年12月に取得した。

(診療記録管理室長 杉浦 勇)

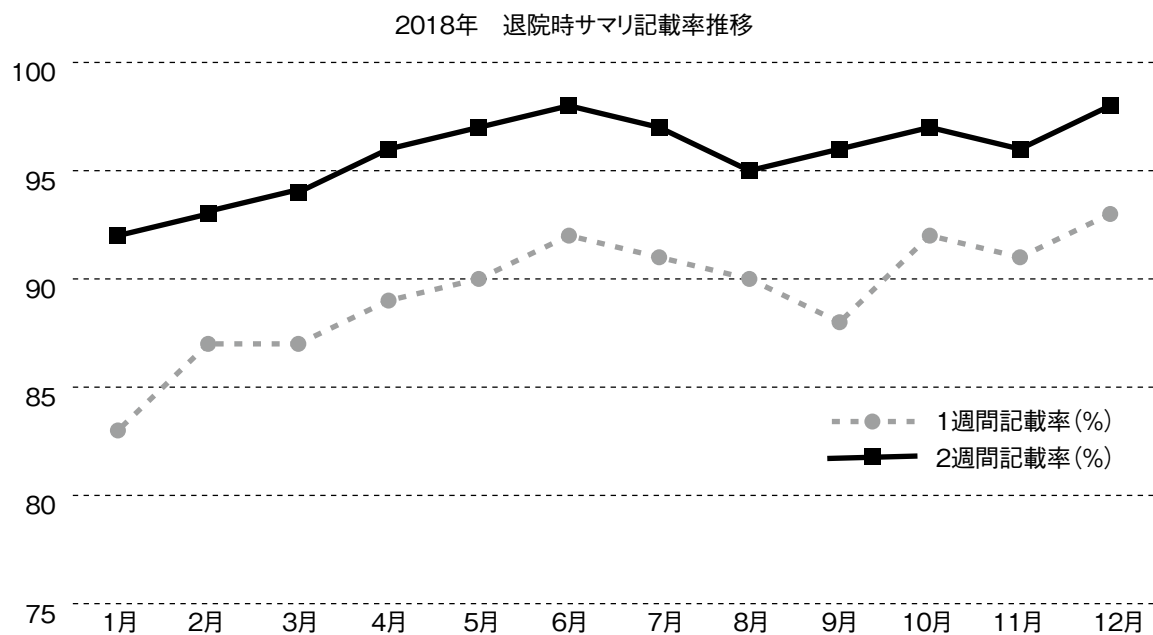
2. 活動報告

(1) 診療記録監査

(件)

		第1回		第2回		第3回	
		医師	研修医	医師	研修医	医師	研修医
平成28年度	一次監査監査対象	21	12	21	12	21	12
	二次監査監査対象	0	0	5	0	1	0
	診療記録管理委員会 <基準点60点以下報告>	0	0	4	0	1	0
平成29年度	一次監査監査対象	23	12	23	12	23	12
	二次監査監査対象	0	0	0	0	0	0
	診療記録管理委員会 <基準点60点以下報告>	0	0	0	0	0	0
平成30年度	一次監査監査対象	46	24	46	24	46	24
	二次監査監査対象	5	3	6	1	0	2
	診療記録管理委員会 <基準点70/75点以下報告>	5	0	5	0	0	2

(2) 退院時サマリ



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1週間記載率(%)	83	87	87	89	90	92	91	90	88	92	91	93
2週間記載率(%)	92	93	94	96	97	98	97	95	96	97	96	98

臨床研究管理室

1. 概要

2018年度は室長、副室長（2人）、事務（5人）の計8人で活動した。主な業務内容は以下の5つである。

- ① 臨床研究審査書類の作成補助 ② 臨床研究審査委員会の運営
- ③ 実施中の臨床研究の進捗管理 ④ 重篤な有害事象の審査 ⑤ 申請様式等の管理

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に加え、「臨床研究法」が2018年4月に施行された。法の対象となる特定臨床研究については、施行後1年間を期限として経過措置がとられることとなり、当院では12件の研究が該当した。いずれも院外のCRB(認定臨床研究審査委員会)での審査・承認を経て、当院での実施の可否についての承認通知書発行の手続きに対し、迅速に対応した。

また、臨床研究に関する教育の履修に対応した「ICR臨床研究入門（ICRweb）」について2018年度より施設契約を行い、e-ラーニングでの教育支援体制を整えた。初年度は基本コースの契約としたが、2019年度以降は全講座を対象とし、さらなる教育・研修の充実をはかる。

（室長 杉浦 勇）

2. 活動報告

（1）書類受付実績

（件）

	新規申請		変更申請		計
	介入試験	観察研究	介入試験	観察研究	
平成28年度	16	39	6	8	69
平成29年度	10	52	11	9	82
平成30年度	5	61	8	6	80

（2）審査委員会・研修会開催実績

（件）

名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度
臨床研究事前審査会	12	11	12
臨床研究審査委員会	6	5	6
臨床研究に関する研修会 （豊橋がん診療フォーラム内）	1	1	1

（3）実施中の臨床研究

（件）

登録前	登録中	登録終了	観察終了	計
1	125	43	9	178

平成31年3月31日時点

感染症管理センター

1. 概要

感染症管理センターは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職員と協同し、患者と医療従事者の双方を医療関連感染から守る活動を行っている院長直属の部門である。抗菌薬適正使用支援チーム（AST）と感染対策チーム（ICT）があり、近年問題となっている薬剤耐性（AMR）対策として、ASTが抗菌薬使用状況を定期的に監視し広域抗菌薬の適正使用化をすすめた。また、抗菌薬使用ガイドライン第5版として改訂した。ICTとして、週1回定期的に院内の巡回ラウンドを行い院内感染事例の把握を行うとともに院内感染防止対策の実施状況の把握・指導を行っている。

今年度は新たに肝炎ウイルス抗原・抗体陽性患者診療実施調査を開始し新規に陽性となった患者には主治医を通して消化器内科受診を勧奨している。

（センター長 浦野 文博）

（文責 主任 伊藤 賀代子）

2. 活動報告

(1) 感染症発生動向調査

①全数報告

(件)

類型	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
二類	結核	49	41	46
三類	コレラ	0	1	0
	腸管出血性大腸菌感染症	4	5	9
	パラチフス	0	0	0
四類	A型肝炎	2	1	0
	つつが虫病	0	0	0
	デング熱	0	1	1
	マラリア	0	0	0
	レジオネラ症	9	3	2
五類	アメーバ赤痢	0	0	0
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	3	1	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	2
	急性脳炎	0	3	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1
	後天性免疫不全症候群	2	3	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1	0
	侵襲性髄膜炎感染症	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	14	3
	水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)	3	1	0
	梅毒	2	1	1
	播種性クリプトコックス症	1	2	0
	破傷風	0	1	0
	百日咳	3	0	0
	風しん	2	0	0
	麻しん	3	1	0

②小児科定点報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	RSウイルス	89	135	115
	咽頭結膜熱	0	1	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	74	85
	感染性胃腸炎	903	830	787
	水痘	11	12	12
	手足口病	5	13	1
	伝染性紅斑	2	0	0
	突発性発疹	6	2	5
	百日咳	-	1	2
	ヘルパンギーナ	11	7	8
	流行性耳下腺炎	1	29	54

③基幹定点報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	細菌性髄膜炎	1	4	6
	無菌性髄膜炎	1	1	1
	マイコプラズマ肺炎	0	5	17
	クラミジア肺炎	0	1	1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	28	18
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	133	154	137
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	2	0

④インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	インフルエンザ	1,083	893	804

⑤インフルエンザによる入院患者報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	インフルエンザ(入院患者)	139	148	116

⑥職員の感染曝露

(件)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
針刺し・切創(EPI-Net A)	41	60	61
皮膚・粘膜汚染(EPI-Net B)	12	11	11
院内結核曝露	7	5	1

⑦職員健康外来

(件)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
延べ受診者数	49	88	125

シミュレーション研修センター

1. 概要

2016年10月に開設されたシミュレーション研修センターの2018年年間利用実績は、スキルスラボ340件、セミナー室715件であった。目的別としては医師対象の主なものは、ICLS10件、CVC4件、JNTEC7件、JPTEC4件があった。看護師やその他コメディカル対象の主なものとして、新人看護師研修16件、病棟看護師補助者研修10件、起震車訓練11件、蘇生標準委員会9件等が行われた。昨年度から妊婦対象のマタニティクラス、パースクラスが月2回程度開催された。医師のみならず、看護師やその他コメディカルの勉強する場として、より一層の運営の改善と設備の充実を目指す所存である。

(センター長 富田 崇仁)

卒後臨床研修センター

1. 概要

昨年度より引き続き、様々な取り組みを実施してきた。

- ①指導体制のさらなる充実のため、昨年度より始めた指導医ミーティングだけでなく、コメディカルスタッフや看護師による指導者ミーティングを開催し、より多くの意見を集めた。
- ②愛知県産業労働センター（ウインクあいち）にて、5年生を対象とした院外病院説明会を初開催した。当院の研修制度について、より詳しく説明する機会を作った。
- ③医師臨床研修マッチングでは1人の定員割れをしたが、ただちに二次募集を行い、定員を満たすことができた。歯科医師臨床研修マッチングはフルマッチとなった。
- ④2年次研修医対象の医療講座を開催した。「保健所業務について」「保険診療について」「地域医療について」の3講座を開催することで、医療制度について学ぶ機会を設けた。
- ⑤働き方改革に向けて研修医の業務管理を徹底し、長時間労働を防いだ。
- ⑥救急外来での時間外分CTオーダーについて、診療情報を入力するように指導し、内容をセンター会議で確認することにした。

2019年度は、2020年度より臨床研修制度が見直しとなるため、整備を行っていく。

- ① ガイドラインに沿った研修プログラムの作成
- ② 一般外来研修の研修方法
- ③ 新エポックの導入

（センター長 杉浦 勇）

2.活動報告

(1) 定期委員会

平成30年7月～平成31年3月	研修管理委員会	*全3回
平成30年5月～平成31年2月	研修委員会	*全3回
平成30年5月～平成31年1月	研修医ミーティング	*全4回

(2) 行事

平成30年4月～9月	救急医学講座 *全21講座
平成30年5月5日	東海北陸地区臨床研修病院合同説明会(レジナビ) *当院ブース来場者 186人
平成30年5月11日、18日	2年次研修医対象 医療講座 (保健所業務・地域医療・保険診療)
平成30年7月8日	医学生向け 病院説明会(院内) *参加者 27人
平成30年8月25日～27日	平成31年度採用初期臨床研修医採用試験 *受験者数 医科 36人 歯科 6人 *マッチング数 医科 17人 歯科 1人 (フルマッチ)
平成30年9月28日	指導医ミーティング開催 *参加指導医数 23人
平成30年9月29日	医学生向け 院外病院説明会 *参加者 14人
平成30年10月22日～23日	平成31年度採用初期臨床研修医2次募集採用試験 *受験者数 医科 4人 *採用者数 医科 1人
平成31年1月25日	基本的臨床能力評価試験 *受験者数 1年次14人、2年次10人
平成31年2月15日	指導者ミーティング *参加指導者数 36人
平成31年3月29日	平成29年卒初期臨床研修修了 *進路 院内 医科 11人、歯科 1人 院外 医科 5人

専門医研修センター

1. 概要

2017年度に後期臨床研修センターが発足し、各種申請等の準備を行い、2018年度に新専門医制度の開始に合わせて専門医研修センターに発展した。当院は基本19領域のうち、内科、外科、小児科、産婦人科の4領域で基幹施設として認定を受けており、その他領域では連携施設となっている。様々な病院と連携することで、高次機能病院での稀な症例をはじめ、地域病院での高齢者医療等の症例も学ぶことができ、多彩で偏りのない充実した研修が可能となっている。

当センターは、新専門医制度での専門研修がスムーズに進むように基幹の各4領域と連携を取りながら、指導者による多職種評価や内科では J-OSLER（Web 評価システム）、小児科では臨床研修手帳などの評価ツールにおいて、専攻医の進捗状況を把握し専門医取得の手助けをしていく。

また、日本専門医機構認定共通講習を開催し、院内開催の医療倫理・感染対策・医療安全の必修講習でも受講証明書を発行可能とした。

（センター長 浦野 文博）

2. 活動報告

(1) 定期委員会

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月	内科専門研修プログラム管理委員会	全 2 回
	外科専門研修プログラム管理委員会	全 1 回
	小児科専門研修プログラム管理委員会	全 2 回

(2) 行事

平成 30 年 10 月 22 日～11 月 21 日	平成 31 年度 4 月採用専攻医 (専門研修プログラム) 募集	
平成 30 年 11 月 25 日・29 日	平成 31 年度採用専攻医採用試験 基幹 4 領域	受験者数 11 人 採用者数 11 人
	JMECC 開催	受講者数 6 人
平成 30 年 12 月 1 日		

豊橋市民病院が基幹施設となる専門領域

領域	連携施設	募集人数	プログラム
内科	愛知厚生連渥美病院 豊橋医療センター 岡崎市民病院 刈谷豊田総合病院 名古屋大学医学部附属病院 新城市民病院(特別連携)	12 人	豊橋市民病院内科専門研修プログラム
外科	JA静岡厚生連遠州病院 中東遠総合医療センター JA静岡厚生連静岡厚生病院 静岡済生会総合病院 愛知厚生連安城更生病院 名古屋大学医学部附属病院 愛知医科大学病院	6 人	豊橋市民病院外科専門研修プログラム
小児科	名古屋市立大学病院 あいち小児保健医療総合センター 豊川市民病院 蒲郡市民病院 愛知厚生連渥美病院 【関連施設】 豊橋医療センター 新城市民病院 豊橋市こども発達センター 豊橋市保健所保健センター 豊橋市休日夜間急病診療所	5 人	豊橋市民病院小児科研修医(専攻医)プログラム
産婦人科	名古屋第二赤十字病院 名古屋記念病院 刈谷豊田総合病院 豊田厚生病院 名古屋掖済会病院 津島市民病院	4 人	豊橋市民病院産婦人科研修プログラム

救急外来センター

1. 概要

当院の救命救急センターは、東三河地区唯一の救命救急センターとして、1次から3次までのあらゆる救急患者に対応している。救命救急センターは、主に救急外来センターと重症例が入院する救急入院センター・集中治療センターに分かれ、24時間体制をとっている。またヘリポートを併設しているため、東三河全域より、ドクターヘリまたは防災ヘリにて重症救急患者を受け入れているのが特徴である。

救急外来センターでは、医学生、研修医、地域の救急救命士等に対して毎朝カンファレンスを行い、また月例のICLSコース（突然の心停止に対して直ちに行う処置）を開催しており、院内医療スタッフ、地域救急隊ともに、質の向上を目指している。

（センター長 鈴木 伸行）

2. 活動報告

（1）年齢区分別救急外来受診患者数

診療科	15歳未満		15歳以上65歳未満		65歳以上		計
	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	患者数(人)	構成比率(%)	
総合内科	21	1.0	1,418	69.5	602	29.5	2,041
呼吸器内科	5	0.3	626	39.9	937	59.8	1,568
消化器内科	11	0.4	1,461	51.2	1,380	48.4	2,852
循環器内科	2	0.2	362	29.6	858	70.2	1,222
腎臓内科	0	0.0	95	34.8	178	65.2	273
糖尿病・内分泌内科	0	0.0	107	45.9	126	54.1	233
神経内科	3	0.2	606	40.4	892	59.4	1,501
血液・腫瘍内科	0	0.0	51	22.3	178	77.7	229
一般外科	63	5.8	450	41.5	572	52.7	1,085
小児外科	9	90.0	1	10.0	0	0.0	10
肛門外科	0	0.0	2	50.0	2	50.0	4
呼吸器外科	11	4.9	125	55.6	89	39.6	225
心臓外科・血管外科	1	1.4	21	29.2	50	69.4	72
移植外科	0	0.0	6	26.1	17	73.9	23
整形外科	423	13.7	1,644	53.3	1,019	33.0	3,086
リウマチ科	0	0.0	4	25.0	12	75.0	16
形成外科	0	0.0	0	0.0	3	100.0	3
脳神経外科	561	29.6	611	32.2	723	38.2	1,895
小児科	4,514	97.5	115	2.5	0	0.0	4,629
産婦人科	10	0.9	1,027	92.9	69	6.2	1,106
耳鼻いんこう科	235	14.0	949	56.6	493	29.4	1,677
眼科	106	22.0	261	54.1	115	23.9	482
皮膚科	280	18.0	898	57.7	379	24.3	1,557
泌尿器科	29	2.5	535	45.9	601	51.6	1,165
歯科口腔外科	99	29.0	153	44.9	89	26.1	341
こころのケア科	0	0.0	63	86.3	10	13.7	73
アレルギー内科	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2
計	6,383	23.3	11,593	42.4	9,394	34.3	27,370

(2) ICLS 参加人数 (受講者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ICLS回数	第145回		第146回	第147回	第148回	第149回	第150回	第151回	第152回		第153回	第154回
開催日	4月5日		6月14日	7月12日	8月9日	9月13日	10月11日	11月8日	12月13日		2月14日	3月14日
院内(人)	18		11	8	7	8	8	8	7		8	7
院外(人)	0		0	11	6	3	3	1	8		1	2
計(人)	18		11	19	13	11	11	9	15		9	9
スタッフ(人)	9		8	10	9	7	8	9	11		10	9

(3) 三河外傷セミナー (JPTEC)

①第70回三河外傷セミナー JPTECプロバイダーコース

開催日：平成30年6月9日（土）8：30～17：00

場 所：豊橋市民病院 セミナー室・スキルスラボ（高度放射線棟2階）

責任者：豊橋市民病院 鈴木 伸行

受講者数：医師 1人（プロバイダーコース）、研修医 18人（ミニコース） 受講・修了

②事前勉強会（セミナー対策） 計3回

開催日：平成30年6月4日、5日

(4) BLS（一次救命処置）講習会

①AHA・BLSヘルスケアプロバイダーコース

開催日：平成30年5月26日（土） 10：00～17：00

受講者数：研修医 18人 受講・修了

救急入院センター

1. 概要

救急入院センターは2013年度より設置され、センター長 平松 和洋(一般外科兼任)、副センター長 中島 基晶(麻酔科兼任)、菅沼 伸一(呼吸器内科兼任)で運営し、現在に至っている。当センターはICUに隣接し、ICU適応以外の夜間・休日の救急入院患者の受け皿として機能している。基本的に各科主治医が患者の診療を行い、センターメンバーは主に本センターの管理・運営を主体として活動している。実働病床は2013年以来、継続して12床で運営してきている。2018年4月～2019年3月までの各月の推移は以下の表のごとくである。病床利用率は60～70%であった昨年度に対し、今年後は前半の4～9月までは少なく50%前後しかなかった。その後、後半少し増加したが年間通してみた場合53%と昨年の66.6%から10%以上の減少となった。現在も引き続き入院数増加に努めている。ただし、特定救命救急病床加算算定件数は2017年度1,093件であったのに対し、2018年度は1,267件と逆に増加を示した。

例年通り本センターの当直体制はセンターのメンバーだけでなく、各科部長にも委託して行い、夜間入院患者の救急処置に当たってきたが、2018年度は特に大きな問題なく経過した。

(センター長 平松 和洋)

2. 活動報告

(1) 年齢別入院患者数

診療科 区分	内科		外科		心臓血管・呼吸器外科		脳神経外科		その他		計	
	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)
80歳以上	445	31.4	106	17.8	142	27.3	191	16.5	87	17.0	971	23.1
70～79歳	424	30.0	191	32.0	173	33.3	348	30.1	106	20.7	1,242	29.6
60～69歳	224	15.8	121	20.3	111	21.3	271	23.4	91	17.8	818	19.5
50～59歳	124	8.8	68	11.4	31	6.0	168	14.5	71	13.9	462	11.0
40～49歳	80	5.7	75	12.6	32	6.2	86	7.4	41	8.0	314	7.5
30～39歳	58	4.1	17	2.9	9	1.7	36	3.1	27	5.3	147	3.5
20～29歳	35	2.5	13	2.2	21	4.0	21	1.8	42	8.2	132	3.1
10～19歳	25	1.8	4	0.7	1	0.2	13	1.1	17	3.3	60	1.4
0～9歳	0	0.0	1	0.2	0	0.0	24	2.1	30	5.9	55	1.3
計	1,415	100	596	100	520	100	1,158	100	512	100	4,201	100

(2) 病床利用率

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
営業日数 A	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
病床数 B	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
日数×病床数 C(A×B)	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4,380

救急ベッド (12床)

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日 あたり
2017 年度	在室人数 D	272	257	219	266	244	242	220	232	242	271	214	237	2,916	8.0
	利用率 D/C	75.6%	69.1%	60.8%	71.5%	65.6%	67.2%	59.1%	64.4%	65.1%	72.8%	63.7%	63.7%	66.6%	-
	特定入院料算定 件数 E	112	100	75	109	107	98	93	78	81	89	71	80	1,093	3.0
	特定入院料算定 率 E/D	41.2%	38.9%	34.2%	41.0%	43.9%	40.5%	42.3%	33.6%	33.5%	32.8%	33.2%	33.8%	37.5%	-
2018 年度	在室人数 D	150	152	176	214	183	181	235	196	227	248	192	226	2,380	7.1
	利用率 D/C	41.7%	40.9%	48.9%	57.5%	49.2%	50.3%	63.2%	54.4%	61.0%	66.7%	57.1%	60.8%	54.3%	-
	特定入院料算定 件数 E	68	82	98	127	103	98	116	100	121	143	103	108	1,267	3.8
	特定入院料算定 率 E/D	45.3%	53.9%	55.7%	59.3%	56.3%	54.1%	49.4%	51.0%	53.3%	57.7%	53.6%	47.8%	53.2%	-

集中治療センター

1. 概要

当院は、東三河地域の急性期病院として位置付けられている。その中でも、集中治療センターは最重症患者を診ることのできる設備を有しており、地域における「最後の砦」といっても過言ではない場所であると考えている。医師を中心とした他職種間での集中したカンファレンスを積極的に行い、患者の早期回復や離床を目指し日々の診療に勤めていく所存である。

(センター長 中山 雅人)

2. 活動報告

(1) 入院患者の主病名分類

大分類	件
感染症および寄生虫症 (A00-B99)	29
新生物 (C00-D48)	509
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構障害 (D50-D89)	0
内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	13
精神および行動の障害 (F00-F99)	0
神経系の疾患 (G00-G99)	55
眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0
耳および付属器の疾患 (H60-H95)	0
循環器系の疾患 (I00-I99)	449
呼吸器系の疾患 (J00-J99)	87
消化器系の疾患 (K00-K93)	112
皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	3
筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	17
腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	24
妊娠、分娩および産褥 (O00-O99)	7
周産期に発生した病態 (P00-P96)	0
先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	28
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	1
損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	203
傷病および死亡の原因 (V01-Y98)	0
健康状態に影響をおよぼす要因および保険サービスの利用 (Z00-Z99)	0
計	1,537

周産期母子医療センター（母体・胎児部門）

1. 概要

愛知県より東三河初の総合周産期母子医療センターに指定されてから5年が経過した。従来から東三河の周産期の基幹病院として、多くの母体搬送や産褥搬送を受け入れてきたが、総合周産期母子医療センターに指定されてからは、さらにより良い結果になるよう小児科新生児グループの医師と協力して、診断・治療を行っている。近年の出生数減少の影響で当院でも分娩数が減少傾向ではあるが、MFICUへの入院が必要な患者さんは減っていない。また、母体搬送は平成29年度より増加傾向である。ますます当周産期母子医療センターの必要度が高まっていると言える。

超緊急帝王切開は、帝王切開決定から児娩出までの時間が30分以内と義務付けられているが、小児科医師、麻酔科医師、手術室看護師、産科病棟看護師の協力により迅速に対応でき、日勤帯夜勤帯を問わずほぼ全例で達成できている。超緊急帝王切開施行症例数は県内でもトップクラスに多い。産婦人科当直医2人体制を維持するのは大変であるが、東三河地域において市民から信頼されるよう、また高度な周産期医療を維持するためスタッフ全員で努力している。

（センター長 河井 通泰）

2. 活動報告

（1）主な症例数

	平成30年度
超緊急帝王切開	11件
うち30分以内児娩出	11件
うち他施設からの搬送	4件
母体死亡	0件
母体搬送受け入れ	207件
母体搬送応需不可	3件
母体搬送応需率	98.6%

周産期母子医療センター（新生児部門）

1. 概要

当院新生児医療センターはNICU12床を擁し、愛知県から東三河唯一の総合周産期母子医療センター（新生児部門）に指定され、東三河新生児医療の中心的役割を担っている。重症な児を遠方に搬送することは児の予後に悪影響を及ぼすことから、入院依頼を受けた児は断らないことをポリシーとし、最後の砦としての役割を果たしている。また、地域の新生児医療のレベルアップを図ることも重要な役割と考え、地域で周産期医療に携わる医師、助産師、救急隊員等を対象に、新生児蘇生法講習会や周産期医療従事者研修会を開催した。特に小児科（新生児）第二部長の杉浦崇浩は日本周産期・新生児医学会の新生児蘇生法普及事業ワーキンググループにおいて中心的な役割を果たし、国際蘇生連絡委員会（ILCOR）にも出席して議論に加わるなど、国内外で活躍している。

愛知県は昨年度公表した地域保健医療計画の中に、今後数年の間に県内のNICU病床を現在の165床から180床に増やすことを明記している。東三河に必要なNICUは15から18床と試算されており、今後の整備が望まれる。

（センター長 小山 典久）

総合生殖医療センター

1. 概要

当院で体外受精などの生殖補助医療(ART)がスタートしたのは1996年6月であり、2018年は22年目を迎えた。2007年12月タイムラプスインキュベーター (TLI)の世界初全例導入後も様々な最新医療機器と共に質の高いARTに取り組んできたが、2018年には胚画像情報を中心に74項目の特性を人工知能(AI)的分析して良好胚選択のための詳細評価を行うソフトウェアを内蔵した最新型TLIに更新した。その一方で、地域の患者さんのみを治療対象、夫婦単位の初診やART説明会参加を徹底、単胚移植、出産・育児の開始まで一貫して管理、そのための病的状態の是正など理想を目指した取り組みを2018年も実践してきた。“先進的で唯一無二の生殖医療を東三河に”を合言葉に、健全な家族形成を地域での医療で完結するという生殖周産期医療の理想を旗印として、生まれてくる子どものことを第一に考えた基本軸のしっかりした医療を実践すべく、難しいケースにも的確に対応できるよう日々研鑽を重ねている。

(センター長 安藤 寿夫)

リハビリテーションセンター

1. 概要

リハビリテーションセンターは診療部門、理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚療法部門で構成されている。診療部門では、診察、リハビリ処方を行う。理学療法部門では、日常生活における基本的動作能力回復目的の運動療法及び呼吸器・循環器疾患に対する機能回復、術後の二次的障害予防を目指した運動療法を行う。また筋電図、重心動揺検査、筋力測定、心肺運動負荷試験等の身体機能を評価する。作業療法部門では、生活における動作の獲得、家事動作や職業への復帰目的の訓練・援助を行う。上肢の機能評価、記憶障害・注意障害・遂行機能障害等高次脳機能障害の評価、訓練にも対応する。言語聴覚療法部門では、脳血管疾患や脳の外傷、あるいは発声器官の障害により失語症や構音障害を生じた患者、言語発達の遅れや口唇口蓋裂の小児に対する言語訓練を行う。また、摂食・嚥下障害の機能回復目的の訓練・指導をしている。

(センター長 石川 知志)

2. 活動報告

(1) 利用状況

区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
延患者数(人)	107,073	106,823	97,411
1日平均(人)	438.8	437.8	400.9
外来開院日数	244日	244日	243日

※病院事業収支及び活動状況（報告）

血液浄化センター

1. 概要

当センターの診療内容は、一般的な透析業務（末期腎不全の透析導入、入院患者の維持透析、急性腎不全の血液浄化）のみではない。血漿交換・免疫吸着等も病態に応じて行っている。最近では、腎不全以外の膠原病・HUS/TTP・ギランバレー症候群・炎症性腸疾患等で、院内の多くの科から血液浄化の依頼が増えている。

当然、腎臓内科医だけでは業務を遂行できず、移植外科からも多大な支援を受けている。また、臨床工学技士や看護師（血液浄化センターのみならず、外来や、ICUをはじめとする病棟も）等のコメディカルの協力なくしては、当センターの運営が成り立たない事は言うまでもない。

入院透析患者は外来維持透析患者に比し膨大な医療資源を費やすことから、現状では受け入れに限界があることは認めざるを得ないが、基幹病院としてその責務を果たすべく、今後もスタッフ一同最善を尽くす所存である。

（センター長 山川 大志）

予防医療センター

1. 概要

予防医療センターでは、おもに、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、眼科、口腔外科など各科の専門医のもと、一般的な人間ドック（二日ドック、日帰りドック）を精度高く行い、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病やがんなどの悪性腫瘍の早期発見・早期介入に努めている。脳ドック、女性ドック（乳がん、子宮がん）、肺がん検診は、それぞれ脳神経外科、外科、産婦人科、呼吸器内科・放射線科の専門医と連携して行っている。さらに、PET-CT検診が放射線科専門医の協力を得て開始され、がん早期発見環境がより整備されている。

また、就職、進学、海外留学・海外出張、免許取得、施設入所時などの健康診断、被爆者健診、企業の定期健康診断、有機溶剤等健康診断、当院職員の院内健診などさまざまな健康診断を各科と連携しながら行っている。

さらに、予防医療として、インフルエンザワクチン、B型肝炎ワクチン、破傷風ワクチンをはじめとする各種ワクチンの接種を実施している。

一方、当院の患者をはじめとして、広く一般の方々が、がんなどの疾患に対する知識を深め、健康増進していく一助となることを目的に、年2回、「健康教室」を開催している。

（センター長 大橋 信治）

2. 活動報告

（1）コース別受診者数

コース名	受診者数(人)
二日ドック	70
日帰り人間ドック	2,704
脳ドック	344
肺がん検診	20
胃がん単独検診	31
女性の健康ドック	45
P E T - C T 検診	9
個人健康診断	499
予防接種	372
全国健康保険協会生活習慣病予防健診 (旧 政府管掌生活習慣病予防健診)	1,691
原爆被爆者健診	53
企業団体健診(注1)	850

注1： 企業団体契約、その他を含む

(2) 受診対象者の内訳

①二日ドック

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼底	68	7	3	1
胸部X線	68	0	0	0
胃部X線	10	3	1	0
胃カメラ	57	4	1	0
腹部エコー	67	4	3	0
安静時心電図	70	2	2	0
負荷心電図	51	2	1	0
便潜血	68	4	1	1

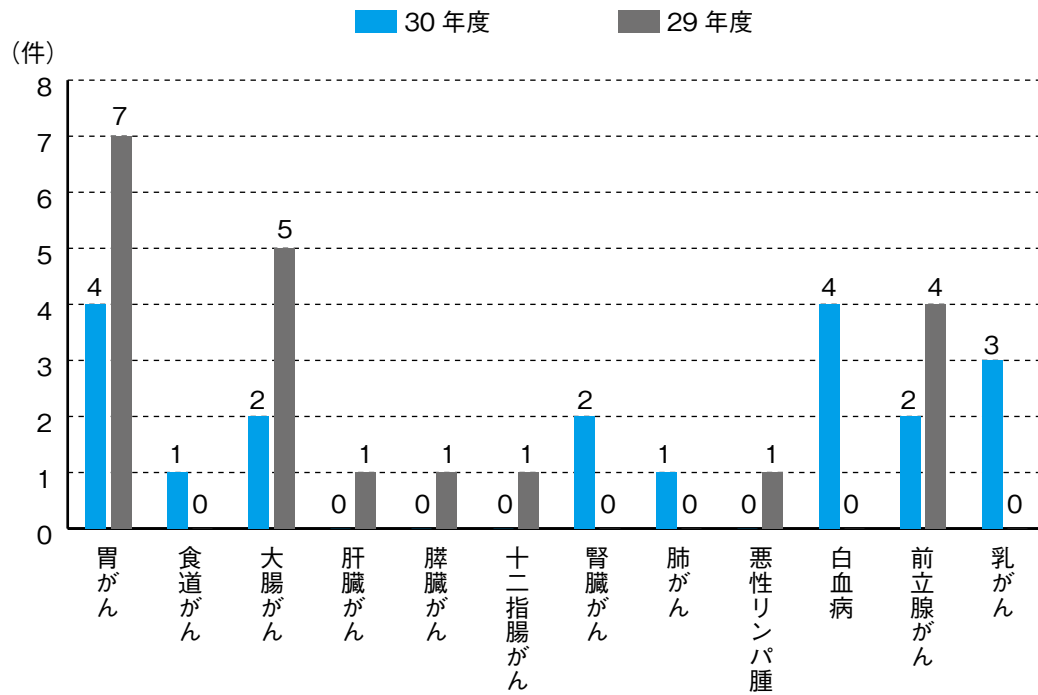
②日帰りドック

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼底	2,699	179	66	10
胸部X線	2,698	44	29	2
胃部X線	1,651	205	109	21
胃カメラ	943	47	33	12
腹部エコー	2,512	113	58	11
安静時心電図	2,704	98	38	5
便潜血	2,666	133	75	32

③生活習慣病予防健診

検査項目	対象者数(人)	要精密検査対象者数(人)	精密検査受診者数(人)	要治療者数(人)
眼底	71	3	1	1
胸部X線	1,635	19	9	0
胃部X線	1,340	166	65	15
胃カメラ	184	15	11	4
腹部エコー	64	4	1	0
安静時心電図	1,640	47	4	1
便潜血	1,597	61	20	9

(3) 悪性新生物発見数



(4) メタボリック判定実施者

(人)

区分	平成30年度	平成29年度
①基準該当	873	782
②予備軍該当	692	642
③非該当	4,280	3,092

輸血・細胞治療センター

1. 概要

輸血・細胞治療センターは、年6回の輸血療法委員会の開催、年2回の輸血療法院内監査の実施を行い、院内の輸血療法が安全かつ適切に運用されるよう管理している。

2018年は、造血幹細胞および小児用の分割製剤について、日赤製剤や自己血と同様の管理・運用ができるようシステムの整備を行った。また2019年1月の新手術棟の完成にあわせて自己血採血室を新たに開設し、より快適な環境で自己血採取を行うことができるよう充実をはかった。

本年は、「輸血療法の実施に関する指針」に従い2点の運用の徹底を行う。一つは輸血・細胞治療センターから出庫するすべての血液製剤に対し、出庫時、製剤受け取り時、輸血開始時に製剤の外観チェックを行い、記録を残す。二つ目は、感染症に関する遡及調査等に対応できるよう、実施済みの血液製剤バッグを全例回収し、一定期間保管する。以上の運用を実施することで、輸血が原因と思われる感染症の予防及び発症に対して的確な対応が可能となる。今後も安心・安全な輸血療法が実施できるよう管理する。

(センター長 杉浦 勇)

2.活動報告

(1) 定期委員会

輸血療法委員会開催(2か月毎予定) *6回実施

(2) 輸血療法院内監査

輸血療法院内監査実施 *2回実施

(3) センター業務実績

①輸血関連検査件数

検査項目	総件数(件)
血液型	19,762
不規則抗体スクリーニング	14,539
交差適合試験	5,216

②血液製剤使用状況

製剤種	総単位数(単位)	前年比(%)
赤血球液(RBC)	10,410	0.93
新鮮凍結血漿(FFP)	4,038	1.16
濃厚血小板(PC)	17,080	0.82

③アルブミン（ALB）製剤使用状況

製剤種	総本数(本数)	前年比
ALB 25% 50mL	1,135	0.85
ALB 5% 250mL	765	0.99

* ALB使用単位数：7,917単位

* ALB/RBC=0.760 管理料Ⅰ算定基準：2未満

④製剤廃棄率

製剤種	廃棄率(%)	前年比
赤血球液(RBC)	0.33	0.75
新鮮凍結血漿(FFP)	0.69	0.51
濃厚血小板(PC)	0.44	1.52

⑤副作用集計報告

製剤種	副作用報告件数(件)	実患者数(人)
赤血球(RBC)	77	52
新鮮凍結血漿(FFP)	42	15
濃厚血小板(PC)	104	47

ゲノム診療センター

1. 概要

近年遺伝子解析技術の進歩に伴い、様々な分野で遺伝子検査を行う機会が増えてきた。悪性腫瘍の分野では特定の遺伝子を調べることによって治療薬の選択を行う、いわゆるコンパニオン診断が多数保険診療に導入されているが、今後は同時に多数の遺伝子を網羅的に調べるパネル検査が保険収載される見込みである。遺伝子パネル検査では体細胞変異のみならず、生殖細胞系列の変異を検出する可能性があり、その結果は患者の家族への影響も無視できない。そのため検査の前には正確な情報提供とカウンセリングが必要となる。これら遺伝医療にまつわる問題に対し、診療科横断的に対応するための部門としてゲノム診療センターが2018年4月に開設された。

2017年より周産期分野において、母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT: non-invasive prenatal genetic testing）について日本医学会の施設認定を受け2017年9月より検査を開始。2018年には45件のカウンセリングを行った。このカウンセリングの経験に基づき当院における遺伝学的検査における遺伝カウンセリング加算の施設基準を取得した。また遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）、リンチ症候群、各種家族性腫瘍の遺伝子検査を導入した。

今後のがんゲノム医療は厚生労働省が認めた「がんゲノム医療中核拠点病院」が「がんゲノム医療連携病院」と連携をとり、がんの遺伝子解析を行い、その結果をもとに最適な治療を選択することを目指している。当院は名古屋大学医学部附属病院を中核拠点とした連携病院に指定された。

（センター長 岡田 真由美）

2. 活動報告

（1）施設認定等

施設認定	認定団体
母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設	日本医学会
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設	一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構

- ・生殖医療に関する遺伝カウンセリング受入れ可能な臨床遺伝専門医
- ・がんゲノム医療連携病院
- ・遺伝カウンセリング加算

外来治療センター

1. 概要

2018年度の年間利用者の延べ数は、10,684人（うち癌治療8,892人）で、2017年度の9,625人（同7,788人）から増加し、初めて年間1万人を超えた。前年度比では延べ数で1,059人（同1,104人）、比率で11.0%（同14.2%）の増加となり、その増加分はすべて癌治療によるものであった。ここ数年の増加率は、2017年度8.3%（同5.6%）、2016年度5.7%（同6.3%）であり、加速度的に増加しており、増加分のほとんどを癌治療が占めている。1日の平均利用者数も、2017年度の39.5人から2018年度の43.8人と1日当たり4.3人の増加となった。

また、扱うレジメン数も年々増加しており、現在外来治療センターで扱うレジメン数は282となり、この1年間で25レジメン増加し（前年度比9.7%増）、扱う治療の複雑性も増している。

2018年度は、新しくがん専門薬剤師が2人誕生し、合計5人となった。これにより、患者に対する説明や、投与量や副作用チェックなどの充実が図られ、安全性の向上が得られた。

（センター長 吉原 基）

2. 活動報告

(1) 治療実績 月別集計表

項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平均年齢(才)			64.5	64.5	64.6	63.9	64.7	64.9	64.2	65.3	65.4	64.6	64.8	64.1		64.6
男(人)			386	437	413	446	471	434	474	466	439	468	417	449	5,300	441.7
女(人)			460	492	427	460	478	420	509	462	397	411	424	444	5,384	448.7
がんに関する治療	内 科		314	326	323	329	340	328	383	364	340	319	301	300	3,967	330.6
	外科		261	288	253	262	301	240	293	284	247	290	287	291	3,297	274.8
	泌尿器科		22	24	30	34	41	32	29	33	28	42	46	55	416	34.7
	耳鼻いんこう科		22	16	15	16	14	22	32	25	21	22	22	33	260	21.7
	婦人科		63	75	70	67	71	59	66	58	51	53	51	58	742	61.8
	小児科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他		21	20	14	16	19	20	21	17	15	14	16	17	210	17.5
	小計		703	749	705	724	786	701	824	781	702	740	723	754	8,892	741.0
	初 回		67	58	78	83	81	65	70	85	61	93	66	88	895	74.6
	内 訳	乳 腺	138	159	122	124	135	109	140	109	106	122	122	120	1,506	125.5
		大 腸	93	106	102	109	135	97	106	113	90	120	120	123	1,314	109.5
		血 液	140	176	157	143	159	163	199	144	139	121	127	117	1,785	148.8
		肺	109	92	113	124	121	109	117	151	140	139	112	109	1,436	119.7
		胆 膵	49	39	35	49	41	45	59	68	54	60	64	72	635	52.9
		胃	38	39	40	40	48	43	54	58	54	46	41	49	550	45.8
		前立腺	9	9	7	10	10	6	12	8	9	12	9	8	109	9.1
		その他	127	129	129	125	137	129	137	130	110	120	128	156	1,557	129.8
がん以外の治療	内 科		41	46	35	51	44	38	43	43	35	47	29	54	506	42.2
	整形外科		0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6	0.5
	リウマチ科		97	126	96	127	113	111	110	101	93	87	83	78	1,222	101.8
	皮膚科		5	7	4	3	6	3	6	2	6	3	5	4	54	4.5
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	0.3
	小計		143	180	135	182	163	153	159	147	134	139	118	139	1,792	149.3
合計(人)			846	929	840	906	949	854	983	928	836	879	841	893	10,684	890.3
1日平均(人)			42.3	44.2	40.0	43.1	41.2	47.4	44.7	44.2	44.0	46.2	44.2	44.6	526.1	43.8

手術センター

1. 概要

手術センターは、一人一人の患者に最良の手術が行われるよう各診療科・麻酔科医・病棟及び手術センターの看護師が連携を図っている。当センターは、地域や患者のニーズに応えるべく以下の特徴及び設備を整えている。

また、超緊急枠を設け、全科の超緊急手術に対応できるようにしている。

- ① 高度先進医療の施行
 - a 内視鏡下手術：関節鏡、耳鼻科内視鏡、腹腔鏡、胸腔鏡、膀胱鏡、神経内視鏡
 - b 移植手術：腎移植、副甲状腺移植
 - c 顕微鏡下手術：脳神経外科、耳鼻いんこう科、眼科
 - d ロボット支援下手術（ダヴィンチ）：外科、産婦人科、泌尿器科
 - e 脳死臓器提供手術
 - f ナビゲーション支援下手術：脳神経外科、耳鼻いんこう科
 - g O-arm透視下に行う脊椎等の整形外科手術
 - h 不妊症に対する産婦人科手術
- ② 総合周産期母子医療センターの要望に応じ、30分以内に開始する超緊急手術に対応
- ③ 心臓病、肺疾患、肝疾患、腎疾患等重い合併症を有するハイリスク患者手術に対応
- ④ 研修機関病院として、研修医、医学生、看護学生、救命救急士等の見学や実習
- ⑤ 手術診療科 18（内科、一般外科、小児外科、呼吸器外科、心臓外科・血管外科、移植外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、産婦人科（生殖医療）、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科）
- ⑥ 手術室 13（バイオクリーン・ルーム1室、採卵室1室）
- ⑦ 空気清浄度
 - a クラス100（1室）：整形外科で使用
 - b クラス1000（1室）：呼吸器外科、心臓外科・血管外科で使用
 - c クラス10000（11室）
- ⑧ スタッフ 看護師56人（2交代制で、夜勤者2名、自宅待機2名体制）

2018年度の主な実績としては、ロボット支援下手術（ダヴィンチ）を計173例施行した。また、外科・産婦人科・泌尿器科等で、大幅に手術数を増やした。2018年度末からは、血管撮影及びCT撮影のできるハイブリッド手術室（1室）、内視鏡手術室（2室）の稼働が始まった。

（センター長 雄山 博文）

2. 活動報告

(1) 手術件数

疾患名	件数(件)
一般外科	1,650
呼吸器外科	197
心臓血管外科	128
小児外科	127
移植外科	44
整形外科	1,445
リウマチ科	19
形成外科	1
脳神経外科	367
産婦人科	1,274
耳鼻いんこう科	444
皮膚科	90
泌尿器科	627
眼科	880
歯科口腔外科	449
生殖医療	309
内科	6
小児科	6
その他	2
計	8,065

疾患名	件数(件)
全身麻酔	4,008
静脈麻酔	181
腰椎麻酔	1,072
硬膜外+腰椎麻酔	350
局所麻酔	1,855
伝達麻酔	424
無麻酔	261
計	8,151
(うち緊急手術)	1,183
割合	14.50%

(2) 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術件数

疾患名	件数(件)
一般外科	523
うち、ロボット支援下直腸悪性腫瘍手術	15
うち、ロボット支援下胃悪性腫瘍手術	19
呼吸器外科	63
小児外科	68
整形外科	112
産婦人科	512
うち、腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術(先進医療)	2
うち、腹腔鏡下広汎子宮頸部摘出術(先進医療)	2
うち、ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術	25
うち、ロボット支援下腔式子宮全摘出手術	39
泌尿器科	153
うち、ロボット支援下前立腺悪性腫瘍手術	61
うち、ロボット支援下腎悪性腫瘍手術	8
うち、ロボット支援下膀胱悪性腫瘍手術	6
その他	5
計	1,436

口唇口蓋裂センター

1. 概要

当センターは唇顎口蓋裂を含む口腔先天性疾患、顎発育異常等に対する治療を担当している。豊橋市内外から多くの患者の紹介を頂いており、院内の産婦人科、小児科からの紹介も多い。

本疾患は長期の治療期間を要するため、出生してから成人するまでそれぞれの成長発育段階における様々な病態に合わせた治療を行っている。当センターでは出生直後より小児科、耳鼻咽喉科をはじめ関連他科の協力を仰ぎながら治療を行っている。また院内はもとより、市中の医科歯科関連の医療施設と密接に連携を保ちながら円滑に治療が進むよう当センターが中核となってその対応を行っている。一次症例だけでなく他院で治療を受けた二次症例でも積極的に対応しており、外来初診症例数や入院症例数は、ともにほぼ例年通りの安定した患者数を維持している。

(センター長 嘉悦 淳男)

(文責 歯科口腔外科副部長 寺沢 史誉)

2. 活動報告

①外来初診症例数

疾患名	件数(件)
唇(顎)裂	1
口蓋裂	2
唇顎口蓋裂	15
その他の唇顎口蓋裂	2
計	20

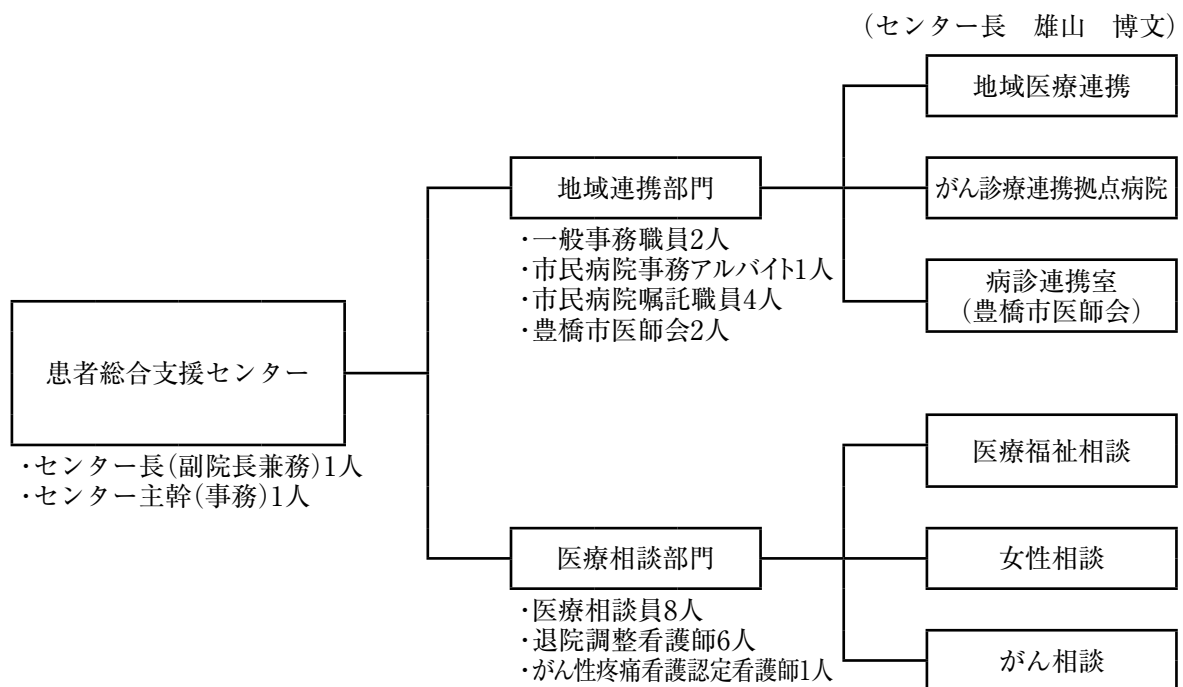
②入院症例数

疾患名	件数(件)
唇(顎)裂	7
口蓋裂	2
唇顎口蓋裂	17
その他の唇顎口蓋裂	4
計	30

患者総合支援センター

1. 概要

2010年4月1日、副院長をセンター長として開設した当センターは、地域の医療機関や介護事業者との相互連携を図り、患者に対して効率的で質のよい医療を提供する「地域連携部門」と、医療を通じて発生する種々の問題に対して、患者に安心して治療に当たってもらえるよう支援を行う「医療相談部門」で構成されている。



2. 活動報告

(1) 地域連携部門

①地域医療支援委員会

委員 29人(院外 17人、院内 12人)

第1回 平成30年 5月10日開催

第2回 平成30年 8月 9日開催

第3回 平成30年11月 1日開催

第4回 平成31年 2月14日開催

②地域連携登録医登録者数

464人(平成31年3月末現在)

③豊橋市医師会・豊橋市民病院病診連携協議会

委員 10人(豊橋市医師会 2人、豊橋市民病院 8人)

事務局 4人(豊橋市医師会 1人、豊橋市民病院 3人)

(ア)病診連携協議会

第84回病診連携協議会 平成30年 5月17日開催

(イ)MCRフォーラム

第43回MCRフォーラム 平成30年 5月30日開催

「口腔粘膜診査のコツー口腔がんの基本知識とがん予防ー」 参加人数 84人

第44回MCRフォーラム 平成30年10月31日開催

「がんの放射線治療」 参加人数 52人

(ウ)病院・転床施設連携懇談会

次年度の病診連携協議会と同日開催とする

④紹介・逆紹介実績

(ア)紹介・逆紹介率

紹介率	逆紹介率
79.8%	80.0%

(イ)病診連携室取扱実績

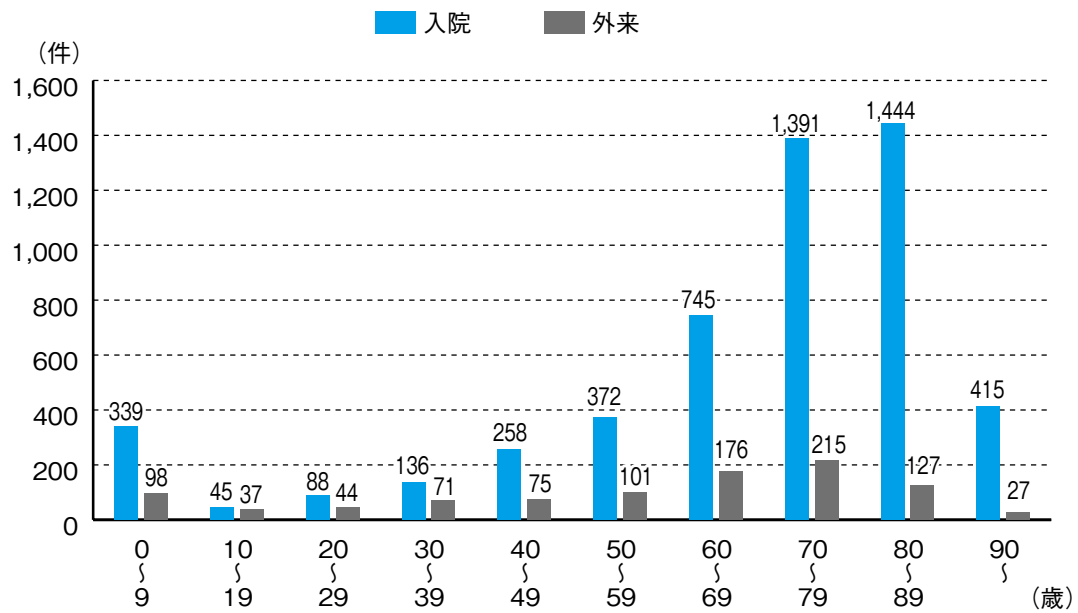
内訳			件数(件)
病診連携室経由の受診予約数	医 科	市 内	10,372
		市 外	3,163
	歯 科	市 内	1,268
		市 外	190
	保 健 所 保 健 セ ン タ ー		257
	そ の 他		57
	キ ャ ン セ ル		△ 490
	計		14,817
病診連携室経由の転院先状況	時 間 外 (再 掲)		1,021
	申 込 数		1,950
	内 訳	有 床 診 療 所	10
		病 院	1,517
		キ ャ ン セ ル	405
	転 院 予 約 中		18

(2) 医療相談部門

①医療福祉相談件数

(ア)新規相談患者数 入院 5,233件 外来 971件 合計 6,204件

年齢別新規相談患者数



(イ)延べ相談数 入院 19,285件 外来 6,900件 合計 26,185件

②女性相談件数 面接 12件 電話 21件 合計 33件

③がん相談件数 面接 242件 電話 123件 合計 365件

入退院支援センター

1. 概要

入退院支援センターは2018年4月より開設された。それまで入院支援センターが2015年より行ってきた入院前説明と、患者総合支援センター内に所属していた退院調整看護師による退院調整を統合することにより、予約入院となる患者さんが安心して入院生活を送り、退院後も地域で安心して生活するための支援をより強力に発揮できる体制となった。入院支援では一部の診療科を残し説明を拡大し、現在15科の入院説明をしている。退院支援では、医療ソーシャルワーカー（MSW）と協働して各病棟の専任退院調整員として、退院困難要因のある入院患者に対して退院支援を行っている。

入院支援、退院支援の業務は以下のとおりである。

- ①入院や手術に対して抱えている不安を少しでも軽減し、安心して入院・手術が受けられるように援助する。
- ②リスクのある患者をスクリーニングして安全に手術が受けられるようにする。
- ③退院困難要因のある入院患者に早期から介入し、その人らしい暮らしに戻れるよう支援する。
- ④入退院に関する外来・病棟の業務を軽減する。

特に2018年度より入院前からの退院困難要因のある患者へのより早期の介入を目指し、入院前に得た情報に応じて専任の退院調整看護師やMSWにつなぎ支援を展開している。

また、入院支援は主にクリニカルパスで予定入院する患者に対し入院説明を行っているが、今後は全予定入院患者への説明が行えるように業務を拡大する予定である。

（センター長 浦野 文博）

2. 活動報告

（1）業務内容

- ①入院前説明
- ②入院中の療養支援、医療福祉相談
- ③退院支援
- ④退院前訪問・退院後訪問

(2) 入院前説明患者数

①一般外科（平成27年5月11日開始）

術式	人数(人)
ヘルニア手術	150
胃手術	91
肝臓手術	32
結腸直腸手術	98
腹腔鏡下胆嚢手術	157
ダヴィンチ(腸)手術	15
乳房手術	116
乳房手術(部分切除)	54
甲状腺手術	28
虫垂切除	15
痔核・痔瘻手術	13
低侵襲手術	152
TAPP(腹腔鏡下ヘルニア手術)	22
胃スリーブ手術	2
その他(クリニカルパス外)	69
計	1,014

②歯科口腔外科（平成27年8月1日開始）

術式	人数(人)
抜歯(局麻)	61
抜歯(全麻)	10
その他(クリニカルパス外)	262
計	333

③眼科（平成27年9月1日開始）

術式	人数(人)
白内障	361
硝子体	125
緑内障	21
計	507

④耳鼻いんこう科（平成28年9月1日開始）

術式	人数(人)
扁桃切除術	31
ラリング	19
フェンスコンホ	8
ESS	68
鼓膜・鼓室形成術(ティンパノ)	9
頸部小手術	31
頸部郭清術	8
甲状腺葉峡摘出術	28
甲状腺全摘術	8
鼻(局麻手術)	3
計	213

⑤呼吸器外科（平成28年5月17日開始）

術式	人数(人)
肺切除	111
気胸・縦隔腫瘍・部切	18
計	129

⑥産婦人科（平成28年7月1日開始）

コース	人数(人)
婦人科Aコース	38
婦人科Bコース	115
婦人科Dコース	350
婦人科Eコース	56
腔式子宮全摘術(VTH)	8
子宮鏡下手術(TCR)	8
計	575

⑦泌尿器科（平成28年10月1日開始）

検査・術式	人数(人)
前立腺生検	226
TUL	108
前立腺全摘除術	8
ロボット支援前立腺全摘術	62
TUR-BT	151
TUR-P	26
体外衝撃波碎石術	2
腎摘除術	51
腎部分摘除術	31
膀胱全摘・回腸導管/尿管皮膚瘻	26
精巣腫瘍摘出術	1
その他(クリニカルパス外)	46
計	738

⑧整形外科（平成29年3月1日開始）

検査・術式	人数(人)
ミエロ1泊2日	58
ミエロ2泊3日	13
脊椎手術	99
人工股関節手術	32
その他(クリニカルパス外)	232
計	434

⑨脳神経外科（29年4月1日開始）

検査・術式	人数(人)
脳血管造影検査	55
血管内治療	38
その他(クリニカルパス外)	50
計	143

⑩小児外科（29年10月1日開始）

検査・術式	人数(人)
2泊3日	98
計	98

⑪循環器内科（30年3月1日開始）

検査・術式	人数(人)
心臓カテーテル検査(当日入院・上肢)	118
心臓カテーテル検査(当日入院・鼠径)	6
心臓カテーテル検査(前日入院・上肢)	63
心臓カテーテル検査(前日入院・鼠径)	61
ペースメーカー植え込み術	1
ペースメーカー電池交換	8
計	257

⑫血液内科（31年3月4日開始）

検査・術式	人数(人)
R-CHOP療法	2
自家末梢血幹細胞採取	0
その他(クリニカルパス外)	13
計	15

⑬消化器内科（30年8月1日開始）

検査・術式	人数(人)
胃 ESD EMR	54
腹部AG	52
計	106

⑭リウマチ科（30年8月28日開始）

検査・術式	人数(人)
ミエロ1泊2日	0
ミエロ2泊3日	0
脊椎手術	0
人工股関節手術	0
その他(クリニカルパス外)	2
計	2

⑮呼吸器内科（31年1月28日開始）

検査・術式	人数(人)
気管支鏡検査	10
CT下肺生検	14
化学療法(ショートハイドレーション)	6
計	30

入院説明総数 4591件
後日薬剤鑑定数 216件

診療技術局

診療技術局には、放射線技術室、中央臨床検査室、リハビリテーション技術室、臨床工学室、栄養管理室の5部門（7職種）で、医療関係の国家資格を有した約180人および事務職員によって構成されている。病院事業（診療・経営の質の向上）への貢献はもちろんのこと、医療技術職のステータスの向上と職種の垣根を越え、共通の方針、計画、施策の立案などにより、より効率的な運営に努めている。病院の方針の浸透と現場の意見からのボトムアップ、医療技術職の横断的意思疎通の促進がさらなる活性化につながると考えている。

また、5部門が協力し合って診療技術局が開催する勉強会を開催しており、9月に「保険診療をもっと知ろう」と題して、医事課職員により「診療報酬等について」「診療技術局に関する施設基準について」と治療とは別の切り口で勉強会を開催した。

東三河地域における当院の役割として、様々な勉強会や研修会を積極的に開催し、地域医療にも貢献している。8月には、未来のコ・メディカル育成を目的に、高校生向けの職場見学会（参加者41人）を開催した。

（局長 山口 育男）

放射線技術室

1. 概要

医療環境の変化につれて、紹介患者が初診の大半を占める地域の中核病院では、CTやMRIが画像診断の第一選択になりつつある。当院でもCT検査の増加への対応は限界を迎え、本年度はCT装置の増設となった。増設したCT装置は三河地区に初めての320列エリアディテクターCTで、心臓の動きもぶれずにとらえる能力を持つ。また、高度な手術への対応のために手術棟が新築され、一室には血管撮影、コンベームCT、ナビゲーションシステムが利用可能なハイブリッド手術室が設けられた。技術の革新が著しく、高度な医療技術の導入は日進月歩である。

一方、その技術を支えるのは1世紀以上も前に発見されたX線であることに変わりなく、近年の医療放射線被ばくの増加は社会問題になりつつあり、安全利用のための法改正や規制がこの1年で一層厳格化した。

医療放射線に関する職業人として、責任の重さを改めて感じる日々である。

(室長 三浦 俊一)

「在籍技師が取得している認定資格等」

資格	認定団体	資格	認定団体
放射線治療専門放射線技師	日本放射線治療専門放射線技師認定機構	放射線管理士	日本放射線技師会
放射線治療品質管理士	放射線治療品質管理機構	放射線機器管理士	日本放射線技師会
医学物理士	医学物理士認定機構	医療画像情報精度管理士	日本診療放射線技師会
医療情報技師	日本医療情報学会	第1種放射線取扱主任者	原子力安全技術センター・文部科学省
核医学専門技師	日本核医学専門技師認定機構	γ線透過写真撮影作業主任者	安全衛生技術試験協会・厚生労働省
核医学専門技術者	日本核医学技術学会	X線作業主任者	安全衛生技術試験協会・厚生労働省
超音波検査士(消化器)	日本超音波医学会	日本磁気共鳴専門技師	日本磁気共鳴専門技師者認定機構
超音波検査士(健診)	日本超音波医学会	血管撮影・インターベション専門診療放射線技師	血管撮影・インターベション専門診療放射線技師者認定機構
超音波検査士(体表臓器)	日本超音波医学会	臨床実習指導員	日本診療放射線技師会
乳腺甲状腺超音波診断委員会認定技師	日本乳腺甲状腺超音波診断会議	X線CT認定技師	日本X線CT専門技師認定機構
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	医療安全管理者	日本病院会
診療情報管理士	四病院団体協議会	小腸カプセル内視鏡読影支援技師	日本カプセル内視鏡学会

2. 活動報告

(1) 放射線技術室実績

(件)

区分		平成30年度
一般撮影	頭部	6,201
	胸部	74,788
	腹部	15,436
	四肢	49,410
	椎体	21,681
	計	167,516
	マンモグラフィ	2,247
	骨塩量測定	2,115
	ポータブル	26,200

エコー室	単純	12,843
	造影	134
	計	12,977

CT	単純	25,467
	造影	17,570
	計	43,037

MRI	単純	10,143
	造影	5,288
	計	15,431

血管撮影	心臓	555
	頭頸部	253
	胸部	108
	腹部	192
	四肢	72
	計	1,180

TV	UGI(胃)	3,200
	CG(大腸)	226
	透視下内視鏡	1,369
	透視下検査・治療	1,948
	計	6,743

RI	核医学SPECT	473
	核医学静態	165
	核医学動態	33
	核医学全身	760
	PET/CT	1,210
	計	2,641

放射線治療	体外照射	12,024
	定位照射	214
	腔内照射	41
	IMRT	938
	全身照射	19
	計	13,236

(2) 豊橋市民病院放射線技術研修会

	演題名	演者名	年月日
第1回	呼吸同期CTのコミッショニング	加藤 貴昭	平成30年6月15日
第2回	骨SPECTガイドラインの実践1ーファントム調整について	市川 肇	平成30年6月21日
第3回	当院救急科における腹部CT検査の読影補助	磯部 晃	平成30年6月29日
第4回	腹部超音波(基礎・スクリーニング)	神谷めぐみ	平成30年7月5日
第5回	面積線量計の表示値と実測値の線量を比較してみよう	山口 稔	平成30年7月6日
第6回	コニカFPDの物理評価①	澤根 康祐	平成30年7月20日
第7回	胃透視基準撮影法2の説明	西川 宗範	平成30年7月26日
第8回	画質の磁場強度依存性について -MRI初心者向け-	喜多 和真	平成30年8月3日
第9回	当院救急科における腹部CT検査の読影補助	磯部 晃	平成30年11月22日
第10回	患者線量検証におけるQAツールの紹介と実測	加藤 貴昭	平成30年11月27日
第11回	骨SPECTガイドラインの実践1	市川 肇	平成30年12月6日
第12回	胃透視基準撮影法2の説明	西川 宗範	平成30年12月10日
第13回	腹部超音波(基礎・スクリーニング)	神谷めぐみ	平成30年12月20日
第14回	IVR基準点での計測準備をしてみよう	山口 稔	平成31年1月11日
第15回	コニカFPDの物理評価①	澤根 康祐	平成31年1月18日
第16回	画質の磁場強度依存性について -MRI初心者向け-	喜多 和真	平成31年1月25日

中央臨床検査室

1. 概要

2019年3月、愛知県内市立病院としては初となる「ISO15189:臨床検査における国際規格」を取得した。「ISO15189認定」とは、臨床検査室が品質と能力に関する特定要求事項に、技術専門委員会ISO/TC212が作成した国際規格に準拠していることを示しており、このことは検査室から患者へ質の高い検査結果を提供できるといういわゆる「お墨付き」をいただいたことになる。取得に際しては、2017年10月から準備に入り、約18か月間を要したが、パート職員を含む全職員が一丸となって取り組んだ成果であると考えている。

また、2018年度より「病棟・外来採血室」担当主査を配置し、病棟における検査項目説明や外来採血室における採血技術の向上、待ち時間短縮に注力し、一定の効果が出てきたと感じている。

また「認定輸血検査技師」などの新しい資格取得にも積極的に取り組み、現在多数の資格取得者が在籍（下表）しており、臨床に貢献していると考ええる。

（室長 山口 育男）

「在籍技師が取得している主な認定資格」

認定資格名称	認定団体及び学会	認定資格名称	認定団体及び学会
認定血液検査技師	日本検査血液学会	認定心電検査技師	日本心電学会
骨髓検査技師	日本検査血液学会	緊急臨床検査士	日本臨床検査医学会
認定臨床微生物検査技師	日本臨床微生物学会	栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会
感染制御認定臨床微生物検査技師	日本臨床微生物学会	遺伝子分析科学認定士	日本臨床検査医学会
細胞検査士	日本臨床細胞学会	体外受精コーディネーター	日本不妊カウンセリング学会
認定病理検査技師	日本臨床衛生検査技師会	認定臨床エンブリオロジスト	日本臨床エンブリオロジスト学会
超音波検査士（循環器領域）	日本超音波医学会	生殖補助医療胚培養士	日本卵子学会
超音波検査士（健診領域）	日本超音波医学会	糖尿病療養指導士	日本糖尿病療養指導士認定機構
超音波検査士（消化器領域）	日本超音波医学会	認定サイトメトリー技術者	日本サイトメトリー技術者認定協議会
超音波検査士（血管領域）	日本超音波医学会	認定認知症領域検査技師	日本認知症予防学会
超音波検査士（体表臓器領域）	日本超音波医学会	認定輸血検査技師	認定輸血検査技師制度協議会

2. 活動報告

(1) 検査実施件数

(件)

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
院内検査実施件数	5,655,630	5,454,275	5,247,731
委託検査件数	117,680	104,670	118,759
検査判断料件数	422,646	411,691	405,306
輸血管理料1	2,584	2,671	2,613
外来迅速検体検査加算件数	265,918	261,096	243,243
病理診断管理加算	15,681	15,218	14,954
検体検査管理料加算 I 件数	112,017	110,068	109,639
入院時初回加算件数	13,066	12,592	11,850
時間外緊急院内検査加算件数	12,417	12,404	12,365
採血加算件数	107,495	111,227	111,572

(2) 検査判断料件数

(件)

区 分		平成30年度	平成29年度	平成28年度
尿・糞便等検査判断料	外来	18,339	17,456	17,765
	入院	3,560	3,722	3,602
血液学の検査判断料	外来	98,935	96,167	95,070
	入院	18,026	17,828	17,084
生化学の検査(Ⅰ)判断料	外来	98,680	95,747	94,479
	入院	18,151	17,914	17,088
生化学の検査(Ⅱ)判断料	外来	25,242	24,691	24,190
	入院	4,623	5,014	4,404
免疫学の検査判断料	外来	75,616	73,357	72,529
	入院	16,912	16,684	15,883
微生物学の検査判断料	外来	11,428	11,155	11,942
	入院	7,779	7,710	7,436
病理学の検査判断料	外来	2,179	2,084	1,916
	入院	36	25	20
呼吸機能検査等判断料	外来	4,161	3,642	3,535
	入院	772	736	594
脳波検査判断料	外来	983	986	1,088
	入院	1,267	1,267	1,324
神経・筋検査判断料	外来	369	363	404
	入院	183	192	237
組織診断料	外来	6,132	6,019	6,057
	入院	4,905	4,755	4,573
細胞診断料	外来	3,032	2,914	2,888
	入院	1,336	1,263	1,198

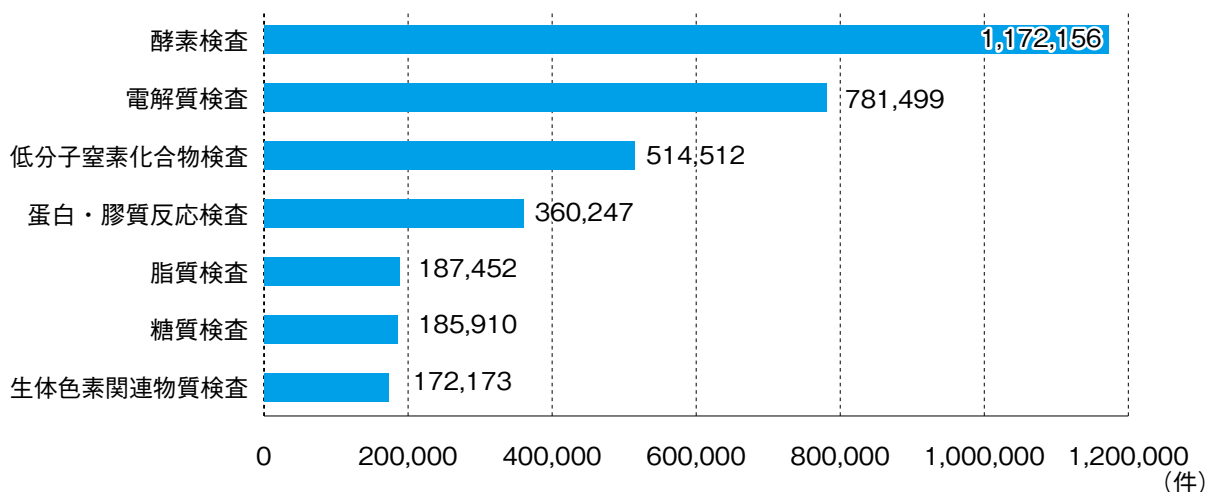
(3) 部門別実績

(件)

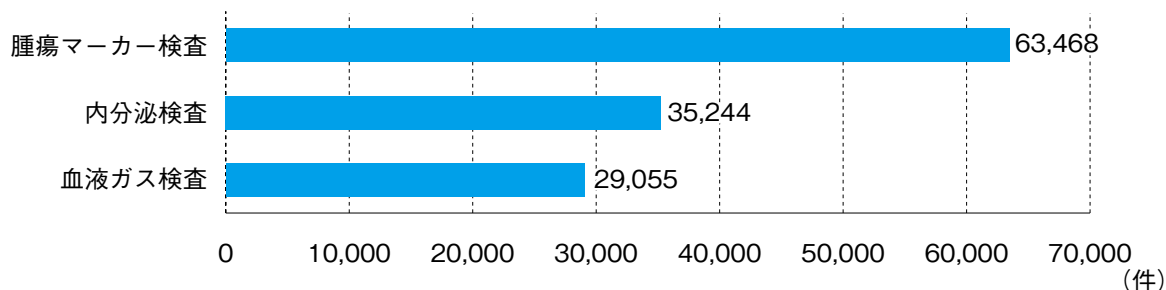
区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
尿・糞便等検査	112,794	108,229	115,966
血液学的検査	934,102	915,799	728,383
生化学的検査	3,973,743	3,814,042	3,791,583
免疫学的検査	392,705	379,397	377,506
微生物学的検査	92,766	93,368	92,579
輸血関連検査	60,188	55,857	55,389
生理機能学的検査	63,881	62,712	61,866
病理学的検査	24,599	23,922	23,223
生殖医療学的検査	852	949	1,236
計	5,655,630	5,454,275	5,247,731
差(増加分)	201,355	206,544	△48,726
前年比	103.7%	103.9%	99.1%

(4) 生物化学分析検査

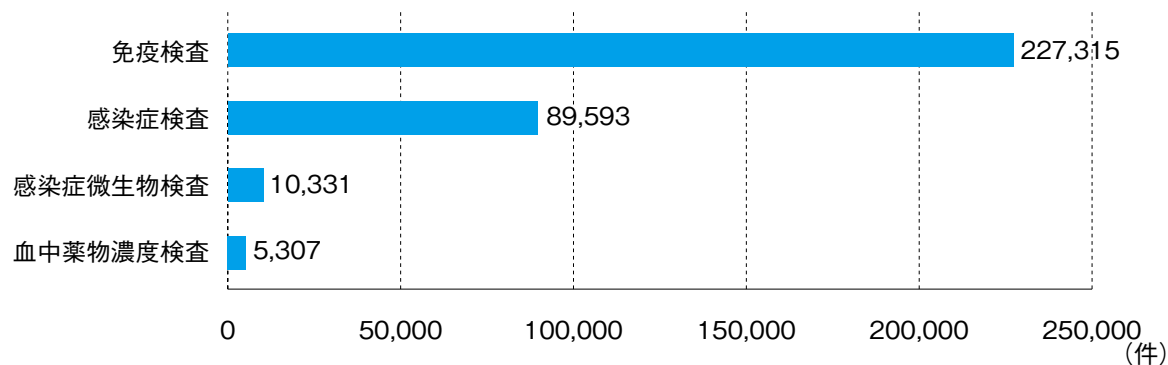
①生化学検査（Ⅰ）検査実績



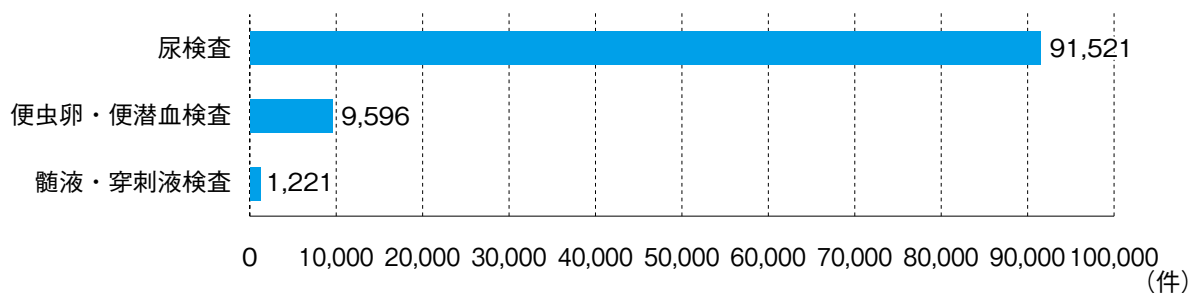
②生化学検査（Ⅱ）・血液ガス検査実績



③免疫学的・薬物検査実績



④一般検査実績



⑤患者検査説明業務実績

区 分	(件)		
	平成30年度	平成29年度	平成28年度
患者検査説明業務	963	1,030	1,087

患者説明業務とは、蓄尿、糖負荷検査（OGTT）、生理検査などの検査方法を患者に対して説明する業務である。

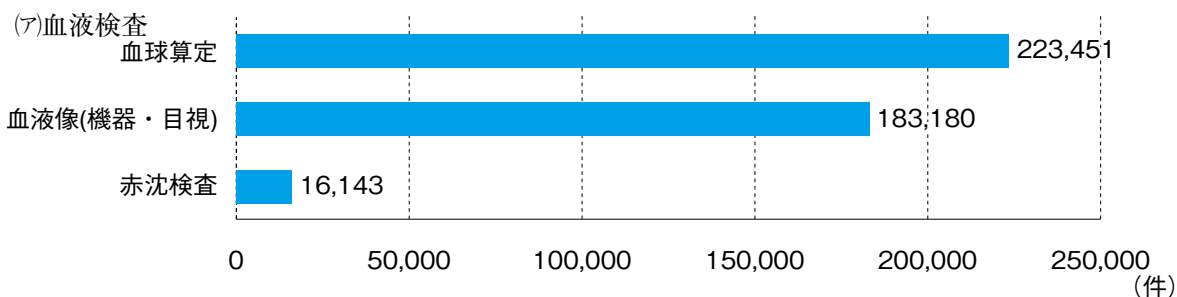
●説明検査項目

尿検査など：蓄尿・酸性蓄尿・糖負荷検査OGTT・クレアチニークリアランス・早朝尿

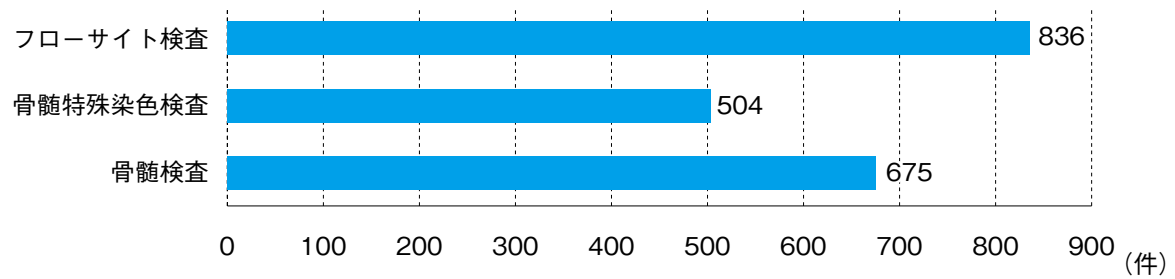
生理検査：超音波検査・ホルター心電図・トレッドミル・24時間血圧測定・負荷サーモグラフィー・

吸入誘発試験・脳波・聴性脳幹反応・終夜睡眠ポリグラフィー

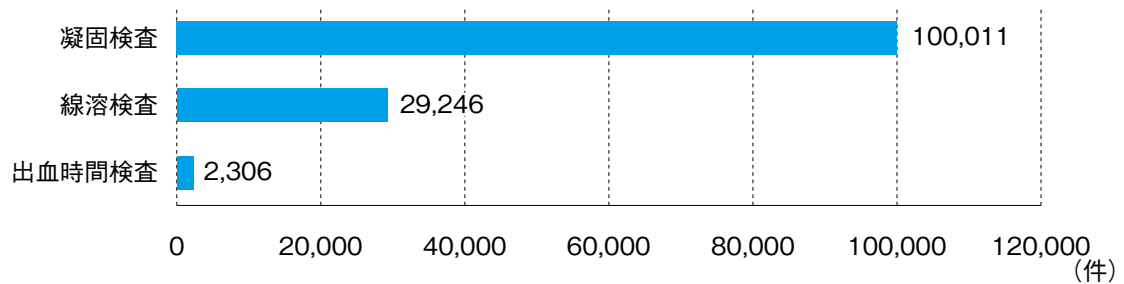
⑥血液学的検査実績



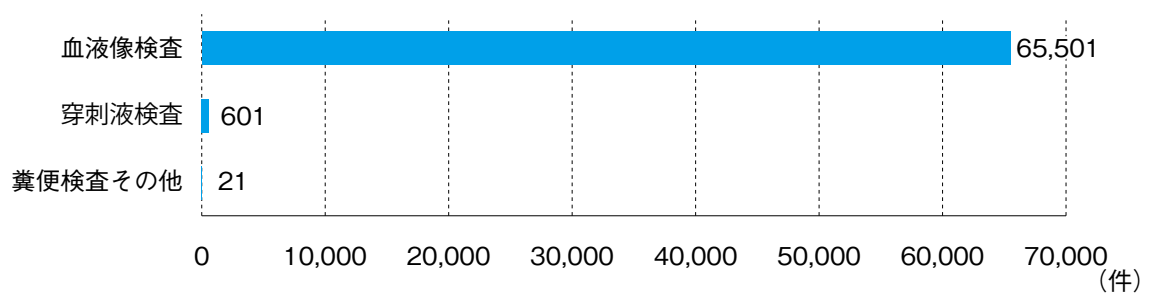
(イ)骨髄検査



(ウ)凝固・線溶検査



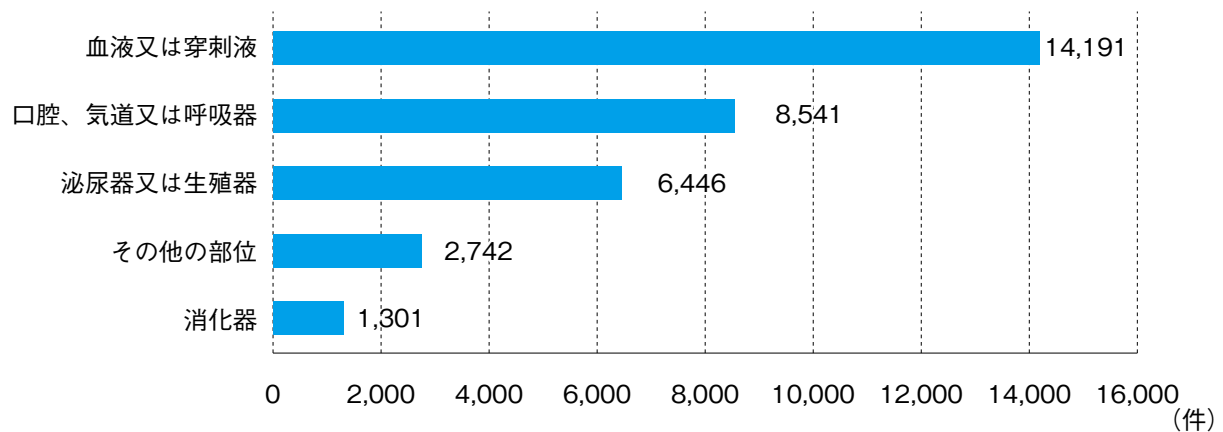
⑦顕微鏡検査実績



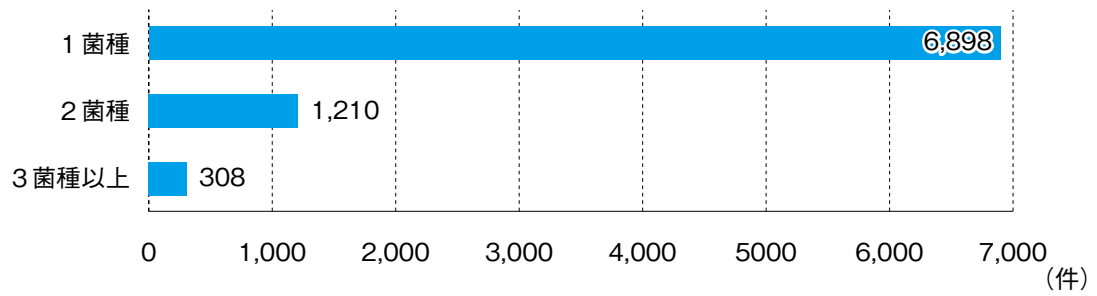
(5) 微生物・感染制御検査

①一般細菌

(ア)培養同定検査実績

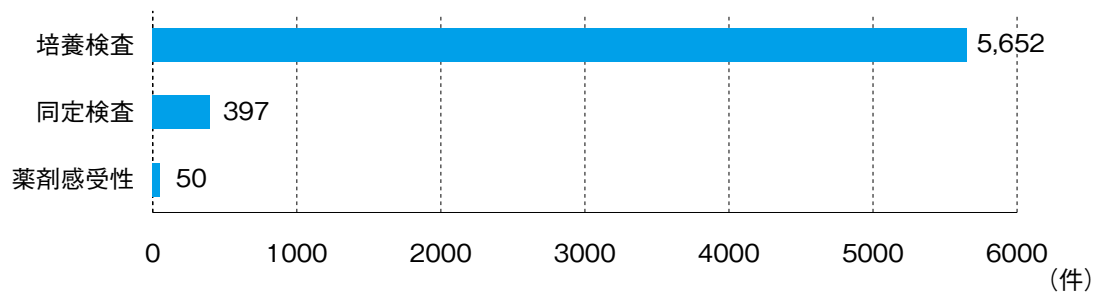


(イ)薬剤感受性検査実績

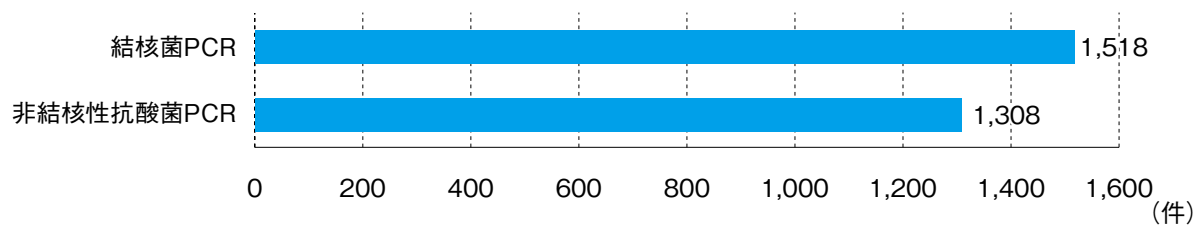


②抗酸菌

(ア)培養同定検査実績

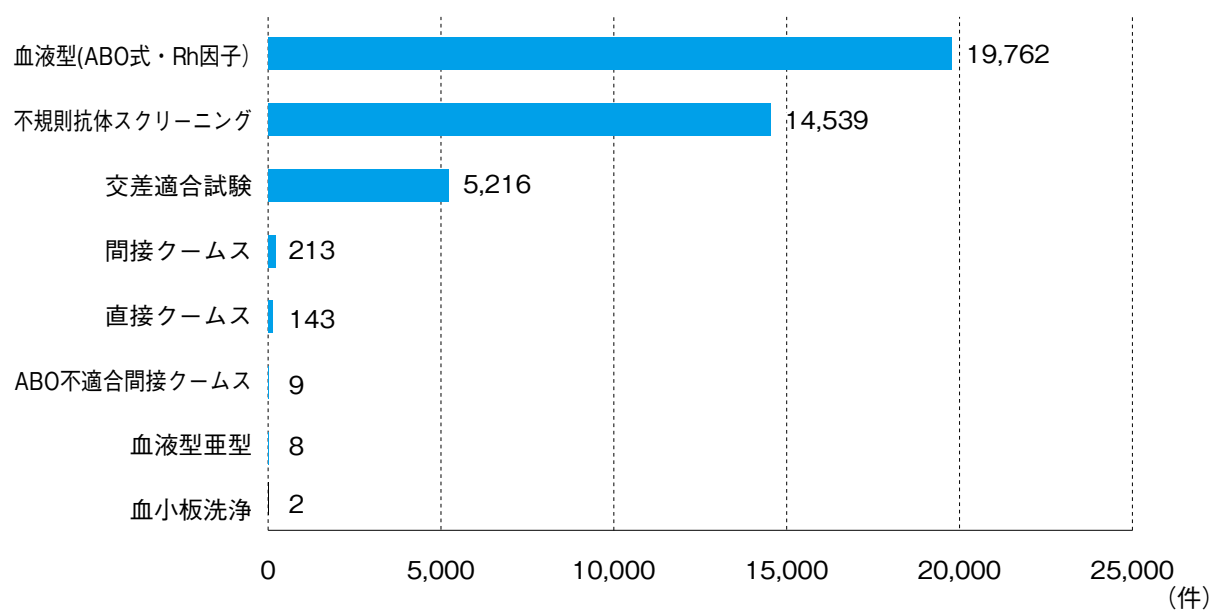


(イ)遺伝子検査（PCR）実績

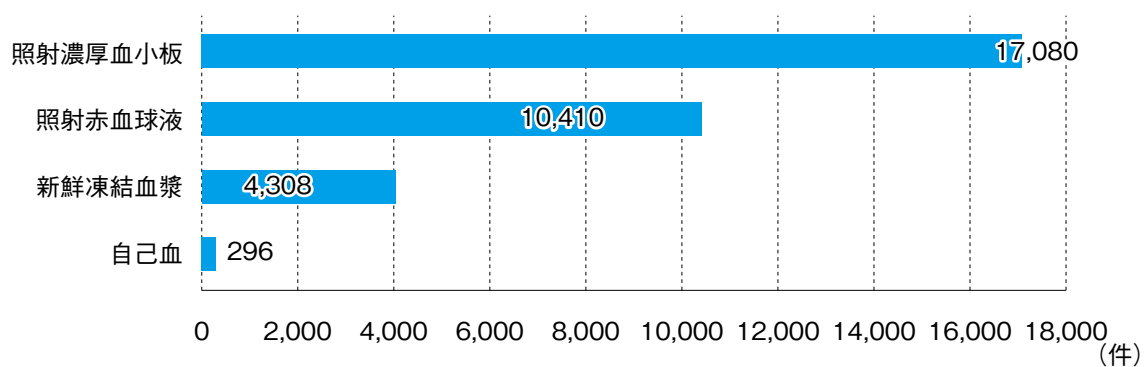


(6) 輸血移植・救命救急検査

① 輸血関連検査実績



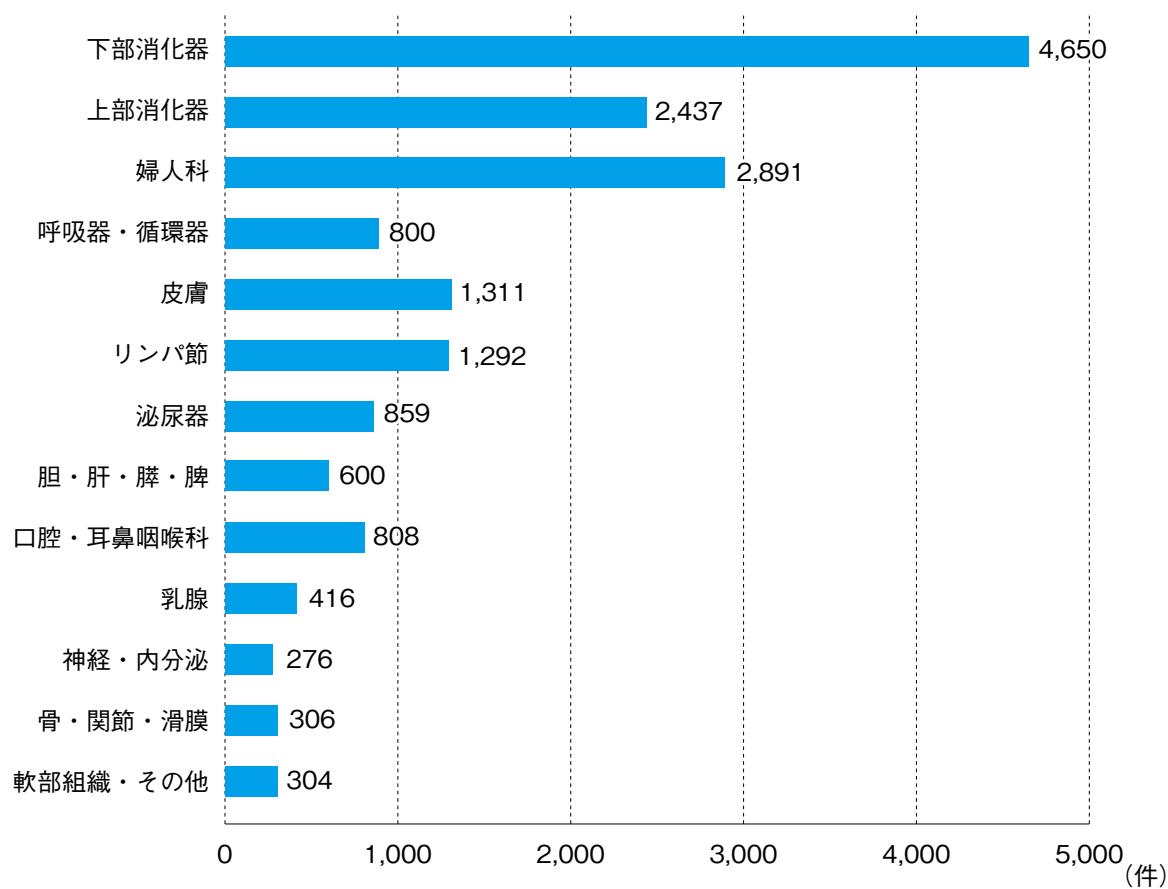
② 血液製剤使用状況



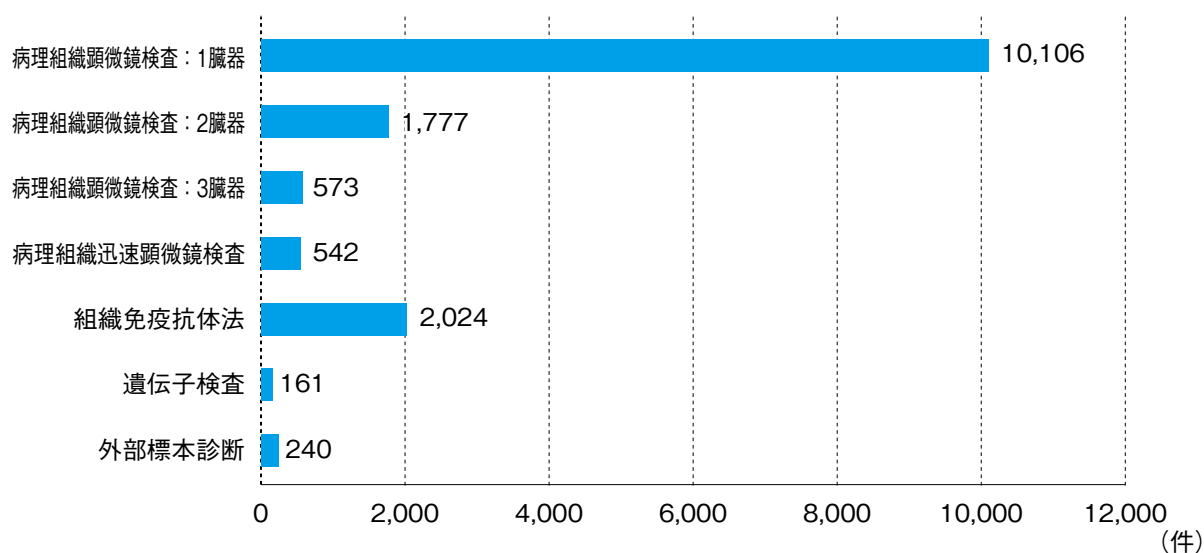
(7) 病理・細胞形態検査

①病理学的・細胞診検査実績

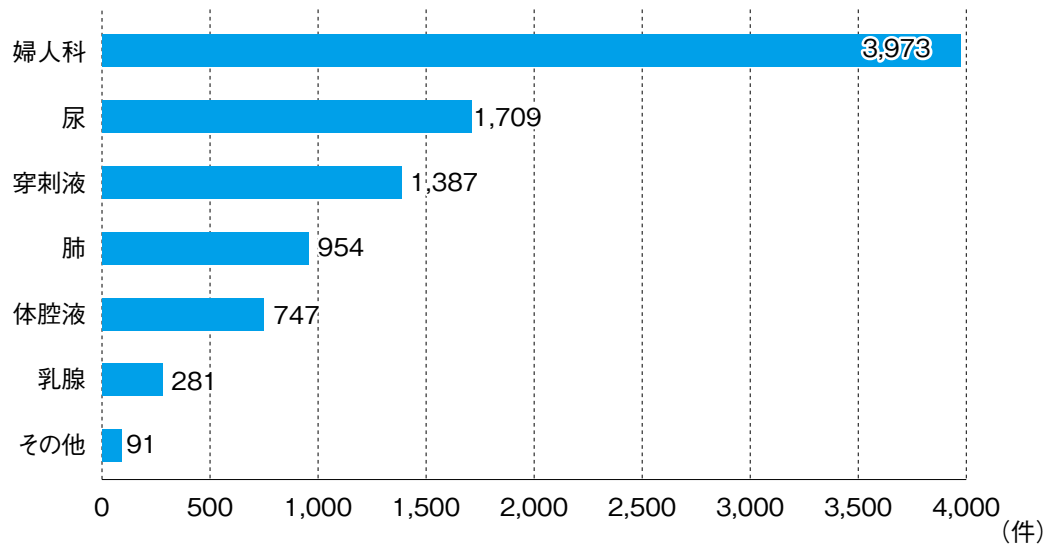
(ア)病理組織検査材料別件数



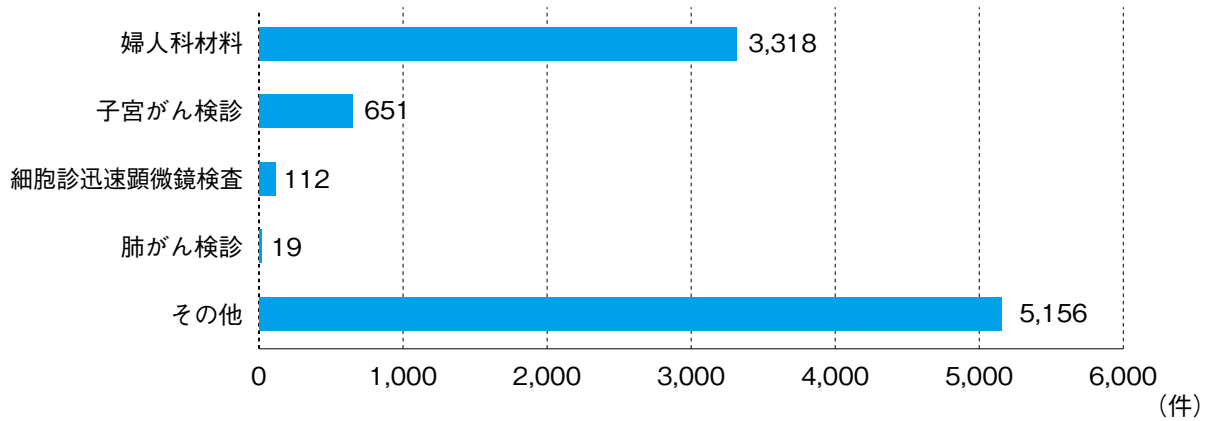
(イ)病理組織検査件数



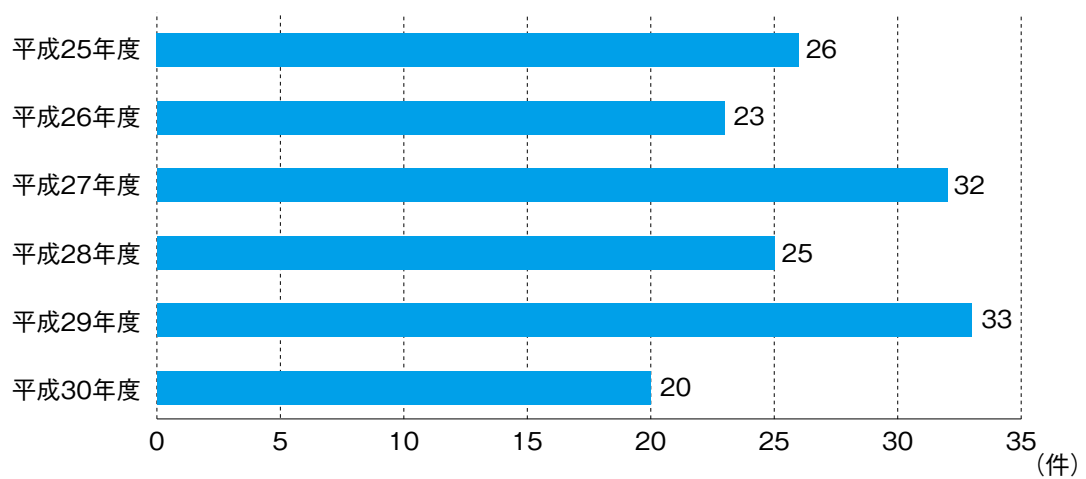
(ウ)細胞診検査材料別件数



(エ)細胞診検査件数



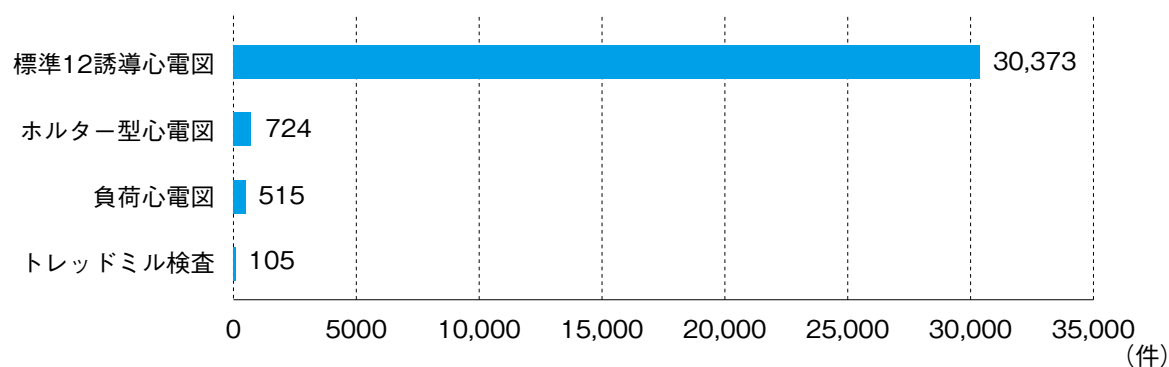
②病理解剖件数



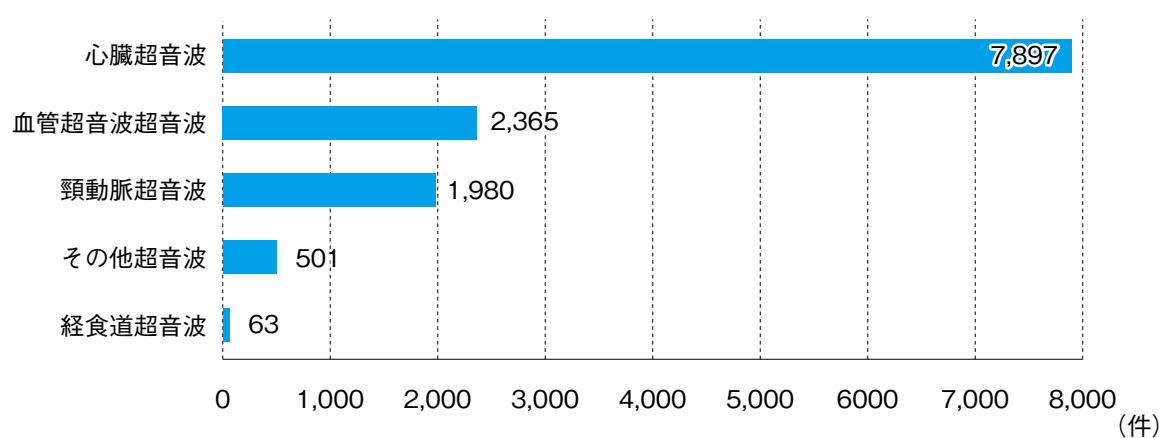
(8) 生理機能・生殖医療検査

① 病理学的・細胞診検査実績

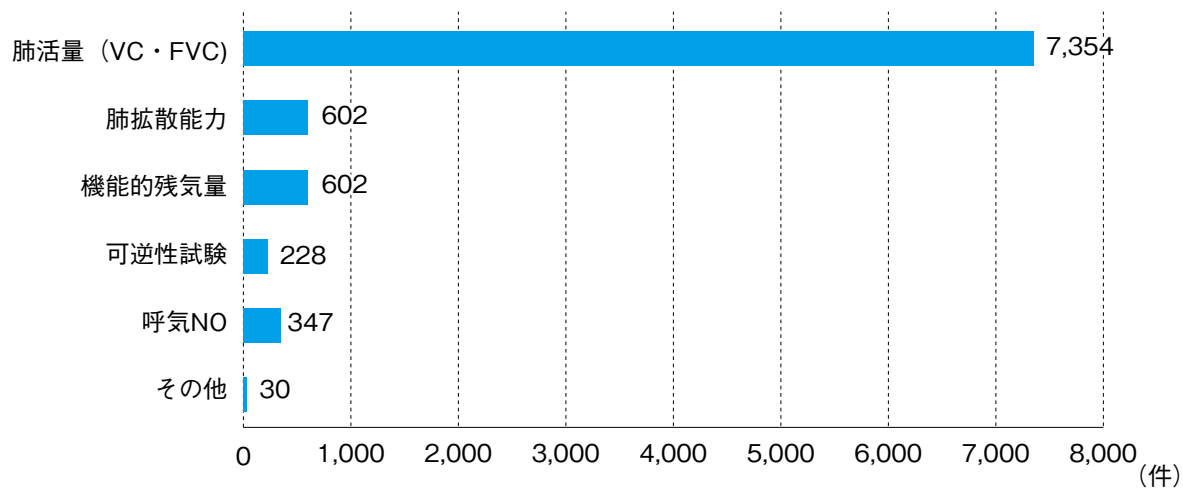
(ア) 心電図検査実績



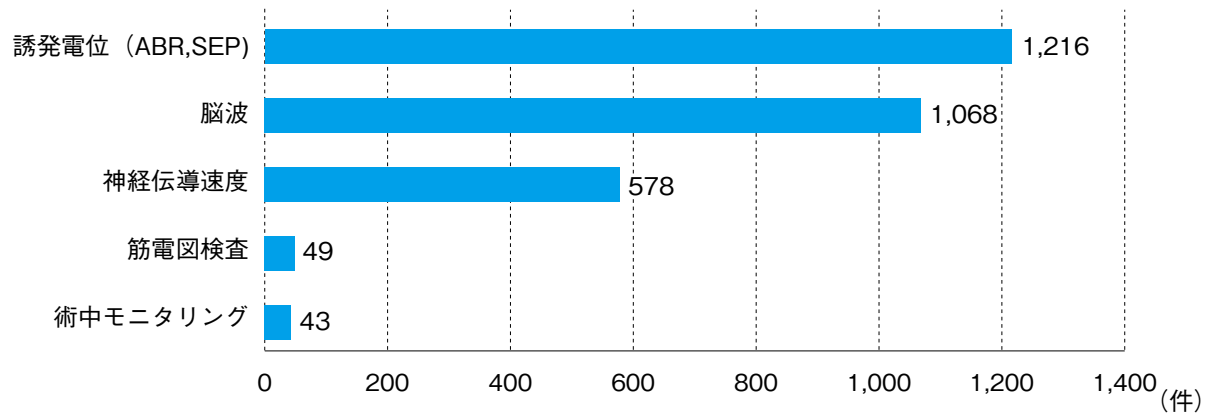
(イ) 超音波検査実績



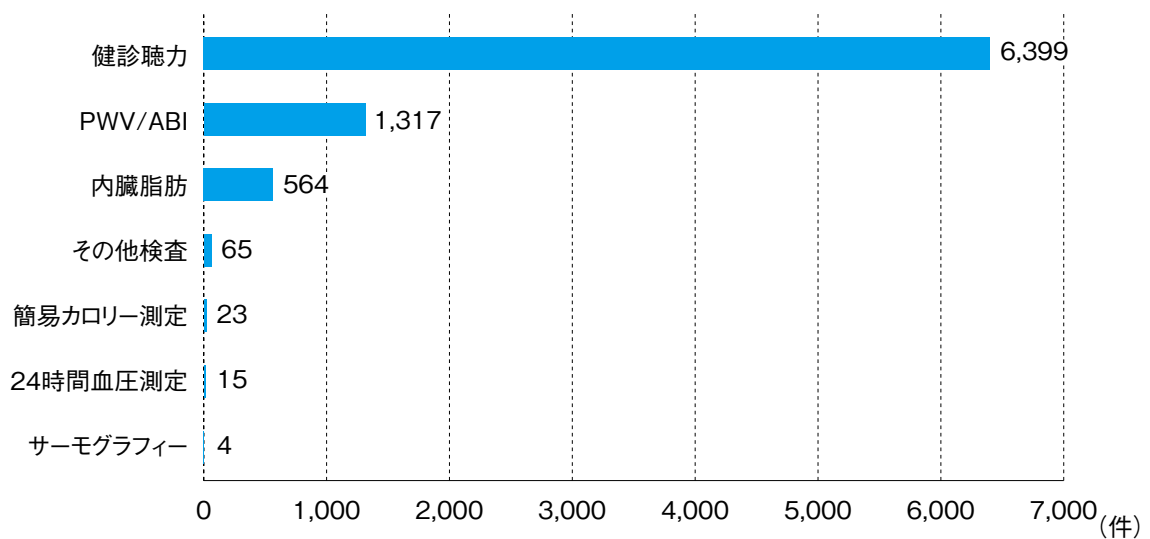
(ウ) 肺機能検査実績



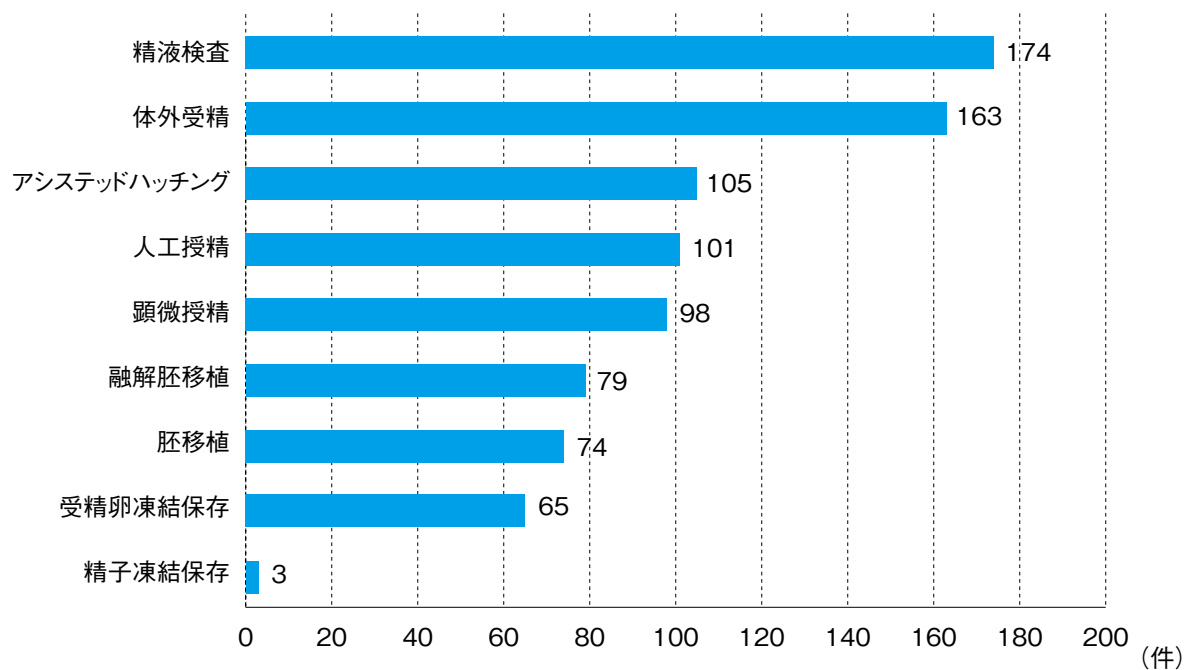
(エ)脳・神経検査実績



(オ)その他検査実績



②生殖医療関連検査実績



リハビリテーション技術室

1. 概要

リハビリテーション技術室は理学療法部門、作業療法部門、言語療法部門より構成される。運動器・脳血管・呼吸・心大血管・がん患者などを対象に総合的にリハビリテーションが実施できるよう施設基準を有している。2018年3月からはADL維持向上等体制加算を取得し、1病棟ではあるが療法士による病棟専従化を開始した。さらに栄養、呼吸、褥瘡、認知症、排尿ケア、嚥下等のチーム医療にも積極的に参加している。

1987年より開始した地域病院間のリハビリテーション連絡会は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が所属する施設で構成され、各機能別施設における専門分野からの情報提供や症例検討を行っている。病診や病病連携一体のシステムは、26施設を数え、リハビリテーション分野からの市民サービスの充実を図っている。

(室長 森嶋 直人)

2. 活動報告

(1) 外来入院別単位数

延べ患者件数は132,292件、その内訳として理学療法78,507件、作業療法32,788件、言語療法 20,997件であった。

(件)

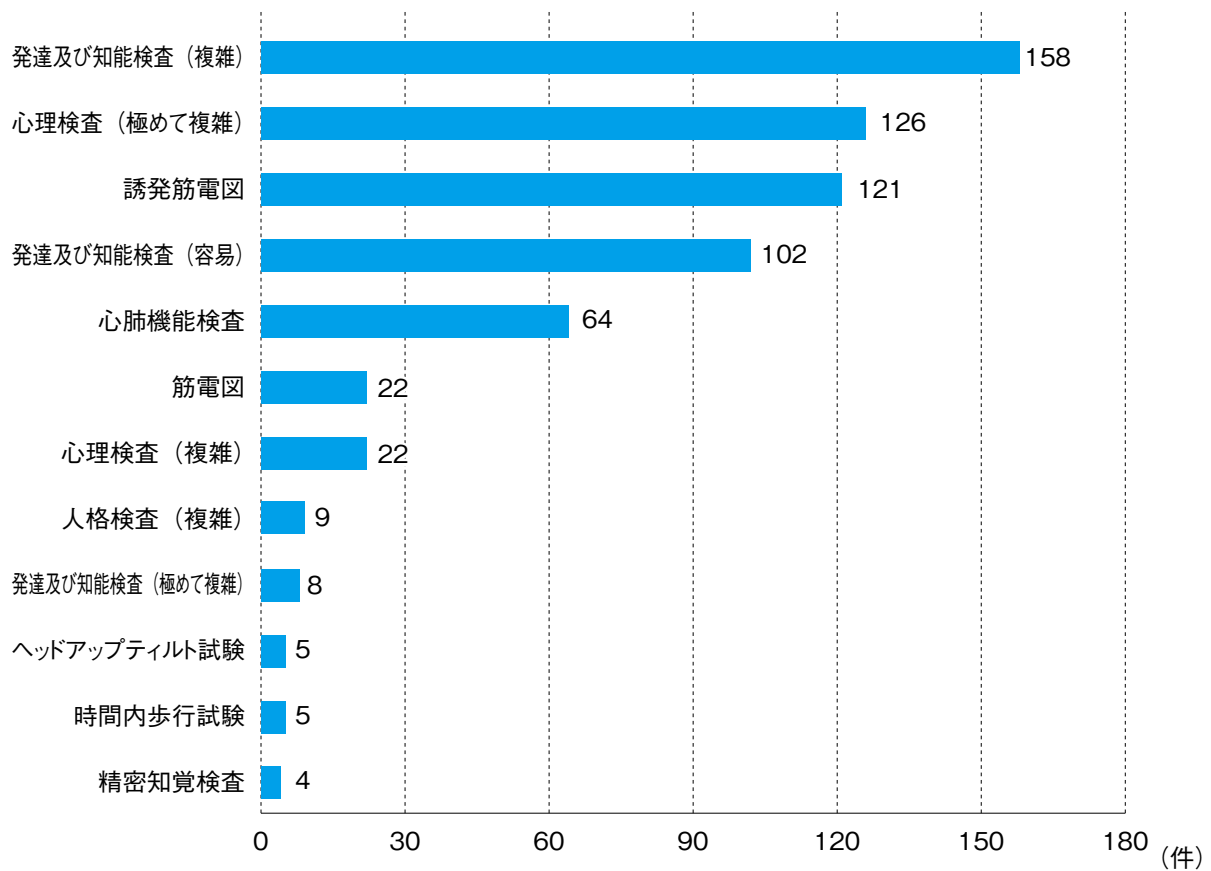
内 容	入外	平成30年度	平成29年度	平成28年度
理学療法	入院	72,822	73,427	67,518
	外来	5,685	4,390	3,612
作業療法	入院	29,424	28,940	26,228
	外来	3,364	2,866	2,733
言語療法	入院	17,578	16,932	14,770
	外来	3,419	3,119	3,015
合計	入院	119,824	119,299	108,516
	外来	12,468	10,375	9,360
計		132,292	129,674	117,876

(2) 疾患別件数

大分類疾患		代表的小分類疾患	
①脳疾患	1,116件	ア)脳梗塞	447件
		イ)脳出血	176件
		ウ)くも膜下出血	66件
		エ)小脳出血・小脳梗塞	15件
		オ)頭部外傷	170件
		カ)パーキンソン病	46件
		キ)その他	196件
②脳性麻痺	7件		
③発達障害	147件		
④脊髄疾患	163件	ア)脊髄損傷	40件
		イ)脊髄症	123件
⑤神経疾患	270件	ア)顔面神経麻痺	70件
		イ)多発神経炎	57件
		ウ)変性疾患	52件
		エ)その他	91件
⑥先天性異常	31件		
⑦骨疾患	541件	ア)上肢骨折	21件
		イ)下肢骨折	363件
		ウ)脊椎骨折	60件
		エ)脊椎症	6件
		オ)脊柱靱帯骨化	6件
		カ)無腐性壊死	17件
		キ)椎間板疾患	40件
		ク)その他	28件
⑧関節疾患	309件	ア)変形性関節症	167件
		イ)膝内障	64件
		ウ)肩関節疾患	17件
		エ)筋腱断裂	6件
		オ)その他	55件
⑨関節リウマチ	16件		
⑩切断	17件		
⑪手の外傷	17件		
⑫筋疾患	57件		
⑬循環器疾患	401件	ア)心筋梗塞	64件
		イ)心不全	243件
		ウ)狭心症	15件
		エ)その他循環器疾患	79件
⑭呼吸器疾患	759件	ア)肺炎	320件
		イ)誤嚥性肺炎	108件
		ウ)間質性肺炎	69件
		エ)COPD	72件
		オ)その他呼吸器疾患	190件

⑮腫瘍	964件	ア)頭頸部	89件
		イ)甲状腺	5件
		ウ)食道	25件
		エ)胃	44件
		オ)大腸	93件
		カ)肝臓	15件
		キ)胆道系	18件
		ク)脾臓	19件
		ケ)肺	190件
		コ)骨	17件
		サ)乳腺	64件
		シ)婦人科	28件
		ス)泌尿器	34件
		セ)脳腫瘍	103件
		ソ)小児腫瘍	1件
		タ)造血器	188件
		チ)その他の腫瘍	31件
⑯その他	781件	ア)廃用症候群・運動器不安定症	6件
		イ)その他	775件

(3) リハビリテーションセンター内検査実施件数



臨床工学室

1. 概要

臨床工学室は病院理念と基本方針に基づき、市民の財産である院内の医療機器を安全かつ良好な状態で臨床提供を行い、公共性と経済性を考慮し効率的な運用を行っている。

生命維持管理装置を用いた手術、治療支援ならびにそれに付帯する一切の医療安全業務に携ることが使命である。人員は室長の他20人、パート2人、事務員1人で、医療機器安全管理グループ、血液浄化センターグループ、生命維持装置管理グループのグループ制で担当を持ち、専用PHS端末を用いた365日24時間のオンコール体制としている。

医療機器管理においては、医療機器安全管理責任者の下に医療機器の保守管理計画、研修計画及び研修実施記録管理、更新・増設・廃棄業務支援を行っている。地域医療連携においては主治医を中心に、在宅で医療機器を使用する患者・家族への操作指導や退院後のフォローも行っている。多職種間の密な連携協力や、計画的な研修・カンファレンスを行いながら、患者の安全を第一に考えた医療技術の提供と診療支援に努めている。

血液浄化センターでは、一般的な血液透析から特殊血液浄化全般までを臨床工学技士と看護師で協働して対応している。基幹病院として、近隣病院より手術目的で紹介される患者の受け入れや、より重篤な透析患者の入院透析を中心に対応している。

生命維持管理装置といった医療機器の多くは手術センターで主に使用されている。そのため2017年からは手術センターに常駐の臨床工学技士を配置し、医師のサポート、医療機器の適正使用に貢献している。

手術支援ロボット・ダヴィンチについて当院では2013年10月から泌尿器科領域から開始し、その後、外科、婦人科領域に適応が拡大され、年間立ち合い件数は150件に達し、先進医療に貢献している。2019年4月からは手術支援ロボット・ダヴィンチ専用の手術室が増設され、さらに手術件数は増加する見込みである。

(室長 山口 育男)

(文責 室長補佐 後藤 成利)

「在籍技士が取得している認定資格等」

資格	認定団体	資格	認定団体
臨床ME専門認定士	日本生体医工学会	透析技術認定士	日本透析医学会・ 他4学会透析療法合同専門委員会認定資格
体外循環認定士	本人工臓器学会・ 日本体外循環医学会・ 日本心臓血管外科学会他	呼吸療法認定士	日本呼吸器学会・ 日本麻酔科学会・ 日本胸部外科学会
第2種ME技術者	日本生体医工学会	特定高圧ガス取扱主任者	高圧ガス保安協会
院内移植コーディネータ	愛知腎臓財団	第一種衛生管理者免許	厚生労働大臣指定安全衛生技術試験協会
医療安全認定コーチ:MCCS	国際医療リスクマネジメント学会		

2. 活動報告

(1) 治療手術業務件数 緊急血液浄化・血液成分分離・末梢血幹細胞採数

※HD、HDF、HF、ECUM、PEは血液浄化センターでの施行症例を除く

(件または回)

区分 内訳	平成30年度	平成29年度	平成28年度
血液浄化療法			
症例件数合計	88	81	110
血液浄化回数合計	219	264	477
HD件数	51	32	52
HD回数	85	144	243
HDF件数	1	0	4
HDF回数	3	0	16
HF件数	0	0	0
HF回数	0	0	0
ECUM件数	11	17	9
ECUM回数	23	44	12
CHD件数	0	1	0
CHD回数	0	1	0
小児CHD件数	0	0	0
小児CHD回数	0	0	0
CHDF件数	10	16	24
CHDF回数	17	35	103
CHF件数	1	2	0
CHF回数	1	2	0
PE件数	3	1	9
PE回数	11	3	23
小児PE件数	0	1	0
小児PE回数	3	3	0
CPE件数	0	0	0
CPE回数	0	0	0
DFPP件数	4	5	3
DFPP回数	22	13	12
免疫吸着件数	0	2	0
免疫吸着回数	0	9	0
LDL吸着件数	0	0	1
LDL吸着回数	0	0	4
薬物吸着件数	0	0	0
薬物吸着回数	0	0	0
ET吸着件数	0	2	3

ET吸着回数	0	2	4
L-CAP件数	3	1	4
L-CAP回数	23	3	50
G-CAP件数	4	1	1
G-CAP回数	31	5	10
末梢血幹細胞採取・骨髄移植関連			
症例件数合計	16	19	22
施行回数合計	21	25	29
PBSC成人件数	12	12	17
PBSC成人回数	16	18	24
PBSC小児件数	1	0	0
PBSC小児回数	1	0	0
健常人 ドナーPBSCH件数	1	3	3
健常人 ドナーPBSCH回数	2	3	3
健常人 ドナーリンパ球採取件数	0	1	-
健常人 ドナーリンパ球採取回数	0	1	-
骨髄濃縮件数	2	3	2
骨髄濃縮回数	2	3	2
顆粒球採取件数	0	0	0
顆粒球採取回数	0	0	0
白血球採取件数	0	0	0
白血球採取回数	0	0	0
その他			
腹水濾過濃縮再静注業務症例数	20	17	20
腹水濾過濃縮再静注業務回数	53	43	59

(2) 手術立ち会い業務件数

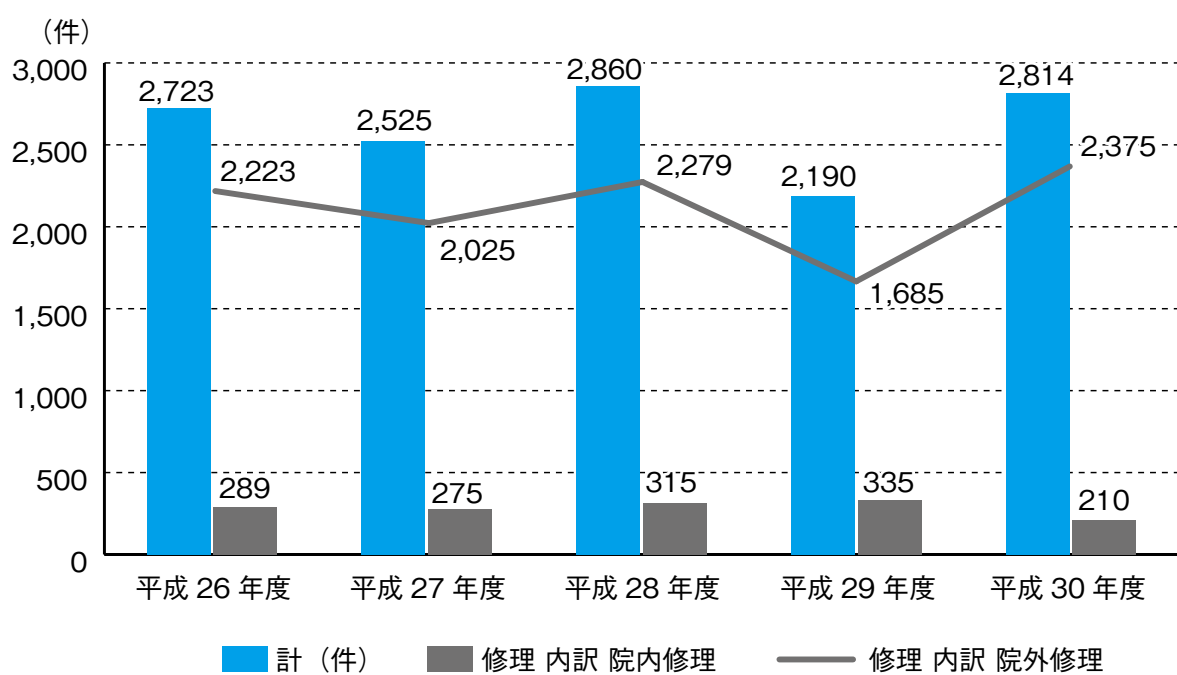
人工心肺・補助循環・自己血回収・脳外ナビ・ペースメーカー等症例数

(件)

区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
人工心肺装置業務(開心術)			
成人人工心肺症例数	27	35	38
小児人工心肺症例数	0	0	0
Off Pump 手術立ち会い症例数	1	1	1
計	28	36	39
補助人工心肺装置管理業務			
PCPS症例数	6	6	12
ECMO症例数	0	0	0
計	6	6	12
手術立ち会い業務(人工心肺業務以外)			
心外 自己血回収症例数	8	10	9
整形 自己血回収症例数	8	6	10
計	16	16	19
脳外ナビゲーション症例数	76	68	48
耳鼻いんこう科手術ナビゲーション症例数	9	6	10
計	85	74	58
泌尿器科ダヴィンチ症例数(前立腺)	61	65	56
泌尿器科ダヴィンチ症例数(腎部分切除)	8	1	2
婦人科ダヴィンチ症例数	64	7	7
外科ダヴィンチ症例数(胃・腸切除)	35	19	17
計	168	92	82
生体腎移植術腎還流	4	4	7
献腎移植術腎還流	2	3	0
計	6	7	7
PM・ICD 新規植込 立会い	23	20	17
PM・ICD 電池交換 立会い	8	8	6
PM・ICDリード交換等 立会い	0	1	1
PM設定術中/CT/MRI対応	63	60	87
ICM 新規植込 立会い	5	2	0
計	99	91	111
呼吸療法関連業務			
成人用人工呼吸器回路組立件数	518	528	492
小児用人工呼吸器回路組立件数	321	175	239
計	839	703	731
NOガス 使用症例数	7	5	4
N2ガス 使用症例数	0	0	0
計	7	5	4

(3) 医療機器修理件数

①年度別修理件数



②部署別修理件数

(件)

部署名	修理件数	修理 内訳				
		院内修理	院外修理	修理分類別		
				新品交換	異常なし	修理不能
内科	36	3	20	12	0	1
小児科	20	0	17	3	0	0
外科	7	0	5	1	1	0
形成外科	7	6	1	0	0	0
整形外科	11	1	10	0	0	0
皮膚科	12	1	11	0	0	0
泌尿器科	11	1	10	0	0	0
産婦人科	26	1	23	2	0	0
耳鼻いんこう科	93	2	89	2	0	0
眼科	20	0	19	1	0	0
脳神経外科	3	2	1	0	0	0
歯科口腔外科	12	0	12	0	0	0
外来治療センター	8	2	5	1	0	0
予防医療センター	2	0	2	0	0	0
入院支援センター	0	0	0	0	0	0
感染症管理センター	0	0	0	0	0	0
総合案内	53	4	47	2	0	0
総合生殖	0	0	0	0	0	0
東2	68	7	47	14	0	0
西2	59	8	38	13	0	0
東3	77	12	48	16	0	1
西3	55	5	49	1	0	0
総合周産期病棟	140	10	115	12	3	0
東5	71	10	52	8	1	0
西5	56	7	44	5	0	0
東6	47	9	29	9	0	0
西6	56	12	39	5	0	0
東7	64	8	46	10	0	0
西7	56	4	41	11	0	0
東8	60	7	50	2	1	0
西8	63	3	49	11	0	0
東9	52	13	32	6	1	0
西9	37	9	26	2	0	0
南病棟	105	15	80	10	0	0
放射線技術室	194	1	193	0	0	0
放射線治療室	1	0	1	0	0	0
画像検査(看護局)	74	1	69	4	0	0
中央臨床検査室	73	1	70	2	0	0
薬局	24	23	1	0	0	0

ME(臨床工学室)	121	1	116	0	2	2
血液浄化センター	8	0	6	2	0	0
NMC	88	4	77	7	0	0
救命救急センター	34	3	23	7	0	1
中央滅菌材料室	50	1	49	0	0	0
リハビリテーションセンター	19	3	14	2	0	0
栄養管理室	18	1	17	0	0	0
医局	0	0	0	0	0	0
看護局	8	0	8	0	0	0
管理課	3	0	0	0	0	3
医事課	10	0	9	1	0	0
医療情報課	10	1	8	1	0	0
物品事務室	7	0	7	0	0	0
手術センター	682	8	647	25	2	0

(4) 臨床工学室が管理する医療機器台数

* 各科で購入されているが、保守点検を臨床工学室が行っている機器を含む

(台)

管理機器名称	管理台数
人工心肺装置	1
人工心肺用遠心ポンプコントローラー	1
心筋保護液供給装置	1
人工心肺用ヒータークーラーユニット	2
自己血回収装置	2
遠心ポンプ式補助循環装置(PCPS)	2
IABP	3
成人・小児用人工呼吸器	25
新生児用人工呼吸器	14
在宅用 人工呼吸器(リース機含む)	65
成人用NIPPV	5
小児・新生児用NIPPV	10
可搬型人工呼吸器(パラパック)	2
パーカッションベンチレーター	2
RTX 陽陰圧式体外式人工呼吸器	1
多人数用血液透析患者監視装置	21
手術ナビゲーションシステム	3
個人用血液透析患者監視装置	3
個人用RO装置	2
持続的血液ろ過透析装置	2
血漿交換装置	1
腹水濾過濃縮装置	1
除細動装置	16
AED	25
AED解析装置	1
閉鎖式保育器(多機能型4台含む)	21
開放式保育器(インファントウォーマー)	12
搬送用保育器	2
輸液ポンプ	340
輸注ポンプ	319
経腸ポンプ	26
医薬品注入コントローラー(ドリップアイ)	15
PCAポンプ	5
6連式シリンジポンプユニット	2
セントラルモニター	33
ベッドサイドモニター	157
無線式送信機台数	149
携帯型受信機	14
心電計	25
血液成分分離装置	2

全身麻酔器	18
低圧持続吸引器	32
連続心拍出力計	10
体外式ペースメーカー(DDD式を含む)	10
ネブライザーヒーター	60
手術支援ロボットシステム(ダヴィンチSi)	1
計	1,464

(5) 人工呼吸器稼働台数および平均装着日数

診療科別

診療科名	症例数 (件)	延べ稼働 回数(日)	平均装着 日数(日)
外科	56	160	2.9
脳神経外科	90	473	5.3
心臓血管外科	35	79	2.3
呼吸器外科	17	104	6.1
循環器内科	26	193	7.4
呼吸器内科	19	83	4.4
消化器内科	12	100	8.3
神経内科	22	311	14.1
血液内科	5	67	13.4
腎臓内科	3	4	1.3
糖尿病・内分泌科	0	0	0.0
整形外科	18	98	5.4
リウマチ科	0	0	0.0
泌尿器科	2	7	3.5
産婦人科	8	12	1.5
形成外科	0	0	0.0
皮膚科	3	6	2.0
耳鼻いんこう科	23	82	3.6
歯科口腔外科	7	19	2.7
小児科	65	549	8.4
移植外科	1	4	4.0
計	412	2,351	5.7
前年度	436	2,833	6.5

病棟別

診療科名	症例数 (件)	延べ稼働 回数(日)	平均装着 日数(日)
南1	2	45	22.5
南2	0	0	0.0
西2	32	304	9.5
東2	54	513	9.5
西3/ICU	319	1,184	3.7
東3	12	122	10.2
西4	0	0	0.0
東4	0	0	0.0
西5	1	24	24.0
東5	1	1	1.0
西6	2	9	4.5
東6	2	34	17.0
西7	3	7	2.3
東7	2	15	7.5
西8	0	0	0.0
東8	3	31	10.3
西9	4	59	14.8
東9	0	0	0.0
救急外来	31	31	1.0
計	468	2,379	5.1
前年度	479	2,809	5.9

* 西病棟3階から病棟転症された症例を含む

* 在宅人工呼吸療法中で入院した症例も含む

病棟別 人工呼吸器稼働（日常点検）台数の報告

病棟	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間365日計算		
	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	延べ稼働台数	平均呼吸器稼働台数(台)	
南1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	28	1	45	2	0.12
南2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
西2	13	4	0	3	5	1	33	2	47	4	18	3	19	3	24	4	34	2	13	2	31	2	67	5	304	35	0.83
東2	87	6	58	21	13	3	11	3	33	3	20	3	43	6	33	6	44	4	47	4	41	4	83	9	513	72	1.41
西3/ICU	71	25	63	1	69	20	101	31	108	30	87	26	113	24	100	30	96	21	146	37	90	22	140	32	1184	299	3.24
東3	34	2	18	0	0	0	1	1	7	2	0	0	5	1	6	1	11	1	17	2	23	1	0	0	122	11	0.33
西4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
東4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
西5	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	1	0.07
東5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.00
西6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	1	1	9	2	0.02
東6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	25	1	0	0	0	0	0	0	34	2	0.09
西7	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	3	0.02
東7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	11	1	15	2	0.04
西8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
東8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2	10	1	0	0	0	0	31	3	0.08
西9	0	0	0	0	0	0	0	0	19	1	22	1	7	1	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	59	4	0.16
東9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
合計/日平均台数	229	38	139	25	87	24	147	38	214	40	147	33	192	36	191	44	231	31	233	46	206	31	332	51	2348	437	6.43

マスク式 人工呼吸器	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間		成人 小児 比較 (日)
症例数 ／延べ使用 日数	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	症例	延べ	延べ 症例 数	延べ 稼働 日数	
総数	20	61	25	104	18	85	18	99	17	30	17	68	25	144	12	72	15	82	26	114	16	132	22	107	231	1098	4.9
(内訳)成人	16	46	24	99	16	78	16	95	15	25	9	28	9	80	10	41	14	59	21	85	14	82	20	72	184	790	4.3
(内訳)小児	4	15	1	5	2	7	2	4	2	5	8	40	16	64	2	31	1	23	5	29	2	50	2	35	47	308	6.6
一日平均 装着日数	3.1		4.2		4.7		5.5		2.5		4.0		5.8		6.0		6.0		6.0		8.3		4.9		4.9		
(日)																											

栄養管理室

1. 概要

栄養管理室では、患者の病状や状態、年齢に合わせた常食、やわらか食、糖尿食など40種類の食種を用意している。食事内容は医師と管理栄養士が検食で確認し、選択メニューなど喜んで食べていただける食事や、食事療法を行うための食事を提供して、QOLの向上に努めている。家庭でも栄養管理、食事療法が行えるよう、栄養指導や糖尿病教室などを通して、アドバイスなど支援をしている。

入院患者の栄養状態について、看護師とともにスクリーニングを行い、栄養管理計画書を作成し、医師が確認している。また、治療食を提供している患者に対しては、管理栄養士から食内容の説明を含む栄養指導を積極的に行うようにしている。

栄養サポートチーム（NST）の事務局としてNST回診への同行、栄養治療実施計画書の作成など、患者の栄養状態の把握、改善を図り、治療に貢献している。また褥瘡対策チーム、呼吸療法ケアチームの一員として活動している。

栄養管理委員会で食事内容の検討や、NST運営委員会でNST活動を報告した。栄養治療についての知識、技術を習得するためNST定期教育講演会やNST教育カリキュラムを開催するなど、院内全体の栄養治療の水準向上を図っている。

（室長 山口 育男）

（文責 室長補佐 島 淳二）

「取得している認定資格等」

資格	認定団体
栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会

2. 活動報告

(1) 実績

区分		平成30年度	平成29年度	平成28年度
食種及び食数	一般食	405,065	417,871	411,696
	特別食	加算食	124,933	135,999
		非加算食	4,713	4,514
		小計(食)	129,646	140,513
	合計(食)	534,711	558,384	545,921

選択メニュー	実施日数(日)			365	365	365
	実施食種	一般食	常食	63,436	66,375	64,824
			軟菜食	23,305	23,362	24,882
			小計(人)	86,741	89,737	89,706
		治療食	糖尿食	13,873	15,600	14,259
			心臓食	4,831	5,267	4,509
			肝臓食	330	296	537
			すい臓B食	1,197	1,905	1,558
			小計(人)	20,231	23,068	20,863
		合計(人)			106,972	112,805
				112,805	110,569	

栄養食事指導	外来患者栄養食事指導	1,060	1,045	1,054
	糖尿病透析予防管理	79	64	84
	入院患者栄養食事指導	1,618	1,340	1,021
	乳児栄養食事指導	21	67	114
	小計(件)	2,778	2,516	2,273
	糖尿病教室	110	139	135
	合計(件)	2,888	2,655	2,408

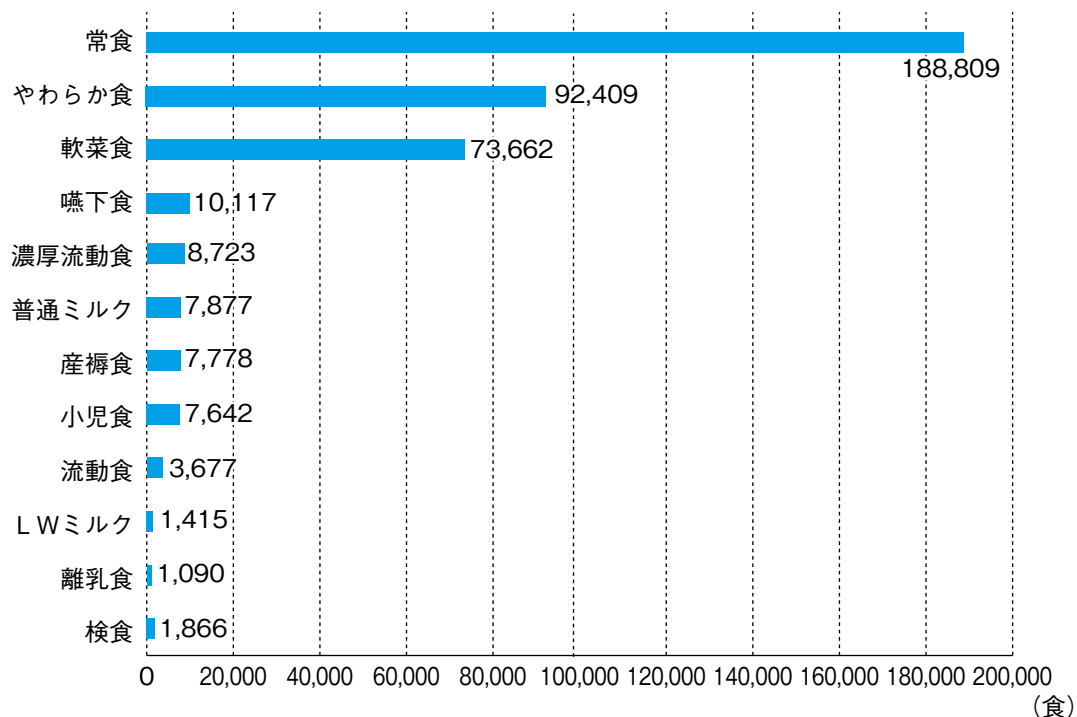
NST業務	栄養管理計画書(件)	22,722	22,233	21,729
	栄養サポートチーム加算(件)	814	740	646

NST定期 教育講演会	実施回数(回)	7	6	8
	参加者(人)	405	301	453

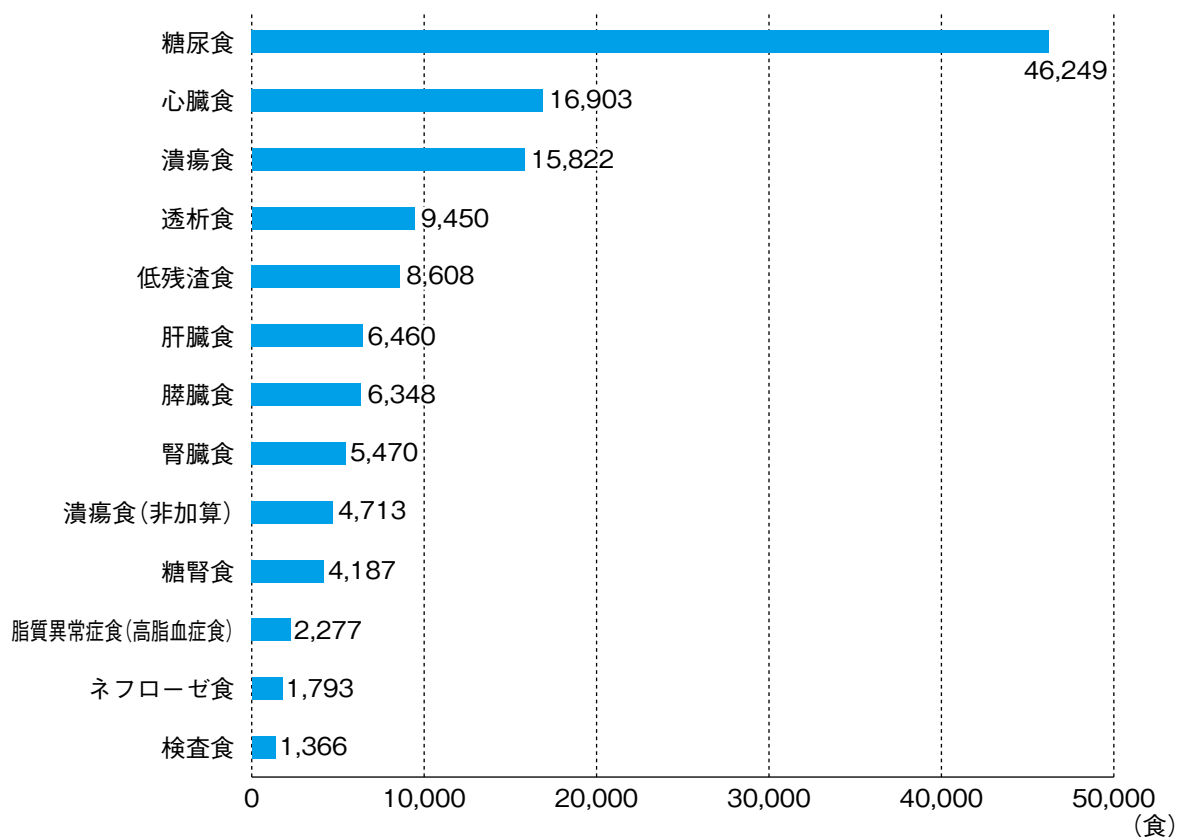
NST教育 カリキュラム	実施回数(回)		1	1	1
	受講者(人)	院外	6	5	4
		院内	1	2	2

(2) 食種詳細

①一般食 405,065食



②特別食 129,646食



薬局

1. 概要

薬剤師は、薬のエキスパートとして薬物療法および医療安全に貢献することを目標に各職種と連携し、医療チームの一員として業務を行っている。

薬局には、管理、注射、製剤・注射調製、調剤・麻薬、医薬品情報の5グループからなる基本組織と治験管理センターが設置されている。手術室にはサテライト薬局を置き、薬剤師が常駐して手術に使用する医薬品の供給・管理を行い、麻薬、毒薬等のハイリスク薬の適正管理を行っている。病棟においては、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務を実施して、患者への服薬指導や副作用発現のチェック、他の医療職への情報提供等を行い、薬物療法における有効性・安全性の向上に貢献している。さらに外来治療センターにも常駐し、抗がん薬の薬剤指導、副作用管理を実施している。

また、最適な処方設計を提供するための薬物血中濃度解析や新薬開発のための治験業務等も推進している。

薬剤師の資格取得も積極的に推進し、がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、感染制御認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、栄養サポートチーム専門療法士、日本糖尿病指導療養師等の専門領域の薬剤師は各チーム医療の一員として役割を担い、薬剤師能を発揮している。

(薬局長 石川 元章)

2. 活動報告

(1) 患者数及び処方箋枚数

年度		平成30年度(対前年度)		1日平均	平成29年度(対前年度)		1日平均	平成28年度(対前年度)		1日平均
区分										
外来	患者数(人)	471,981	102.4%	1,934	461,026	100.3%	1,889	459,565	100.1%	1,891
	院 処方箋枚数(枚)	47,053	108.1%	193	43,512	98.7%	178	44,072	98.2%	181
		平均投薬日数(日)	15.4	100.7%	15.3	108.5%	14.1	102.7%		
	内 注射処方箋枚数(枚)	19,438	115.2%	80	16,867	112.3%	69	15,013	101.7%	62
	院 処方箋枚数(枚)	160,846	100.4%	659	160,201	97.7%	657	163,959	100.4%	675
	外 平均投薬日数(日)	33.7	98.3%	34.3	100.3%	34.2	99.3%			
入院	患者数(人)	251,669	96.6%	690	260,435	103.3%	714	252,163	100.1%	691
	処方箋枚数(枚)	115,096	98.7%	315	116,590	102.0%	319	114,317	103.3%	313
	平均投薬日数(日)	6.8	93.2%	7.3	107.4%	6.8	108.2%			
	注射処方箋枚数(枚)	126,772	99.5%	347	127,439	101.7%	349	125,342	101.1%	343
備 考		外来日数244日 入院日数365日		外来日数244日 入院日数365日		外来日数243日 入院日数365日				

(2) 薬剤管理指導実績

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
薬 剤 管 理 指 導 件 数 (件)	21,987	24,909	25,495
麻 薬 加 算 件 数 (件)	345	659	689

(3) 無菌製剤処理料実績

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
無菌製剤処理料件数(件)	14,318	12,476	12,326

(4) 外来及び入院の科別処方箋枚数

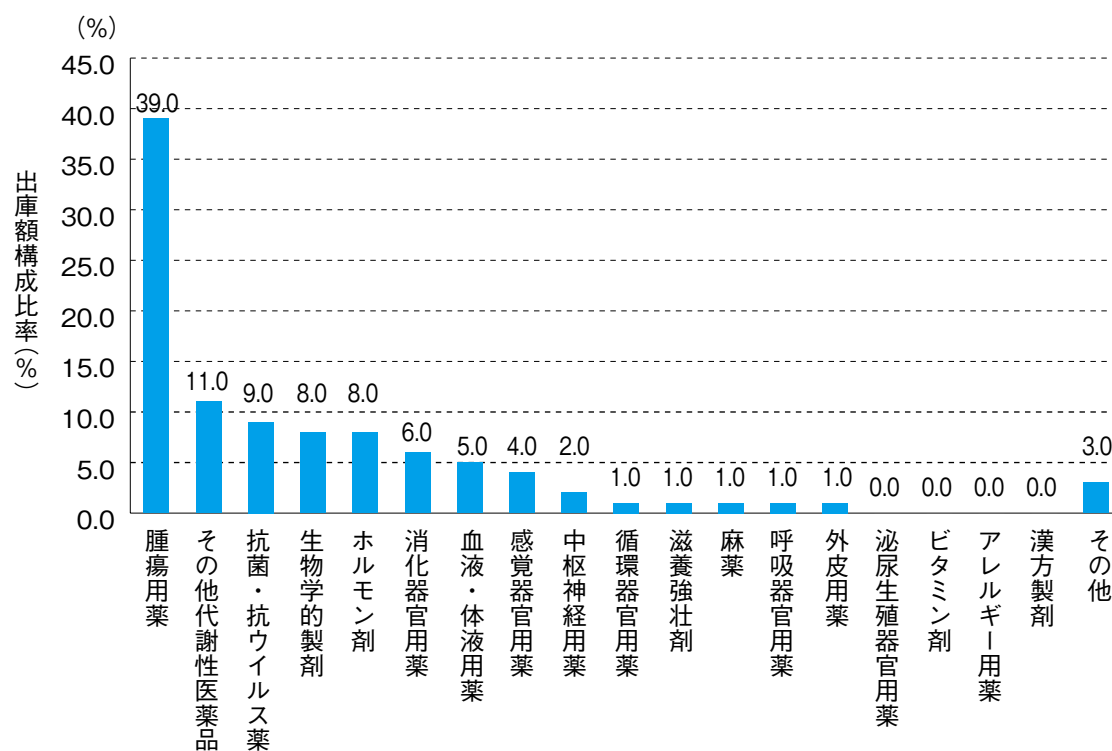
科 名	外来			入院	
	処方箋枚数(枚)		全処方箋枚数に 対する科別比率 (%)	処方箋枚数 (枚)	全処方箋枚数に 対する科別比率 (%)
	院内	院外			
総合内科	508	3,316	1.8	793	0.7
一般外科	4,589	8,068	6.1	10,529	9.1
整形外科	1,768	7,420	4.4	9,568	8.3
脳神経外科	347	3,403	1.8	6,940	6.0
産婦人科	1,980	7,160	4.4	9,614	8.4
小児科	2,873	11,271	6.8	5,734	5.0
耳鼻いんこう科	1,069	8,242	4.5	5,029	4.4
皮膚科	3,127	16,002	9.2	2,902	2.5
泌尿器科	1,521	10,073	5.6	6,167	5.4
眼科	787	10,710	5.5	1,196	1.0
放射線科	47	437	0.2	0	0.0
こころのケア科	180	0	0.1	0	0.0
形成外科	81	341	0.2	1	0.0
歯科口腔外科	723	4,242	2.4	1,649	1.4
リハビリテーション科	3	10	0.0	0	0.0
麻酔科	3	0	0.0	0	0.0
救急科	11,672	7	5.6	-	-
呼吸器内科	1,006	10,614	5.6	14,107	12.3
消化器内科	5,021	14,127	9.2	11,198	9.7
循環器内科	1,216	9,939	5.4	4,166	3.6
アレルギー内科*	0	0	0.0	-	-
腎臓内科	1,009	4,771	2.8	3,382	2.9
糖尿病・内分泌内科	2,789	9,935	6.1	2,982	2.6
神経内科	503	5,980	3.1	7,147	6.2
血液・腫瘍内科	2,687	6,059	4.2	8,857	7.7
小児外科	31	274	0.1	13	0.0
移植外科	48	705	0.4	249	0.2
リウマチ科	1,078	6,387	3.6	242	0.2
脊椎外科	19	19	0.0	21	0.0
呼吸器外科	169	347	0.2	1,218	1.1
心臓血管外科	199	987	0.6	1,392	1.2
合計	47,053	160,846	100.0	115,096	100.0
	207,899				

※処方箋枚数：外来の肛門科は一般外科、臨床検査科は総合内科、心臓血管・呼吸器外科は呼吸器外科に含む。入院の膠原病内科は糖尿病・内分泌内科に含む。

(5) 抗がん薬及びTPN調製本数

	区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
抗がん薬(本)	入 院	7,142	6,643	6,828
	外 来	14,157	13,250	11,818
TPN(本)	入 院	657	570	987

(6) 薬効別出庫薬品

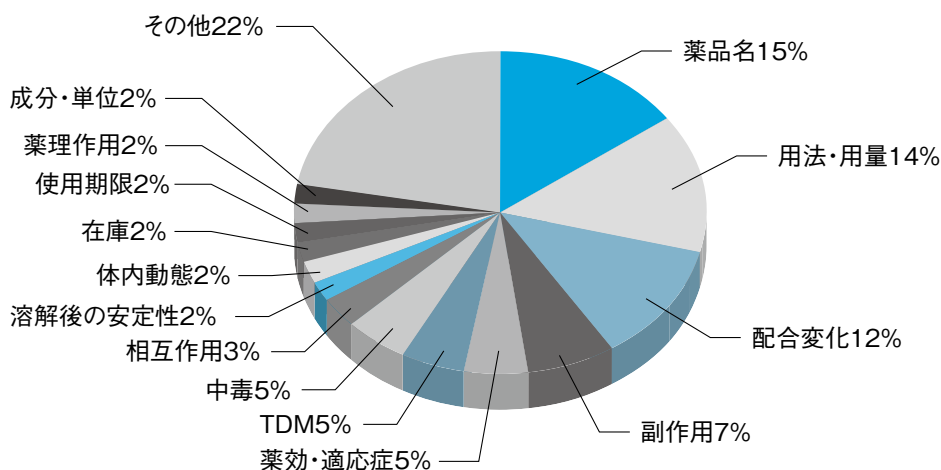


(7) 院内特殊製剤（一部抜粋）

剤形	製剤名(出庫単位)	適応症等	主な使用科	製剤量
坐剤・ 腔坐剤	チラージンS坐薬50 μ g	甲状腺機能低下症(内服不可能時)	糖尿病・内分泌内科等	216本
	ミラクリッド腔坐薬1万単位	切迫早産(破水予防)	産婦人科	778本
	プロゲステロン腔坐薬200mg	黄体ホルモン補充療法	総合生殖医療センター	1,764本
	リファンピシン坐薬450mg	結核治療薬(イレウス等で内服困難時)	呼吸器内科	73本
注射剤	眼科用アバステン注	加齢黄斑変性症、血管新生緑内障	眼科	18本
	シリコンオイル眼注(10mL)	増殖硝子体網膜症の硝子体手術における眼内充填物	眼科	22本
	滅菌墨汁(5mL)	内視鏡的點墨法	消化器内科	167本
	2%パテントブルー注(5mL)	悪性リンパ腫のリンパ管染色	皮膚科	6本
点眼剤	0.5%デノシン点眼液(5mL)	サイトメガロウイルス角膜内皮炎	眼科	12本
	バンコマイシン点眼液(5mL)	MRSA陽性患者への眼科感染症	眼科	5本
	0.125%ピロカルピン液(4mL)	瞳孔緊張症	眼科	9本
	0.5%硫酸アトロピン点眼液(5mL)	診断または治療を目的とする散瞳と調節麻痺	眼科	61本
	0.25mg/mLプリリアントブルーG点眼液(5mL)	黄斑円孔、黄斑前膜等に対するガラス体手術での内鏡膜剥離時の染色	眼科	67本
内用剤	セレン内服液(10 μ g/mL)	セレン欠乏症	小児科	16,700mL
	P.Child - C (CN)	風邪・咳用申し合わせ処方	小児科	5,000g
外用剤	SAD液	円形脱毛症、疣贅	皮膚科	5,400mL
	鼓膜麻酔薬	鼓膜麻酔	耳鼻科	30mL
	DPCP液	円形脱毛症、疣贅	皮膚科	3,500mL
	2%滅菌HPC液	肉芽組織の清浄化と形成促進剤	血液・腫瘍内科等	11,500mL
	0.02%滅菌ボスミン液	外傷・鼻・抜歯後など局所出血	耳鼻科等	28,700 mL
	1%ヨウ素ヨウ化カリウム液	カメラ室における検査薬	消化器内科	9,600mL
軟膏剤	40%尿素軟膏	爪白癬の角質除去	形成外科	100g
	5%ヒドロキノン軟膏	メラニン色素の破壊・生成抑制	形成外科等	2,700g
	Mohs氏ペースト	Mohs surgeryにおける組織の固定	一般外科等	400g

(8) 医薬品情報室への問い合わせ状況

総件数：1,007 件



(9) 医薬品情報提供

医薬品集	1回
Drug Information News	12回
薬局ニュース	12回
緊急安全性情報・安全性速報	0件
適応症に関する情報	37件
使用上の注意に関する情報	58件
用法・用量に関する情報	12件
安全性情報	23件
薬物血中濃度解析	51件

(10) 持参薬鑑別

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
薬剤鑑別件数(件)	13,240	12,802	11,987

(11) 治験実施数 (平成 30 年度)

治験/製造販売後	相	件 数	予定症例数	実施症例数
治 験	ph II	6	15	4
	ph II / III	2	7	4
	ph III	22	91	53

(12) 副作用報告

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
厚生労働省報告件数	18	10	9
プレアボイド報告件数	228	168	140

(13) 年間麻薬使用量

薬 品 名	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	院内	院外	院内	院外	院内	院外
オピスコ注(本)	8	－	0	－	1	－
ペチジン塩酸塩注(本)	0	－	2	－	0	－
モルヒネ塩酸塩注10mg(本)	2,011	－	3,171	－	3,350	－
モルヒネ塩酸塩注50mg(本)	421	－	445	－	473	－
モルヒネ塩酸塩注200mg(本)	241	－	347	－	364	－
フェンタニル注0.1mg(本)	9,844	－	9,706	－	9,832	－
フェンタニル注0.5mg(本)	5,958	－	6,178	－	7,139	－
アルチバ静注用2mg(瓶)	3,884	－	3,727	－	3,832	－
アルチバ静注用5mg(瓶)	1,784	－	1,780	－	1,627	－
ケタラル静注用200mg(瓶)	512	－	611	－	642	－
オキファスト10mg(本)	1,200	－	1,159	－	696	－
オキファスト50mg(本)	444	－	442	－	482	－
プレペノン注100mgシリンジ(本)	72	－	176	－	136	－
MSコンチン錠10mg(錠)	3,335	1,251	1,941	624	1,269	949
MSコンチン錠30mg(錠)	929	0	463	578	592	14
ピーガード錠20mg(錠)	－	－	－	－	10	0
モルベス細粒2% 10mg(包)	1,270	1,046	3,531	1,735	1,864	652
モルベス細粒6% 30mg(包)	1,026	0	131	0	－	－
モルヒネ塩酸塩錠10mg(錠)	2,471	1,804	1,225	40	479	115
オプソ内服液5mg(包)	2,998	2,115	3,179	1,335	2,352	933
オプソ内服液10mg(包)	2,980	416	3,405	795	2,270	466
オキシコンチン錠5mg(錠)	20,595	23,917	30,195	41,807	23,383	34,736
オキシコンチン錠20mg(錠)	3,126	4,326	5,556	4,828	3,905	5,702
オキシコンチン錠40mg(錠)	1,339	2,730	2,172	5,175	1,730	4,846
オキシコドン徐放錠5mg(錠)	12,833	15,736	－	－	－	－
オキシコドン徐放錠20mg(錠)	1,838	2,316	－	－	－	－
オキシコドン徐放錠40mg(錠)	516	238	－	－	－	－
オキノーム散2.5mg(包)	5,565	5,305	7,289	6,193	6,900	5,506.5
オキノーム散5mg(包)	5,681	4,514	6,422	6,298	4,999	3,479
オキノーム散10mg(包)	4,810	5,087	5,890	6,502	4,430	6,343
イーフェンバツカル錠50μg(錠)	160	293	347	0	173	30
イーフェンバツカル錠100μg(錠)	525	130	483	135	908	135
イーフェンバツカル錠200μg(錠)	765	590	359	536	279	294
タペンタ錠 25mg(錠)	424	14	232	0	1,337	28
タペンタ錠100mg(錠)	173	0	614	0	872	14
メサペイン錠5mg(錠)	54	21	91	84	－	－
メサペイン錠10mg(錠)	678	840	366	1,071	－	－
アンパック坐薬10mg(本)	220	10	317	40	449	30
アンパック坐薬30mg(本)	0	0	96	0	51	0
デュロテップMT ^ハ ツf2.1mg(枚)	－	－	－	－	46	80
デュロテップMT ^ハ ツf4.2mg(枚)	－	－	－	－	3	29
デュロテップMT ^ハ ツf8.4mg(枚)	－	－	－	－	7	10
フェントステーブ1mg(枚)	3,668	2,811	3,634	3,389	2,581	2,727
フェントステーブ2mg(枚)	4,099	2,616	4,601	3,889	4,331	2,687
フェントステーブ6mg(枚)	2,389	348	1,803	699	1,680	490
アヘンチンキ(mL)	2,806.0	3,660.0	865.0	2,229.0	403.6	1,769.0
10%塩酸コカイン液(mL)	15.0	0	34.0	0	46.0	0

※ 年度の設定は麻薬関係法令上、平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日までとする。

看護局

1. 概要

看護局の重点目標として、以下を挙げ、看護局委員会、師長を中心に看護目標やチーム活動を実施し、目標達成に向けて取り組むことができた。

- 1) 平均在院日数を一日減らす。
- 2) 仕事と休みのメリハリをつける。
- 3) お互いが信頼できる職場をつくる。

平均在院日数は退院調整看護師と共に患者の暮らしをみる視点から、12.5日から11.5日と減少する一助を担った。また、管理担当主任を各部署に置くことで、管理の役割を増やし、各委員会の部会としてリンクナースをおき、現場力の向上に向け活動した。目標はそれぞれの立場や役割で活動することでは達成となるが、働きやすい勤務体制の構築、時間外労働の削減や休暇取得に向けては今後の課題となる。

(局長 間瀬 有奈)

2. 活動報告

(1) 看護局の状況

①職員の動向

職員数 922人 助産師41(2)人 看護師799(84)人 准看護師13(11)人
看護補助者 60人 助手 7人 保育士 2人
退職者 55人(定年退職者6人含む)

②看護師確保対策

(ア)採用試験

平成31年度新規採用試験 3回実施(新卒59人、既卒1人)

平成30年度中途採用試験(7人)

(イ)ガイダンス(4回実施 256人参加)

日 程	開 催 名	参加人数
2018年5月 6日	豊橋市民病院就職ガイダンス	71人
2018年8月 8日	修文大学学内病院合同説明会	9人
2019年1月20日	中日たまご2019「看護師就職ガイダンス」	14人
2019年2月11日	マイナビ「看護師就職ガイダンス」	61人
2019年3月16日	豊橋創造大学合同説明会	33人
2019年3月30日	豊橋市民病院就職ガイダンス	68人

(ウ)インターンシップ

開 催 期 間	研 修 名	参加人数
2018年8月 6日～8月17日	夏のインターンシップ研修	31人
2019年3月12日～3月22日	春のインターンシップ研修	29人

(エ)施設見学 総数 19人

(オ)学校訪問 4月23日～(4日間)12校

(カ) 看護体験

高校生 ナースセンター開催 30人
 自開催 2018年8月 56人
 2018年3月 29人

中学生職場体験 11人

(キ) 育児休業中職員向けに「ぶっちゃけママトーク」開催 33人

3. 認定看護師

(1) 認定看護師数(25人)

感染管理 (3) 救急看護 (2) 皮膚・排泄ケア (3) がん化学療法看護 (2)
がん性疼痛看護 (2) 緩和ケア (1) 集中ケア (1) 新生児集中ケア (1)
摂食・嚥下障害看護 (1) 脳卒中リハビリテーション看護 (1) 認知症看護 (1)
訪問看護 (1) 透析看護 (1) 手術看護 (1) 糖尿病看護 (1) 小児救急看護 (1)
がん放射線療法看護 (1) 看護管理 (1)

(2) 平成30年度 認定看護師活動実績 (資料1)

4. 教育活動

(1) クリニカルラダー認定者数

レベルⅠ 271人 レベルⅡ 175人 レベルⅢ 8人

(2) 平成30年度 研修状況 (資料2)

(3) 病棟看護補助者研修 6回 270人参加

5. その他

医療安全管理者養成研修修了者 13人
専任看護教員養成講習会修了者 15人
愛知DMAT隊員養成研修修了者 2人
災害派遣医療チーム研修修了者 (日本DMAT隊員) 8人
愛知県看護協会災害支援ナース登録者 18人
日本DMATインストラクター 2人

(資料1) 平成30年度 認定看護師活動実績

	実 践	指 導	相 談
感染管理	①医療関連感染サーベイランス(耐性菌・ウイルス、CLABSI、CAUTI、VAP、SSI) ②職業感染予防対策の推進(抗体価測定、ワクチン接種事業、他) ③職員健康外来の開催と診療介助 ④ICトピックスの配信 ⑤ICT Newsの発行 ⑥院内感染対策委員会への参加と運営 ⑦院内感染対策チーム(ICT)/抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動 ⑧手術看護エキスパート第12巻第4号:執筆 ⑨東三河地区感染管理担当者座談会:座長(計3回) ⑩学会発表:第57回全国自治体病院学会	①新規採用者オリエンテーション:講義 ②基礎看護技術演習:講義&演習 ③薬学生への感染対策:講義、院内ラウンド(計3回) ④中部地区中材業務研究会:講義(計2回) ⑤静岡県中部感染対策:講義 ⑥セーフティーリンクナース会:講義 ⑦再就職チャレンジ支援研修:講義 ⑧中途採用者オリエンテーション:講義(計2回) ⑨豊橋市立看護専門学校 看護第1.2科:講義(計30時間) ⑩豊橋准看護学校:講義(2クラス計10時間) ⑪院内感染対策講習会:講義(計2回) ⑫救急医学講座(初期研修医指導):講義 ⑬NST教育カリキュラム:講義 ⑭病棟勉強会:講義(3病棟)	①年間:220件 (看護師52%、医師31%、他17%)
手術看護	①看護スパイラルアップ委員会 周術期看護ケア部会メンバー/講師 ②日本手術看護学会東海地区周術期看護セミナー講師 ③日本手術看護学会東海地区内視鏡セミナー講師 ④豊橋市立看護専門学校 2年生看護第1科成人看護論講師 ⑤豊橋市立看護専門学校 2年生看護第2科成人看護論講師	①手術センタースタッフの周術期看護の指導	①手術センターキャリアラダーの実施と評価 ②特殊手術体位の確保方法と使用物品について ③小集団活動の活動内容について
訪問看護	①在宅療養支援(114人) ②退院後訪問(1人)	①病棟での学習会	①小集団活動の内容

透析看護	①血液浄化センターでの看護実践を通しての現場の質向上 ②腹膜透析患者の療法変更支援(1件) ③透析導入患者に対しての導入前面談(29件) ④転入・入院患者及び術前患者のシャントスクリーニング(101件) ⑤CKD教育入院に対する療養支援・療法選択支援(19件(延べ23件)) ⑥東三河腎不全看護研究会特別講師 ⑦東三河腎不全看護研究会座長	①血液透析の基礎学習会 ②腹膜透析学習会 ③シャント学習会 ④東三河腎不全看護研究会特別講師「リンのおはなし」	①糖尿病内科外来よりCKD4期の療法支援(2件) ②入院中の腹膜透析患者の支援(2件) ③外来より入院調整(22件)
認知症看護	①認知症や高齢により心身の安寧が得られていない患者に対する症状マネジメント ②高齢者のせん妄患者に対する症状マネジメント ③認知症のある患者の家族支援 ④認知症サポートチームラウンド(週1回および適宜臨時、99例) ⑤院内デイケア(摂食・嚥下障害看護認定看護師および脳卒中リハビリテーション看護認定看護師との共同により36回開催、延べ206人参加) ⑥各部署で取り組む認知症ケアについて認知症ケアリンクナースとの協同	①認知症サポートチームラウンドを通して、認知症看護についてスタッフに指導 ②認知症ケアリンクナースの活動について指導 ③認知症対策委員会主催勉強会(3回) (ア)「BPSD再入門」「ストップ介護離職」認知症対策委員会主催「認知症について」 (イ)「若年性認知症とともに生きる人々の支援」 (ウ)「新オレンジプランと豊橋市の認知症施策」「認知症を学び地域で支えよう」	①年間相談依頼件数(21件)

摂食・嚥下障害看護	①認定看護師嚥下回診(週1回) (介入件数:78件) ②病棟内の摂食・嚥下障害患者の把握と定期的な評価 ③嚥下カンファレンス(月1回) ④院内デイケア内での嚥下体操の実施(月1回)	①NST・嚥下障害リンクナース会「高齢者の摂食・嚥下障害の特徴と栄養管理」の講義 ②NST教育カリキュラム「摂食・嚥下」の講義 ③チャレンジ研修(院内)「あなたの知らない食事介助のコツ」 ④豊川包括ケア情報展「脱水と嚥下障害について」	①年間相談依頼件数(2件) ②誤嚥リスクが高いが経口摂取を希望している患者の介入について(西病棟7階) ③自宅退院する患者の食事形態について(東病棟7階) ④姿勢調整と食事形態の検討について(東病棟7階)
小児救急看護	①小児科外来でのトリアージ ②倫理検討	①小児科外来でのトリアージ ②小児科外来での急変対応(PSVT、アナフィラキシー) ③東2階病棟看護師対象の演習(PBLS、子どもの挿管介助)	①なし
脳卒中リハビリテーション看護	①音楽療法・院内デイケアを活用した離床時間の延長 ②片麻痺患者や意識障害患者のポジショニング検討 ③高次脳機能障害患者への看護介入 ④脳卒中再発予防プログラムの運用・周知 (ア)脳卒中再発予防プログラム学習会11～12月(南・西2・脳外科外来) (イ)脳卒中退院時指導カンファレンスの開催(16例) (ウ)有効床患者への指導開始10月～(61例) ⑤摂食機能療法2(30分未満)の運用検討と算定開始12月～(西2)	①看護学校2科講義「脳神経疾患看護」11～12月(7時間) ②東5階神経内科学習会2～3月(全3回) ③新城市民病院祭「寸劇:脳卒中の見つけ方」「脳卒中予防・相談」「患者体験コーナー」 ④地域包括ケア情報展「あなたの水分足りていますか?」	①年間相談依頼件数(3件) ②脳卒中再発予防指導依頼(3件)

糖尿病看護	①糖尿病内分泌内科病棟での糖尿病教育入院・糖尿病合併症患者への看護介入 ②院内インスリンシステム看護部門の運用検討 ③糖尿病対策委員会・サポートチーム会の運営 ④糖尿病内分泌内科外来での療養指導(週1回 57件)	①新人基礎看護技術研修「血糖測定、インスリン自己注射」講義・演習 ②病棟学習会「SAP療法について」「インスリンの基礎知識」講義 ③看護学校講義「内分泌・代謝疾患の看護」(10時間) ④准看護学校講義「内分泌・代謝疾患の看護」(6時間×2クラス)	① 年間相談依頼件数(13件) (ア)インスリン自己注射指導(4件) (イ)自己血糖測定指導(1件) (ウ)フットケア(1件) (エ)低血糖・シックデイ指導(3件) (オ)血糖パターンマネジメント(1件) (カ)患者との関わりかた(1件)
皮膚・排泄ケア	①褥瘡ラウンド(週1回:359件) ②褥瘡フォローアップ回診(週1回:344件) ③褥瘡ハイリスク患者のリスクアセスメント・予防計画書立案・ラウンド・評価 ④ストーマ外来での患者のケア(週3回:751件) ⑤排尿ケアラウンド・カンファレンス(週1回:130件)	①褥瘡勉強会(講義)(2回) 「リスクアセスメントを活用して褥瘡予防をしよう」 「褥瘡発生したらどうする」 ②褥瘡ラウンドを通して、褥瘡予防・褥瘡ケアについてスタッフへ指導 ③基礎看護技術演習:講義・演習「安楽な体位の工夫」 ④NST教育カリキュラム:褥瘡ラウンド同行・講義 ⑤ストーマプロジェクトチーム勉強会(5回) 「ストーマラダーⅠ」 「ストーマサイトマーキング(応用編)」 「症例検討会①」「症例検討会②」「症例検討会③」 ⑥ストーマ外来に病棟看護師が参加し、ストーマ指導(2件) ⑦排尿ケア勉強会(講義):「病棟看護師の役割、導尿について」 ⑧再就職チャレンジ支援研修:講義・演習「ナースが知っておきたいスキンケアと褥瘡ケア」	①年間相談依頼件数(155件)

緩和ケア	①緩和ケアチームラウンド(104件/年) ②緩和ケアチームカンファレンス(3件/年) ③緩和ケアチームオピオイドラウンド(11件/年) ④がん患者指導管理1におけるIC同席(5件/年) ⑤がん患者指導管理2における心理的支援(2件/年)	①院内ラダー研修 (ア)緩和1「痛みのマネジメント」講義 (イ)緩和2「緩和ケアにおける臨床倫理」講義 (ウ)トピックス研修「緩和ケアにおける倫理カンファレンスのすすめ方」講義 ②緩和ケアリンクナース会(3回/年) ③患者総合支援センターセミナー「緩和ケアを受けられる患者・家族を支えるためにできること～急性期病院から緩和ケア病棟への架け橋～」講演 ④高校生一日看護体験ランチョンセミナー(1回/年) ⑤緩和ケアだより発刊(1回/年)	①年間相談依頼件数(10件) ②自部署病棟看護師からの相談対応
がん性疼痛看護	①緩和ケアチームラウンド(172件/年) ②緩和ケアチームカンファレンス(67件/年) ③緩和ケア外来(14件/年) ④がん患者指導管理1におけるIC同席(56件/年) ⑤がん患者指導管理2における心理的支援(12件/年) ⑥がん相談支援センターにおけるがん相談(237件/年) ⑦がん患者サロン(6回) ⑧倫理カンファレンス(11回)	①緩和ケアリンクナース会(3回/年) ②病棟勉強会「疼痛マネジメントについて」(東病棟5階) ③病棟勉強会「認知症を有するがん患者の痛みの評価方法について」(東病棟7階) ④ビジネスパーク「市民病院の仕事」(南稜中学校)	年間相談依頼件数(31件)
新生児集中ケア	①超低出生体重児の蘇生・初期ケアの平準化シミュレーション ②新生児早期退院スクリーニングシート、MSWカンファレンスの定着化 ③NIV-NAVA管理中のアセスメント能力向上	①NIV-NAVA管理中のアセスメント能力向上 ②NMCにおける感染対策 ③低体温療法中の看護(NMC) ④救急外来で出産になる場合の新生児初期ケア(救急外来)	①年間相談依頼(3件)

がん化学療法看護	①化学療法に伴う副作用の症状マネジメントに関する院内ラウンド(8部署) ②XELOX療法における手足症候群に対する介入(外来治療センター) ③同種移植予定患者の意思決定支援カンファレンス(西病棟9階) ④R-CHOPクリニカルパス使用患者の便秘の改善に向けた取り組み(西病棟9階)	①がん化学療法マニュアルの周知(バックプライミングについて)	①オブジーボ・ヤーボイ併用療法における投与管理と副作用マネジメント(西病棟8階) ②化学療法後の食思不振時の介入(西病棟7階) ③ショートハイドレーション時の必要飲水量と基準体重について(東病棟7階) ④内服抗がん剤による末梢神経障害と手足症候群についての看護ケア(西病棟6階) ⑤抗がん剤治療後の倦怠感への介入(東病棟6階) ⑥安全な抗がん剤投与管理に対する患者指導の方法(東病棟5階) ⑦CVポートの血管外漏出の対応と予防(西病棟7階) ⑧化学療法オリエンテーション用パンフレットの検討(西病棟7階) ⑨CVポートの穿刺が困難な患者への穿刺方法
集中ケア	①呼吸ケアサポートチーム活動(RST) (ア)人工呼吸器装着患者の早期呼吸器離脱を目指した活動(ラウンド患者数:年間延べ112人) ②西病棟3階(集中治療室)での看護実践を通し、提供する看護の質的向上を目指す ③院内看護師のフィジカルアセスメント能力の向上を目指す	①新人研修 (ア)「呼吸と循環のアセスメント・体位ドレージ」講義 (イ)「心電図」「フィジカルアセスメント」講義・演習 ②RSTリンクナース会セミナー (ア)「高齢者の特徴と呼吸のフィジカルアセスメント」講義 (イ)「呼吸音を聴こう!」講義・演習 ③リスクマネジメント講演会 (ア)「私が見つける急変のサイン」講義	①年間相談依頼件数(3件) ②RSTラウンドでの年間相談件数(8件)

救急看護	①救命病棟における看護実践を通し現場の質の向上に努めた ②災害看護の知識、技術の習得、向上の為講習会を開催し講義、演習を行った ③院内BLS・ICLS研修ではインストラクターとして参加し急変時の対応についての知識・技術の普及を図りインストラクターの育成にも努めた ④学会発表・支援(日本災害医学会:2件、内1件演題発表) ⑤創造大学 家族支援研究会のトピックスにて「災害時の看護の視点」講演 ⑥豊橋市の看護師を対象とした「災害時看護の力で地域を支える」研修	①救命災害リンクナース会にて講義・演習(災害時のマネジメント 患者急変時のマネジメント KIDUKI研修) ②新人研修「12誘導心電図」演習 「フィジカルアセスメント」講義 ③院内BLS・ICLS講習インストラクター育成 ④看護学校第1科「災害看護」講義 ⑤起震車 エアーストレッチャーでの避難訓練演習 ⑥JNTECインストラクター育成(主として後任の育成を実施) ⑦病棟看護師に対しKIDUKI研修「患者の診かた 急変させない」を計2回実施、救命災害リンクナースの育成 ⑧看護学校講義 統合看護Ⅱ ⑨患者の診かた学習会シリーズで計5回実施	①年間相談依頼件数(3件)
放射線看護	①放射線治療外来の患者看護(371人) ②放射線科病棟ラウンド(週1回:3件) ③婦人科がんカンファレンス(7件/年)	①「統一した患者指導・ケアについて」スタッフへ指導(西病棟2階) ②「がん放射線治療について」勉強会(耳鼻科外来) ③「IMRT治療を選択する患者への説明について」スタッフへ指導(泌尿器科外来) ④「気切している頭頸部放射線治療終了後の皮膚炎の処置方法について」スタッフへ指導(東病棟7階) ⑤「IMRT治療と看護」「頭頸部放射線治療と看護について」勉強会(放射線科スタッフ)	①年間相談依頼件数(4件)

(資料2) 平成30年度 研修状況

	日付	研修名	延参加人数	内 容
フ レ ッ シ ュ 研 修	4/11 4/12 4/13	情報研修	47人	電子カルテの操作方法
	4/18 4/20 4/25 4/27 5/2 5/10	基礎看護技術研修 (6日間)	258人	感染対策 バイタルサイン測定 中材見学 膀胱留置カテーテル・オムツ交換 検査室 見学 採血・血糖測定・インスリン注射 点滴静脈 内注射 薬局見学 皮下・筋肉内注射 安楽な体位の工夫 外傷性の止血 リハビ リ見学 呼吸・循環アセスメント、酸素・吸引 体位ドレナージ NST 重症度、医療・看護必要度
	5/8 5/15 5/22 5/29 6/5 6/12 6/19	心電図研修 フィジカルアセスメン ト研修	43人	12誘導心電図計の正しい電極装着と操作方 法 フィジカルアセスメント
	5/10 5/11 5/23 5/24	プレ夜勤研修(4日間)	172人	12:30～21:00までの勤務帯を経験し、 看護師の業務の見学・体験を行う
	5/30	新人フォロー振り返り 研修	43人	働き始めて困ったこと、SBARを用いた報 告の仕方
	6/7 7/5 8/2 9/6 10/4	BLS研修	43人	気道確保、胸骨圧迫等の蘇生方法 AED(自動体外式除細動器)の使用法
	6/20	ME研修①	43人	輸液ポンプと輸注ポンプの取り扱い
	2日間 (部署毎)	夜勤研修(2日間)	43人	夜勤業務の内容、タイムマネジメント、優先 順位の考え方、SBAR報告、体調管理夜勤で 気を付けたいこと 夜間の情報収集の仕方
	7/11	消防研修	43人	院内消防設備の講義と消火用散水栓・消火 器の取扱い
	7/11	入職3カ月を経験して 感じたこと、夜勤研修 に向けて	43人	患者情報の整理と業務の組み立て方
	8/20	医療安全①	42人	新人が起こしやすいインシデントと改善策
	9/3	輸血・血液製剤の取扱 い、輸血時の看護	42人	血液製剤の取り扱いと輸血時の看護
	10/26 10/29	シミュレーション研修	21人 20人	多重課題シミュレーション
	11/13	急変時の対応	40人	患者アセスメント・CPR手技 気管挿管介助、挿管チューブの固定方法

	12/5	ME研修②	41人	人工呼吸器の取り扱いと看護
	2/18	プリセプターシップ研修	39人	一年の振り返りと次年度への課題
	2/18	医療安全②	39人	チームワークを活用した医療安全対策
レベルⅠ	7/6	看護倫理の原則	50人	看護倫理の原則、倫理と法律 倫理的な課題・ジレンマへのアプローチ
	8/27	看護過程の展開 ①基礎編	51人	看護過程の基本的な考え方と情報の解釈と 問題の明確化
レベルⅡ	6/25	リーダーシップ	27人	リーダーシップに必要な能力と理論
	7/30	文献検索	25人	文献検索方法と文献カードの作成
	8/14	人材育成〈1〉	33人	人材育成に必要な能力
	11/5	看護実践リフレクシ ョン	30人	体験・経験した看護実践の振り返りと意味 づけの明確化
レベルⅢ	7/9 9/10	人材育成〈2〉指導観 シリーズ①②	11人 11人	指導に対する考え方(指導観の明確化) 基礎看護技術に関する指導案の作成と評価 の仕方
	10/22 12/10	看護理論(概念演習) シリーズ①②	9人 9人	看護理論の概要 看護の主要概念について自分の考えを明ら かにする
実地指導者	6/11	実地指導者研修	43人	新人の現状を理解し、新人の陥りやすい状 態とメンタルサポートについて考える 新人が育つための環境をつくる力について 考える
	10/15	実地指導者研修	42人	コーチングスキル 傾聴、承認、質問、フィードバックのスキル について
	3/11	実地指導者研修	56人	実地指導者の役割について

研修名	コマ数	人数
フレッシュ研修	38	1,105人
レベルⅠ	2	101人
レベルⅡ	4	115人
レベルⅢ	2	40人
実地指導者研修	3	141人
計	49	1,502人

事務局

1. 概要

本年度は、患者が安心して入院し退院後も住み慣れた地域で療養や生活ができるよう、社会福祉士や看護師の増員による入退院支援体制の充実など、より一層の地域医療機関との連携強化を図った。また、ダヴィンチ手術の豊富な経験と質の高い技術が認められ、婦人科領域における術者として必要となるライセンス取得のための症例見学施設として認定を受けたほか、検査精度向上のため、県内公立病院では、愛知県がんセンターに次ぐ2番目の施設として、臨床検査部門における品質と能力の国際規格であるISO15189の認定を受けた。

本年度の主な事業としては、東三河の中核病院として、患者にやさしく負担の少ない治療の推進を図るとともに、最新の医療技術に対応するため、ダヴィンチの常設を含む内視鏡手術室2室のほか、外科手術とカテーテル治療を同時に実施できるハイブリッド手術室1室を備えた手術センター棟を整備した。また、救急医療の充実を図るため、救急外来センターの診察室を増室した。

(局長 山本 和敏)

2. 活動報告

(1) 収益的収入及び支出

区分			平成30年度			平成29年度			平成28年度			
			金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	金額(円)	医業 収益比 (%)	構成比 (%)	
収益的 収入	医業 収益	入 院 収 益	16,583,528,220	60.1	55.5	16,370,305,392	61.9	57.5	15,929,472,794	62.3	58.0	
		外 来 収 益	9,777,592,324	35.4	32.7	8,796,981,515	33.3	30.9	8,421,437,767	33.0	30.6	
		そ の 他 医 業 収 益	1,246,517,457	4.5	4.2	1,267,023,017	4.8	4.5	1,205,101,427	4.7	4.4	
		小 計	27,607,638,001	100.0	92.4	26,434,309,924	100.0	92.9	25,556,011,988	100.0	93.0	
	医業外 収益	受 取 利 息	4,938,267	0.0	0.0	1,481,067	0.0	0.0	2,910,194	0.0	0.0	
		他会計負担金	915,881,844	3.3	3.1	844,012,044	3.2	3.0	788,750,220	3.1	2.9	
		国庫補助金	22,799,000	0.1	0.1	18,786,000	0.1	0.1	20,973,000	0.1	0.1	
		県補助金	46,712,000	0.2	0.2	40,505,000	0.2	0.1	42,488,000	0.1	0.2	
		長期前受金戻入	590,383,216	2.1	2.0	669,964,625	2.5	2.4	644,372,340	2.5	2.3	
		その他医業外収益	242,780,582	0.9	0.8	243,849,587	0.9	0.9	222,965,050	0.9	0.8	
		小 計	1,823,494,909	6.6	6.1	1,818,598,323	6.9	6.5	1,722,458,804	6.7	6.3	
		特別 利益	長期前受金戻入	448,663,537	1.6	1.5	199,254,236	0.8	0.7	194,847,695	0.8	0.7
			引当金戻入	0	0.0	0.0	6,338,832	0.0	0.0	0	－	－
	小 計		448,663,537	1.6	1.5	205,593,068	0.8	0.7	194,847,695	0.8	0.7	
	計		29,879,796,447	108.2	100.0	28,458,501,315	107.7	100.0	27,473,318,487	107.5	100.0	
収益 的 支 出	医業 費用	給 与 費	12,566,260,189	45.5	42.9	12,336,293,168	46.7	43.7	11,953,435,284	46.8	44.6	
		材 料 費	9,335,455,912	33.8	31.9	8,502,879,168	32.2	30.1	7,932,084,951	31.0	29.6	
		経 費	3,667,242,224	13.3	12.5	3,667,157,506	13.9	13.0	3,480,804,279	13.6	13.0	
		減価償却費	2,375,453,582	8.6	8.1	2,184,089,700	8.3	7.7	1,603,766,509	6.3	6.0	
		資産減耗費	60,454,647	0.2	0.2	161,599,899	0.6	0.6	259,081,628	1.0	1.0	
		研究研修費	103,387,706	0.4	0.4	106,083,520	0.4	0.4	103,123,784	0.4	0.4	
		小 計	28,108,254,260	101.8	96.0	26,958,102,961	102.1	95.5	25,332,296,435	99.1	94.6	
	医業外 費用	支 払 利 息	414,188,509	1.5	1.4	462,463,803	1.7	1.6	505,273,053	2.0	1.9	
		保 育 費	44,810,442	0.2	0.2	45,500,491	0.2	0.2	41,850,785	0.1	0.1	
		長期前払消却 費税償却	0	－	－	0	－	－	1,782,827	0.0	0.0	
		貸倒引当 金繰入額	29,563,600	0.1	0.1	18,252,000	0.1	0.1	20,176,000	0.1	0.1	
		雑 損 失	685,404,543	2.5	2.3	731,874,609	2.8	2.6	893,085,618	3.5	3.3	
		小 計	1,173,967,094	4.3	4.0	1,258,090,903	4.8	4.5	1,462,168,283	5.7	5.4	
	計		29,282,221,354	106.1	100.0	28,216,193,864	106.7	100.0	26,794,464,718	104.8	100.0	
	当年度純利益(△純損失)			597,575,093	－	－	242,307,451	－	－	678,853,769	－	－
前年度繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)			1,023,798,258	－	－	1,023,490,807	－	－	1,022,637,038	－	－	
そ の 他 未 処 理 欠 損 金 変 動 額			704,000,000	－	－	1,517,000,000	－	－	0	－	－	
当年度未処分利益剰余金 (△未処分欠損金)			2,325,373,351	－	－	2,782,798,258	－	－	1,701,490,807	－	－	

※各項目は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合がある。

(2) 行為別入院収益・外来収益

区 分		平 成 30 年 度		
		金額(円)	前年度比(%)	構成比(%)
入 院 収 益	投 薬 収 入	120,837,986	95.2	0.7
	注 射 収 入	365,702,174	97.2	2.2
	処 置 及 び 手 術 収 入	4,486,642,479	107.8	27.1
	検 査 収 入	190,318,186	101.7	1.1
	放 射 線 収 入	38,899,014	105.4	0.2
	入 院 料	10,562,233,526	99.0	63.7
	給 食 収 入	357,165,464	95.4	2.2
	そ の 他	461,729,391	104.8	2.8
	計	16,583,528,220	101.3	100.0
外 来 収 益	初 診 料	154,609,991	100.7	1.6
	再 診 料	877,137,178	106.9	9.0
	投 薬 収 入	885,683,314	113.1	9.1
	注 射 収 入	4,175,055,736	116.5	42.7
	処 置 及 び 手 術 収 入	350,971,299	105.2	3.6
	検 査 収 入	1,821,937,350	104.0	18.6
	放 射 線 収 入	1,217,672,472	107.3	12.4
	そ の 他	294,524,984	124.8	3.0
	計	9,777,592,324	111.1	100.0

(3) 資本的收入及び支出

(円)

区 分		平成30年度	増 減	平成29年度	増 減	平成28年度	増 減
資本 の 収 入	企 業 債	1,370,400,000	1,332,800,000	37,600,000	△ 5,411,100,000	5,448,700,000	3,386,700,000
	他 会 計 負 担 金	1,257,861,315	283,013,132	974,848,183	28,221,524	946,626,659	30,125,499
	投 資 回 収 金	10,464,000	2,136,000	8,328,000	△ 532,000	8,860,000	6,172,500
	県 補 助 金	－	△ 12,927,000	12,927,000	9,435,000	3,492,000	3,492,000
	固定資産売却代金	－	－	－	－	－	△ 72,736,110
	損益勘定留保資金	2,711,650,362	963,395,647	1,748,254,715	△ 294,299,954	2,042,554,669	696,909,267
	減債積立金取崩額	704,000,000	△ 813,000,000	1,517,000,000	1,517,000,000	－	－
	消費税及び地方消費税 資本の収支調整額	6,451,956	△ 577,739	7,029,695	△ 12,358,613	19,388,308	10,850,187
	計	6,060,827,633	1,754,840,040	4,305,987,593	△ 4,163,634,043	8,469,621,636	4,061,513,343
資本 の 支 出	施 設 改 良 費	1,514,017,631	773,444,182	740,573,449	△ 3,728,469,043	4,469,042,492	2,317,488,892
	資 産 購 入 費	1,651,724,161	△ 361,445,444	2,013,169,605	△ 474,656,824	2,487,826,429	1,691,604,843
	長 期 貸 付 金	36,417,200	1,502,400	34,914,800	△ 1,584,400	36,499,200	6,947,800
	投 資 有 価 証 券	791,242,618	791,242,618	－	－	－	－
	企 業 債 償 還 金	2,067,416,260	550,086,521	1,517,329,739	41,088,531	1,476,241,208	45,459,501
	補 助 金 返 還 金	9,763	9,763	－	△ 12,307	12,307	12,307
	計	6,060,827,633	1,754,840,040	4,305,987,593	△ 4,163,634,043	8,469,621,636	4,061,513,343

(4) 貸借対照表 (平成 31 年 3 月 31 日)

(単位: 円)

資 産 の 部			
1	固 定 資 産		
(1)	有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地	6,385,451,623	
	ロ 建 物	19,913,594,073	
	減価償却累計額	<u>△ 8,400,979,742</u>	11,512,614,331
	ハ 附 属 設 備	17,356,866,293	
	減価償却累計額	<u>△ 11,866,678,014</u>	5,490,188,279
	ニ 構 築 物	1,591,874,896	
	減価償却累計額	<u>△ 794,622,347</u>	797,252,549
	ホ 器 械 備 品	10,921,043,307	
	減価償却累計額	<u>△ 6,697,977,047</u>	4,223,066,260
	ヘ 車 両	16,260,211	
	減価償却累計額	<u>△ 13,479,544</u>	2,780,667
	ト 放射線同位元素	12,747,000	
	減価償却累計額	<u>△ 6,883,380</u>	5,863,620
	チ リ ー ス 資 産	1,662,433,809	
	減価償却累計額	<u>△ 469,355,561</u>	1,193,078,248
	リ 建 設 仮 勘 定		<u>11,000,000</u>
	有形固定資産合計		29,621,295,577
(2)	無 形 固 定 資 産		
	イ 電 話 加 入 権	7,041,831	
	ロ ソ フ ト ウ ェ ア	971,211,350	
	ハ その他無形固定資産	<u>10,596,667</u>	
	無形固定資産合計		988,849,848
(3)	投資その他の資産		
	イ 投資有価証券	791,463,583	
	ロ 長 期 貸 付 金	111,007,200	
	貸倒引当金	<u>△ 73,671,600</u>	37,335,600
	ハ 出 資 金		500,000
	ニ 破産更生債権等	85,321,250	
	貸倒引当金	<u>△ 85,321,250</u>	0
	投資その他の資産合計		<u>829,299,183</u>
	固 定 資 産 合 計		31,439,444,608
2	流 動 資 産		
(1)	現 金 預 金		5,170,378,928
(2)	未 収 金	4,660,658,183	
	貸倒引当金	<u>△ 11,865,662</u>	4,648,792,521
(3)	貯 蔵 品		39,317,376
(4)	前 払 金		<u>1,145,730</u>
	流動資産合計		9,859,634,555
	資 産 合 計		<u>41,299,079,163</u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費等の財源 に充てるための企業債	<u>16,508,052,623</u>		
	企 業 債 合 計		16,508,052,623	
(2)	リ ー ス 債 務		929,438,872	
(3)	引 当 金			
イ	退職給付引当金	<u>4,555,732,295</u>		
	引 当 金 合 計		<u>4,555,732,295</u>	
	固 定 負 債 合 計			21,993,223,790
4	流 動 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費等の財源 に充てるための企業債	<u>2,120,726,732</u>		
	企 業 債 合 計		2,120,726,732	
(2)	リ ー ス 債 務		359,085,636	
(3)	引 当 金			
イ	賞与引当金	572,137,269		
ロ	法定福利費引当金	<u>107,028,204</u>		
	引 当 金 合 計		679,165,473	
(4)	未 払 金		2,283,008,608	
(5)	未払消費税及び地方消費税		14,856,000	
(6)	預 り 金		<u>124,390,938</u>	
	流 動 負 債 合 計			5,581,233,387
5	繰 延 収 益			
(1)	長 期 前 受 金			
イ	受贈財産評価額	12,263,075		
	収 益 化 累 計 額	<u>△ 7,995,941</u>	4,267,134	
ロ	補 助 金	1,184,850,249		
	収 益 化 累 計 額	<u>△ 825,008,921</u>	359,841,328	
ハ	負 担 金	14,554,388,509		
	収 益 化 累 計 額	<u>△ 12,616,422,783</u>	<u>1,937,965,726</u>	
	長 期 前 受 金 合 計		<u>2,302,074,188</u>	
	繰 延 収 益 合 計			2,302,074,188
	負 債 合 計			<u>29,876,531,365</u>

資 本 の 部

6 資 本 金			8,490,942,341
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	253,764,805		
ロ 負 担 金	110,467,301		
資 本 剰 余 金 合 計		364,232,106	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 退 職 給 付 引 当 金	242,000,000		
ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	2,325,373,351		
利 益 剰 余 金 合 計		2,567,373,351	
剰 余 金 合 計			2,931,605,457
資 本 合 計			11,422,547,798
負 債 資 本 合 計			41,299,079,163

(5) 主な経営財務分析

区 分	算 式	平成30年度	平成29年度	平成28年度
平均在院日数 1. (施設基準上の算定) (日)	$\frac{\text{在 院 患 者 数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$	11.5	12.5	12.8
病床利用率 2. (一般病床) (%)	$\frac{\text{入 院 患 者 数}}{\text{許 可 病 床 数}} \times 100$	87.9	90.7	88.3
入院患者1人1日 3. 当たり収入額 (円)	$\frac{\text{入 院 収 益 額}}{\text{入 院 患 者 延 数}}$	65,894	63,068	63,025
外来患者1人1日 4. 当たり収入額 (円)	$\frac{\text{外 来 収 益 額}}{\text{外 来 患 者 延 数}}$	20,716	19,081	18,325
剖 検 率 5. (%)	$\frac{\text{解 剖 数}}{\text{院 内 死 亡 患 者 数}} \times 100$	3.0	4.3	3.8
100床当たり職員数 6. (人)	$\frac{\text{職 員 数 (年 度 末)}}{\text{許 可 病 床 数 (年 度 末)}} \times 100$	148.9	147.4	142.3
100床当たり医師数 7. (人)	$\frac{\text{医 師 数 (年 度 末)}}{\text{許 可 病 床 数 (年 度 末)}} \times 100$	23.1	23.0	22.4
100床当たり 8. 看護師数 (人)	$\frac{\text{看 護 師 (年 度 末)}}{\text{許 可 病 床 数 (年 度 末)}} \times 100$	92.1	92.3	89.5
100床当たり器械備品額 9. (年度末) (千円)	$\frac{\text{器 械 備 品 額 (減 価 償 却 累 計 額 控 除 額)}}{\text{許 可 病 床 数}} \times 100$	527,883	507,505	538,416
人 件 費 率 10. (%)	$\frac{\text{給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	45.5	46.7	46.8
流 動 比 率 11. (%)	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	176.7	199.7	264.5
総 資 本 利 益 率 12. (%)	$\frac{\text{当 年 度 純 利 益}}{1/2(\text{期首総資産} + \text{期末総資産})} \times 100$	1.4	0.6	1.7

医師事務作業補助者

1. 概要

医師事務作業補助者は、医師の事務作業軽減を目的として2008年に誕生した職種である。当院では、2009年から採用を開始し、現在46人となった。主な業務内容は以下の3つである。

- ①文書作成補助業務：保険会社の入院証明書・通院証明書、介護保険にともなう主治医意見書、傷病手当一時金等の診断書作成補助を行っている。今年度は、新たに障害年金診断書を開始した。当院は、ドクタークラークと称している。
- ②臨床データ登録業務：診療に関するデータの抽出・整理・登録業務、薬品市販後調査、患者を他院に紹介するための画像CDの作成補助をしている。当院は、ドクタークラークと称している。
- ③外来助手業務：診察室内準備、診療補助、電子カルテへの代行入力を行っている。当院は、外来クラークと称している。

これらの業務は、医師事務作業軽減委員会で管理をしている。また、医師事務作業補助者の活躍が医師に認められ、年々業務依頼が増加しており、当院にとって欠かせない存在となった。

来年度は、さらに医師の要望を取り入れ、医師の事務作業の軽減に努めたい。

(委員長 杉浦 勇)

2. 活動報告

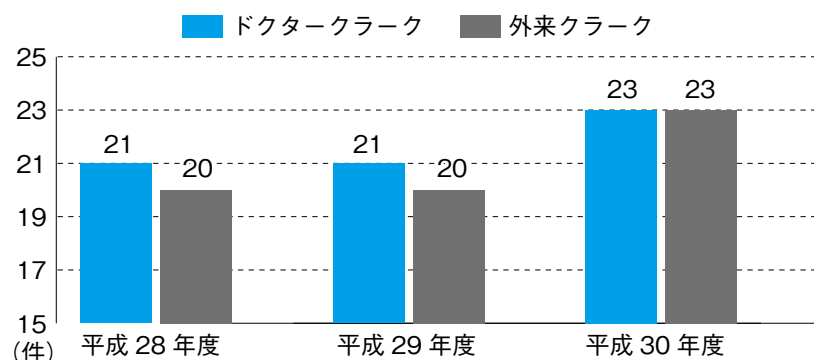
(1) 従事者数

①ドクタークラーク

チーム名(主な業務)	人数(人)
Aチーム (入院証明作成)	6
Bチーム (その他書類作成)	7
Cチーム (データの抽出・整理)	7
Dチーム (市販後調査の補助)	3
計	23

②外来クラーク

診療科	人数(人)
内科	6
外科	3
脳神経外科	3
整形外科・リウマチ科	2
産婦人科	1
産婦人科(生殖医療)	1
放射線科	1
小児科	2
泌尿器科	2
眼科	1
耳鼻いんこう科	1
計	23



(2) ドクタークラーク実績

①入院証明作成補助業務（担当者 5人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
入院証明書(患者申込数)	671	740	749	759	783	639	901	795	749	683	768	795	9,032
中止件数	4	6	6	5	7	1	6	11	3	6	3	2	60
入院証明書(実質作成数)	667	734	743	754	776	638	895	784	746	677	765	793	8,972

②その他書類作成補助業務（担当者 7人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
指定難病(新規・更新)臨床調査個人票	20	556	569	121	67	48	34	19	13	18	16	21	1,502
介護保険主治医意見書	93	127	129	104	126	125	117	108	111	128	117	116	1,401
自賠責保険診断書	134	158	134	137	123	151	116	174	134	116	143	119	1,639
傷病手当金請求書	148	150	152	154	146	160	150	152	164	169	138	147	1,830
労災休業給付申請書	40	32	35	24	22	23	32	47	38	37	39	43	412
生活保護医療要否意見書	81	67	57	25	104	67	83	74	55	71	60	68	812
B型C型肝炎患者医療給付事業受給者票認定に係わる診断書	7	14	8	3	7	4	15	6	15	18	12	10	119
肝疾患インターフェロン治療効果判定報告書	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	15
出産一時金支給申請書	3	4	1	4	6	2	6	5	4	6	4	2	47
出産手当金支給申請書	4	6	4	6	5	4	6	4	6	2	9	3	59
訪問看護指示書	26	29	28	31	32	27	34	30	39	27	34	34	371
障害認定医師意見書	7	6	7	1	13	4	16	3	6	11	11	9	94
自立支援	12	6	9	4	7	9	1	5	8	9	11	15	96
結核定期病状調査報告書	1	16	4	10	10	3	2	19	15	7	2	1	90
小児慢性特定疾病	7	7	3	8	3	8	6	143	76	25	8	4	298
障害年金診断書	13	14	9	18	11	17	13	14	15	17	11	15	167
身体障害者診断書(神経内科・脳神経外科・整形外科)	2	4	2	2	6	6	3	5	3	5	9	6	53
特別児童扶養手当認定診断書(小児科)								0	0	4	5	1	10
計	598	1,196	1,151	652	703	658	634	808	702	670	629	614	9,015

③他院紹介・学会用CD作成業務（担当者 5人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
転院・紹介用(申請書あり)	145	163	179	149	141	146	157	166	157	121	115	141	1,780
学会・研究用(申請書あり)	3	7	12	13	15	3	7	2	6	1	4	10	83
転院・紹介用(Dr作成)	515	571	554	574	633	550	655	609	546	591	584	630	7,012
学会・研究用(Dr作成)	8	4	1	0	3	2	3	11	10	27	12	3	84
計	671	745	746	736	792	701	822	788	719	740	715	784	8,959

④薬品別市販後調査票作成業務（担当者 3人）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
調査票記入数	25	16	25	23	50	19	31	29	30	20	26	31	325
製薬会社提出数	37	10	15	42	52	19	37	29	30	24	19	35	349
製薬会社説明会	0	1	1	1	1	2	2	1	1	2	0	0	12

診療科	調査数	症例数
呼吸器内科	8	74
消化器内科	4	48
循環器内科	4	28
腎臓内科	3	12
糖尿病・内分泌内科	1	1
神経内科	4	13
血液・腫瘍内科	9	30
一般外科	2	5
整形外科	1	1
リウマチ科	3	45
脳神経外科	4	14
小児科	5	13
耳鼻咽喉科	1	4
皮膚科	5	28
泌尿器科	1	3
計	55	319

⑤症例登録・抽出業務（担当者 8人 ※③・④・⑥担当者兼務）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
DWHを使用したデータ抽出・作成	14	5	11	9	5	6	4	14	8	6	6	6	94
NCD症例登録(一般外科)	120	165	147	159	154	131	160	131	136	164	147	135	1,749
乳癌初回追跡調査	8	606	131	0	0	0	102	0	28	0	0	0	875
全国原発性肝臓追跡調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1	30	85
NCD症例登録(心臓外科・血管外科)	1	4	22	3	13	15	11	2	14	16	4	15	120
NCD症例登録(脳神経外科)	80	151	125	123	237	106	126	142	164	106	133	83	1,576
NCD症例登録(循環器内科)	16	16	10	11	18	9	5	11	15	14	10	15	150
NCD症例登録(移植外科)	0	18	0	0	18	0	3	0	2	5	0	0	46
NCD症例登録(呼吸器外科)	11	14	13	8	10	21	15	17	15	17	6	8	155
NCD症例登録(泌尿器科)	0	24	133	55	42	33	51	37	29	42	73	32	551
血液学会疾患登録(血液・腫瘍内科)	34	39	9	2	4	55	0	60	24	0	0	0	227
血液学会疾患登録(小児科)	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
計	284	1,042	601	370	501	379	477	414	435	424	380	324	5,631

⑥各診療科の患者データベース作成業務（担当者 8人 ※③・④・⑥担当者兼務）

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
肛門外科	188	197	241	202	195	237	213	198	266	164	206	236	2,543
脊椎外科	21	29	22	21	20	10	37	19	26	31	19	30	285
呼吸器外科	2	2	5	3	4	4	10	8	14	9	4	8	73
心臓外科・血管外科	6	5	4	8	9	4	8	6	5	7	3	4	69
歯科口腔外科<外傷>	0	4	0	0	0	0	0	0	150	130	0	0	284
歯科口腔外科<口腔>	50	300	300	325	225	25	0	0	0	0	0	0	1,225
消化器内科	23	18	18	27	39	21	31	35	29	27	22	33	323
産婦人科<助産録分娩件数>	87	124	66	0	151	76	0	80	118	137	83	0	922
リウマチ科	50	103	57	74	32	47	46	49	45	43	45	25	616
放射線科	0	0	0	0	0	0	295	93	0	0	0	0	388
小児科<新生児、小児救急重篤疾患>	3	2	1	3	10	8	3	3	3	4	43	22	105
消化器内科<RFA>	2	4	2	3	4	1	8	2	3	2	1	3	35
整形外科	8	37	50	25	52	23	32	30	39	56	34	44	430
産婦人科<臓器がん登録>	60	193	0	0	13	21	0	67	0	0	27	30	411
小児科<川崎病調査>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	110
計	500	1,018	766	691	754	477	683	590	698	610	487	545	7,819

⑦院外研修実績

がん登録中級者認定試験に1人合格。

医師事務作業補助者コース（日本病院会）に2人受講。

VI 研究・業績

～解説～

①医局

- (1) 2018年1月1日～2018年12月31日の業績を掲載しています。
- (2) 医師区分について
「S」は専攻医、「R」は研修医を示しています。

②診療技術局・薬局・看護局・事務局

- (1) 2018年4月1日～2019年3月31日の業績を掲載しています。

学会発表（医局）

<呼吸器内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	血痰にて発見された肺底動脈大動脈起始症の1例	筆頭演者	七原 佳洋	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	S
2	ニューモシスチス肺炎におけるHIV症例と非HIV症例の臨床的比較検討	筆頭演者	菅沼 伸一	第58回日本呼吸器学会学術講演会	大阪市	2018/4/27	
3	CTにて虫道形成を認めたウエステルマン肺吸虫症の1例	筆頭演者	馬場 智也	第113回日本呼吸器学会東海地方学会	名古屋市	2018/5/26	S

<消化器内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	Over The Scope Clip system(OTSC)にて外科手術を回避し得た医原性大腸穿孔の1例	筆頭演者	坂巻 慶一	第14回日本消化管学会総会学術集会	東京都	2018/2/10	
2	nivolumabとipilimumabの順次投与により重症肝障害を来し死亡した1例	筆頭演者	西堀 友美	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	S
3	難治性憩室出血に対して、Over The Scope Clip(OTSC)を施行した1例	筆頭演者	西田 泰之	第40回東三医学会	豊橋市	2018/3/3	R
4	潰瘍性大腸炎に対するリアルダ®の治療効果・服薬アドヒアランスに関する検討	筆頭演者	池上 脩二	第115回日本内科学会総会・講演会	京都市	2018/4/15	
5	当院におけるインターフェロンフリー治療後の発癌症例の検討	筆頭演者	田中 仁	第104回日本消化器病学会総会	東京都	2018/4/21	
6	当院における免疫チェックポイント阻害剤による肝障害症例の検討	筆頭演者	山本 崇文	第54回日本肝臓学会総会	大阪市	2018/6/15	
7	当院での胃痛を含めた癌腫におけるニボルマブ投与の安全性についての検討	筆頭演者	高田 善久	日本消化器病学会東海支部第128回例会	津市	2018/6/16	
8	潰瘍性大腸炎長期寛解例における抗TNF- α 抗体製剤離脱後の成績	筆頭演者	樋口 道雄	日本消化器病学会東海支部第128回例会	津市	2018/6/16	
9	肝細胞癌の胆管浸潤に対して胆管金属ステント留置後に発生した右肝仮性動脈瘤の一例	筆頭演者	田中 仁	日本消化器病学会東海支部第128回例会	津市	2018/6/16	
10	Gemcitabine+nab-paclitaxelによる発熱性好中球減少症治療後に間質性肺炎を来した1例	筆頭演者	山本 崇文	日本消化器病学会東海支部第128回例会	津市	2018/6/16	
11	出血性ストーマ静脈瘤に対して経皮的超音波ガイド下硬化療法が奏功した1例	筆頭演者	小木曾拓也	日本消化器病学会東海支部第128回例会	津市	2018/6/16	S
12	保存的治療で軽快した肝円索腫瘍の1例	筆頭演者	大森 康司	第235回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/7/1	R
13	グレカプレビル/ピブレンタスビル治療を行ったゲノタイプ3a型と6a型のC型慢性肝炎の2例	筆頭演者	近藤 浩幹	第236回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/9/30	R
14	肝細胞腺腫の1例	筆頭演者	小木曾拓也	日本超音波医学会第39回中部地方会学術集会	名古屋市	2018/10/8	S
15	当院における切除不能膀胱癌に対するGEM+nabPTX併用療法およびFOLFIRINOX療法の成績	筆頭演者	田中 仁	第26回日本消化器病学会(JDDW2018)	神戸市	2018/11/2	
16	当院の炎症性腸疾患におけるバイオシミュラーの検討	筆頭演者	溝上 雅也	第26回日本消化器病学会(JDDW2018)	神戸市	2018/11/2	
17	当院におけるバレット食道癌の現状	筆頭演者	溝上 雅也	日本消化器病学会東海支部第129回例会	名古屋市	2018/11/17	
18	消化管出血を契機に診断されたAL アミロイドーシスの1例	筆頭演者	近藤 浩幹	日本消化器病学会東海支部第129回例会	名古屋市	2018/11/17	R
19	当院におけるC型肝炎に対するglecaprevir/pibrentasvirの治療成績	筆頭演者	樋口 道雄	日本消化器病学会東海支部第129回例会	名古屋市	2018/11/17	
20	胆管閉塞をきたした膵十二指腸動脈瘤の1例	筆頭演者	堀田 尋紀	日本消化器病学会東海支部第129回例会	名古屋市	2018/11/17	R
21	直腸静脈瘤に対し内視鏡的硬化療法結紮術併用療法(EISL)が有効であった1例	筆頭演者	西堀 友美	第61回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	名古屋市	2018/11/24	S
22	出血性直腸静脈瘤に対し内視鏡的治療を行った4例	筆頭演者	内藤 岳人	第42回日本肝臓学会東部会	東京都	2018/12/7	

<腎臓内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	菌種数でみた菌血症死亡率に差がないことの検討	筆頭演者	鵜飼 聡士	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	R
2	上気道炎症と皮疹が先行し、自然寛解した巨細胞性動脈炎の1例	筆頭演者	前川 道隆	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
3	Earlobe crease can be a marker of cardiovascular disease in hemodialysis patients.	筆頭演者	Michitaka Maekawa	ISN Frontiers Meetings 2018	東京都	2018/2/24	
4	ステロイド投与後の成人紫斑病性腎炎患者の腎予後	筆頭演者	稲垣 浩司	第61回日本腎臓学会学術総会	新潟市	2018/6/9	

<糖尿病・内分泌内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	低栄養に伴う低血糖を契機にしたこつば型心筋症、急性心不全を発症した1例	筆頭演者	奥地 剛之	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
2	持続皮下インスリン注入療法によりインスリンアレルギーおよび血糖コントロールの顕著な改善を認めた一例	筆頭演者	萩本 繁	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎市	2018/4/27	
3	持続型インスリンの休薬でも夜間低血糖をみとめた劇症1型糖尿病の1例	筆頭演者	山守 育雄	第92回日本内分泌学会学術総会	名古屋市	2018/9/22	
4	異所性PTH産生が疑われる後腹膜巨大横紋筋肉腫の1例	筆頭演者	山守 育雄	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡市	2018/11/2	
5	細胞診で亜急性甲状腺炎が疑われたアミロイド甲状腺腫の1例	筆頭演者	山守 育雄	第61回日本甲状腺学会学術集会	川崎市	2018/11/24	

<神経内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	関節リウマチへのTNF阻害薬治療中に発症したサルコイドーシスの1例	筆頭演者	大山 健	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
2	心房中隔瘤による若年発症脳梗塞の一例	筆頭演者	辻村 和紀	第150回日本神経学会東海北陸地方会	名古屋市	2018/3/3	R
3	急性期脳梗塞患者における筋肉量と予後	筆頭演者	大山 健	第43回日本脳卒中学会学術集会	福岡市	2018/3/15	
4	病理学的に嗜銀顆粒性認知症と診断された4例の臨床症状・所見の検討	筆頭演者	岩井 克成	第59回日本神経学会学術大会	札幌市	2018/5/23	
5	筋萎縮性側索硬化症(ALS)における筋萎縮の定量的評価	筆頭演者	大山 健	第59回日本神経学会学術大会	札幌市	2018/5/25	
6	健常者における18F-THK5351 PETの所見	筆頭演者	横井 孝政	第59回日本神経学会学術大会	札幌市	2018/5/26	
7	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)における免疫グロブリン維持療法	筆頭演者	大山 健	第29回日本末梢神経学会学術集会	下関市	2018/9/7	
8	加齢に伴う健常者のTHK5351 PETの所見変化	筆頭演者	横井 孝政	第37回日本認知症学会学術集会	札幌市	2018/10/13	

<血液・腫瘍内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	HLA半合致移植後の生着遅延中に水頭症を発症し剖検でサイトメガロウイルス髄膜炎が判明した1例	筆頭演者	梅村 晃史	第40回日本造血細胞移植学会総会	札幌市	2018/2/2	
2	新規薬剤併用療法が奏効したIgD型多発性骨髄腫の1例	筆頭演者	鈴木祐太郎	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	R
3	脾破裂で発症し早期に治療抵抗性を示した多発性骨髄腫の1例	筆頭演者	長井 尚哉	第236回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/9/30	R
4	Optimizing autologous stem cell mobilization using plerixafor with minimum administration period	筆頭演者	Naoto Imoto	第80回日本血液学会学術集会	大阪市	2018/10/12	
5	Can bosutinib overcome intolerance and resistance to preceding TKIs in patients with CML-CP?	筆頭演者	Daisuke Koyama	第80回日本血液学会学術集会	大阪市	2018/10/12	
6	Retrospective analysis of essential thrombocythemia in a single institute	筆頭演者	Rie Ito	第80回日本血液学会学術集会	大阪市	2018/10/14	

<一般外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	脾破裂をきたした多発性骨髄腫の1例	筆頭演者	稲田 紘丈	第49回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/2/11	R
2	腹腔鏡下胆嚢摘出時の落下結石による腹腔内膿瘍に対し腹腔鏡下胆嚢ドレナージを施行した2例	筆頭演者	柴田 淳平	第49回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/2/11	R
3	成人特発性腸重積の1例	筆頭演者	浅井 周平	第49回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/2/11	R
4	巨大平滑筋肉腫の1切除例	筆頭演者	荒川 拓也	第49回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/2/11	S
5	parasitic myomaの1例	筆頭演者	長谷川琢哉	第40回東三医学会	豊橋市	2018/3/3	R
6	広範な結腸壊死を伴った、半周性2型腫瘍によるS状結腸癌イレウスの1例	筆頭演者	稲田 紘丈	第54回日本腹部救急医学会総会	東京都	2018/3/8	R
7	腹部鈍的外傷後の遅発性小腸狭窄に対し単孔式腹腔鏡下小腸切除術を施行した1例	筆頭演者	前田 周良	第54回日本腹部救急医学会総会	東京都	2018/3/8	
8	癒着性イレウスの長期入院予測因子の探索	筆頭演者	梅村 将成	第54回日本腹部救急医学会総会	東京都	2018/3/8	S
9	大腸癌穿孔に対する手術成績の検討	筆頭演者	神谷 忠宏	第54回日本腹部救急医学会総会	東京都	2018/3/9	
10	当院における80歳以上の高齢者に対する胆管切除を伴う高難度肝胆膵手術症例の検討	筆頭演者	青葉 太郎	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/6	
11	進行再発大腸癌治療に対するレゴラフェニブ27例の使用経験	筆頭演者	平松 和洋	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/6	
12	胃癌根治切除例の長期予後を予測する心電図検査所見	筆頭演者	毛利 康一	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/6	
13	腫瘍熱の鑑別におけるプロカルシトニンの有用性	筆頭演者	加藤 潤紀	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/6	R
14	肝切除後の難治性胆汁瘻に対するエタノール焼灼療法	筆頭演者	伊藤 哲	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/7	
15	宿便を契機に、広範な結腸壊死と著明なアシドーシスをきたした1救命例	筆頭演者	滝本愛太郎	第295回東海外科学会	名古屋市	2018/4/15	S
16	十二指腸憩室の後腹膜穿通に対して保存的治療で軽快した1例	筆頭演者	伊藤 量吾	第295回東海外科学会	名古屋市	2018/4/15	S
17	腹腔鏡下に摘出した魚骨の腹腔内迷入の一例	筆頭演者	長谷川琢哉	第295回東海外科学会	名古屋市	2018/4/15	R
18	血性心タンポナーデで発症した心臓血管肉腫に対して、右心房自由壁切除・有茎自己心膜再建を行った1例	筆頭演者	梅村 将成	第295回東海外科学会	名古屋市	2018/4/15	
19	術前診断における腋窩リンパ節の穿刺吸引細胞診の偽陰性症例の検討	筆頭演者	小林龍太郎	第26回日本乳癌学会学術総会	京都市	2018/5/17	
20	乳房穿刺吸引細胞診の検体不適正症例に対する針生検の有用性の検討	筆頭演者	出井 秀幸	第26回日本乳癌学会学術総会	京都市	2018/5/17	
21	乳房切除術および腋窩リンパ節郭清術後のドレーンの持ち帰り退院症例の検討	筆頭演者	吉原 基	第26回日本乳癌学会学術総会	京都市	2018/5/18	
22	A CASE OF SPLENIC RUPTURE ASSOCIATED WITH AUTOIMMUNE PANCREATITIS	筆頭演者	Aitaro Takimoto	第30回日本肝胆膵外科学会学術集会	横浜市	2018/6/8	S
23	SOXによる術前化学療法によりpCRが得られた食道胃接合部癌の1例	筆頭演者	青葉 太郎	第72回日本食道学会学術集会	宇都宮市	2018/6/29	
24	S状結腸穿孔を併発した鼠径ヘルニア嵌頓の1例	筆頭演者	神谷 忠宏	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌市	2018/6/29	
25	鼠径ヘルニア術後21年目に発症した遅発性メッシュ感染の1例	筆頭演者	前田 周良	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌市	2018/6/29	
26	特発性小腸穿孔による汎発性腹膜炎後に発生した鼠径ヘルニア嚢腫の1例	筆頭演者	出井 秀幸	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌市	2018/6/29	
27	80歳以上の高齢者に対する脾頭十二指腸切除術の短期成績の検討	筆頭演者	山口 直哉	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島市	2018/7/11	

28	ロボット支援直腸手術後尿道カテーテル早期抜去の試み	共同演者	青葉 太郎	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島市	2018/7/11	
29	当科における消化器外科術後に生じた仮性動脈瘤症例の検討	筆頭演者	平松 和洋	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島市	2018/7/12	
30	当院における高齢者の急性胆嚢炎に対する発症早期腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績	筆頭演者	出井 秀幸	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島市	2018/7/13	
31	悪性リンパ腫の化学療法中に発症した小腸穿孔の1例	筆頭演者	長谷川琢哉	第50回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/7/16	R
32	腹部大動脈瘤術後に発生した難治性十二指腸瘻の1例	筆頭演者	柴田 淳平	第50回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/7/16	S
33	白血病治療中に発症したムコールによる急性虫垂炎の1例	筆頭演者	荒川 拓也	第50回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/7/16	S
34	Analysis of the Prognosis of Surgery for Colorectal Liver Metastases by Preoperative CT Scan Images. Could "Central Type" and "Budding phenomenon" Be Prognostic Factors?	筆頭演者	Kazuhiro Hiramatsu	13th IHPBA World Congress	Geneva/ Switzerland	2018/9/4~ 2018/9/7	
35	当院でのdose-denseEC療法の検討	筆頭演者	吉原 基	第15回日本乳癌学会中部地方会	津市	2018/9/8	
36	難治性胆汁瘻に対するエタノール焼灼療法	筆頭演者	伊藤 哲	第54回日本胆道学会学術集会	千葉市	2018/9/27	
37	巨大胃ポリープに対し腹腔鏡補助下胃部分切除を施行した1例	筆頭演者	浅井 周平	第296回東海外科学会・静岡県外科医会第239回集談会	浜松市	2018/10/14	R
38	Segmental arterial mediolysis(SAM)による中結腸動脈瘤破綻と術前診断し、横行結腸切除を施行した1例	筆頭演者	伊藤 量吾	第296回東海外科学会・静岡県外科医会第239回集談会	浜松市	2018/10/14	S
39	腸重積を来した小腸 pyogenic granulomaの1例	筆頭演者	滝本愛太郎	第296回東海外科学会・静岡県外科医会第239回集談会	浜松市	2018/10/14	S
40	腹腔内遊離ガスを認めた非穿孔性閉塞性大腸癌の1例	筆頭演者	権田 紘丈	第296回東海外科学会・静岡県外科医会第239回集談会	浜松市	2018/10/14	S
41	孤立性小脳転移で発症した横行結腸癌の1例	筆頭演者	権田 紘丈	第80回日本臨床外科学会総会	東京都	2018/11/23	S
42	盲腸癌による粘膜バリア破綻が起因となったbacterial translocationから破傷風菌肝膿瘍をきたした超高齢男性の1例	筆頭演者	滝本愛太郎	第80回日本臨床外科学会総会	東京都	2018/11/24	S
43	腹部手術におけるポビドンヨードアプリケーション1回消毒法と従来消毒法の無作為化比較試験	筆頭演者	神原 祐一	第31回日本外科感染症学会総会	大阪市	2018/11/29	
44	完全鏡視下に治療しえた小腸間膜裂孔ヘルニアの1例	筆頭演者	小林龍太郎	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/6	
45	腹部刺創部を用いて単孔式の診断的腹腔鏡検査を行った1例	筆頭演者	伊藤 量吾	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/6	S
46	完全腹腔鏡下にて摘出した脾硬化性血管腫の1例	筆頭演者	前田 周良	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	
47	単孔式腹腔鏡下虫垂切除術と従来法腹腔鏡下虫垂切除術における術後疼痛に関する比較検討	筆頭演者	青葉 太郎	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	
48	内側授動で行う脾弯曲部結腸癌手術	筆頭演者	有元 淳記	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/8	
49	腹腔鏡補助下回盲部切除を施行した巨大回腸憩室の1例	筆頭演者	梅村 将成	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/8	
50	当院の術前診断StageI胃癌に対する腹腔鏡下D1+胃切除後のstage migrationの現状	筆頭演者	平松 和洋	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/8	
51	腹腔鏡下に切除した前仙骨部epidermoid cystの1例	筆頭演者	毛利 康一	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/8	
52	ロボット支援直腸手術の次世代console surgeon育成の視点から見たIMV 1stアプローチ	筆頭演者	相場 利貞	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/8	

<呼吸器外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	胸腔ドレナージによる肺貫通傷の一例	筆頭演者	坪内 秀樹	第35回日本呼吸器外科学会総会・学術集会	千葉市	2018/5/18	
2	肝損傷を伴う両側胸部刺傷に対する両側開胸修復術の経験	筆頭演者	坪内 秀樹	第61回関西胸部外科学会学術集会	名古屋市	2018/6/21	
3	横隔神経合併切除併施胸腺全摘術後遠隔期に呼吸不全をきたし、横隔膜縫縮術を施行した1例	筆頭演者	坪内 秀樹	第59回日本肺癌学会学術集会	東京都	2018/12/1	

<肛門外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	脳卒中周術期における早期経腸栄養治療の栄養剤に対する検討	筆頭演者	柴田 佳久	第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会	横浜市	2018/2/22	
2	当院で経験した大腸悪性リンパ腫の臨床的検討	筆頭演者	柴田 佳久	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/5	
3	男性乳癌根治術後、胸骨浸潤局所再発に対する切除にて長期無再発生存をみた1症例	筆頭演者	柴田 佳久	第26回日本乳癌学会学術総会	京都市	2018/5/16	
4	当院で稼働しているクリニカルパスの経営からみた評価検討	筆頭演者	柴田 佳久	第68回日本病院学会	金沢市	2018/6/28	
5	当院電子カルテ上のクリニカルパスと看護必要度チェックの検証	筆頭演者	柴田 佳久	第19回日本クリニカルパス学会学術集会	函館市	2018/10/12	
6	術前術後化学療法を施行した十二指腸GISTの1切除例	筆頭演者	柴田 佳久	第26回日本消化器外科学会大会(JDDW2018)	神戸市	2018/11/3	
7	Pagetoid spreadを有する肛門管癌症例に対して会陰再建に臀部筋膜皮弁を用いた根治切除症例	筆頭演者	柴田 佳久	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京都	2018/11/10	
8	多科協同にて救命できた会陰部フルニエ壊疽の1症例	筆頭演者	柴田 佳久	第80回日本臨床外科学会総会	東京都	2018/11/23	

<移植外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	移植臓器機能喪失後のトレーシングについて	共同演者	長坂 隆治	第51回日本臨床腎移植学会	神戸市	2018/2/15	
2	腎移植後に大腿静脈血栓症および急性肺血栓塞栓症を合併した一例	筆頭演者	長坂 隆治	第51回日本臨床腎移植学会	神戸市	2018/2/16	
3	昨今、増えつつある無症候性原発性副甲状腺機能亢進症 でもその多くは無症候性ではなかった	筆頭演者	長坂 隆治	第40回東三医学会	豊橋市	2018/3/3	
4	副甲状腺全摘出手術に対するMPR画像と3D画像による術前評価の有用性について	筆頭演者	長坂 隆治	第118回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018/4/7	
5	地方総合病院の血液浄化センターにおける(一時的外来透析閉鎖に伴う)患者数推移の考案	共同演者	長坂 隆治	第63回日本透析医学会学術集会・総会	神戸市	2018/6/29	
6	度重なる外シャントトラブルの末に、中心静脈植込型カテーテル設置に移行した症例	筆頭演者	長坂 隆治	第63回日本透析医学会学術集会・総会	神戸市	2018/7/1	
7	献腎移植登録継続外来の今後のあり方について	筆頭演者	長坂 隆治	第54回日本移植学会総会	東京都	2018/10/4	
8	移植後臓器機能喪失後及び臓器提供者の転帰についての管理についての提言	共同演者	長坂 隆治	第54回日本移植学会総会	東京都	2018/10/4	
9	副甲状腺腫大腺の術前CT局在診断におけるMPR画像(軸位断・冠状断・矢状断)評価の有用性	筆頭演者	長坂 隆治	第51回日本甲状腺外科学会学術集会	横浜市	2018/10/25	

<整形外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	胸腰椎移行部の破裂骨折に対する前方後方固定術の中期成績	筆頭演者	岡田 裕也	第47回日本脊椎脊髄病学会学術集会	神戸市	2018/4/13	S
2	高位脱臼股に対する人工股関節置換術の成績	筆頭演者	山内 健一	第130回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	松山市	2018/4/20	
3	肘頭骨折に対するバックアウトを防止するlocking tension band wiring(LTBW)法-LTBWと従来のTBWの比較-	筆頭演者	三矢 聡	第61回日本手外科学会学術集会	東京都	2018/4/27	
4	COMBINED ANTERIOR AND POSTERIOR APPROACHES FOR THE TREATMENT OF TIBIAL PLATEAU FRACTURES.	筆頭演者	Mamoru Fujita	19th European Congress of Trauma & Emergency Surgery	Valencia/Spain	2018/5/7	
5	骨軟骨欠損を伴う大腿骨遠位部開放骨折に対して自家骨移植と自家骨軟骨柱移植を同時施行した1例	筆頭演者	藤田 譲	第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	福岡市	2018/6/15	
6	脛骨骨幹部骨折に対するsemi-extended positionによるpara-patellar approachでの髄内釘固定法	筆頭演者	福井 順	第44回日本骨折治療学会	岡山市	2018/7/6	
7	足関節Tillaux-Chaput骨折に対するK-wireとscrewを使用した新しい固定法-Spring hook pin法-	筆頭演者	三矢 聡	第44回日本骨折治療学会	岡山市	2018/7/6	
8	寛骨臼後壁骨折に対するvariable angle locking box plateを使用したspring locking plate固定法の治療成績	筆頭演者	三矢 聡	第44回日本骨折治療学会	岡山市	2018/7/6	
9	骨・軟部組織欠損に対して一時的に短縮・変形させた後にIlizarov法で骨延長・変形矯正を行った下腿開放骨折	筆頭演者	三矢 聡	第131回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	倉敷市	2018/10/5	
10	Pararectus approachでquadrilateral spring plateとsupra and infrapectineal plate固定を行った両柱骨折	筆頭演者	三矢 聡	第131回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	倉敷市	2018/10/6	
11	人工膝関節周囲大腿骨遠位部骨折に対する新しい分類法と髄内釘固定術の治療成績	筆頭演者	三矢 未来	第131回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	倉敷市	2018/10/6	
12	足関節部の軟部組織欠損に対する穿通枝プロペラ弁(PPI flap)を用いた軟部組織再建術	筆頭演者	三矢 未来	第131回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	倉敷市	2018/10/6	
13	impaction bone graft施行後の臼底突出部のremodeling	筆頭演者	山内 健一	第45回日本股関節学会学術集会	名古屋市	2018/10/27	

<リウマチ科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	関節リウマチにおけるトシリズマブによる貧血改善効果と人工膝関節置換術施行時の自己血輸血の効果	筆頭演者	平野 裕司	第31回日本自己血輸血学会学術総会	大阪市	2018/3/9	
2	人工股関節置換術を施行した乾癆性関節炎の1例	筆頭演者	山田 梨紗	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/26	S
3	リウマチ性多発筋痛症の関節エコー～肩関節と手関節のパルスドップラー陽性率について～	筆頭演者	皆元 裕子	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/26	
4	関節リウマチ治療におけるトシリズマブ効果不十分に対するイグラチモド追加併用の24週成績	筆頭演者	服部 恭典	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/26	
5	実臨床における関節リウマチのトシリズマブ治療による貧血の改善	筆頭演者	平野 裕司	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/26	
6	関節リウマチの生物学的製剤の製剤別投与継続率～非高齢者と高齢者の比較～	筆頭演者	平野 裕司	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/27	
7	日常臨床での関節リウマチ治療における3種類の生物学的製剤(TNF阻害剤ゴリムマブ、IL-6阻害剤トシリズマブ、T細胞共刺激調整剤アバタセプト)の比較	筆頭演者	平野 裕司	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/27	

8	関節リウマチの生物学的製剤治療の継続率-年齢別層別解析-	筆頭演者	平野 裕司	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/27	
9	実臨床における治療目標を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療-テリパラチド連日投与製剤2年+骨吸収抑制剤3年の治療成績-	筆頭演者	平野 裕司	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/28	
10	関節リウマチに合併した骨粗鬆症治療において、ビスフォスフォネート製剤からデノスマブもしくはテリパラチド連日投与製剤にそれぞれ変更した際の治療効果の比較検討	筆頭演者	服部 恭典	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/28	
11	関節リウマチに合併した骨粗鬆症に対するデノスマブ治療において、ビスフォスフォネート製剤の前治療の有無による治療効果への影響の比較検討	筆頭演者	服部 恭典	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/28	
12	関節リウマチにおける疾患活動性と骨粗鬆症	筆頭演者	平野 裕司	第91回日本整形外科学術大会	神戸市	2018/5/25	
13	治療目標を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療-テリパラチド連日製剤2年+骨吸収抑制剤3年の成績-	筆頭演者	平野 裕司	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸市	2018/5/26	
14	トシリズマブにおける関節リウマチの大関節破壊抑制効果	筆頭演者	平野 裕司	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸市	2018/5/27	
15	TREATMENT RETENTION RATE OF BIOLOGICAL TREATMENT IN ELDERLY RHEUMATOID ARTHRITIS PATIENTS COMPARED WITH YOUNGER RHEUMATOID ARTHRITIS PATIENTS - A SINGLE CENTER COHORT STUDY	筆頭演者	平野 裕司	EULAR2018(欧州リウマチ学会)	Amsterdam/ Netherlands	2018/6/16	
16	関節リウマチの骨粗鬆症での2年間のテリパラチド連日投与製剤後のミノドロン酸+エルデカルシトールとデノスマブの比較 -2年間治療成績(合計4年間)-	筆頭演者	平野 裕司	第36回日本骨代謝学会学術集会	長崎市	2018/7/26	
17	ウステキスマブにて加療した乾癬性関節炎の3症例	筆頭演者	紀平 大介	日本リウマチ学会中部支部学術集会第30回中部リウマチ学会	名古屋市	2018/8/31	
18	関節リウマチの生物学的製剤治療の継続率-年齢別層別解析-	筆頭演者	平野 裕司	日本リウマチ学会中部支部学術集会第30回中部リウマチ学会	名古屋市	2018/8/31	
19	ウステキスマブにて加療した乾癬性関節炎の3症例	筆頭演者	紀平 大介	日本脊椎関節炎学会第28回学術集会	東京都	2018/9/15	
20	生物学的製剤治療を施行しても股関節変形が進行し人工股関節置換術に至った乾癬性関節炎の1例	筆頭演者	平野 裕司	日本脊椎関節炎学会第28回学術集会	東京都	2018/9/15	
21	大腿骨骨髓炎および同部位の骨肥大を生じたSAPHO症候群の2例	筆頭演者	平野 裕司	日本脊椎関節炎学会第28回学術集会	東京都	2018/9/15	
22	Goal-Directed Treatment of Osteoporosis in Patients with Rheumatoid Arthritis Using Daily Teriparatide for Two Years Followed by Antiresorptive Drugs for Three Years(Results in Five Years in Total)	筆頭演者	平野 裕司	American Society for Bone and Mineral Research 2018 Annual Meeting(米国骨代謝学会)	Montreal/ Canada	2018/9/30	
23	関節リウマチにおける疾患活動性と骨粗鬆症に関する横断調査	筆頭演者	平野 裕司	第20回日本骨粗鬆症学会	長崎市	2018/10/26	
24	実臨床における治療目標を目指した関節リウマチの骨粗鬆症における薬物治療-テリパラチド連日投与製剤2年+骨吸収抑制剤3年によるGoal-Directed Treatment-	筆頭演者	平野 裕司	第20回日本骨粗鬆症学会	長崎市	2018/10/26	
25	種々の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較-6ヵ月治療成績-	筆頭演者	平野 裕司	第20回日本骨粗鬆症学会	長崎市	2018/10/27	
26	有害事象で直前の生物学的製剤が中止になった関節リウマチにおけるアバタセプトへの変更の有効性と安全性	筆頭演者	平野 裕司	第33回日本臨床リウマチ学会	東京都	2018/11/24	
27	身体機能評価の観点からの関節リウマチにおける生物学的製剤治療の評価-予備研究-	筆頭演者	平野 裕司	第33回日本臨床リウマチ学会	東京都	2018/11/24	
28	種々の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較-6ヵ月治療成績-	筆頭演者	平野 裕司	第33回日本臨床リウマチ学会	東京都	2018/11/24	
29	関節リウマチにおける生物学的製剤治療開始後10年以上経過した症例の検討	筆頭演者	紀平 大介	第33回日本臨床リウマチ学会	東京都	2018/11/25	

<脊椎外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	胸腰椎移行部の破裂骨折に対する前方後方固定術の中期成績	筆頭演者	岡田 裕也	第27回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	東京都	2018/9/29	S

<脳神経外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	頭頸部外傷をきたした虐待症例について:小児例と成人例の比較	筆頭演者	雄山 博文	第41回日本脳神経外傷学会	東京都	2018/2/23	
2	形態異常の中大脳動脈に合併した脳動脈瘤破裂の1例	筆頭演者	若林 健一	第47回日本脳卒中の外科学会学術集会	福岡市	2018/3/16	
3	血栓内膜摘出手術を行った総頸動脈狭窄、閉塞症の経験	筆頭演者	雄山 博文	第47回日本脳卒中の外科学会学術集会	福岡市	2018/3/16	
4	当科で経験した脳瘤の4例	筆頭演者	鈴木 一秋	第94回日本脳神経外科学会 中部支部会	福井市	2018/4/21	S
5	若年発症の中枢神経系原発悪性リンパ腫の1例	筆頭演者	若林 健一	第46回日本小児神経外科学会	東京都	2018/6/8	
6	治療を行った脳脊髄液減少症7例の経験	筆頭演者	雄山 博文	第33回日本脊髄外科学会	奈良市	2018/6/15	
7	放射線照射によって発生したことが推察された悪性脳腫瘍2例の報告	筆頭演者	雄山 博文	第23回日本脳腫瘍の外科学会	和歌山市	2018/9/15	
8	くも膜下出血をきたした嚢状動脈瘤の大きさの分布について	筆頭演者	雄山 博文	日本脳神経外科学会第77回学術総会	仙台市	2018/10/10	

<小児科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	初発症状として嚥下障害・呼吸障害を呈し診断に難渋した全身型重症筋無力症の1例	筆頭演者	玉腰 由佳	日本小児神経学会東海地方会	名古屋市	2018/1/20	S
2	豊橋市民病院における新生児期から始まる小児在宅医療の現状	筆頭演者	松林 広樹	第272回日本小児科学会東海地方会	津市	2018/2/12	S
3	Radial glial fibers promote neuronal migration and functional recovery after neonatal brain injury	筆頭演者	Hideo Jinnou	Pediatric Academic Societies 2018 Meeting	Toronto/Canada	2018/5/8	
4	The CD203c expression of unstimulated basophils indicates resistance to rush oral immunotherapy for food allergies	筆頭演者	Iwao Tajima	European Academy of Allergy and Clinical Immunology	Munich/Germany	2018/5/29	
5	An SMA patient with a SMN hybrid gene, presenting an intermediate phenotype between types 2 and 3 (SMNハイブリッド遺伝子を有する脊髄性筋萎縮症2/3型の一例)	筆頭演者	杉本 真里	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉市	2018/6/1	
6	Radial glial fibers promote neuronal migration and functional recovery after neonatal brain injury	筆頭演者	Hideo Jinnou	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉市	2018/6/1	
7	A case of ATR-X syndrome with respiratory chain disorders (ミトコンドリア呼吸鎖異常を呈したATR-X症候群の1例)	筆頭演者	相場 佳織	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉市	2018/6/1	
8	新たに虐待が疑われた症例のまとめ	筆頭演者	小山 典久	第32回日本小児救急医学学会学術集会	つくば市	2018/6/2	
9	放射状グリアを足場にした新生児期脳傷害後のニューロン再生	筆頭演者	神農 英雄	第162回名古屋市立大学医学会例会	名古屋市	2018/6/18	
10	無刺激状態の好塩基球活性化と急速経口免疫療法の臨床成績の検討	筆頭演者	田島 巖	第67回日本アレルギー学会学術大会	千葉市	2018/6/23	

11	放射状グリア模倣スポンジ移植はマウス新生児脳傷害後の神経学的機能回復を促進する	筆頭演者	神農 英雄	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/8	
12	当院における消化管穿孔手術を施行した超低出生体重児の検討	筆頭演者	杉本 真里	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/10	
13	母乳による後天性サイトメガロウイルス感染症の早産児例	筆頭演者	望月 聡	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/10	S
14	Neurally Adjusted Ventilatory Assistでの新生児呼吸管理 低ホスファターゼ症(HPP)に用いた報告	筆頭演者	杉本 真里	第54回中部日本小児科学会	名古屋市	2018/8/19	
15	新たな新生児蘇生法インストラクターフォローアップコースの開発	筆頭演者	杉浦 崇浩	第63回日本新生児育成医学会・学術集会	東京都	2018/11/22	
16	Radial glial fibers promote neuronal migration and functional recovery after neonatal brain injury	筆頭演者	Hideo Jinnou	第63回日本新生児育成医学会・学術集会	東京都	2018/11/22	
17	免疫グロブリン療法を施行したエコーウイルス7型によるウイルス関連血球貪食症候群の新生児例	筆頭演者	玉腰 由佳	第63回日本新生児育成医学会・学術集会	東京都	2018/11/23	S
18	新生児輸血 新ガイドラインと残された課題	筆頭演者	小山 典久	第63回日本新生児育成医学会・学術集会	東京都	2018/11/24	

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	婦人科悪性腫瘍に対するダヴィンチ手術～手術手技、使用機器の考察～	筆頭演者	梅村 康太	第10回日本ロボット外科学会学術集会	東京都	2018/2/10	
2	婦人科領域におけるロボット支援手術の導入と臨床的検討	筆頭演者	長尾有佳里	第10回日本ロボット外科学会学術集会	東京都	2018/2/10	
3	腹腔鏡下仙骨固固定術後の腸閉塞とその対策	筆頭演者	北見 和久	第12回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会	東京都	2018/2/18	
4	当科から高次病院へリンパ管吻合術を依頼した婦人科術後下肢リンパ浮腫症例について	筆頭演者	鈴木 邦昭	第40回東三医学会	豊橋市	2018/3/3	S
5	アブスコパル効果(abscopal effect)と思われる腫瘍縮小効果を示した陰嚕の1例	筆頭演者	河合 要介	第138回東海産科婦人科学会	名古屋市	2018/3/10	
6	卵巣腫瘍茎捻転の臨床診断で緊急腹腔鏡下手術を施行した36例の臨床的検討	筆頭演者	山田友梨花	第138回東海産科婦人科学会	名古屋市	2018/3/10	R
7	腹腔鏡下子宮筋腫核出術後の周産期予後	筆頭演者	長尾有佳里	第138回東海産科婦人科学会	名古屋市	2018/3/11	
8	一絨毛膜二羊膜双胎において羊水量の逆転を認め一児子宮内胎児死亡となった後に生児を得た1例	筆頭演者	甲木 聡	第138回東海産科婦人科学会	名古屋市	2018/3/11	
9	当院における過去5年間の高齢者に対する腹腔鏡手術の検討	筆頭演者	藤田 啓	第138回東海産科婦人科学会	名古屋市	2018/3/11	
10	子宮頸癌傍大動脈リンパ節転移に対する放射線療法の治療成績と予後因子解析	筆頭演者	河合 要介	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/12	
11	腹腔鏡下子宮筋腫核出術の術前難易度予測	筆頭演者	長尾有佳里	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/12	
12	子宮頸癌、子宮体癌治療後の下肢リンパ浮腫における治療後1年時点でのCT評価	筆頭演者	窪川 芽衣	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/12	S
13	当院における高齢者に対する全腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)の検討	筆頭演者	藤田 啓	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/13	
14	鏡視下手術におけるICG螢光法を用いたセンチネルリンパ節同定法	筆頭演者	梅村 康太	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/13	
15	当院における子宮頸癌、子宮体癌術後の下肢リンパ浮腫についての検討	筆頭演者	北見 和久	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/13	
16	繰り返し施行した細胞診が診断の契機となった子宮頸部原発悪性リンパ腫の1例	筆頭演者	河合 要介	第59回日本臨床細胞学会総会(春季大会)	札幌市	2018/6/3	
17	産科出血に対する子宮動脈塞栓術後の妊孕性に関する検討	筆頭演者	河合 要介	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/8	

18	吸引分娩後の第3度会陰裂傷発症に関するリスク因子の検討	筆頭演者	窪川 芽衣	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/9	S
19	当院における過去5年間の産褥搬送の検討	筆頭演者	藤田 啓	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/9	
20	当院において周産期に子宮全摘術に至った症例に関するリスク因子の検討	筆頭演者	矢吹 淳司	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/10	
21	当院におけるクリオプレシピテートの使用状況	筆頭演者	尾瀬 武志	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/10	S
22	当院における双胎妊娠105例の検討	筆頭演者	甲木 聡	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/10	
23	腹腔鏡下広汎子宮全摘術の実際	筆頭演者	梅村 康太	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/2	
24	腹腔鏡下子宮体癌手術における肥満度の手術成績・合併症への影響	筆頭演者	長尾有佳里	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/3	
25	当院における全腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)の手術時間短縮に影響する因子の検討	筆頭演者	藤田 啓	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/3	
26	婦人科鏡視下手術における尿管ステントの有用性の検討	筆頭演者	永井 智之	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/3	
27	当院における腹腔鏡下仙骨陰固定術の治療成績	筆頭演者	矢吹 淳司	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/3	
28	腔式単純子宮全摘術、前後陰会陰形成術後の完全陰脱(骨盤臓器脱再発)に対し、腹腔鏡下仙骨陰固定術を施行した1例	筆頭演者	甲木 聡	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/3	
29	双角子宮、CIN3に対する腹腔鏡下单純子宮全摘出術を行った際に右尿管欠損により右腎無形成を認めた1例	筆頭演者	嶋谷 拓真	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/4	S
30	卵巣腫瘍茎捻転に対する緊急腹腔鏡下手術症例の臨床的検討～卵巣壊死に対する術前予測因子の解析～	筆頭演者	河合 要介	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/4	
31	腹腔鏡下広汎子宮全摘術における手術手技の工夫	筆頭演者	長尾有佳里	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/4	
32	当院で経験した帝王切開癒痕部妊娠の4例	筆頭演者	國島 温志	第41回日本母体胎児医学会学術集会	東京都	2018/8/24	
33	先天性アンチトロンビン欠乏症合併妊婦に対する遺伝子組み換えアンチトロンビンガンマの使用経験	筆頭演者	岡田真由美	第41回日本母体胎児医学会学術集会	東京都	2018/8/24	
34	円錐切除時における術中頸管細胞診と局所残存との相関関係の検討	筆頭演者	永井 智之	第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都市	2018/9/14	
35	子宮頸癌に対して初回放射線単独治療を施行した58例の検討	筆頭演者	國島 温志	第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都市	2018/9/14	
36	子宮悪性腫瘍に対するロボット支援下手術の実際	筆頭演者	梅村 康太	第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都市	2018/9/15	
37	KIF20A Expression as a prognostic indicator its possible involvement in the proliferation of ovarian clear-cell carcinoma	筆頭演者	Yosuke Kawai	17th Biennial meeting of the international gynecology cancer society	Kyoto	2018/9/15	
38	Stage IVB uterine cervical cancer presenting with a giant pelvic tumor and multiple lymphadenopathies that was treated effectively with chemotherapy	筆頭演者	Yukari Nagao	17th Biennial meeting of the international gynecology cancer society	Kyoto	2018/9/15	
39	Effect of concurrent chemo-radiotherapy on clinical outcomes in small cell carcinoma of the uterine cervix	筆頭演者	Yoshiki Ikeda	17th Biennial meeting of the international gynecology cancer society	Kyoto	2018/9/15	
40	当院における卵巣癌、卵管癌、腹膜癌に対するBevacizumab投与例の臨床的検討	筆頭演者	嶋谷 拓真	第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都市	2018/9/16	S
41	当院における口唇口蓋裂75例の臨床遺伝学的検討	筆頭演者	河合 要介	日本人類遺伝学会第63回大会	横浜市	2018/10/12	

42	当院でのリファンピシン耐性肺結核合併妊娠の1例	筆頭演者	古井 憲作	第108回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/10/13	R
43	画像所見から子宮体癌を疑ったが組織診にて子宮結核の診断に至った一例	筆頭演者	山下絵美里	第108回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/10/13	R
44	アブスコパル効果(abscopal effect)と思われる腫瘍縮小効果を示した肺癌の1例	筆頭演者	河合 要介	第56回日本癌治療学会学術集会	横浜市	2018/10/19	
45	当院で経験した子宮頸部小細胞癌8例の臨床的検討	筆頭演者	長尾有佳里	第56回日本癌治療学会学術集会	横浜市	2018/10/19	
46	ジェノゲスト投与中に大量出血を起こした子宮内膜症・子宮腺筋症の1例	筆頭演者	河合 要介	第33回日本女性医学学会学術集会	岐阜市	2018/11/3	
47	高分化型子宮体癌・複雑型子宮内膜異型増殖症に対する妊娠性温存療法後に生児を得た4例:ライフステージからみた検討と考察	筆頭演者	長尾有佳里	第33回日本女性医学学会学術集会	岐阜市	2018/11/4	
48	骨盤内臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨陰固定術を行った症例の検討	筆頭演者	窪川 芽衣	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	S
49	早期子宮頸癌におけるインドシアニンググリーン蛍光法を用いた腹腔鏡下センチネルリンパ節同定・生検法	筆頭演者	長尾有佳里	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	
50	骨盤外科解剖に基づいたロボット支援下子宮全摘術(良性から悪性疾患まで)	筆頭演者	梅村 康太	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	
51	外科と産婦人科の腹腔鏡下同時手術の経験～他科との連携による腹腔鏡下コラボレーション手術～	筆頭演者	河合 要介	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	
52	良性腫瘍におけるロボット支援下子宮全摘術と腹腔鏡下子宮全摘術との比較検討について	筆頭演者	尾瀬 武志	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	S
53	腹腔鏡下子宮体癌手術におけるセンチネルリンパ節生検の現状	筆頭演者	永井 智之	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	
54	当院におけるロボット支援下手術の検討	筆頭演者	山田友梨花	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡市	2018/12/7	S
55	出生前診断により日齢0より酵素補充を開始した周産期型低フォスファターゼ症の一例	筆頭演者	岡田真由美	第4回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会	東京都	2018/12/15	

<産婦人科(生殖医療)>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	妊娠性温存手術予定患者に対して当院で実践する病診連携とファミリープランニング(パネルディスカッション)	筆頭演者	安藤 寿夫	第39回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会	京都市	2018/1/28	
2	腹壁破裂手術既往で卵管が両側結腸溝周辺までV字状に過伸展した卵胞視認困難排卵障害症例でのリコンビナントFSH自己注射による自然妊娠成立	筆頭演者	安藤 寿夫	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/12	
3	同一採卵周期に由来する胚移植から複数児を得た児の出生体重の変化ならびにその周産期経過についての検討	筆頭演者	植草 良輔	第70回日本産婦人科学会学術講演会	仙台市	2018/5/12	
4	定期的にAMH採血を行っている当院における同一ART患者での数値変動について	筆頭演者	國島 温志	第59回日本卵子学会学術集会	さいたま市	2018/5/26	
5	子を望む子宮内膜症カップルもしくは未婚者に対する妊娠と母乳哺育の治療的効用についての指導と実践:医師としてのカウンセリング的考察も含めて	筆頭演者	安藤 寿夫	日本不妊カウンセリング学会第17回学術集会	東京都	2018/6/1	
6	不妊症カップルは何人の子どもの望んでいるのか?-男女両方の初診問診票段階からのファミリープランニング動機づけに向けた取り組み-	筆頭演者	植草 良輔	日本不妊カウンセリング学会第17回学術集会	東京都	2018/6/1	
7	子宮腺筋症・内膜症に関連した重度の月経困難症に対して行ったGnRHアゴニスト治療が劇的に奏功しARTで継続妊娠に至った症例	筆頭演者	鈴木 邦昭	第40回中部生殖医学会	名古屋市	2018/6/9	S

8	当施設における精子凍結保存19年間の歴史と現状	筆頭演者	矢吹 淳司	日本アンドロロジー学会第37回学術大会	神戸市	2018/6/15	
9	挙児希望で受診するカップルの初診時性交回数について	筆頭演者	安藤 寿夫	日本アンドロロジー学会第37回学術大会	神戸市	2018/6/15	
10	Acquisition of a next baby using a frozen sibling embryo(s): a proposal for advanced aged infertility couples to build a desired family	筆頭演者	Ryosuke Uekusa	34th Annual Meeting of European Society of Human Reproduction and Embryology	Barcelona/Spain	2018/7/1～2018/7/4	
11	新鮮/凍結単胚移植後の多胎妊娠の生殖周産期的検討	筆頭演者	山田友梨花	第36回日本受精着床学会総会・学術講演会	千葉市	2018/7/26	S
12	3D超音波法を使用した胚移植後画像の活用の検討	筆頭演者	甲木 聡	第36回日本受精着床学会総会・学術講演会	千葉市	2018/7/26	
13	初診時男女問診票から分析した挙児希望カップルの性交回数	筆頭演者	安藤 寿夫	第36回日本受精着床学会総会・学術講演会	千葉市	2018/7/27	
14	小児期複数回の腹壁破裂手術既往で付属器が両側結腸溝周辺まで過伸展され腹腔鏡で確認後リコンビナントFSH自己注射により継続妊娠に至った一例	筆頭演者	安藤 寿夫	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/2	
15	胚移植後に異所性妊娠に至った症例の背景因子に関する後方視的検討	筆頭演者	鈴木 邦昭	第63回日本生殖医学会学術集会	旭川市	2018/9/6	S
16	余剰凍結胚を用いた次子獲得予測について 各夫婦の望む家族形成の獲得を目指して	筆頭演者	植草 良輔	第63回日本生殖医学会学術集会	旭川市	2018/9/6	
17	初診時間問診票からみた挙児希望カップルの性交頻度	筆頭演者	安藤 寿夫	第63回日本生殖医学会学術集会	旭川市	2018/9/6	
18	先天性腹壁破裂反復手術により過伸展した両側付属器が傍結腸溝に達し卵胞モニタリング困難だったがリコンビナントFSH自己注射による単一排卵後に自然妊娠が成立した一例	筆頭演者	長尾有佳里	第63回日本生殖医学会学術集会	旭川市	2018/9/6	
19	ART反復不成功例に対する精液細菌培養検査と治療	筆頭演者	窪川 芽衣	第63回日本生殖医学会学術集会	旭川市	2018/9/6	S
20	3D超音波法を使用した胚移植後画像を用いた胚移植部位と妊娠転帰の検討	筆頭演者	甲木 聡	第21回日本IVF学会学術集会	名古屋市	2018/10/27	
21	3D超音波法を用いた経腔超音波ガイド下胚移植後画像での妊娠の有無の検討	筆頭演者	古井 憲作	第21回日本IVF学会学術集会	名古屋市	2018/10/27	R
22	新発想ファミリープランニングARTは女性活躍推進の旗手となる (Future Perspective)	筆頭演者	安藤 寿夫	第21回日本IVF学会学術集会	名古屋市	2018/10/28	
23	採卵時の卵胞フラッシュについての検討	筆頭演者	國島 温志	第21回日本IVF学会学術集会	名古屋市	2018/10/28	
24	挙児を希望する男女の性交渉頻度について	筆頭演者	安藤 寿夫	第33回日本女性医学学会学術集会	岐阜市	2018/11/3	
25	高分化型子宮体癌・複雑型子宮内膜異型増殖症に対する妊孕性温存療法後に生児を得た4例～ライフステージからみた検討と考察～	筆頭演者	長尾有佳里	第33回日本女性医学学会学術集会	岐阜市	2018/11/3	

<眼科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	学術展示(ポスター) 白内障	筆頭演者	水野 友広	第41回日本眼科手術学会学術総会	京都市	2018/1/27	

<耳鼻いんこう科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	舌下神経鞘腫摘出術の際に術中持続神経モニタリングを用いた経験	筆頭演者	小澤泰次郎	第28回頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	宇都宮市	2018/1/26	

2	耳下腺癌に対するパクリタキセル+セツキシマブによる化学療法の経験	筆頭演者	小澤泰次郎	第42回日本頭頸部癌学会	東京都	2018/6/15	
3	Bezold膿腫を発症した1例	筆頭演者	氏原 健作	第80回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	横浜市	2018/6/30	S
4	扁平上皮化生を示した甲状腺乳頭癌に対しレンパチニブを投与した1例	筆頭演者	山口 慎人	第70回気管食道科学会総会ならびに学術講演会	東京都	2018/11/8	
5	上縦隔に発生した気管支原性嚢胞の一例	筆頭演者	朝岡 龍博	第70回気管食道科学会総会ならびに学術講演会	東京都	2018/11/9	S

<泌尿器科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(RARP)の治療成績	筆頭演者	寺島 康浩	第10回日本ロボット外科学会学術集会	東京都	2018/2/10	
2	当院におけるパゾパニブの使用経験	筆頭演者	寺島 康浩	第106回日本泌尿器科学会総会	京都市	2018/4/19	
3	豊橋市市民病院における精巣腫瘍69例の検討	筆頭演者	山本 晃之	第106回日本泌尿器科学会総会	京都市	2018/4/19	
4	去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミド、アピラテロンの有効性、安全性の検討	筆頭演者	小嶋 一平	第106回日本泌尿器科学会総会	京都市	2018/4/20	
5	根治的膀胱全摘除術前における、予後因子としての好中球/リンパ球比の有用性	筆頭演者	内藤 祐志	第106回日本泌尿器科学会総会	京都市	2018/4/21	
6	去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセルの有効性と安全性の検討	筆頭演者	山本 晃之	第16回日本臨床腫瘍学会学術集会	神戸市	2018/7/20	
7	ADT施行中前立腺癌患者に対するFRAXを用いた骨折リスク評価とゾレドロン酸水和物を用いた改善効果の検討	筆頭演者	小嶋 一平	第68回日本泌尿器科学会中部総会	名古屋市	2018/10/4	
8	回腸利用尿路変向を伴う膀胱全摘術に対するERASプロトコルの有用性	筆頭演者	内藤 祐志	第68回日本泌尿器科学会中部総会	名古屋市	2018/10/4	
9	前立腺癌骨転移に対するゾレドロン酸とデノスマブの当院での治療成績	筆頭演者	庄 紀江	第68回日本泌尿器科学会中部総会	名古屋市	2018/10/6	
10	骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するRa 223の使用経験	筆頭演者	寺島 康浩	第68回日本泌尿器科学会中部総会	名古屋市	2018/10/6	
11	IDC-Pを有するCRPC患者に対するカバジタキセルの有用性と安全性の検討 (Efficacy and safety of cabazitaxel in castration-resistant prostate cancer (CRPC) patients with intraductal carcinoma of the prostate (IDC-P))	筆頭演者	内藤 祐志	第56回日本癌治療学会学術集会	横浜市	2018/10/19	
12	IDC-Pを有する前立腺癌CRPC患者に対するドセタキセルとARATの有効性の検討 (Efficacy of docetaxel and androgen receptor axis-targeted (ARAT) agents in castration-resistant prostate cancer patients with intraductal carcinoma of the prostate (IDC-P))	筆頭演者	山本 晃之	第56回日本癌治療学会学術集会	横浜市	2018/10/19	
13	手術教育を考える:ガスレス・シングルポート手術	筆頭演者	長井 辰哉	第11回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会	東京都	2018/12/16	

<麻酔科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	99歳の急性上腸間膜動脈閉塞症に対してフロートラックセンサー®を用いて全身麻酔管理を行った1例	筆頭演者	松岡 慶	日本麻酔科学会東海・北陸支部第16回学術集会	金沢市	2018/9/8	

2	血中フィブリノゲンが10mg/dLに陥った産科危機的出血に対し、大量クリオプレシテートを使用した一例	筆頭演者	藤田 靖明	日本麻酔科学会東海・北陸支部第16回学術集会	金沢市	2018/9/8	
3	帝王切開術中に発症した肺血栓塞栓症(PTE)の2症例	筆頭演者	渡邊 真麻	日本麻酔科学会東海・北陸支部第16回学術集会	金沢市	2018/9/8	S
4	全身麻酔に腰方形筋ブロックを併用した顎裂部腸骨移植術の1症例	筆頭演者	稲生 光春	第46回日本歯科麻酔学会総会・学術集会	奈良市	2018/10/6	
5	2L以上の卵巣出血が想定された血小板無力症の緊急麻酔の一例	筆頭演者	藤田 靖明	日本臨床麻酔学会第38回大会	北九州市	2018/11/2	
6	Sotos症候群患者の自然気胸の麻酔管理	筆頭演者	齊藤 公紹	日本臨床麻酔学会第38回大会	北九州市	2018/11/3	
7	強直性脊椎骨増殖症による両側声帯麻痺合併患者の周術期管理	筆頭演者	齊藤 公紹	日本蘇生学会第37回大会	天童市	2019/11/16	

<救急科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	当院における深頸部膿瘍に対する治療	筆頭演者	斗野 敦士	第45回日本集中治療医学会学術集会	千葉市	2018/2/22	

<放射線科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	子宮頸癌放射線療法後の晩期有害事象とその経時的変化の解析	筆頭演者	山田 剛大	日本医学放射線学会第163回中部地方会	長久手市	2018/2/18	
2	放射線治療を施行した骨転移患者の予後-10年前との比較-	筆頭演者	石原 俊一	第51回日本整形外科学会・骨・軟部腫瘍学術集会	静岡市	2018/7/12	
3	子宮頸癌放射線治療後の晩期有害事象とその経時的変化の解析	筆頭演者	山田 剛大	日本放射線腫瘍学会第31回学術大会	京都市	2018/10/11	
4	放射線治療を施行した骨転移患者の予後～片桐らによる新旧の予後スコアの比較～	筆頭演者	石原 俊一	日本放射線腫瘍学会第31回学術大会	京都市	2018/10/12	

<歯科口腔外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	口内法にて摘出し得た咬筋内血管奇形の1例	筆頭演者	寺沢 史誉	第36回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	新潟市	2018/1/25	
2	PEACEプロジェクトにおける緩和ケア指導者研修会修了者としての取り組み	筆頭演者	白水 敬昌	第36回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	新潟市	2018/1/26	
3	エナメル上皮腫を発症した軟骨無形成症患者に対する手術ならびに周術期管理の経験	筆頭演者	中尾 巧晃	第61回NPO法人日本口腔科学会中部地方部会学術集会および学術研修会	名古屋市	2018/9/2	R
4	舌癌を伴い治療に苦慮した口底蜂窩織炎の1例	筆頭演者	寺沢 史誉	第27回日本口腔感染症学会総会・学術大会	広島市	2018/10/13	

研究会発表（医局）

<呼吸器内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	非小細胞肺癌の治療戦略ならびにキイトルーダ®の位置付けについて	ディスカッサント	竹山 佳宏	Lung Cancer Symposium in Mikawa	安城市	2018/3/14	
2	CTにて虫道形成を認めたウエステルマン肺吸虫症の1例	筆頭演者	大館 満	第85回 東海呼吸器感染症研究会	名古屋市	2018/9/8	
3	エビデンスと患者適格性から見た治療選択～ガイドラインにはない治療見極めのポイントについて～	ディスカッサント	竹山 佳宏	Lung Cancer Cutting Edge in MIKAWA	安城市	2018/10/12	

<消化器内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	肝細胞癌胸椎転移巣自然破裂の1例	筆頭演者	山本 崇文	第54回日本肝癌研究会	久留米市	2018/6/29	
2	DAAs治療とTACE後に急速に進展した肝細胞癌の1例	筆頭演者	内藤 岳人	第54回日本肝癌研究会	久留米市	2018/6/29	

<循環器内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	慢性完全閉塞病変の治療戦略 Part 1	コメンテーター	成瀬 賢伸	第25回東海ライブ研究会	豊橋市	2018/2/10	
2	高齢者心房細動のトータルケア ～抗凝固療法はどうあるべきか?～	共同演者	成瀬 賢伸	リクシアナ エリア座談会	豊橋市	2018/2/27	
3	心不全急性期におけるASVの位置づけ	ディスカッサー	佐藤 文明	愛知ASV Small Meeting 2018	名古屋市	2018/5/10	
4	高齢者の心不全と心房細動 こんなときどうする?	パネリスト	成瀬 賢伸	高齢者心房細動のトータルケア講演会	豊橋市	2018/8/28	
5	PCSK9阻害薬を必要とする症例とは?	パネリスト	佐藤 文明	東三河 CV Premium Conference	豊橋市	2018/9/12	
6	超高齢、severe AS、高度石灰化多枝病変症例 ～TAVI前にショックに～	ディスカッサー	成瀬 賢伸	第35回 PICASSO	名古屋市	2018/12/8	
7	石灰化を伴ったRCA入口部の再狭窄病変の治療	コメンテーター	成瀬 賢伸	第35回 PICASSO	名古屋市	2018/12/8	

<糖尿病・内分泌内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	DKD阻止のために何ができるか(基幹病院の視点から)	筆頭演者	山守 育雄	STOP!DKD!Core Member Meeting	豊橋市	2018/12/17	

<血液・腫瘍内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	二次性形質細胞性白血病に進展した多発性骨髄腫に対してDaratumumabを投与した1例	筆頭演者	小山 大輔	Meet the Expert in Kobe ～Dr.Mateosをお招きして～	神戸市	2018/1/28	
2	二次性形質細胞性白血病に進展した多発性骨髄腫に対してDaratumumabを投与した1例	筆頭演者	小山 大輔	第37回三河血液疾患診療ネットワーク	安城市	2018/2/16	
3	多発性骨髄腫に対する抗CD38交代療法	筆頭演者	梅村 晃史	第20回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/3/3	
4	IgD型多発性骨髄腫に対するグラツムマブの使用経験	筆頭演者	伊藤 理恵	第20回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/3/3	S

5	妊娠経過中に発症した古典的ホジキンリンパ腫に対する治療経験	筆頭演者	倉橋 信悟	三河Lymphoma seminar	名古屋市	2018/3/6	
6	当院における本態性血小板血症66例の検討	筆頭演者	伊藤 理恵	Novartis Hematology Forum in 三河	名古屋市	2018/4/13	S
7	多発性骨髄腫治療における抗体療法の位置づけ	筆頭演者	井本 直人	第3回Tokai Hematological malignancy Club	名古屋市	2018/5/18	
8	他のTKIに不耐容あるいは抵抗性のCML-CPに対するボスチニブ療法	筆頭演者	小山 大輔	Pfizer Leukemia Symposium in Aichi	名古屋市	2018/6/29	
9	高齢者におけるVRD寛導導入療法	筆頭演者	倉橋 信悟	三河骨髄腫セミナー	名古屋市	2018/9/28	
10	FIP1L1-PDGFRA融合遺伝子を認めたT細胞性リンパ芽球性リンパ腫の1例	筆頭演者	伊藤 理恵	第38回三河血液疾患診療ネットワーク	安城市	2018/11/2	S

<一般外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	肝切除後の難治性胆汁瘻に対するエタノール焼灼療法	筆頭演者	伊藤 哲	第63回東海肝臓外科懇談会	名古屋市	2018/2/3	
2	集学的治療で社会復帰に成功した結腸動脈瘤破裂による来院時心肺停止の1例～輸液栄養を含めた全身管理～	筆頭演者	梅村 将成	第5回愛知Acute Care Surgeryフォーラム	名古屋市	2018/10/26	

<移植外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	E-VAS データ解析により明らかになった献腎移植登録における問題点	筆頭演者	長坂 隆治	第29回東海北陸腎不全治療研究会	名古屋市	2018/3/10	
2	献腎移植登録における問題点(E-VAS データ解析より)	筆頭演者	長坂 隆治	第34回腎移植・血管外科研究会	鹿児島市	2018/5/25	
3	すべての画像モダリティで評価困難であったが、3DCT構築により初めて局在診断しえた原発性副甲状腺機能亢進症1例	筆頭演者	長坂 隆治	第21回東海ROD研究会	名古屋市	2018/8/4	
4	副甲状腺全摘手術に行われる前腕筋肉内自家移植術式の工夫	筆頭演者	長坂 隆治	第10回二次性副甲状腺機能亢進症に対するPTx研究会学術集会	東京都	2018/9/22	
5	豊橋市民病院における抗HLA抗体測定の実状	筆頭演者	長坂 隆治	東海・北陸腎移植セミナー	名古屋市	2018/12/1	

<整形外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	Gustilo type 3C下腿開放骨折に対して動脈吻合とPPP flapで修復を行った1例	筆頭演者	三矢 聡	第1回重度四肢開放骨折peer review meeting in 東海	名古屋市	2018/1/20	
2	脛骨粗面前方移動術後に人工膝関節置換術後を施工した1例	筆頭演者	藤田 護	第11回東海人工関節研究会	名古屋市	2018/1/27	
3	脊椎-骨盤不安定性を伴う仙骨骨折を合併した骨盤輪骨折の1例	筆頭演者	三矢 聡	第3回骨盤輪骨折・寛骨臼骨折症例検討会	名古屋市	2018/2/2	
4	軟部組織欠損を伴う足関節果部開放骨折に対するIlizarov法	筆頭演者	三矢 聡	第3回東海イリザロフ法症例検討会	名古屋市	2018/2/3	
5	腓骨動脈穿通枝皮弁(PNAP flap)のプロペラ皮弁で再建を行った動脈損傷と軟部組織欠損を伴う下腿開放骨折の1例	筆頭演者	三矢 聡	第64回東海整形外科外傷研究会	名古屋市	2018/3/24	
6	大腿骨遠位部関節内インプラント周囲骨折	筆頭演者	三矢 聡	第6回TOP7	名古屋市	2018/5/12	
7	骨・軟部組織欠損を伴う下腿開放骨折に対する一時的変形・短縮を行うAcute shortening and gradual lengthening	筆頭演者	三矢 聡	第3回東海イリザロフ法研究会	名古屋市	2018/6/1	
8	大腿骨頭すべり症に対し大腿骨前方回転骨切り術をおこなった1例	筆頭演者	山内 健一	第13回東海股関節研究会	名古屋市	2018/6/9	
9	血管損傷 骨損傷 軟部組織欠損を伴ったGustilo 3C 大腿骨開放骨折	筆頭演者	三矢 未来	第20回鶴門骨折治療研究会	名古屋市	2018/11/3	

<リウマチ科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	関節リウマチ患者の骨粗鬆症に対するデノスマブの有効性	筆頭演者	服部 恭典	第53回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2018/3/3	
2	種々の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較-6ヵ月治療成績-	筆頭演者	平野 裕司	第71回東海膠原病研究会	名古屋市	2018/7/14	
3	当科の関節リウマチと骨粗鬆症の薬物治療の現状報告～2009年-2017年度～	筆頭演者	平野 裕司	第54回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2018/8/4	
4	RS3PE症候群における当院での診断と治療のまとめ	筆頭演者	紀平 大介	第54回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2018/8/4	
5	関節リウマチにおける疾患活動性と骨粗鬆症	筆頭演者	平野 裕司	第6回全三河リウマチ研究会兼第23回西三河リウマチ研究会	知立市	2018/8/25	
6	顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016の紹介	筆頭演者	紀平 大介	第10回三河骨粗鬆症研究会	安城市	2018/10/13	
7	関節リウマチにおける関節エコーの撮像方向の比較検討	筆頭演者	皆元 裕子	第5回三河関節エコー研究会	名古屋市	2018/11/10	

<小児科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	新生児脳障害の再生における放射状グリア細胞の役割-足場としての役割-	筆頭演者	神農 英雄	第1回新生児基礎・トランスレーショナルリサーチ	長浜市	2018/2/24	
2	新生児期に備わる脳障害後のニューロン再生メカニズム	筆頭演者	神農 英雄	第193回東三河小児科医学会症例検討会	豊橋市	2018/10/17	

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	卵巣明細胞腺癌における予後予測因子としてのKIF20Aの発現とその増殖への関与	筆頭演者	河合 要介	第6回婦人科がんバイオマーカー研究会学術集会	福井市	2018/2/24	
2	血圧上昇を契機に診断されたBasedow病合併妊娠の一例	筆頭演者	嶋谷 拓真	平成30年度周産期医療従事者研究会(東三河北部・南部医療圏)	豊橋市	2018/3/1	S
3	2017年の産科統計「当院の分娩、母体搬送の報告」	筆頭演者	岡田真由美	平成30年度周産期医療従事者研究会(東三河北部・南部医療圏)	豊橋市	2018/3/1	
4	当院で管理した腺筋症合併妊娠の検討	筆頭演者	岡田真由美	第六回三河地区産婦人科フォーラム愛知県産婦人科医学会第1回学術研修会(三河地区)	豊橋市	2018/5/19	
5	外科と産婦人科の腹腔鏡下同時手術の経験～他科との連携による腹腔鏡下コラボレーション手術～	筆頭演者	河合 要介	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	
6	異なる経過をたどった抗NMDA受容体脳炎を合併する卵巣奇形腫に対して腹腔鏡下手術を行った3例	筆頭演者	山田友梨花	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	S
7	腹腔鏡下子宮筋腫核出術における術前MRIを用いた難易度予測	筆頭演者	長尾有佳里	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	
8	当院における子宮鏡下経頸管的切除術(TCR:Transcervical resection)症例の後方視的検討	筆頭演者	鈴木 邦明	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	S
9	当院における子宮頸部上皮内病変に対する腹腔鏡下子宮全摘出術の検討	筆頭演者	嶋谷 拓真	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	S
10	ロボット支援下手術の現状と未来	筆頭演者	梅村 康太	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	
11	当院で経験した腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術257例の検討	筆頭演者	國島 温志	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	

<産婦人科(生殖医療)>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	先天性腹壁破裂反復手術により過伸展した両側付属器が傍結腸溝に達し卵胞モニタリング困難だったが、リコンビナントFSH自己注射による自然妊娠後に生児を得た一例	筆頭演者	長尾有佳里	第18回産婦人科内分泌研究会	名古屋市	2018/7/14	

<麻酔科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	意識下経鼻ファイバー挿管後に気道出血をきたした挿管困難症例	筆頭演者	稲生 光春	第53回中部歯科麻酔研究会	名古屋市	2018/7/16	

<放射線科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	ウエステルマン肺吸虫症の一例	筆頭演者	島本 宏矩	第117回名古屋レントゲンカンファレンス	名古屋市	2018/9/1	

<歯科口腔外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	地域医療支援病院での歯科口腔外科診療	筆頭演者	嘉悦 淳男	名古屋第二赤十字病院 第25回歯科口腔外科勉強会	名古屋市	2018/12/13	

座長・司会（医局）

<総合内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	司会	頭頸部がんについて	鳥居 俊男	第67回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2018/3/24	
2	司会	当院における放射線治療	鳥居 俊男	第68回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2018/10/27	

<呼吸器内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	特別講演 最適な予防制吐療法を考える～CINVガイドラインを中心に～	菅沼 伸一	東三河CINVセミナー	豊橋市	2018/2/2	
2	座長	好酸球をターゲットにした重症喘息の今後の展開	菅沼 伸一	東三河呼吸器疾患懇話会	豊橋市	2018/2/16	
3	司会	一般講演 Pseudo Progressionについての検討	竹山 佳宏	LC-Immuno-Oncologyセミナーin豊橋	豊橋市	2018/2/28	
4	司会	特別講演 3年目を迎えるニボルマブの評価と今後の展望～実臨床における経験から～	菅沼 伸一	LC-Immuno-Oncologyセミナーin豊橋	豊橋市	2018/2/28	
5	座長	特別講演 安定期COPD管理の一工夫	菅沼 伸一	東三河地区COPD治療を考える会～COPDトータルマネジメント～	豊橋市	2018/3/7	
6	Opening Remarks		菅沼 伸一	COPD Expert Meeting in 東三河	豊橋市	2018/3/19	
7	座長	特別講演 COPDの病態と吸入療法の新たな展開	竹山 佳宏	COPD Expert Meeting in 東三河	豊橋市	2018/3/19	
8	座長	特別講演 突発性肺線維症の最新の治療戦略～抗線維化剤の適正な使用方法～	竹山 佳宏	TOYOHASHI IPF Academy 2018	豊橋市	2018/5/9	
9	座長	感染症-1	竹山 佳宏	第113回日本呼吸器学会東海地方学会	名古屋市	2018/5/26	
10	座長	特別講演 突発性肺線維症の診療における取り組み	菅沼 伸一	第2回 TOYOHASHI IPF Academy	豊橋市	2018/6/13	
11	座長	一般講演 当院でのHOT・NPPV導入の現状	菅沼 伸一	東三学術講演会	豊橋市	2018/6/30	
12	座長	特別講演 酸素療法マニュアル改訂	菅沼 伸一	東三学術講演会	豊橋市	2018/6/30	
13	座長	Lecture I 増加し続ける免疫チェックポイント阻害薬の投与にどのように向き合うか	竹山 佳宏	Lung Cancer Seminar in Toyohashi	豊橋市	2018/8/31	
14	座長	Lecture II 非小細胞肺癌における最近の免疫療法～抗PD-L1抗体の展望と課題～	菅沼 伸一	Lung Cancer Seminar in Toyohashi	豊橋市	2018/8/31	
15	座長	講演2 Ⅲ期非小細胞肺癌に対する化学放射線療法	竹山 佳宏	東三河肺癌治療を考える会	豊橋市	2018/9/13	
16	座長	Lecture I 【COPD】 実臨床に役立つCOPDの理解 Lecture II 【IPF】 特発性肺線維症の診断について	菅沼 伸一	第80回東三河呼吸器疾患研究会	豊橋市	2018/10/24	
17	座長	基調講演 今後のEGFR-TKIの治療戦略について	竹山 佳宏	第2回 Lung Cancer Top Level Meeting in TOYOHASHI- Novel therapeutic strategies targeting the ErbB family-	豊橋市	2018/10/31	

<消化器内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	座長	講演1 当院のC型肝炎の治療実績	内藤 岳人	豊橋C型肝炎フォーラム	豊橋市	2018/2/15	
2	座長	特別講演 C型肝炎の治療成績と今後の展開～インターフェロンフリー治療の最新データを踏まえて～	浦野 文博	豊橋C型肝炎フォーラム	豊橋市	2018/2/15	
3	司会	一般講演 豊橋市民病院における免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 診療フローチャートについて 胃癌と悪性黒色腫の重複癌においてNivolumabを使用した症例	坂巻 慶一	GC-Immuno-Oncology セミナー in 豊橋	豊橋市	2018/3/2	
4	座長	消化器6	内藤 岳人	第236回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/9/30	
5	座長	一般講演 当院におけるエルバスビル/グラゾプレビルの治療成績について	内藤 岳人	第15回豊橋肝臓フォーラム	豊橋市	2018/11/14	
6	座長	特別講演 肝細胞癌に対する治療の現状と今後の展望	浦野 文博	第15回豊橋肝臓フォーラム	豊橋市	2018/11/14	

<循環器内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	座長	気管支鏡下肺生検にて診断されたリンパ脈管筋腫症の一例	成瀬 賢伸	第40回東三医学会	豊橋市	2018/3/3	
2	座長	一般講演 当院における最近の心不全診療の現状	佐藤 文明	心不全治療を考える会	豊橋市	2018/5/24	
3	座長	一般講演 TAVIの現状と薬物療法 - 当院の経験を含めて -	成瀬 賢伸	SHD治療研究会 - 新しい治療ミートラルクリップ -	豊橋市	2018/6/19	
4	座長	ポスターセッション DES再狭窄に対してDCB治療後にPSSを認めた症例	成瀬 賢伸	THE 8th TOYOHASHI LIVE DEMONSTRATION COURSE	豊橋市	2018/6/22	
5	座長	特別講演 名古屋大学循環器内科の研究の紹介	成瀬 賢伸	H30年度名古屋大学友会東三河支部総会	豊橋市	2018/9/15	
6	座長	特別講演 心不全に合併する不整脈疾患の病態解明とβブロッカーの役割	成瀬 賢伸	第2回東三河地区循環管理セミナー	豊橋市	2018/11/20	
7	座長	一般講演 高齢心不全患者に対するリハビリテーション ～最近のトピックスと当院の現状～	成瀬 賢伸	第8回 心不全 利尿薬 勉強会	豊橋市	2018/11/27	

<腎臓内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	座長	特別講演 超高齢社会における腎代替療法を考える 腎移植の立ち位置は?	山川 大志	第4回研修医のための腎セミナー	豊橋市	2018/2/2	
2	座長	特別講演 SLEとGIOP	山川 大志	東三河膠原病セミナー2018	豊橋市	2018/2/7	
3	座長	特別講演 CKDの早期診断と治療戦略	山川 大志	東三学術講演会	豊橋市	2018/3/14	
4	座長	特別講演 血管炎の診療～鑑別から治療まで～	山川 大志	東三学術講演会	豊橋市	2018/7/4	

<糖尿病・内分泌内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	I131内用療法抵抗性の甲状腺がんについて 甲状腺がん治療における分子標的治療薬の位置づけについて	山守 育雄	LENVIMA 甲状腺がんクリニカルカンファレンスセミナー	豊橋市	2018/3/15	
2	座長	原発性副甲状腺機能亢進症の病態と内科的治療	山守 育雄	糖尿病・内分泌セミナー in MIKAWA	安城市	2018/7/19	
3	座長	特別講演 認知症やADL低下を考慮した高齢者糖尿病の療養指導と治療	山守 育雄	第32回東海糖尿病治療研究会 糖尿病患者教育担当者セミナー	名古屋市	2018/9/2	
4	座長	シンポジウム 高齢糖尿病患者を地域で支えるためには	金田 成康	第32回東海糖尿病治療研究会 糖尿病患者教育担当者セミナー	名古屋市	2018/9/2	
5	座長	エビデンスに基づいた糖尿病治療～SGLT2阻害剤の位置づけを含めて	山守 育雄	第92回日本糖尿病学会中部地方会	名古屋市	2018/9/22	
6	座長	自律神経障害としての糖尿病性「胃」症 糖尿病性末梢性神経障害の臨床像と治療	山守 育雄	東三学術講演会	豊橋市	2018/10/31	
7	座長	甲状腺がん新ガイドラインに向けた当院での放射性ヨウ素内用療法の取り組み 甲状腺がん治療における分子標的治療薬の使用経験と導入のタイミングについて	山守 育雄	LENVIMA 甲状腺がんクリニカルカンファレンスセミナー	豊橋市	2018/12/11	

<神経内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	神経2	岩井 克成	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
2	座長	A-1	岩井 克成	第150回日本神経学会東海北陸地方会	名古屋市	2018/3/3	
3	司会	成人てんかんの診療 神経救急から認知症関連まで	岩井 克成	東三河てんかん診療セミナー	豊橋市	2018/3/13	

<血液・腫瘍内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	移植成績②	倉橋 信悟	第40回日本造血細胞移植学会	札幌市	2018/2/3	
2	座長	多発性骨髄腫の治療戦略2018 -New drug brings present and future of paradigm shift-	杉浦 勇	三河 骨髄腫講演会	豊橋市	2018/2/9	
3	司会	一般講演	杉浦 勇	第37回三河血液疾患診療ネットワーク	安城市	2018/2/16	
4	座長	MPN診断と治療の最適化	杉浦 勇	Novartis Hematology Forum in 三河	名古屋市	2018/4/13	
5	司会	Treatment strategy for RRMM in the near future	杉浦 勇	第21回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/5/14	
6	座長	次世代シークエンサーを用いたBCR-ABL変異解析	杉浦 勇	血液疾患Update in 名古屋2018	名古屋市	2018/5/17	
7	座長	多発性骨髄腫治療における抗体療法の位置づけ	倉橋 信悟	第3回Tokai Hematological malignancy Club	名古屋市	2018/5/18	
8	座長	Management of Multiple Myeloma: The Changing Paradigm	杉浦 勇	東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/7/12	
9	座長	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する第三世代TKI治療	杉浦 勇	第80回日本血液学会学術集会 コーポレートMセミナー	大阪市	2018/10/13	
10	Opening remarks	Opening remarks	杉浦 勇	血液疾患Update in 名古屋	名古屋市	2018/10/19	

11	司会	Patient-centered practice in elderly myeloma patients: an overview and consensus from the European Myeloma Network (EMN)/ How I treat the young patient with multiple myeloma	杉浦 勇	第25回Nagoya Myeloma Working Group	名古屋市	2018/10/31	
12	座長	MPN診断のポイントについて	杉浦 勇	MPN Clinical Seminar in 豊橋	豊橋市	2018/11/9	
13	座長	MPN外来を通じてわかった治療戦略	倉橋 信悟	MPN Clinical Seminar in 豊橋	豊橋市	2018/11/9	

<一般外科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	乳腺・内分泌	吉原 基	第49回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/2/11	
2	座長	大腸(Ⅰ)	平松 和洋	第49回愛知臨床外科学会	名古屋市	2018/2/11	
3	司会	症例報告3	吉原 基	第15回日本乳癌学会中部地方会	津市	2018/9/9	
4	座長	上部消化管②	青葉 太郎	第296回東海外科学会・静岡県外科医会第239回集談会	浜松市	2018/10/14	

<呼吸器外科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	一般演題	成田久仁夫	第28回三河肺腫瘍研究会	安城市	2018/11/16	
2	座長	一般演題(ポスター)77 症例報告(肺(良性腫瘍))3	成田久仁夫	第59回日本肺癌学会学術集会	東京都	2018/11/30	

<肛門外科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	一般演題(ポスター)23 NST活動5	柴田 佳久	第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会	横浜市	2018/2/22	
2	座長	研修医セッション 小腸:悪性2	柴田 佳久	第80回日本臨床外科学会総会	東京都	2018/11/23	

<整形外科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	第34回東三河整形外科医会	山内 健一	第34回東三河整形外科医会	豊橋市	2018/4/7	
2	座長	第9回名古屋股関節セミナー講演会	山内 健一	第9回名古屋股関節セミナー講演会	名古屋市	2018/4/14	
3	座長	第23回東三河運動器リハビリテーション研究会	山内 健一	第23回東三河運動器リハビリテーション研究会	豊橋市	2018/9/1	
4	座長	重度下肢外傷	三矢 聡	第20回鶴門骨折治療研究会	名古屋市	2018/11/3	

<リウマチ科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	脊椎関節炎における最近の話題	平野 裕司	三河脊椎関節炎フォーラム2018	豊橋市	2018/1/20	
2	司会	RA治療の新しい可能性-骨破壊ゼロを目指す-	平野 裕司	第53回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2018/3/3	
3	座長	講演多数	平野 裕司	RA Nurse Seminar	豊橋市	2018/3/10	

4	座長	関節リウマチに対するJAK阻害剤の使用の実際と注意点	平野 裕司	JAK Meeting	名古屋市	2018/3/17	
5	座長	新たな時代に進む乾癬性関節炎治療IL17A阻害剤トルツに見る治療の進歩と今後の展望	平野 裕司	三河地区トルツ病診連携講演会	豊橋市	2018/3/29	
6	座長	講演多数	平野 裕司	生物学的製剤治療の最適化を考える-レミチェックQの有用性の検討も含めて-	名古屋市	2018/4/7	
7	総合司会	講演多数	平野 裕司	足のリウマチ診療を考える会	豊橋市	2018/4/14	
8	座長	乾癬性関節炎の病態と治療	平野 裕司	豊橋免疫セミナー2018	豊橋市	2018/5/17	
9	座長	バリシチニブの有効性・安全性と今後の展望	平野 裕司	東三河RA Meeting	豊橋市	2018/6/7	
10	座長	ディスカッション	平野 裕司	Biologics Users' Forum	名古屋市	2018/6/23	
11	座長	骨粗鬆症の病態の理解に基づく治療法の選択	平野 裕司	第9回三河骨粗鬆症研究会	豊橋市	2018/6/30	
12	座長	関節リウマチの骨粗鬆症:IORRAコホートより	平野 裕司	第71回東海膠原病研究会	名古屋市	2018/7/14	
13	座長	シンポジウム I 高齢者RA患者のマネジメント	平野 裕司	日本リウマチ学会中部支部学術集会第30回中部リウマチ集会	名古屋市	2018/8/31	
14	座長	関節リウマチにおけるコホート研究の重要性～IORRAコホートから分かったこと～	平野 裕司	関節リウマチフォーラム2018 in TOYOHASHI	豊橋市	2018/9/8	
15	座長	一般演題88 骨粗鬆症	平野 裕司	第131回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	倉敷市	2018/10/6	
16	座長	関節リウマチの最新治療戦略	平野 裕司	IL-6 RA Meeting in 三河	豊橋市	2018/10/12	
17	座長	骨で人生は変わる!～もう一度考える骨粗鬆症の診断と治療のキホン～	平野 裕司	第10回三河骨粗鬆症研究会	安城市	2018/10/13	
18	座長	一般講演 csDMARDについて	平野 裕司	第6回愛知DMARDs研究会	名古屋市	2018/10/20	
19	座長	RA治療のbetterを考える～多職種連携と新規治療薬baricitinib～	平野 裕司	第1回RA-BETTER研究会	豊橋市	2018/11/7	
20	座長	一般演題	平野 裕司	第5回三河関節エコー研究会	名古屋市	2018/11/10	
21	座長	JAK阻害剤による新たな治療戦略～自験例から見たバニシチニブへの期待～	平野 裕司	RA Meeting in Nagoya	名古屋市	2018/11/16	
22	座長	ヘテロな病態を考慮したRA治療	平野 裕司	第9回東三河アクテムラカンファレンス	豊橋市	2018/11/17	
23	座長	一般演題27 MTX	平野 裕司	第33回日本臨床リウマチ学会	東京都	2018/11/25	

<小児科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	特別講演	伊藤 剛	第192回 東三河小児科医会総会・学術講演会	豊橋市	2018/6/16	

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	総合司会	一般演題 特別講演	河井 通泰	東三河CINVセミナー	豊橋市	2018/2/2	
2	座長	一般講演 第11群	梅村 康太	第138回東海産婦人科学会	名古屋市	2018/3/11	

3	座長	一般講演	岡田真由美	第六回三河地区産婦人科フォーラム 愛知県産婦人科医会第1回学術研修会(三河地区)	豊橋市	2018/5/19	
4	座長	特別講演	河井 通泰	第六回三河地区産婦人科フォーラム 愛知県産婦人科医会第1回学術研修会(三河地区)	豊橋市	2018/5/19	
5	座長	一般演題 特別講演	岡田真由美	第21回愛知分娩監視研究会	名古屋市	2018/6/30	
6	座長	一般演題 第Ⅰ群	河井 通泰	第107回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/6/30	
7	座長	一般演題 第Ⅰ群	梅村 康太	第107回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/6/30	
8	座長	一般演題 第Ⅳ群	岡田真由美	第107回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/6/30	
9	座長	一般演題 第Ⅴ群	河合 要介	第107回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/6/30	
10	座長	一般演題(口演) 分娩-5	岡田真由美	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京都	2018/7/9	
11	座長	一般演題 骨盤臓器脱⑤	梅村 康太	第58回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	松江市	2018/8/4	
12	座長	講演1	河井 通泰	救急医療研修会	名古屋市	2018/9/15	
13	座長	一般演題	河井 通泰	第39回東海卵巣腫瘍研究会	名古屋市	2018/10/6	
14	座長	特別講演	河井 通泰	Chugai Gynecologic Cancer Seminar in MIKAWA	知立市	2018/11/7	
15	座長	特別講演	梅村 康太	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	

<産婦人科(生殖医療)>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	培養を伝える(シンポジウム)	安藤 寿夫	日本不妊カウンセリング学会第17回学術集会	東京都	2018/6/1	
2	座長	一般演題 第Ⅲ群	安藤 寿夫	第107回愛知産婦人科学会	名古屋市	2018/6/30	
3	座長	特別講演 子宮内膜症の病因に関する新しい知見	安藤 寿夫	愛知県産婦人科医会第6回学術研修会(三河ブロック)	豊橋市	2018/9/1	
4	座長	一般演題 凍結保存 2	安藤 寿夫	第63回日本生殖医学会学術集会	旭川市	2018/9/7	

<放射線科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	FDG-PET/CT検査における看護師の役割 当院における放射線医薬品・抗悪性腫瘍剤ゾーフィーゴ223Raの使用状況 当院における放射線治療計画装置Ray Stationの使用状況	石原 俊一	遠州・三河放射線治療講演会	豊橋市	2018/6/16	

講演（医局）

<呼吸器内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	Pseudo Progressionについての検討	米田 一樹	LC-Immuno-Oncologyセミナーin豊橋	豊橋市	2018/2/28	
2	当院におけるキイトルーダの臨床経験について	竹山 佳宏	Lung Cancer Symposium in Mikawa	安城市	2018/3/14	
3	当院でのHOT・NPPV導入の現状	飯島 淳司	東三学術講演会	豊橋市	2018/6/30	

<消化器内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	消化器がんに対する早期診断～膵臓早期診断豊橋プロジェクト～	松原 浩	東三学術講演会	豊橋市	2018/1/31	
2	炎症性腸疾患に対するインフリキシマブBS[NK]の使用経験	山田 雅弘	IBD Expert Meeting	名古屋市	2018/2/6	
3	当院のC型肝炎の治療実績	田中 仁	豊橋C型肝炎フォーラム	豊橋市	2018/2/15	
4	胃癌と悪性黒色腫の重複癌においてNivolumabを使用した症例	田中 仁	GC-Immuno-Oncologyセミナーin豊橋	豊橋市	2018/3/2	
5	当院におけるIBD治療-5-ASA 治療中心に～	池上 脩二	大腸を学ぶ集い in Toyohashi	豊橋市	2018/3/10	
6	Simple is best! 大腸がんの診断とLynch症候群	岡村 正造	大腸を学ぶ集い in Toyohashi	豊橋市	2018/3/10	
7	炎症性腸疾患に対するインフリキシマブBS[NK]の使用経験	山田 雅弘	愛知県病院薬剤師会三河支部学術講演会	豊橋市	2018/3/15	
8	炎症性腸疾患に対するバイオシミラーの使用経験	山田 雅弘	第21回日本医薬品情報学会総会・学術学会	鈴鹿市	2018/6/30	
9	軽症～中等症の潰瘍性大腸炎治療の実際～5ASAの使い方を中心に～	山田 雅弘	IBD ネットフォーラム	名古屋市	2018/8/23	
10	炎症性腸疾患における最近の話題と治療の実際	山田 雅弘	豊橋薬剤師会学術講演会	豊橋市	2018/10/18	
11	当院における肝炎治療の現状	樋口 道雄	豊橋内科医会研修会	豊橋市	2018/10/25	
12	当院におけるエルバスビル/グラゾプレビルの治療成績について	高田 善久	第15回豊橋肝臓フォーラム	豊橋市	2018/11/14	

<循環器内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	危機からの脱出術 Part1 合併症編 冠スパズムの対処法	成瀬 賢伸	THE 8th TOYOHASHI LIVE DEMONSTRATIO COURSE	豊橋市	2018/6/22	
2	慢性心不全の薬物治療	成瀬 賢伸	豊橋市薬剤師会 集合研修会	豊橋市	2018/9/20	

<腎臓内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	末期腎不全、肺浸潤影で入院された62歳男性について	渡邊 絢史	東三河膠原病セミナー2018	豊橋市	2018/2/7	
2	糖尿病性腎症における球形吸着炭・DPP-4阻害剤・SGLT2阻害剤の位置付け	山川 大志	東三河糖尿病性腎症懇話会	豊橋市	2018/3/16	
3	CKDの原因となる病気	山川 大志	第4回豊橋市CKD市民公開講座	豊橋市	2018/5/13	

<糖尿病・内分泌内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	病院職員こそ健康になろう!-生活習慣を見直す-	山守 育雄	健康講座	豊橋市	2018/1/30	
2	あなたの知らない糖尿病の話	山守 育雄	第10回フットケアフェスティバル	豊橋市	2018/2/12	
3	糖尿病治療 最近の話題	山守 育雄	糖尿病患者会講演会	豊橋市	2018/11/16	

<血液・腫瘍内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	Ph+ALLの治療戦略	杉浦 勇	Hematology Seminar in Akita	秋田市	2018/1/19	
2	Ph+ALLの今後の治療戦略	杉浦 勇	Ph+ALL Conference	横浜市	2018/11/14	

<一般外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	アプリケーション消毒と既存消毒法の前向き臨床試験	平松 和洋	第73回日本消化器外科学会総会ランチョンセミナーLS-15	鹿児島市	2018/7/11	

<肛門外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	Crohn's disease patients with the anal lesion as an initial symptom undergoing our hospital treatment	Yoshihisa Shibata	Symposium212 IBD and Liver:East Meets West	京都市	2018/9/8	

<移植外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	初心にもどって健康管理を考えよう、感染症に対する心構え!	長坂 隆治	第116回移植セミナー	豊橋市	2018/4/22	
2	臓器提供症例報告	長坂 隆治	第53回愛知県施設内移植情報担当者会議	名古屋市	2018/6/4	

<整形外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	半月板部分切除後の早期変形性膝関節症に対して高位脛骨骨切り術を行った1例	藤田 譲	第7回日本Knee Osteotomyフォーラム	札幌市	2018/7/28	

<リウマチ科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	関節リウマチの診断～関節エコーの役割を含めて～	平野 裕司	豊橋 RA関節エコーセミナー	豊橋市	2018/1/22	
2	関節エコーの撮像方法	皆元 裕子	豊橋 RA関節エコーセミナー	豊橋市	2018/1/22	
3	関節リウマチの骨粗鬆症に対する薬物治療	平野 裕司	第3回静岡県・骨Total Care Support研究会	浜松市	2018/1/23	
4	当科における関節リウマチの生物学的製剤の使い分けの実際	平野 裕司	東三河整形外科医会	豊橋市	2018/1/25	
5	当院における関節リウマチの生物学的製剤の使い分けの実際	平野 裕司	リウマチWEBセミナー	豊橋市	2018/2/7	
6	EULAR Topics(Adalimumabの演題含む)	平野 裕司	Adalimumabの将来を考える会	名古屋市	2018/2/15	
7	関節リウマチの診断～関節エコーの役割を含めて～	平野 裕司	三河・豊明RA Meeting	名古屋市	2018/2/17	
8	高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤治療	平野 裕司	リウマチエリアWEBセミナー 東海・北陸地区	豊橋市	2018/2/21	
9	関節リウマチに対するセルトリズマブベゴルの使用経験からの考察	平野 裕司	関節リウマチWEBシンポジウム	豊橋市	2018/3/14	

10	関節リウマチの最新薬物治療	服部 恭典	第59回豊橋市民病院リウマチ講演会	豊橋市	2018/3/16	
11	実臨床におけるアバタセプトの使いどころ	平野 裕司	ESCORT Seminar 2018	豊橋市	2018/4/5	
12	関節リウマチにおける疾患活動性と骨粗鬆症	平野 裕司	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸市	2018/5/25	
13	関節リウマチの薬物治療～csDMARDsとtsDMARDs～	平野 裕司	知立RA Meeting	知立市	2018/5/31	
14	アダリムマブの使い方2018	平野 裕司	ヒュミラ10周年記念講演会 in愛知	名古屋市	2018/6/2	
15	抗TNF製剤の臨床的パフォーマンス	平野 裕司	リウマチUP DATE IN 嶺南	敦賀市	2018/6/4	
16	抗TNF製剤の臨床的パフォーマンス	平野 裕司	リウマチWEBセミナー	豊橋市	2018/7/18	
17	関節リウマチの骨粗鬆症での2年間のテリバラチド連日投与製剤後のミノドロン酸+エルデカルシトールとデノスマブの比較～2年間治療成績(合計4例)～	平野 裕司	第15回ビスホスホネートUpdate	長崎市	2018/7/26	
18	実臨床における c s DMARD s 活用法あれこれ	平野 裕司	第4回三重リウマチ臨床セミナー	津市	2018/8/2	
19	RA診断における大関節破壊抑制の意義	平野 裕司	Summer seminar in Asahikawa	旭川市	2018/8/3	
20	関節リウマチの診断～鑑別診断も含めて～	平野 裕司	遠江Medical Staff Seminar	磐田市	2018/9/6	
21	アダリムマブにて加療した若年性特発性関節炎の治療経験	紀平 大介	関節リウマチフォーラム 2018 in TOYOHASHI	豊橋市	2018/9/8	
22	当科における乾癬性関節炎の実際	平野 裕司	New treatment strategy for Psoriatic arthritis	名古屋市	2018/9/14	
23	高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤治療	平野 裕司	第12回松阪市地区リウマチ勉強会	松阪市	2018/9/20	
24	臨床データから考える関節リウマチにおけるトシリズマブの有効利用マニュアル	平野 裕司	長岡アクテムラRA10周年記念講演会	長岡市	2018/9/21	
25	女性関節リウマチ患者の妊娠・出産と関節リウマチの薬物治療	平野 裕司	Tokai RA Dr.&Ns. Seminar	名古屋市	2018/9/22	
26	ゴリムマブのPerformanceとPrediction-2018 update-	平野 裕司	リウマチWEBセミナー	豊橋市	2018/10/11	
27	臨床データから考える関節リウマチにおけるトシリズマブの有効利用マニュアル	平野 裕司	第9回山口県IL-6研究会	山口市	2018/10/17	
28	csDMARDについて	紀平 大介	第6回愛知DMARDs研究会	名古屋市	2018/10/20	
29	ヒュミラから学んだ事-2018 Update-	平野 裕司	アダリムマブ発売10周年インターネットライブセミナー	浜松市	2018/11/1	
30	トシリズマブにて人工膝関節置換術施行を免れていると考えられるRA患者の治療経験	紀平 大介	第9回東三河アクテムラカンファレンス	豊橋市	2018/11/17	
31	女性関節リウマチ患者の妊娠・出産と関節リウマチの薬物治療	平野 裕司	関節リウマチWEBシンポジウム	豊橋市	2018/11/21	
32	当科における乾癬性関節炎の実際	平野 裕司	Nagoya Cross Conference	名古屋市	2018/11/29	
33	関節リウマチと骨粗鬆症	平野 裕司	整形外科医のためのトータルマネジメントフォーラム	名古屋市	2018/12/6	
34	種々の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療の有効性	平野 裕司	リクラスTWEB講演会	東京都	2018/12/13	

<小児科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	2017年の新生児統計「新生児医療センター入院症例の報告」	幸脇 正典	平成29年度周産期医療従事者研修会	豊橋市	2018/3/1	
2	自宅分娩で出生した新生児 蘇生と搬送の注意点	杉浦 崇浩	平成29年度周産期医療従事者研修会	豊橋市	2018/3/1	
3	Radial glial fibers promote neuronal migration and functional recovery after neonatal brain injury	Hideo Jinnou	NCU Global Young Investigator Forum 2018	名古屋市	2018/3/16	

4	放射状グリアは新生児脳障害後のニューロン移動と神経学的機能回復を促進する	神農 英雄	岐阜医学研究協議会	岐阜市	2018/5/19	
5	あなたの知らないNCPRの世界	杉浦 崇浩	第21回愛知分娩監視研究会	名古屋市	2018/6/30	
6	赤ちゃんのリハビリに役立つ基礎知識・豆知識	杉浦 崇浩	第2回 赤ちゃんリハビリ研究会	豊橋市	2018/8/25	
7	乳幼児期にかかりやすい病気についてとその対処法や注意点について	小山 典久	豊橋市保育協会研修会	豊橋市	2018/9/18	
8	病院時間外外来診療に対する #8000の影響	小山 典久	第4回小児救急研修会	東京都	2018/9/23	
9	新生児期に備わる脳障害後のニューロン移動・再生メカニズム	神農 英雄	第12回新生児科指導医教育セミナー	仙台市	2018/12/8	

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	da Vinci 手術の近未来～保険適用は何をもたらすのか～	梅村 康太	第24回北海道内視鏡外科学研究会	札幌市	2018/6/16	
2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術とセンチネルリンパ節同定の未来	梅村 康太	第24回北海道内視鏡外科学研究会	札幌市	2018/6/16	
3	子宮頸癌の予防・診断・治療	河合 要介	愛知県病院薬剤師会 東三河支部会	豊橋市	2018/6/29	
4	漢方習得の“コツ”	河合 要介	名古屋婦人科 Kampo Seminar	名古屋市	2018/10/20	
5	悪性腫瘍手術におけるデバイスの果たす役割	梅村 康太	第19回東海産婦人科内視鏡手術研究会	名古屋市	2018/10/27	
6	Pt感受性再発の治療戦略	河合 要介	Chugai Gynecologic Cancer Seminar in MIKAWA	知立市	2018/11/7	
7	ベネフィットリスクバランスを考慮した黄体ホルモン製剤の使用法	河合 要介	第11回東海地区プロゲスチン研究会	名古屋市	2018/11/17	

<産婦人科(生殖医療)>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	平明易解！新時代の子宮腺筋症の治療の主役はクリニック	安藤 寿夫	第六回三河地区産婦人科フォーラム 愛知県産婦人科医会第1回學術研修会(三河地区)	豊橋市	2018/5/19	

<放射線科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	放射線治療のお話 ～根治から緩和まで～	石原 俊一	成田記念病院 市民講座	豊橋市	2018/4/21	
2	Ⅲ期非小細胞肺癌に対する化学放射線療法	石原 俊一	東三河肺癌治療を考える会	豊橋市	2018/9/13	
3	当院における放射線治療	石原 俊一	第68回豊橋市民病院健康教室	豊橋市	2018/10/27	

<歯科口腔外科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	薬剤関連顎骨壊死へのアプローチ-ポジションペーパーをめぐる最近の考え方-	寺沢 史誉	田原市歯科医師会医療連携講演会	田原市	2018/11/10	

<予防医療センター>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	当院検診食道癌例の検討 - 豊橋市胃内視鏡個別検診開始に際し -	大橋 信治	平成30年度医療機関胃がん検診講習会	豊橋市	2018/2/17	

論文・著書（医局）

<消化器内科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	難治性憩室出血に対してOTSCを施行した1例	筆頭著者	西田 泰之	東三医会誌. 2018;25-27.	R
2	高齢者に発症した胃結核の1例	筆頭著者	加納 祐一	日消誌. 2018;115:985-995.	S
3	Daclatasvir and asunaprevir treatment in patients infected by genotype 1b of hepatitis C virus with no or subtle resistant associated substitutions (RAS) in NS5A-Y93.	共同著者	Fumihito Urano	J Med Virol. 2018;90:736-744.	
4	Natural history of pancreatic cystic lesions: A multicenter prospective observational study for evaluating the risk of pancreatic cancer.	共同著者	Hiroshi Matsubara	J Gastroenterol Hepatol. 2018;33:320-328.	

<循環器内科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	心窩部痛が皮疹に先行し腹腔動脈病変を認めた汎発性帯状疱疹の一例	筆頭著者	瀬名波 徹	心臓. 2018; 50: 732-739.	S

<糖尿病・内分泌内科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	痛みを伴う甲状腺炎はどのように診断し治療しますか?	共同著者	山守 育雄	こんな時どうすれば!?内分泌・脂質・尿酸コンサルタント. 2018, p.169-p.173.	

<血液・腫瘍内科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	High-dose methotrexate therapy significantly improved survival of adult acute lymphoblastic leukemia: a phase III study by JALSG.	共同著者	Isamu Sugiura	Leukemia. 2018; 32: 626-632.	
2	Plerixafor for mobilization and collection of haematopoietic stem cells for autologous transplantation in Japanese patients with non-Hodgkin lymphoma: a randomized phase 2 study.	共同著者	Isamu Sugiura	Int. J. Hematol.. 2018; 108: 524-534.	
3	Final analysis of the JALSG Ph+ALL202 study: tyrosine kinase inhibitor-combined chemotherapy for Ph+ALL.	共同著者	Isamu Sugiura	Ann. Hematol.. 2018; 97: 1535-1545.	
4	Outcomes of strategic alternative donor selection or suspending donor search based on Japan Marrow Donor Program coordination status.	共同著者	Singo Kurahashi	Int. J. Hematol.. 2018; 107: 551-558.	
5	Efficacy and Long-Term Outcomes of Autologous Stem Cell Transplantation in POEMS Syndrome: A Nationwide Survey in Japan.	共同著者	Singo Kurahashi	Biol Blood Marrow Transplant. 2018; 24: 1180-1186.	
6	Iodine staining and p16 immunohistochemistry as a novel screening for secondary esophageal neoplasm after hematopoietic stem cell transplantation.	共同著者	Daisuke Koyama	Bone Marrow Transplant. 2018; 53: 1359-1363.	

<一般外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	ComparNLMn between dexmedetomidine and midazolam as a sedation agent with local anesthesia in inguinal hernia repair: randomized controlled trial.	筆頭著者	Takuya Mishina	Hernia. 2018; 22: 471-478.	
2	A case of gastric glomus tumor resection using laparoscopy endoscopy cooperative surgery (LECS)	筆頭著者	Taro Aoba	Int J Surg Case Rep. 2018; 42: 204-207.	

3	放射線性腸狭窄バイパス術の既往のある患者のpress through package誤飲による小腸穿孔に対して経皮的ドレナージ術および経皮経膈孔的に治療した1例	筆頭著者	小林龍太郎	日消外会誌. 2018; 51: 65-71.	S
4	腹部切開による外傷性下大静脈損傷の1例	筆頭著者	柴田 淳平	日臨外会誌. 2018; 79: 51-55.	S
5	直腸T1a (SM)癌の内視鏡的粘膜切除術後に局所再発と多発肝転移をきたした1例	筆頭著者	三竹 泰弘	外科. 2018; 80: 82-86.	
6	S状結腸癌肝転移に対するパニツムマブ投与中に発症した腸管囊腫様気腫症の1例	筆頭著者	伊藤 量吾	日臨外会誌. 2018; 79: 1055-1060.	S
7	腹腔鏡補助下胃全摘術後に食道裂孔ヘルニアを発症した1例	筆頭著者	出井 秀幸	外科. 2018; 80: 1052-1056.	
8	術前診断し腹腔鏡下に修復できた大網裂孔ヘルニアの1例	筆頭著者	荒川 拓也	外科. 2018; 80: 1179-1182.	S
9	二層性の形態を示した濾胞樹状細胞腫を伴った腹腔内Castleman病の1例	筆頭著者	伊藤 喜介	日臨外会誌. 2018; 79: 1890-1895.	
10	特発性小腸穿孔による汎発性腹膜炎後に発生した鼠径ヘルニア囊腫瘍の1例	筆頭著者	出井 秀幸	日臨外会誌. 2018; 79: 2078-2081.	
11	原発巣の局所進展が腸管壊死の一因となり得た閉塞性S状結腸癌の1例	筆頭著者	前田 周良	日腹部救急医学会誌. 2018; 38: 1043-1046.	
12	卵管留腫嚢を認めたS状結腸憩室炎の1例	筆頭著者	野中有紀子	日本大腸肛門病学会誌. 2018; 71: 202-205.	S
13	急性期に動脈瘤破裂を続発したsegmental arterial mediolysisが疑われた1例	筆頭著者	梅村 将成	外科. 2018; 80: 787-790.	
14	卵巣腫瘍の術前診断で手術を施行した16×10cm大の虫垂粘液囊胞腺癌の1例	筆頭著者	清板 和昭	外科. 2018; 80: 748-751.	
15	腹腔鏡下低位前方切除術を施行した直腸神経鞘腫の1例	筆頭著者	前田 周良	消外. 2018; 41: 977-982.	

<心臓外科・血管外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	Direct oral anticoagulant therapy as an alternative to surgery for the treatment of a patient with a floating thrombus in the ascending aorta and pulmonary embolism	筆頭著者	Masashi Toyama	J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2018; 4: 170-172.	
2	筋弛緩薬が原因物質と考えられたアナフィラキシーの既往のある患者に対する冠状動脈バイパス術の1例	筆頭著者	外山 正志	胸部外科. 2018; 71: 115-119.	

<移植外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	昨今、増えつつある無症候性原発性副甲状腺機能亢進症 でもその多くは無症候性ではなかった	筆頭著者	長坂 隆治	東三医会誌. 2018; 46-49.	

<整形外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	抗生剤含有セメントネイル、Masquelet法、Ilizarov法で治療した脛骨骨幹部骨折に対する髄内釘後の化膿性骨髓炎	筆頭著者	三矢 聡	中部整災誌. 2018; 61: 101-102.	
2	Trochanteric flip approachから骨頭のscrew固定と後壁のspring locking plate固定を行った股関節脱臼骨折	筆頭著者	三矢 聡	中部整災誌. 2018; 61: 139-140.	
3	肘頭骨折に対するバックアウトを防止できるlocking tension band wiringと従来のtension band wiringの比較	筆頭著者	三矢 未来	中部整災誌. 2018; 61: 467-468.	
4	骨盤輪骨折・寛骨臼骨折に対するケーブルを使用した骨接合術の種類と方法	筆頭著者	三矢 聡	骨折. 2018; 40: 1140-1148.	
5	腓骨動脈穿通枝皮弁 (PNAP flap) の穿通枝プロペラ皮弁 (PPP flap) で再建を行った動脈損傷と軟部組織欠損を伴う下腿開放骨折の1例	筆頭著者	三矢 聡	東海整外傷研誌. 2018; 31: 43-47.	

<リウマチ科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	PRIOR KNEE OSTEOPOROSIS ASSOCIATING THE 10-YEAR CLINICAL OUTCOME OF TOTAL KNEE ARTHROPLASTY FOR RHEUMATOID ARTHRITIS: A RETROSPECTIVE STUDY	筆頭著者	Yukiyoshi Oishi	J Musculoskelet Res. 2017; 20: 1750007.	
2	関節リウマチ診療における種々の寛解基準について	筆頭著者	平野 裕司	リウマチ科. 2018; 59: 622-629.	
3	関節リウマチの骨粗鬆症におけるテリパラチド連日投与製剤治療後のミノドロン酸水和物+エルデカルシトールとデノスマブの比較-24ヵ月治療成績-	筆頭著者	平野 裕司	Ther Res. 2018; 39: 539-547.	
4	関節リウマチの患者背景より考えるcsDMARDsの使いどころ	筆頭著者	平野 裕司	大阪臨床整形外科医会会報. 2018; : 53-56.	
5	人工股関節置換術を施行した乾癬性関節炎の1例	筆頭著者	山田 梨紗	臨リウマチ. 2018; 30: 262-268.	S
6	乾癬性関節炎患者へのウステキスマブの使用経験	筆頭著者	紀平 大介	中部リウマチ. 2018; 48: 12-14.	
7	関節リウマチにおけるトシリズマブによる貧血改善効果と人工膝関節置換術施行時の貯血式自己血輸血の効果	筆頭著者	平野 裕司	自己輸血. 2018; 31: 7-14.	

<小児科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	Neurodevelopmental outcomes at 3 years old for infants with birth weights under 500g.	筆頭著者	Syunsuke Nagara	Pediatr Neonatol. 2018; 59: 274-280.	
2	Biallelic mutations in SZT2 cause a discernible clinical entity with epilepsy, developmental delay, macrocephaly and a dysmorphic corpus callosum	共同著者	Yasuko Togawa	Brain Dev.. 2018; 40: 134-139.	
3	Radial Glial Fibers Promote Neuronal Migration and Functional Recovery after Neonatal Brain Injury	筆頭著者	Hideo Jinnou	Cell Stem Cell. 2018; 22: 128-137.	
4	擦式アルコール性手指消毒剤による手袋の上からの手指消毒効果に関する検討	共同著者	戸川 泰子	日新生児成育医会誌. 2018; 30: 99-103.	
5	Adult neurogenesis and its role in brain injury and psychiatric diseases	共同著者	Hideo Jinnou	J Neurochem. 2018; 147: 584-594.	
6	日本小児救急医学会調査研究委員会委員会報告(第1報) 小児救急重篤疾患登録調査の内容と全体集計結果 全国規模のデータベース構築の試み	共同著者	小山 典久	日小児救急医会誌. 2018; 17: 565-567.	
7	日本小児救急医学会調査研究委員会委員会報告(第2報) 新たに人工換気療法を実施した症例のまとめ 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease:JRSC)の集計結果より	共同著者	小山 典久	日小児救急医会誌. 2018; 17: 568-569.	
8	日本小児救急医学会調査研究委員会委員会報告(第3報) 化膿性髄膜炎症例のまとめ 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease:JRSC)の集計結果より	共同著者	小山 典久	日小児救急医会誌. 2018; 17: 570-571.	
9	日本小児救急医学会調査研究委員会委員会報告(第4報) 新たに虐待が疑われた入院症例のまとめ 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease:JRSC)の集計結果より	筆頭著者	小山 典久	日小児救急医会誌. 2018; 17: 572-573.	
10	日本小児救急医学会調査研究委員会委員会報告(第5報) 死亡症例のまとめ 小児救急重篤疾患登録調査(Japan Registry System for Children with critical disease:JRSC)の集計結果より	共同著者	小山 典久	日小児救急医会誌. 2018; 17: 574-575.	
11	【病態・疾患別でまなぶ新生児の薬剤 臨床のギモンに答えるQ&A付き】(5章)その他、NICUで使用するくすり 血液	筆頭著者	小山 典久	Neonatal Care. 2018, p.224-p.232.	
12	Biallelic COLGALT1 variants are associated with cerebral small vessel disease.	共同著者	Koyama Norihisa	Ann Neurol . 2018; 84: 843-853.	
13	極低出生体重児における出生直後からの血中カルニチン濃度の推移	共同著者	戸川 泰子	JSBMS Letters. 2018; 43: 79	
14	Benefits of umbilical cord milking versus delayed cord clamping on neonatal outcomes in preterm infants:A systematic review and meta-analysis.	共同著者	Takahiro Sugiura	PLoS One. 2018; 13: e0201528	

15	出生直後の正期産児における直腸温と左腋窩温の比較検討	共同著者	杉浦 崇浩	日周産期・新生児会誌 . 2018; 54: 822-825.	
16	皮疹を契機に発見されたNICU退院後の重症複合免疫不全症の一例	共同著者	杉浦 崇浩	静岡済生会総合病医誌. 2018; 28: 2-9.	
17	【産科での新生児医療機器ガイド】蘇生に使用する機器 蘇生バッグ(自己膨張式・流量膨張式)	筆頭著者	杉浦 崇浩	周産期医. 2018; 48: 641-645.	
18	【新生児の検査値アセスメント 苦手な血ガスもしっかりマスター!】注意が必要な検査 酸素飽和度	筆頭著者	杉浦 崇浩	ペリネイタルケア. 2018; 37: 420-424.	
19	振り返ってみよう!!新生児蘇生法	筆頭著者	杉浦 崇浩	静母衛誌. 2018; 7: 45-47.	
20	第11章 血液・免疫・感染 5 新生児への輸血	共同著者	小山 典久	新生児学テキスト. 2018, p.534-p.540.	
21	第4章 新生児仮死と蘇生 5 蘇生後の管理・搬送	共同著者	杉浦 崇浩	新生児学テキスト. 2018, p.122-p.125.	
22	Acquired Platythorax, or Anteroposterior Flattening of the Chest Wall, as a Late Complication of Cyclophosphamide Treatment for Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia, Presenting in a Young Man with Respiratory Failure.	筆頭著者	Tsuyoshi Ito	Am J Case Rep. 2018; 19: 1317-1323.	

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	Prediction of neutrophil reduction using plasma paclitaxel concentration after administration in patients with uterine, ovarian, or cervical cancers in an outpatient clinic.	共同著者	Michiyasu Kawai	Cancer Chemother Pharmacol. 2018; 81: 399-411.	
2	The possible existence of occult metastasis in patients with ovarian clear-cell carcinoma who underwent complete resection without any residual tumours.	共同著者	Michiyasu Kawai	Oncotarget. 2018; 9: 6298-6307.	
3	Fertility-sparing surgery of malignant transformation arising from mature cystic teratoma of the ovary.	共同著者	Michiyasu Kawai	Oncotarget. 2018; 9: 27564-27573.	
4	子宮頸癌傍大動脈リンパ節転移に対する放射線療法の有効性と予後因子解析	筆頭著者	河合 要介	日婦腫瘍会誌. 2018; 36: 673-681.	
5	低悪性度子宮内膜間質肉腫9症例の臨床的検討	筆頭著者	北見 和久	東海産婦会誌. 2018; 54: 111-118.	
6	当院で経験した病期や治療経過の異なる子宮腺肉腫3例	筆頭著者	國島 温志	東海産婦会誌. 2018; 54: 119-126.	
7	当院における口唇口蓋裂の出生前診断の現状と先天性合併症および染色体異常についての検討	筆頭著者	河合 要介	日周産期・新生児会誌 . 2018; 54: 76-81.	
8	非交通性副角子宮より発生した虫垂子宮内膜症に対し腹腔鏡による診断および治療が有用であった一例	筆頭著者	藤田 啓	東海産婦内視鏡手術研究会誌. 2018; 6: 84-88.	
9	腹腔鏡下子宮全摘出術中の尿管欠損により判明した右腎無形性を伴う双角子宮の1例	筆頭著者	嶋谷 拓真	東海産婦内視鏡手術研究会誌. 2018; 6: 89-94.	S
10	来たれ! 私たちの産婦人科 第15回 豊橋市民病院 産婦人科	筆頭著者	岡田真由美	産と婦. 2018; 85: 351-354.	

<産婦人科(生殖医療)>

>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	生殖補助医療(ART)	筆頭著者	安藤 寿夫	今日の治療指針2018年版. 2018, p.1288-p.1290.	
2	Gn製剤の特徴	筆頭著者	安藤 寿夫	図説よくわかる臨床不妊症学—生殖補助医療編 第3版. 2018.	
3	IVFコーディネーター	筆頭著者	安藤 寿夫	新 不妊ケアABC. 2018.	
4	Time To Live Birth短縮のためにContinuous Embryo Monitoring技術をどう用いるか	筆頭著者	安藤 寿夫	Merck Serono エンブリオロジーミーティング記録集. 2018.	
5	子宮内膜症治療と病診連携 妊孕性温存手術予定患者に対して当院で実践する病診連携とファミリープランニング	筆頭著者	安藤 寿夫	日エンドメトリオーシス会誌. 2018;63-67.	

<泌尿器科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	アクセスシース挿入を契機に発症した後腹膜血腫の1例: f TUL (flexible transurethral lithotripsy) の稀な合併症	筆頭著者	小嶋 一平	日泌会誌. 2018; 109: 50-53.	
2	Efficacy of docetaxel in castration-resistant prostate cancer patients with intraductal carcinoma of the prostate.	筆頭著者	Akiyuki Yamamoto	Int J Clin Oncol. 2018; 23: 584- 590.	
3	ミニマム創内視鏡下前立腺全摘術を次世代に伝える ために	筆頭著者	長井 辰哉	日ミニマム創泌内視鏡外会誌. 2018; 10: 107-113.	
4	経膈アプローチによるミニマム創内視鏡下手術-腎部 分切除と尿管全摘	筆頭著者	長井 辰哉	ガスレス・シングルポート泌尿器 手術: 基盤・上級編. 2018, p.77-p.81.	
5	前立腺全摘除-出血を少量にするコツ	筆頭著者	長井 辰哉	ガスレス・シングルポート泌尿器手 術: 基盤・上級編. 2018, p.101-p.109.	

<放射線科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	放射線治療のための生物学	共同著者	石原 俊一	やさしくわかる放射線治療学. 2018, p.177-p.201.	

<歯科口腔外科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者 区分
1	セツキシマブ併用放射線治療により完全奏効を維持 している舌癌治療後の外側咽頭後リンパ節転移症例	筆頭著者	白水 敬昌	日口腔腫瘍会誌. 2018; 30: 7-13.	

学会・研究会発表（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	骨SPECT/CTにおける共役勾配法を用いた新しい画像再構成の特性評価	共同演者	市川 肇	第74回日本放射線技術学会総会学術大会	横浜市	2018/4/12
2	核医学検査における追加撮像の実態調査	筆頭演者	市川 肇	第46回日本放射線技術学会秋季学術大会	仙台市	2018/10/4
3	院内情報システムに搭載した禁則処理システムの紹介と考察	筆頭演者	澤根 康裕	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/19
4	学会報告：核医学検査における追加撮像の実態調査	筆頭演者	市川 肇	第102回東三河RI技術検討会	豊橋市	2018/11/2
5	骨SPECT撮像の標準化に関するガイドラインにおけるNEMA IEC Bodyファントムの球体位置による物理評価	共同演者	市川 肇	第38回日本核医学技術学会総会学術大会	宜野湾市	2018/11/15
6	腹部ポータブル撮影における散乱線補正処理の有用性の検討	筆頭演者	山田 友紀	第11回中部放射線医療技術学術大会	富山市	2018/11/18
7	各施設の腹部領域のCT検査について	筆頭演者	盛田 健人	第28回東三河CT研究会	豊橋市	2018/11/28
8	OSCGM法を用いた骨SPECT画像の物理特性	筆頭演者	市川 肇	第95回東海核医学セミナー	名古屋市	2018/12/15
9	造影超音波検査による肝腫瘍の質的診断	筆頭演者	井上恵理子	第68回豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2019/1/17
10	骨シンチにおける定量画像の物理特性	筆頭演者	市川 肇	第53回三河・遠州核医学研究会	浜松市	2019/1/19
11	骨間診票WGからの報告	筆頭演者	加藤 豊大	第103回東三河RI技術検討会	豊橋市	2019/3/16
12	動く腫瘍を照射する技術 ～肺癌の定位放射線治療の経験～	筆頭演者	加藤 貴昭	東三河診療放射線技師会総会	豊橋市	2019/3/23
13	小児腹部撮影における至適撮影条件の検討	筆頭演者	平岩 誠也	東三河一般撮影研究会	豊橋市	2019/3/23

<中央臨床検査室>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	リウマチ性多発筋痛症の関節エコー ～肩関節と手関節のバルスドブラの陽性率について～	筆頭演者	皆元 裕子	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京都	2018/4/26
2	血液搬送装置(ATR705-RCO5)導入時の検討	筆頭演者	大澤紀久子	第36回愛臨技東三河輸血研究会	豊橋市	2018/7/8
3	検査室内の連携により迅速に報告できたクリプトコッカス性髄膜炎の一例	筆頭演者	武井 佑未	第36回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2018/7/8
4	当院におけるホルムアルデヒドの作業環境対策と改善について	筆頭演者	福井 将人	第36回東三河地区研究会	豊橋市	2018/7/8
5	当院における血液培養からのESBL産生菌検出数の推移	筆頭演者	山本 優	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
6	FeNO測定導入後の成績について	筆頭演者	牧原 汐里	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
7	院内連携によるチーム医療 ～臨床検査技師の立場から～	筆頭演者	皆元 裕子	第1回RA-BETTER研究会	豊橋市	2018/11/7
8	関節リウマチにおける関節エコーの撮像方向の比較検討	筆頭演者	皆元 裕子	第5回三河関節エコー研究会	名古屋市	2018/11/10
9	最新のガイドラインを見直そう ～心腔計測におけるガイドライン2015(右心系)～	筆頭演者	手嶋 充善	愛臨技生理検査研究会	名古屋市	2018/12/15
10	愛臨技精度管理調査報告 総括	筆頭演者	手嶋 充善	愛臨技生理検査研究会	名古屋市	2019/1/19
11	愛臨技精度管理調査報告 ～生理部門～	筆頭演者	手嶋 充善	愛臨技精度管理報告会	名古屋市	2019/3/10

＜リハビリテーション技術室＞

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	末梢性顔面神経麻痺後の後遺症に対するボツリヌス毒素療法の実験	筆頭演者	森嶋 直人	第182回豊橋リハビリテーション連絡会	豊橋市	2018/5/9
2	脳梗塞後遺症に対するボツリヌス治療の効果・リハビリテーションの実験	筆頭演者	二橋喜太郎	第182回豊橋リハビリテーション連絡会	豊橋市	2018/5/9
3	末梢性顔面神経麻痺に対するリハビリテーションの効果 -発症12ヶ月後の実施頻度と正確性に関わる因子の検討-	筆頭演者	真田 将太	第41回日本顔面神経学会	山形市	2018/6/8
4	リハビリテーション分野から考える末梢性顔面神経麻痺の治療判定基準について -Sunnybrook法での検討-	筆頭演者	森嶋 直人	第41回日本顔面神経学会	山形市	2018/6/8
5	急性骨髄性白血病に対して造血幹細胞移植を2回施行した症例の運動療法効果	筆頭演者	森坂 文子	第55回日本リハビリテーション医学会学会術集会	福岡市	2018/7/1
6	当院における人工股関節全置換術後の作業療法介入の現状について	筆頭演者	松本 真奈	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
7	当院における摂食・嚥下訓練中の窒息症例について	筆頭演者	山本 実	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
8	急性期病院入院中の消化器疾患患者に対する「障害高齢者の日常生活自立度 判定基準」を用いた入院前の日常生活自立度の有用性	筆頭演者	大森 裕介	第58回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
9	当院外科・内科混合病棟におけるADL維持向上等体制加算の現状と問題点について	筆頭演者	上村 晃寛	第34回東海北陸理学療法学会大会	津市	2018/10/27
10	発症後1年が経過し介助下で杖歩行が可能となったギランバレー症候群の一症例	筆頭演者	服部絵利香	第34回東海北陸理学療法学会大会	津市	2018/10/28
11	Real time tissue elastography法を用いた表情筋硬度測定の試み -関心領域の違いによる検討-	筆頭演者	森嶋 直人	第48回日本臨床神経生理学会大会	東京都	2018/11/8
12	脳卒中急性期患者におけるADL調査とADL拡大フローチャート介入	筆頭演者	内藤 善規	第16回日本神経理学療法学会学会術大会	大阪市	2018/11/10
13	認知発達遅滞児に対するOT介入時期の検討	筆頭演者	神藤 佳輔	第18回東海北陸作業療法学会	福井市	2019/11/18
14	口蓋裂児の受動的発話の誤りと能動的発話の誤りの出現の違いに関する研究	筆頭演者	大久保瑞姫	第30回日本小児口腔外科学会	川越市	2018/11/24
15	運動障害性構音障害における発話速度調節による発話明瞭度改善について	筆頭演者	深川 主将	2018東三河リハビリテーション症例報告会	豊川市	2019/1/26
16	高位頸髄損傷患者の急性期呼吸器合併症に対しネーザルハイフローと排痰補助装置を導入した一症例	筆頭演者	馬渡 敬介	第1回三遠地区集中治療リハビリテーション研究会	豊橋市	2019/2/9
17	急性期脳卒中患者の退院時日常生活自立度が自宅退院に与える影響について	筆頭演者	内藤 善規	第28回愛知県理学療法学会大会	名古屋市	2019/3/17
18	当院における急性心筋梗塞患者を対象とした外来心臓リハビリテーションの現状と課題	筆頭演者	山元神太郎	第28回愛知県理学療法学会大会	名古屋市	2019/3/17
19	当院呼吸器内科入院患者の疾患別特徴についての調査	筆頭演者	足立奈緒子	第28回愛知県理学療法学会大会	名古屋市	2019/3/17
20	骨移植を併用した人工股関節全置換術後に免荷期間を要した症例の下肢筋力について	筆頭演者	阿形 優	第28回愛知県理学療法学会大会	名古屋市	2019/3/17
21	当院における続発性リンパ浮腫治療の現状について	筆頭演者	森 弘幸	第28回愛知県理学療法学会大会	名古屋市	2019/3/17
22	人工膝関節全置換術後患者に対するNG-ROMマシンの影響	筆頭演者	鈴木 一輝	第28回愛知県理学療法学会大会	名古屋市	2019/3/17
23	電気刺激療法と振動刺激療法を併用した運動介入が随意運動の促進に有効であった分枝粥腫型脳梗塞の一症例	筆頭演者	神谷 昌孝	第44回日本脳卒中学会学会術集会	横浜市	2019/3/22
24	当院における高齢心不全患者の在院日数に影響を及ぼす因子の検討	筆頭演者	沢入 豊和	第83回日本循環器学会学会術集会	横浜市	2019/3/29
25	地域連携施設におけるリハビリ関連職種への心不全に対する認識度調査 -病院施設や経験年数、リハビリ職種別に見る認識度の検討-	筆頭演者	沢入 豊和	第83回日本循環器学会学会術集会	横浜市	2019/3/30

<臨床工学会>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院血液浄化センターにおける5年間の患者動向	筆頭演者	萩本 紀行	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/19

<栄養管理室>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院の脳卒中再発予防プログラムにおける管理栄養士の関わり及び栄養指導の取組みについて	筆頭演者	安井 恭子	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18 ～19

<薬局>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	プライマリ・ケア認定取得者の病院薬剤師としての活動状況調査	共同演者	中神 博充	第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	津市	2018/6/16
2	症例サマリのまとめ方(4) 多発性骨髄腫	筆頭演者	村上 仁志	第28回日本医療薬学会年会	神戸市	2018/11/24
3	当院の睡眠薬と転倒率の関係	筆頭演者	足立 翼	愛知県病院薬剤師会 東三河支部会員勉強発表会	豊橋市	2019/2/7

<看護局>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	機能評価受審から生まれたもの ～看護の強みを生かすために～	筆頭演者	間瀬 有奈	第68回日本病院学会	金沢市	2018/6/29
2	CTG波形レベルからみるApgar scoreと臍帯血ガスの比較検討(4事例を振り返って)	筆頭演者	小松 美樹	第21回愛知分娩監視研究会	名古屋市	2018/6/30
3	気管切開術へ移行しなかった脊髄損傷患者の呼吸管理を通して – チーム医療医療において看護師に求められる能力 –	筆頭演者	古村 康樹	第14回日本クリティカルケア看護学会学術集会	東京都	2018/6/30
4	人工呼吸器が装着されていた患者のICU入室中の体験	筆頭演者	三浦 敦子	第14回日本クリティカルケア看護学会学術集会	東京都	2018/7/1
5	インスリン自己注射導入時の関わり ～インスリン自己注射導入時の患者の心理を調査して～	筆頭演者	河合 幸枝	第32回東海糖尿病治療研究会 糖尿病患者教育担当者セミナー	名古屋市	2018/9/2
6	術後患者の周術期及びカテーテル関連合併症・ADL低下予防を目的とした、早期離床と膀胱留置カテーテル早期抜去、尿器設置率減少に向けた取り組みの効果	筆頭演者	鈴木 宏昌	第49回日本看護学会-急性期看護-	別府市	2018/9/7
7	術後患者の離床頻度増加を目的とした活動が、看護師の離床に関する意識と膀胱留置カテーテル留置期間、尿器設置率に及ぼした効果	筆頭演者	柿本 麻衣	平成30年固定チームナーシング研究会全国集会	神戸市	2018/9/15
8	新生児医療センターにおける新人看護師にペア受け持ち経験録を用いた分散教育の導入	筆頭演者	菊地 直幸	平成30年固定チームナーシング研究会全国集会	神戸市	2018/9/15
9	急性期病棟における新人育成のペア受け持ち経験録を用いた分散教育の導入	筆頭演者	市川 礼子	平成30年固定チームナーシング研究会全国集会	神戸市	2018/9/15
10	看護を語るチームリーダー育成を目指して ～患者さんから教えられた固定チームナーシングを伝える～	筆頭演者	中村由美子	平成30年固定チームナーシング研究会全国集会	神戸市	2018/9/15
11	排尿ケアチーム介入による整形外科術後の尿道カテーテル留置短縮化	筆頭演者	林 きよみ	第49回日本看護学会-慢性期看護-	静岡市	2018/9/27
12	意識障害がある患者の家族に変化をもたらした支援の検討	筆頭演者	田中多久美	第49回日本看護学会-慢性期看護-	静岡市	2018/9/27

13	多重包装滅菌バッグの滅菌剤浸透性調査	筆頭演者	高橋 一嘉	第78回中部地区中材業務研究会	名古屋市	2018/10/13
14	血液浄化センターでの看護師と臨床工学士の協働のための看護ケア技術研修の効果	筆頭演者	青木 真理	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
15	外来診察の待ち時間を利用したアンケート調査 ～糖尿病連携手帳の使用状況について～	筆頭演者	村田 理恵	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
16	急性期病院における認知症サポートチーム活動の実績と課題	筆頭演者	真木和香子	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
17	結核病棟に於ける患者教育手順の統一 ～患者が安心して治療継続出来るために～	筆頭演者	井口 智恵	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/19
18	Serratia marcescens による経腸栄養ボトル汚染の検証	筆頭演者	福井 通仁	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
19	段階的摂食訓練に食事内容の検討 ～形のある食事を提供するための取り組み～	筆頭演者	黒木 聡子	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/19
20	多職種で挑む脳卒中退院時指導プロジェクト	筆頭演者	平井 あゆ	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/19
21	インシデント再発防止の試み ～「ドキットとニュース速報」で情報共有～	筆頭演者	渡部 弘子	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
22	他施設の維持透析患者に対し実施した入院前面談の結果と課題	筆頭演者	青木 真理	第21回日本腎不全看護学会学術集会・総会	長野市	2018/11/11
23	Awareness and actions of postoperative ICU inpatients receiving mechanical ventilation on ascertaining their own condition	筆頭演者	三浦 敦子	The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars conference	シンガポール	2019/1/17
24	亜急性期に行った多数患者の転院搬送支援 ～災害医療コーディネートサポートチーム活動報告～	筆頭演者	倉島 正成	第24回日本災害医学会総会学術集会	米子市	2019/3/18
25	管理職看護師への災害マネジメント研修の一考察	筆頭演者	杉浦 淳平	第24回日本災害医学会総会学術集会	米子市	2019/3/20

<事務局>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	標準規格を利用した地域医療連携ネットワークシステムの構築	筆頭演者	原瀬 正敏	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
2	当院の医療と介護の連携に関する取組と考察	筆頭演者	今泉 有平	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/18
3	コスト削減(診療材料・医療器械購入)を行うために	筆頭演者	杉浦 章五	第57回全国自治体病院学会	郡山市	2018/10/19

座長・司会（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	口述研究発表 Nuclear Medicine(PET) Image Processing, Image Analysis 3, Measurement Technique	市川 肇	第74回日本放射線技術学会総会学術大会	横浜市	2018/4/13
2	座長	MRエラストグラフィーでわかること	畑井 博晶	第21回愛知県放射線技師会 さつきセミナー	名古屋市	2018/5/27
3	座長	第52回三河・遠州核医学技術研究会	市川 肇	三河・遠州核医学技術研究会	豊橋市	2018/6/2
4	座長	第101回東三河核医学技術検討会	市川 肇	第101回東三河核医学技術検討会	豊橋市	2018/7/13
5	司会	一般演題・症例検討	加藤 豊大	第101回東三河RI技術検討会	豊橋市	2018/7/13
6	司会	『症例検討』出題と解説 ピロリ菌感染を考慮した胃X線診断をマスターしよう!!	山口 稔	東三河消化器研究会「特別企画」	豊橋市	2018/7/13
7	座長	骨SPECT検討会	市川 肇	骨SPECT検討会	東京都	2018/8/29
8	司会	日本放射線技術学会 第77回核医学部会	市川 肇	日本放射線技術学会	仙台市	2018/10/5
9	座長	今さら聞けないノンテクニカルスキル 乳腺領域撮影・治療から学ぶ「診療放射線技師に必要な接遇」	畑井 博晶	愛知県放射線技師会平成30年度第3回研修会	豊橋市	2018/11/10
10	座長	各施設の腹部領域のCT検査について	磯部 晃	第28回東三河CT研究会	豊橋市	2018/11/28
11	座長	Spotlight session	喜多 和真	第72回MR研究会(東海ブロック)	名古屋市	2019/1/19
12	司会	技術講演・基礎講演・臨床講演	喜多 和真	第81回東三河RF研究会	豊川市	2019/2/1
13	司会	ハンズオンセミナー「みんなでやってみよう Prominence Processorを用いた画像解析」	加藤 豊大	第103回東三河RI技術検討会	豊橋市	2019/3/16
14	座長	Session 4	畑井 博晶	第31回愛知県放射線技師会学術大会	名古屋市	2019/3/17

<中央臨床検査室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題 気道可逆性試験の測定法変更による陽性率の変化	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
2	座長	一般演題 当院生理検査室における内部精度管理の取り組み	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
3	座長	一般演題 検査結果確認漏れに対する検査科の対応に関するアンケート集計 ～国臨協 生理部門～	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
4	座長	一般演題 新生児聴覚スクリーニングの後ろ向き調査と検査科としての取り組み	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
5	座長	一般演題 法的脳死判定を円滑に進めるために	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
6	座長	一般演題 脳波室で経験した非痙攣性てんかん重積発作の一例	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
7	座長	一般演題 リアルタイム解析型心電図装着中にERを受診し洞停止を指摘された一例	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
8	座長	一般演題 ホルター心電図において緊急報告した症例の検討	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1

9	座長	一般演題 下大静脈フィルターが周囲臓器に穿通した1例	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
10	座長	一般演題 出血性心内膜囊胞を観察した1例	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
11	座長	一般演題 右側臥位が有用であったfontan術後右房血栓の1例	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
12	座長	一般演題 右大腿粘液型脂肪肉腫の左室内転移及びその術後右房に転移した症例	手嶋 充善	第18回愛知県医学検査学会	春日井市	2018/7/1
13	司会	研究会 アルブミンについて	森下 拓磨	生物化学分析検査研究会	名古屋市	2018/7/7
14	座長	一般演題 XN-2000の導入によるPD排液測定と好酸球性腹膜炎の1例	山本 恵子	第36回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2018/7/8
15	座長	一般演題 生化学自動分析装置JCA-ZS050の使用経験	山本 恵子	第36回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2018/7/8
16	座長	一般演題 当院の血液培養とプロカルシトニン測定値の関係性について	山本 恵子	第36回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2018/7/8
17	座長	一般演題 検査室内の連携により迅速に報告できたクリプトコッカス性髄膜炎の1例	山本 恵子	第36回愛臨技東三河地区研究会	豊橋市	2018/7/8
18	司会	講演 これから始める脳波検査	手嶋 充善	愛臨技生理検査研究会	名古屋市	2018/7/21
19	座長	一般演題 大型異型形態を呈し細胞判別・分類に難渋した組織球肉腫の1症例	内田 一豊	第19回日本検査血液学会学術集会	大宮市	2018/7/21 ～ 2018/7/22
20	座長	一般演題 骨髓標本中にHistiocytic neoplasm由来の細胞が認められた1症例	内田 一豊	第19回日本検査血液学会学術集会	大宮市	2018/7/21 ～ 2018/7/22
21	座長	一般演題 骨髓標本中に認められた印鑑細胞様の細胞を契機に発見された浸潤性小葉癌の1例	内田 一豊	第19回日本検査血液学会学術集会	大宮市	2018/7/21 ～ 2018/7/22
22	座長	一般演題 発症時に広範な皮下出血を呈したがDIC診断基準を満たさなかった骨髓腫瘍症の1例	内田 一豊	第19回日本検査血液学会学術集会	大宮市	2018/7/21 ～ 2018/7/22
23	座長	一般演題 当院で経験した芽球形質細胞様樹状細胞腫(BPDCN)の1例	内田 一豊	第57回中部圏支部医学検査学会	津市	2018/11/24 ～11/25
24	座長	一般演題 骨髓異形成症候群と再生不良性貧血の鑑別が困難であった1例	内田 一豊	第57回中部圏支部医学検査学会	津市	2018/11/24 ～11/25
25	座長	一般演題 当院で経験したMDS 5 q (-)症候群の1例	内田 一豊	第57回中部圏支部医学検査学会	津市	2018/11/24 ～11/25
26	司会	講演 平成30年度愛臨技サーベイ解説	手嶋 充善	愛臨技生理検査研究会	名古屋市	2019/1/19
27	司会	教育講演 血液培養:Unknown unknowns の視点に立った検査	山口 育男	第30回日本臨床微生物学会総会・学術集会	東京都	2019/2/3

<リハビリテーション技術室>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般講演 第2群 検査	森嶋 直人	第41回日本顔面神経学会	山形市	2018/6/8
2	司会	第9回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会	森嶋 直人	第9回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会	山形市	2018/6/9
3	座長	ポスター5 内部障害理学療法②	上村 晃寛	第28回愛知県理学療法学会学術大会	名古屋市	2019/3/17

4	司会	教育セミナー2 麻痺性疾患患者の装具療法による歩行再建	神谷 昌孝	第28回愛知県理学療法学会 法学会大会	名古屋市	2019/3/17
5	司会	シンポジウム 病期別 歩行へのアプローチ	神谷 猛	第28回愛知県理学療法学会 法学会大会	名古屋市	2019/3/17

<薬局>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	特別講演 整形・リハビリテーションの臨床における薬物療法～多職種連携を踏まえた高齢者の関節治療～	白井 景	愛知県病院薬剤師会 東三河支部学術講演会	豊橋市	2018/7/19
2	座長	特別公演 がん免疫療法の新たな選択肢アテゾリズマブ～Clinical Pearls on the Management of irAE	石川 元章	愛知県病院薬剤師会 がん部会講演会	豊橋市	2018/8/1
3	座長/司会	研修会 薬剤師として知っておきたい臨床検査値	石川 元章	豊橋薬業連携研修会	豊橋市	2018/11/29
4	座長	特別公演 高齢者における保湿剤の適正使用とポリファーマシーの見直し	石川 英子	愛知県病院薬剤師会 東三河支部学術講演会	豊橋市	2019/1/17
5	座長/司会	研修会 薬剤師の役割～制吐療法を含むPBPM・抗がん剤の薬業連携を中心に	石川 元章	豊橋薬業連携研修会	豊橋市	2019/3/7
6	座長	講演 糖尿病性腎症の食事療法について	坂牧 佑一	東三河糖尿病セミナー学術講演会	豊橋市	2019/3/23

<看護局>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	一般演題 みんなで報告しよう。各施設のAST活動について	高橋 一嘉	第19回東三河地区感染管理担当者座談会	豊橋市	2018/6/23
2	座長	一般演題 高齢糖尿病患者を地域で支えるためには	山口三恵子	第32回糖尿病教育担当者セミナー	名古屋市	2018/9/2
3	座長	一般演題 受け持ち・スタッフナースの育成 パート I	中村由美子	平成30年固定チームナース全国研究集会	神戸市	2018/9/15
4	座長	一般演題 将来に向けた座談会のあり方に向けて	高橋 一嘉	第20回東三河地区感染管理担当者座談会	豊橋市	2018/11/17
5	座長	一般演題 妊産褥婦、小児への支援	佐藤真由美	固定チームナース第18回中部地方会	名古屋市	2018/11/23
6	座長	一般演題 1. 抗インフルエンザ薬について 2. 麻疹の感染管理を考える 3. 前回の続きのディスカッション	高橋 一嘉	第21回東三河地区感染管理担当者座談会	豊橋市	2018/3/23

<事務局>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	司会	セミナー 巧妙化するサイバー攻撃からの脅威とセキュリティ動向	原瀬 正敏	第11回中部医療情報技師会研究会	名古屋市	2018/6/9
2	司会	セミナー ベンダーニュートラルなPACSへの挑戦～VNAを理解し、現在の到達点を確認する～	原瀬 正敏	日本放射線技術学会 中部支部 医療情報システム研究主催中級セミナー	名古屋市	2018/7/1
3	座長	一般演題 3D プリンタ	原瀬 正敏	第46回日本放射線技術学会秋季学術大会	仙台市	2018/10/4

講演（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0	市川 肇	第52回三河・遠州核医学研究会	豊橋市	2018/06/02
2	SPACE～当院の使い方・私のいじり方～	喜多 和真	第28回中部MAGNETOM研究会	名古屋市	2018/06/09
3	完全マスター 骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0	市川 肇	第80回静岡県核医学談話会	静岡市	2018/06/09
4	骨SPECT撮像の標準化に関するガイドラインについて	市川 肇	第45回なにわRIセミナー	大阪市	2018/06/20
5	骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0の活用	市川 肇	第101回東三河核医学技術検討会	豊橋市	2018/07/13
6	骨SPECT撮像ガイドラインの今後の展開を考える	市川 肇	Osaka Nuclear Technologist Conference特別企画	尼崎市	2018/07/27
7	骨SPECTの画像評価方法の未来について考える	市川 肇	骨SPECT検討会	東京都	2018/08/29
8	骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0の実践	市川 肇	第137回茨城県RI研究会	土浦市	2018/10/20
9	テクニカル基礎講座～収集編～収集カウント・ピクセルサイズ・エネルギーウィンドウについて	加藤 豊大	第101回東三河核医学技術検討会	豊橋市	2018/11/02
10	当院における救急CT読影補助	喜多 和真	安城更生病院病診連携勉強会	安城市	2019/01/24

<中央臨床検査室>

No.	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	臨床検査値の見方について	榊原 沙知	第139回NST定期教育講演会	豊橋市	2018/5/16
2	臨床検査値の見方について	小島 克枝	NST教育カリキュラム	豊橋市	2018/6/19
3	呼吸器：良性・炎症性疾患	榊原 沙知	平成30年度細胞学会 東海連合会細胞診基礎講座	名古屋市	2018/7/29
4	リンパ節	内田 一豊	平成30年度細胞学会 東海連合会細胞診基礎講座	名古屋市	2018/7/29
5	Staphylococcus spp.の薬剤耐性	山本 優	愛臨技微生物検査研究班研究会	名古屋市	2018/9/1
6	骨髄異形成症候群と合併したランゲルハンス細胞肉腫の1例	内田 一豊	豊橋がん診療フォーラム	豊橋市	2018/9/6
7	Staphylococcus spp.について	山本 優	愛臨技微生物検査研究班基礎講座	名古屋市	2018/9/9
8	みかわん会参加施設における抗酸菌塗抹検査の現状と標準化について	山本 優	三河地区微生物勉強会	岡崎市	2018/11/7
9	体腔液検査（細胞数算定・細胞分類）の機械法	内田 一豊	愛臨技一般検査・病理細胞検査研究班合同研究会	名古屋市	2018/11/13
10	その輸血、私たちがお届けします！輸血検査室、安心の工夫	中村 藍	愛知県臨床検査技師会 輸血検査研究班	名古屋市	2018/12/8
11	「リンパ腫のABC ～基礎から楽しく学ぼう！～」	内田 一豊	神臨技第7回血液研究班研修会	川崎市	2019/1/12
12	菌のよもやま話（食中毒編）	山口 育男	第21回微生物カンファレンス東海	名古屋市	2019/1/12
13	精度管理に関するパネルディスカッション～生理検査部門～	手嶋 充善	平成30年度愛知県がん診療連携拠点病院等臨床検査技師研修会	名古屋市	2019/1/16
14	特別企画 ～こんなときどうしますか？～	手嶋 充善	平成30年度日臨技中部圏支部 第31回生理検査研修会	名古屋市	2019/2/9
15	『一般検査を血液から斬る（体腔液編）』	内田 一豊	平成30年度 日臨技近畿支部 臨床一般検査研修会	天理市	2019/2/24
16	体腔液検査における分析装置の活用	内田 一豊	シスメックスヘマトロジーカンファレンス	札幌市	2019/3/9
17	質量分析器導入は「賛成」vs「反対」	山口 育男	第6回東海BDエキスパートセミナー	名古屋市	2019/3/16

<リハビリテーション技術室>

No.	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	病的共同運動と顔面拘縮について	森嶋 直人	第9回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会	山形市	2018/6/9
2	当院におけるADL維持向上等体制加算算定開始後の現状と課題について	上村 晃寛	平成30年度 ADL維持向上等体制加算研修会	名古屋市	2018/7/8
3	排尿とリハビリ	神谷 猛	院内排尿勉強会	豊橋市	2018/7/9
4	末梢性顔面神経麻痺の後遺症とリハビリテーションについて	森嶋 直人	第36回生体制御学会シンポジウム	名古屋市	2018/8/26
5	一次救命処置と基本処置	上村 晃寛	NPO法人愛知県理学療法学会 教育局生涯学習部 新人教育プログラム	名古屋市	2018/9/16
6	糖尿病運動教室2018	内藤 善規	平成30年度糖尿病週間イベント	豊橋市	2018/11/16
7	運動療法について	森 弘幸	糖尿病患者会総会	豊橋市	2018/11/16
8	高齢心不全患者に対する心臓リハビリテーション～最近のトピックスと当院の現状～	沢入 豊和	第8回心不全水利尿薬勉強会	豊橋市	2018/11/27
9	早期からの充実した理学療法提供体制の構築 -豊橋市民病院における取り組み-	森嶋 直人	日本理学療法士協会指定管理者研修会 職域別(急性期)管理者中央研修会	東京都	2019/1/27
10	転倒への不安を強く認めた患者への作業療法介入	川合 康夫	がんフォーラム	豊橋市	2019/3/14

<薬局>

No.	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	当院の輸液製剤について	坂部 米治	NST定期教育講演会	豊橋市	2018/6/20
2	排尿と薬	福岡 美帆	排尿ケア勉強会	豊橋市	2018/7/9
3	抗がん薬について	町支 優和	リスクマネジメント講習会	豊橋市	2018/7/10
4	注射薬について	岡田 圭史	リスクマネジメント講習会	豊橋市	2018/7/10
5	処方薬について	安藤 陽一	リスクマネジメント講習会	豊橋市	2018/7/17
6	麻薬について	鈴木 利規	リスクマネジメント講習会	豊橋市	2018/7/17
7	VCMのTDM	森 章典	院内感染対策講習会	豊橋市	2018/8/30～ 2018/8/31
8	AST活動について	森 章典	院内感染対策講習会	豊橋市	2019/2/6～ 2019/2/8

<看護局>

No.	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	糖尿病の基礎	山口三恵子	東三河腎不全看護研究会	豊橋市	2018/4/22
2	中材の機能評価受審におけるポイント	高橋 一嘉	第77回中部地区中材業務研究会	名古屋市	2018/5/26
3	脳卒中退院時指導プロジェクト活動報告	平井 あゆ	穂の国脳卒中医療連携研究会総会	豊橋市	2018/6/28
4	特別講演「リンのおはなし」	青木 真理	東三河腎不全看護研究会	豊橋市	2018/7/29
5	ストーマ保有者の皮膚障害	鈴木 雅恵	第30回東海ストーマリハビリテーション講習会	名古屋市	2018/8/3
6	特別講演 「滅菌物の管理と評価 歯科領域における感染対策」	高橋 一嘉	静岡県中部感染対策ネットワーク講演会	静岡市	2018/10/5
7	インスリン療法を安全・確実に実施するために必要なこととは	山口三恵子	豊川さくら病院勉強会	豊川市	2018/12/12
8	ストーマケア研修会 in 豊橋	鈴木 雅恵	日本オストミー協会愛知県支部	豊橋市	2019/2/2
9	ストーマケア研修会 in 豊橋	名倉小百合	日本オストミー協会愛知県支部	豊橋市	2019/2/2

<事務局>

No.	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	インシデント事例などを含めた 情報安全対策事例の紹介	原瀬 正敏	第11回中部医療情報技師会研究会	名古屋市	2018/6/9
2	医療情報って何なのだ？ 知っておきたい基礎知識	原瀬 正敏	日本放射線技術学会中部支部 医療情報システム研究主催 初級セミナー	名古屋市	2018/6/30
3	学校では教えてくれない実際 「病院が欲しい人材はどんな人？」	原瀬 正敏	北海道情報大学公開講義	北海道	2018/7/21
4	学校では教えてくれない実際 「医療記録が電子化できる時代、今、何が足りない？」	原瀬 正敏	北海道情報大学公開講義	北海道	2018/7/21
5	ガイドラインを理解する	原瀬 正敏	日本放射線技術技師会 第2回医療画像情報精度管理 士分科会セミナー	東京都	2018/7/28
6	DICOM・PDIの基礎	原瀬 正敏	日本放射線技術技師会 第2回医療画像情報精度管理 士分科会セミナー	東京都	2018/7/28
7	これならできるJJ1017～解決！コード作成の問題点～	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報 部会 第23回PACS Specialistセ ミナーin大宮	東京都	2018/8/25
8	医療画像情報を安全に管理・運用する施設とは	原瀬 正敏	第34回日本診療放射線技師 学術大会 分科会企画1 医療 画像情報精度管理士分科会	下関市	2018/9/21
9	BCP策定の勘所	原瀬 正敏	第46回日本放射線技術学会 秋季学術大会	仙台市	2018/10/6
10	これならできるJJ1017～解決！コード作成の問題点～	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報 部会 第24回PACS Specialistセ ミナーin大阪	大阪市	2018/10/14
11	業務に使える標準規格とは 「知っておきたいDICOM, PDI, JJ1017」	原瀬 正敏	日本放射線技術学会医療情報 部会 第10回ベーシックセミナー in秋田	秋田市	2018/10/27
12	システム構築における勘所	原瀬 正敏	第8回大阪医用画像情報シス テム研究会	大阪市	2018/11/10

論文・著書（診療技術局・薬局・看護局・事務局）

<放射線技術室>

No.	題名	区分	氏名	著書名
1	施設紹介	筆頭著者	加藤 豊大	核医技. 2018; 38: 528-536.

<中央臨床検査室>

No.	題名	区分	氏名	著書名
1	感染制御に必要な微生物検査の知識	筆頭著者	山口 育男	日口腔感染症会誌. 2018; 25: 8.
2	骨髓異形成症候群と合併したランゲルハンス細胞肉腫の1例	筆頭著者	内田 一豊	日検血会誌. 2018; 19: 320-327.

<リハビリテーション技術室>

No.	題名	区分	氏名	著書名
1	リハビリテーション分野から考える末梢性顔面神経麻痺の治癒判定基準について -Sunnybrook法での検討-	筆頭著者	森嶋 直人	Facial Nerve Research Japan. 2019; 38: 104-105.
2	末梢性顔面神経麻痺に対するリハビリテーションの効果 -発症12ヶ月後の実施頻度と正確性に関わる因子の検討-	筆頭著者	真田 将太	Facial Nerve Research Japan. 2019; 38: 131-133.
3	理学療法士が捉える子どもの変化 -発達障害の評価の仕方、ライフステージの変化による課題-	筆頭著者	神谷 猛	小児リハ. 2019; 3: 34-44.

<看護局>

No.	題名	区分	氏名	著書名
1	脳卒中再発予防教育におけるパンフレットの配布	筆頭著者	平井 あゆ	Brain Nurs. 2018; 34: .
2	マンガで学ぶ糖尿病の病態生理とケアの極意	筆頭著者	山口三恵子	糖尿病ケア. 2018; 15: .
3	手術室における感染対策のベーシック 清潔野の作成・保持	筆頭著者	高橋 一嘉	手術看エキスパート. 2018; 12: p.14-p.19 .
4	術後患者の膀胱留置カテーテル早期抜去、尿器・ポータブルトイレ設置率減少に向けた看護師の意識と患者の離床意欲を向上させるための活動の効果	筆頭著者	鈴木 宏昌	日看論集:急性期看. 2018, p.79-p.82.
5	家族が意識障害となった患者を家族として受け入れていく支援の検討	筆頭著者	田中多久美	日看論集:慢性期看. 2018, p.155-p.158.

<事務局>

No.	題名	区分	氏名	著書名
1	第2部 システム構築編(PACS Specialist セミナー編) 2.6. これならできるJJ1017	共同著者	原瀬 正敏	日本放射線技術学会 叢書 図解 知っておきたい放射線情報システムの構築(改訂版). 2018, p.135-p.154.
2	第3部 情報システム構築事例 3.1. 豊橋市民病院	共同著者	原瀬 正敏	日本放射線技術学会 叢書 図解 知っておきたい放射線情報システムの構築(改訂版). 2018, p.179-p.184.

VII 院内委員会の活動記録

1. 幹部会

日 付	内容等
2018年4月2日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年2月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 平成30年度 院内常設委員会(案)について ③ その他 脳死下臓器提供について 敗血症診断時のSOFAスコア入力(平成30年度診療報酬改定対応)について
2018年4月9日	第 2 回 ① 地域医療連携ネットワークシステムの稼働について ② その他 重症度、医療・看護必要度の評価合計 東三河ふれあい看護フォーラム
2018年4月16日	第 3 回 ① 総合入院体制加算(治癒等の割合)について ② その他 新人プレ夜勤研修における駐車場のお願い 医師時間外入力システムについて 平成30年度 空調(冷房運転)について 本日の停電に関する各部署の状況と対応について
2018年4月23日	第 4 回 ① 3月分 病院事業活動状況について ② 6月からの運営会議における報告について ③ 霊安室の利用ルールについて
2018年5月7日	第 5 回 ① 平成30年3月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 入院診療計画書の作成について ③ その他 病院総合情報システムにおけるログイン方法の変更について DPC医療機関別係数について
2018年5月14日	第 6 回 ① 慰霊祭について ② その他 平成30年度 医療安全重点目標 利害関係者が負担する旅費の取り扱いについて
2018年5月28日	第 7 回 ① 平成30年4月分 病院事業活動状況(速報版) ② その他 平成30年度 患者満足度調査の実施について 西3階病棟の使用状況について
2018年6月4日	第 8 回 ① 平成30年4月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② その他 エスカレーターの耐震工事の事前調査について 重症度、医療・看護必要度(診療科別)について 医療法改正に伴う病院ホームページの規制について

2018年6月11日	第 9 回 ① その他 終末期在宅(施設入所)患者急変時の救急対応(看取り)について
2018年6月18日	第 10 回 ① 利害関係者が負担する旅費の取り扱いについて
2018年6月25日	第 11 回 ① 平成30年5月分 病院事業活動状況(速報版)
2018年7月2日	第 12 回 ① 平成30年5月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 当院の自費検査について(「新規自費検査登録申請書」の運用含む) ③ その他 運転免許に関する臨時適性検査の内諾について 日本医学会総会について
2018年7月9日	第 13 回 ① 平成29年度 第2次豊橋市民病院改革プラン取組状況の報告について ② その他 病院情報ポータルサイトについて
2018年7月30日	第 14 回 ① 平成30年6月分 病院事業活動状況(速報版) ② 平成31年度 組織機構の見直し(案)について
2018年8月6日	第 15 回 ① 平成30年6月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 平成30年6月分 診療報酬請求後の削除レセプトの状況について
2018年8月13日	第 16 回 ① その他 患者満足度調査票の回収状況について 情報セキュリティ研修(全体研修)の出席状況について 豊橋市消防本部からの救急搬送の状況 平成31年度 初期臨床研修医応募状況
2018年8月20日	第 17 回 ① 平成30年7月分 病院事業活動報告(速報版) ② その他 診療材料費の執行状況について 「星空観望会」の開催について 手術センター棟のしゅん工式について リビングウィルについて 自費検査の公費負担について

2018年8月27日	第 18 回 ① 経営戦略委員会 作業部会における進捗状況について(報告) ② その他 自費検査の公費負担について
2018年9月3日	第 19 回 ① 平成30年7月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 手術センター増設に伴う医療機械の購入について ③ がん診療連携拠点病院の選定に係る愛知県による現地調査の実施について ④ PET-CT検診の開始について ⑤ その他 病院総合情報システム開発案件について 非常用発電設備の半年点検について 「星空観望会」の実施報告について
2018年9月10日	第 20 回 ① 新規駐車場の案内及び駐車区分の徹底について ② その他 内視鏡下手術ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術の先進医療について 特定臨床研究におけるCOI状況の確認について
2018年10月1日	第 21 回 ① 平成30年8月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 平成30年度 インフルエンザワクチン接種について ③ 職員のインフルエンザワクチン接種について ④ 生活保護受給者の後発医薬品使用の原則化について ⑤ その他 控除対象外消費税の診療報酬による補てん状況等について アドバンス・ケア・プランニングワーキンググループの発足について 手術センターにて発生した電気メスの滅菌処理疑義案件について
2018年10月22日	第 22 回 ① ISO15189認定取得の進捗状況について ② 適用外検査項目について ③ その他 糖尿病週間啓発イベントについて 愛知県公立病院会院長会議(資料抜粋) 診療棟停電作業のお知らせ 平成30年度 空調(暖房運転)について 来年度5月1日祝日(予定)に伴う10連休に対する開院について 年末行事(クリスマスコンサート・餅つき)について
2018年10月29日	第 23 回 ① 平成30年9月分 病院事業活動状況(速報版) ② 適用外検査項目について
2018年11月5日	第 24 回 ① 平成30年9月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② その他 タオル(ガーゼ)地帽子の寄付について 適用外検査項目について

2018年11月19日	第 25 回 ① その他 紙カルテ等片付けスケジュールについて ノロウイルス検査の請求について 救急外来でのエコー算定件数について 先進医療(前立腺針生検法)の実施について 「手術センター棟」しゅん工式・内覧会の名簿(案)について 施設管理業務(電気点検)について 診療科表示の種類及び掲示場所について MR等の待機場所(案)について 平成30年度 医療安全に関する標語(二次審査)について 各種マニュアルのペーパーレス化について
2018年12月3日	第 26 回 ① 平成30年10月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 病理・細胞形態検査における報告書未開封リストについて ③ 医師に対する文書料収入のインセンティブについて(案) ④ 病棟の診療科表示について ⑤ その他 冬季における円滑な退院・転院支援の取組みについて ノロウイルス検査についてお知らせ 病院日誌について
2018年12月10日	第 27 回 ① その他 平成30年度 医療安全に関する標語 投票結果 手術センター棟パンフレット(案)について(しゅん工式配布用)
2018年12月17日	第 28 回 ① その他 医療監視(保健所の立ち入り検査)について 患者の受け入れについて
2019年1月7日	第 29 回 ① 平成30年11月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 平成31年度 病棟及び科別病床数(案) ③ 病床機能報告における定量的な基準による試算について ④ 精神状態の不安定な患者への入院時の同意書について ⑤ その他 平成29年度 QI推進事業(日本病院会)結果報告について
2019年1月28日	第 30 回 ① 平成30年12月分 病院事業活動状況(速報版) ② 精神状態の不安定な患者への入院時の同意書について ③ 平成31年度 ERローテのシフト体制見直しについて ④ 平成31年度のゴールデンウィーク(10連休)における診療対応について ⑤ その他 診療材料の購入状況(ベンチマーク分析結果)について 平成30年度 年末年始救急外来受診者数(速報値) 福祉村病院 受入れの停止について
2019年2月4日	第 31 回 ① 平成30年12月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 健康相談室移転について(案)

2019年2月18日	第 32 回 ① 経営企画室の新設について ② 眼科外来の一部診療制限について ③ その他 「手術センター棟」しゅん工式・内覧会について 平成30年度 災害対策訓練 施設管理業務について(電源設備点検) 長期(1年以上)処方する睡眠薬について
2019年2月25日	第 33 回 ① 平成31年1月分 病院事業活動状況(速報版) ② MSI(マイクロサテライト不安定性)検査実施同意書について ③ 10連休における臨時外来診療の状況 ④ その他 ベンゾジアゼピン系薬の処方算定について
2019年3月4日	第 34 回 ① 平成31年1月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② セファゾリンナトリウム注射用製品供給について
2019年3月11日	第 35 回 ① 特定放射性同位元素防護委員会の設置について ② 平成31年度 時間外労働に関する協定(36協定)案について ③ 注射薬抗生物質の現状について
2019年3月18日	第 36 回 ① ユニホーム(白衣等)洗濯の取扱いについて ② 中央臨床検査室のホームページ(案) ③ 病棟の診療科表示について ④ 平成31年度 職員必携(案) ⑤ 働き方改革に伴う対応について(長時間労働に対する面談実施) ⑥ その他 手術等における公立・公的医療機関等と民間医療機関の競合状況等について 医師の働き方改革に関する検討会(第19回)概要 平成31年4月1日付職員の昇格及び異動について(医療職分) WEBフォーラムの開催について 10連休における医療提供体制の確保に関する対応について 注射薬抗生物質の現状
2019年3月25日	第 37 回 ① 平成31年2月分 病院事業活動状況(速報版) ② 病院内に常設されている委員会の委員長(案)について ③ 初診料算定にかかる基準の一部変更について(案) ④ その他 年次有給休暇取得の義務化について

2. 不正防止対策委員会

【未開催】

3. 運営会議

日 付	内容等
2018年4月10日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年2月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 地域医療連携ネットワークについて ③ 提案箱(2月14日～3月13日)の集約 ④ 各委員会からの報告 ⑤ 平成30年度の三六協定について
2018年5月8日	第 2 回 ① 平成30年3月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 総合入院体制加算(治癒等の割合)について ③ 各部署からの活動状況の報告について ④ DPCについて ⑤ 提案箱(3月14日～4月13日)の集約 ⑥ 各委員会からの報告 ⑦ 入院診療計画書の作成について ⑧ 病院総合情報システムにおけるログイン方法の変更について
2018年6月12日	第 3 回 ① 平成30年4月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(4月14日～5月15日)の集約 ③ 各委員会からの報告
2018年7月10日	第 4 回 ① 平成30年5月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(5月16日～6月15日)の集約 ③ 各委員会からの報告
2018年8月14日	第 5 回 ① 平成30年6月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(6月16日～7月17日)の集約 ③ 各委員会からの報告
2018年9月11日	第 6 回 ① 平成30年7月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(7月18日～8月14日)の集約 ③ 各委員会からの報告
2018年10月9日	第 7 回 ① 平成30年8月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(8月15日～9月14日)の集約 ③ 各委員会からの報告
2018年11月13日	第 8 回 ① 平成30年9月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(9月15日～10月16日)の集約 ③ 各委員会からの報告 ④ 医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査について

2018年12月11日	第 9 回 ① 平成30年10月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(10月17日～11月16日)の集約 ③ 各委員会からの報告 ④ 電子カルテシステム(DPC期間情報表示)機能追加について
2019年1月8日	第 10 回 ① 平成30年11月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(11月17日～12月18日)の集約 ③ 各委員会からの報告
2019年2月12日	第 11 回 ① 平成30年12月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(12月19日～1月15日)の集約 ③ 各委員会からの報告 ④ 平成31年度に適用する医療機関別係数について
2019年3月12日	第 12 回 ① 平成31年1月分 病院事業収支及び活動状況(報告) ② 提案箱(1月16日～2月15日)の集約 ③ 各委員会からの報告

4. 経営戦略委員会

日 付	内容等
2018年4月27日	2018年度 第 1 回 ① DPCデータ分析システム「EVE」について ② その他
2018年5月31日	第 2 回 ① 管理料・指導料算定ベンチマーク病院経営支援システム「メディカルコード」について ② その他
2018年6月26日	第 3 回 ① 病床数削減について ② 作業部会報告(薬剤指導管理料、退院時リハビリテーション指導料)
2018年7月10日	第 4 回 ① 病床数削減について ② 作業部会報告(肺血栓塞栓症予防管理料、特別食・入院栄養食事指導料)
2018年7月19日	第 5 回 ① 機構改革について
2018年8月21日	第 6 回 ① 作業部会の取組み事項について 薬剤指導管理料 特別食加算・入院食事栄養指導料 退院時リハビリテーション指導料 肺血栓塞栓症予防管理料
2018年11月6日	第 7 回 ① 作業部会の取組み事項について ② 診療材料納入単価のベンチマーク比較について

2018年11月29日	第 8 回 ① DPC特定病院群実績要件・診療密度の改善について ② 病床数再編について
2019年2月7日	第 9 回 ① DPC特定病院群実績要件・外保連手術指数の改善について ② 短期滞在手術等基本料1の算定・回復室の整備について ③ 医学管理料に関する作業部会の取組み事項について
2019年3月28日	第 10 回 ① 経営戦略委員会活動報告

5. 倫理委員会

日 付	内容等
2018年5月17日	2018年度 第 1 回 ① 脳死判定医の選出について 〈承 認〉
2018年9月20日	第 2 回 ① 硝子体手術における内境界膜剥離時のブリリアントブルーG液の使用 〈承 認〉 ② 遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)疑いのがん患者及び未発症者におけるBCCA1/2遺伝子検査 〈承 認〉 ③ 遺伝性腫瘍疑いのがん患者に対するがん遺伝子パネル検査 〈承 認〉 ④ 遺伝性腫瘍と関連する遺伝子変化のある者の血縁者に対するターゲット遺伝子検査 〈承 認〉
2018年10月9日	第 3 回 ① 腸管不全関連肝機能障害に対するオメガベンの投与 〈条件付承認〉
2018年10月31日	第 4 回 ① 他施設で行われている「出生前スクリーニングにおける母体血cell free DNAの有用性に関する研究」への検体の提出 〈承 認〉

6. 臨床研究審査委員会

日 付	内容等
2018年5月17日	2018年度 第 1 回 ① 核磁気共鳴画像-経直腸的超音波画像融合画像に基づいた前立腺生検
2018年7月19日	第 2 回 議題なし
2018年9月20日	第 3 回 議題なし
2018年11月15日	第 4 回 議題なし
2019年1月17日	第 5 回 ① 初発時よりダサチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験 ② 初発時よりニロチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験
2019年3月14日	第 6 回 議題なし

6-1. 臨床研究事前審査会

日 付	内容等
2018年4月11日	2018年度 第 1 回 ① 家族性糖尿病の遺伝子解析 ② BMI40以上の帝王切開の麻酔管理 ③ 関節リウマチの骨粗鬆症におけるテリパラチド連日投与製剤治療後のミノドロン酸+エルデカルシトールとデノスマブの比較 -24か月治療成績- ④ 前立腺癌薬物療法におけるQOLに関する研究 ⑤ 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたイクキサゾミブとレナリドミド及びデキサメタゾン併用療法の多施設共同前向き観察研究
2018年5月9日	第 2 回 ① 造血細胞移植医療の全国調査 ② 腹部手術におけるポビドンヨードアプリータ1回消毒の安全性と有効性についての評価 ③ 非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業 ④ 家族性糖尿病の遺伝子解析 ⑤ BMI40以上の帝王切開の麻酔管理 ⑥ 骨髄増殖性腫瘍における遺伝子異常と臨床経過の解析 ⑦ Tinnitus cognitions questionnaire 日本語版の信頼性・妥当性の検証 ⑧ 日本人新生児を対象とした脊髄性筋萎縮症マス・スクリーニングのパイロット研究:SMNI 遺伝子欠失の検出を目的とした新しいマス・スクリーニングシステムの確立

2018年6月6日	第 3 回 ① アダリムマブ(ADA)とメトトレキサート(MTX)併用時のMTX減量による臨床的効果の比較 ② 家族性糖尿病の遺伝子解析 ③ 早期関節リウマチ患者における初期治療効果反応性による治療強化の予後予測に関する研究
2018年7月4日	第 4 回 ① 内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 ② 肝内胆管癌におけるFGFRの異常に関する解析研究 ③ 全身麻酔導入時の気管挿管に用いるデバイスの違いによる成功率、合併症の発生率の比較検討 ④ 腹腔鏡下子宮筋腫核出術後の周産期予後 ⑤ プレリキサホルを利用した幹細胞採取 ⑥ 神経筋変性疾患の遺伝子解析研究 ⑦ hCG負荷試験前後のアンドロゲン生成過程の中間生成物濃度の調査 ⑧ 多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究 ⑨ 我が国のGIST治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究
2018年8月1日	第 5 回 ① 保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究 -ダルベポエチンアルファ製剤低反応に関する検討- ② 小児脳腫瘍治療後の神経心理学的合併症に関する横断的調査研究 ③ 他のチロシンキナーゼ阻害薬に不耐容または効果不十分の慢性期慢性骨髄性白血病に対するボスチニブ療法の有効性と安全性の検討 ④ 免疫性神経疾患におけるバイオマーカーの探索と病態解明 ⑤ 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス -歯科・口腔外科領域感染症- ⑥ 手術を受ける患者の手術室入室方法の違いによる不安、ストレスの比較検討
2018年9月5日	第 6 回 ① わが国における小児死因究明制度の導入に関する後方視的調査 ② 関節リウマチに対するトシリズマブ治療におけるメトトレキサート併用中止後の治療効果持続性に関する研究 ③ 手術を受ける患者の不安、ストレスの調査 ④ 食物経口負荷試験によるアナフィラキシー症例に関する調査 ⑤ 小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する全国版後方視的調査(2014-2016年)愛知県分担研究 ⑥ 極低出生体重児における慢性腎臓病発症のリスクファクターの検討 ⑦ 尿中代謝物を用いた診断マーカーの探索
2018年10月3日	第 7 回 ① リキッドバイオプシーを用いた肺がん分子標的薬耐性機序の解析 ② 重症筋無力症及びランバート・イートン筋無力症候群の全国疫学調査 ③ 1型糖尿病のインスリン投与量、基礎インスリン比率に関する研究 ④ 腹部ポータブル撮影における散乱線補正処理の有効性の検討
2018年11月7日	第 8 回 ① 初発フィラデルフィア染色体陽性成人急性リンパ性白血病を対象としたダサチニブ併用化学療法および同種造血幹細胞移植の臨床第Ⅱ相試験 ② 切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究 ③ クリオプレシピテートの適切な院内ストックに関する後ろ向き研究 ④ 副甲状腺癌多発家系におけるHPRT2遺伝子変異の検討 ⑤ 呼吸器疾患患者の栄養補助食品摂取効率に関する研究

2018年12月5日	第 9 回 ① 難治性消化管GVHDに対する経口ベクロメタゾンの有効性の検討 ② 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたイキサゾミブとレナリドミド及びデキサメタゾン併用療法の多施設共同前向き観察研究 ③ 関節リウマチ患者における生物学的製剤長期継続に関する研究 ④ レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究 ⑤ 大腸癌手術クリニカルパス内のエレンタール喫食状況の検証 ⑥ 当院における炎症性腸疾患患者の悪性腫瘍併発症例の検討 ⑦ 肺炎入院患者の栄養評価と退院時栄養指標変化の検討 ⑧ 血液腫瘍患者に対する化学療法治療中・治療後の患者の身体活動量が身体機能に与える影響の検討
2019年1月9日	第 10 回 ① 内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 ② 日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍登録施設の広汎子宮全摘出術の実態調査 ③ 関節リウマチにおけるゴリムマブ治療成績 -開始時疾患活動性による検討- ④ 背景の異なる骨粗鬆症に対するゾレドロン酸治療成績比較 -12か月治療成績- ⑤ 有害事象で直前の生物学的製剤が中止となった関節リウマチにおけるアバタセプトへの変更の有効性と安全性 ⑥ 小児訪問看護師が母親と信頼を築くプロセス ⑦ 母親が小児訪問看護師を受け入れるプロセス ⑧ 血液腫瘍患者に対する化学療法治療中・治療後の患者の身体活動量が身体機能に与える影響の検討 ⑨ 日本産科婦人科学会 倫理委員会登録・調査小委員会生殖補助医療(ART)登録事業及び登録情報に基づく研究 ⑩ 非転移性前立腺癌内分泌治療中患者の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸の有効性と安全性の検討 ⑪ 血栓性微小血管障害症の遺伝的背景に関する研究
2019年2月6日	第 11 回 ① 実臨床における関節リウマチにおけるトシリズマブ治療 -併用メトトレキサート減量・中止と大関節破壊抑制効果に注目して- ② 慢性腎臓病の透析導入期における管理状況と透析導入後の予後との関連に関する多施設共同観察研究 第二版 ③ 第25回川崎病全国調査 ④ Ph+ALLにおけるBCR遺伝子切断点の意義 ⑤ 声門癌に対する放射線治療成績 ⑥ 内科系医療技術負荷度調査 ⑦ 我が国の小児CT検査で患児が受ける線量の実態調査(2018) ⑧ 重症患者の電解質異常に関する観察研究
2019年3月6日	第 12 回 ① A型急性肝炎の現状 ② B型慢性肝炎におけるテノホビルアラフェナミドフマル酸塩への切り替え症例の観察研究 ③ 食物アレルギー児を養育する保護者の認識

7. 接遇委員会

日 付	内容等
2019年1月28日	2018年度 第 1 回 ① 接遇研修の講師について ② その他
2019年 3月4日	第 2 回 ① 平成31年度接遇目標について

7-1. 患者満足度調査検討会

日 付	内容等
2018年5月22日	2018年度 第 1 回 ① 患者満足度調査の概要について 入院中の食事の満足度について 外来患者用駐車場について 外来診療の待ち時間について 患者総合支援センターについて ② 今年度調査の実施方針について ③ 今年度調査の実施スケジュールについて

8. 災害対策検討委員会

【未開催】

8-1. 地震対策部会

【未開催】

8-2. DMAT運営部会

日 付	内容等
2018年6月19日	第 23 回 DMAT運営部会 ① 平成30年度 豊橋市総合防災訓練について ② その他
2018年9月18日	第 24 回 DMAT運営部会 ① 中部ブロックDMAT技能維持研修について ② 中部ブロックDMAT実動訓練について ③ 東三河南部医療圏災害医療部会ワーキンググループ ④ 愛知県災害医療コーディネート研修について ⑤ その他
2018年12月18日	第 25 回 DMAT運営部会 ① 災害対応マニュアルの改訂作業について ② マラソンフェスティバルナゴヤについて ③ 南海トラフ地震時医療活動訓練の訓練 ④ 平成30年度 市民病院災害対応訓練(案)について ⑤ その他市民病院災害対応訓練 ⑥ その他
2019年3月5日	第 26 回 DMAT運営部会 ① 技能維持研修 ② 市民病院災害対応訓練 ③ 愛知メディカルラリーin豊田厚生 ④ その他

9. 年報編集委員会

日 付	内容等
2019年3月1日	2018年度 第 1 回 ① 病院年報第28巻(2018年版)の編集方針について(案) ② 2018年版作成スケジュール(案) ③ 病院年報第28巻(2018)の原稿依頼(案)について ④ 編集後記執筆者について ⑤ その他

10. 広報紙編集委員会

日 付	内容等
2018年5月9日	第 17 回 ① 青竹第77号の編集について
2018年8月7日	第 18 回 ① 青竹第78号の編集について
2018年11月12日	第 19 回 ① 青竹第79号の編集について
2019年2月4日	第 20 回 ① 青竹第80号の編集について

11. 院内感染対策委員会

[定期報告事項] 監視 耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)(月・基幹定点)
 病原体サーベイランス報告〔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌:MRSA〕
 耐性菌 一覧表(ESBL等)
 感染症情報 インフルエンザウイルス・ノロウイルス・RSウイルス各抗原検査
 ※シーズン中のみ報告

日 付	内容等
2018年4月10日	第 271 回 ① 平成29年度 第2回 院内感染対策講習会 参加状況 ② 院内感染対策チーム(ICT)/抗菌薬適正使用支援チーム(AST)要綱
2018年5月8日	第 272 回 ① N95マスク/定量フィット試験について ② 2017年度 デバイス関連感染サーベイランス結果について ③ 麻しん(はしか)対応について ④ 院内感染対策委員会開催時間について
2018年6月12日	第 273 回 ① N95マスク/定量フィット試験の開催案内 ② SSIサーベイランスの進捗状況 ③ 抗菌薬使用ガイドライン改訂について ④ 抗菌薬使用届の保存(保管)について ⑤ 院内結核曝露事例の同室患者対応について
2018年7月10日	第 274 回 ① N95マスク/定量フィット試験 参加状況 ② 抗菌薬使用ガイドライン改訂について ③ 抗菌薬使用届出書集計(2018.1~2018.6) ④ AST活動集計(2018.4~2018.6)
2018年8月14日	第 275 回 ① 多剤耐性アシネトバクター検出事例〔鹿児島大学病院・静岡市立静岡病院公表資料〕 ② 院内感染対策講習会【開催案内】 ③ 院内結核曝露事例について
2018年9月11日	第 276 回 ① 平成30年度 第1回 院内感染対策講習会 参加状況 ② 抗菌薬使用届出書のプログラム修正について

2018年10月9日	第 277 回 ① 抗菌薬使用届出書のプログラム修正完了について ② 平成30年度 第1回 院内感染対策講習会 参加状況(追加案内の結果) ③ EPINET 針刺し・切創集計(2018.4.1～2018.9.30) ④ EPINET 皮膚・粘膜汚染集計(2018.4.1～2018.9.30) ⑤ 平成30年度 相互訪問評価日程について ⑥ 輸液セットのバシラス汚染について ⑦ 手術センターにおける電気メスの滅菌について
2018年11月13日	第 278 回 ① 輸液セットのバシラス汚染について ② その他の汚染事例について ③ 平成30年度 相互訪問評価日程について ④ 平成30年度愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練(机上・伝達) ⑤ N95マスク/定量フィット試験について ⑥ 院内感染対策マニュアル改訂について ⑦ 院内職員のインフルエンザワクチン接種について
2018年12月11日	第 279 回 ① AST活動報告(2018.7～2018.9) ② シベクトロ点滴静注用200mgの抗菌薬使用届出制について ③ 2018-2019シーズン 院内インフルエンザワクチン接種状況 ④ 院内感染対策マニュアル改訂 ⑤ 平成30年度 医療監視について ⑥ 結核ハイリスク職員のIGRA(T-SPOT)検査の実施について ⑦ その他
2019年1月8日	第 280 回 ① インフルエンザ院内発生状況 ② 平成30年度 結核ハイリスク職員の健診結果について ③ 平成30年度 第2回 院内感染対策講習会 ④ 豊橋市保健所医療監視 -指摘事項について- ⑤ 未滅菌の電気メスコードを使用した可能性のある患者への対応について
2018年2月13日	第 281 回 ① 新生児医療センターにおけるRSウイルス発生報告 ② 平成30年度 第2回 院内感染対策講習会 参加状況 ③ 豊橋市保健所医療監視 指摘事項 ④ 平成31年度 年間スケジュールについて
2018年3月12日	第 282 回 ① 注射用抗菌薬使用量年次推移 ② 使用届出集計(抗MRSA薬)(2018.7～2018.12) ③ 使用届出集計(カルバペネム系)(2018.7～2018.12) ④ AST活動集計(2018.10～2018.12) ⑤ 平成31年度 年間スケジュールについて ⑥ 院内感染対策委員会名簿について ⑦ 豊橋市民病院 院内感染対策指針(案) ⑧ 感染症管理センター要綱(案) ⑨ 周術期予防抗菌薬(CEZ)代替案について

12. 脳死判定委員会

【未開催】

13. 救命救急委員会

日 付	内容等
2018年6月19日	第 134 回 ① 平成30年度 救命救急センター患者取扱状況 ② 救急外来待ち時間調査 ③ ヘリポート使用記録 ④ コードブルー ⑤ その他
2018年9月18日	第 135 回 ① 平成30年度 救命救急センター患者取扱状況 ② 救急外来待ち時間調査 ③ ヘリポート使用記録 ④ コードブルー ⑤ その他
2018年12月18日	第 136 回 ① 平成30年度 救命救急センター患者取扱状況 ② 救急外来待ち時間調査 ③ ヘリポート使用記録 ④ コードブルー ⑤ その他
2019年3月5日	第 137 回 ① 平成30年度 救命救急センター患者取扱状況 ② 救急外来待ち時間調査 ③ ヘリポート使用記録 ④ コードブルー ⑤ その他

13-1. 蘇生標準化部会

【未開催】

14. 集中治療室運営委員会

日 付	内容等
2018年6月19日	第 37 回 ① 集中治療室運営委員会報告
2018年9月18日	第 38 回 ① 集中治療室運営委員会報告
2018年12月18日	第 39 回 ① 集中治療室運営委員会報告
2019年3月5日	第 40 回 ① 集中治療室運営委員会報告

15. 診療材料選定委員

【未開催】

16. 手術センター運営委員会

日 付	内容等
2018年4月23日	2018年度 第 1 回 ① 平成29年度 第12回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(平成29年度手術件数、3月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 手術室内CO2配管の取り付け位置について ⑤ 手術予定表(4月～9月)の修正について ⑥ ゴールデンウィークに伴う手術申込み締切日の変更について -5月2日水曜日 午前10時締切- ⑦ その他
2018年5月28日	第 2 回 ① 平成30年度 第1回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(4月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 手術室内CO2配管の取り付け位置について ⑤ 手術センター男女更衣室の噴霧処理について ⑥ 手術中造影剤使用時の同意書について ⑦ その他
2018年6月25日	第 3 回 ① 平成30年度 第2回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(5月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 人工呼吸器インシデントについて ⑤ 硬膜外カテーテル使用方法について ⑥ 外科用イメージの取り扱いについて ⑦ 手術センター増設に伴う医療器械の購入について ⑧ 手術室内CO2配管の取付け工事日程について (予定:7/14～29の間の土日祝) ⑨ SSIサーベイランスについて ⑩ 消毒キットの試用について ⑪ 造影剤の同意書について ⑫ ハザードボックスの節約について ⑬ その他
2018年7月23日	第 4 回 ① 平成30年度 第3回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(6月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 造影剤(消化管)の同意書について ⑤ 感染性廃棄物にかかるコストについて ⑥ 手術センター増設に伴う医療器械の購入について ⑦ その他

2018年8月27日	第 5 回 ① 平成30年度 第4回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(7月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 平成31年度からの手術室予定表について ⑤ 年末年始の手術制限と申し込みについて ⑥ 麻酔器等の搬入・設置日程について ⑦ 院内及び手術センターに配置の超音波診断装置について ⑧ 平成31年度 医療器械・備品等予算要求書の提出について ⑨ 診療材料費のコスト削減について ⑩ SSIの入力について ⑪ 手術センター棟しゅん工式について(2019/2/21予定) ⑫ その他
2018年10月1日	第 6 回 ① 平成30年度 第5回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(8月手術件数等) ③ インシデント事例報告 ④ 手術記事の記載について ⑤ 院内産業廃棄物の処理について ⑥ 男女更衣室の噴霧処理について ⑦ 手術室予定表(2019年1月～)について ⑧ その他
2018年10月22日	第 7 回 ① 平成30年度 第6回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(9月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 手術室予定表2019年4月～(案)について ⑤ 電気メスのシングルユース化について ⑥ その他
2018年11月26日	第 8 回 ① 平成30年度 第7回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(10月手術件数等) ③ インシデント事例報告 ④ 手術センター予定表(案)(平成31年4月～)について ⑤ 平成31年度 手術センター配置予定の装置一覧について ⑥ その他
2018年12月17日	第 9 回 ① 平成30年度 第8回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(11月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 手術センター予定表(案)(平成31年4月～)について ⑤ 手術申し込み日の取り決めについて ⑥ 面談室移転改修工事について ⑦ 医療ガス停止について ⑧ その他
2019年1月28日	第 10 回 ① 平成30年度 第9回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(12月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 看護師遅番勤務の試行について ⑤ その他

2019年2月25日	第 11 回 ① 平成30年度 第10回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(1月手術件数等) ③ インシデント事例報告について ④ 検体取り扱いに関するお願い -病理検査室- ⑤ ラテックスアレルギー患者入室前の換気について ⑥ 手術センター棟 プレ稼動について ⑦ その他
2019年3月25日	第 12 回 ① 平成30年度 第11回手術センター運営委員会議事録について ② 定例報告について(2月手術件数等) ③ インシデント事例報告(2月分) ④ その他

17. 医療器械・備品機種選定委員会

日 付	内容等
2018年6月4日	2018年度 第 1 回 ① 超音波血流量計 (成人心臓外科)
2018年6月11日	第 2 回 ① 胚動画撮影・保存・解析システム (産婦人科:生殖医療)
2018年6月25日	第 3 回 ① MRI超音波融合画像診断システム (泌尿器科)
2018年7月30日	第 4 回 ① 内視鏡用超音波観測装置 (消化器内科) ② 血管撮影装置 (手術センター) ③ 手術台システム (手術センター)
2018年8月6日	第 5 回 ① 手術台システム(仕様書見直し) (手術センター)
2018年9月3日	第 6 回 ① 波形保存システム (臨床工学室)
2018年9月10日	第 7 回 ① 波形保存システム(第2回目) (臨床工学室) ② 手術環境統合システム (手術センター) (ダヴィンチ手術室・内視鏡手術室) ③ 手術環境統合システム (手術センター) (ハイブリッド手術室)
2018年11月5日	第 8 回 ① 手術部門システム (医療情報課) ② 手術画像録画・配信システム (医療情報課)
2018年11月19日	第 9 回 ① 患者監視装置(生体情報モニタ) (小児科:新生児) ② 閉鎖式保育器 (小児科:新生児)
2018年12月10日	第 10 回 ① 輸液ポンプ (臨床工学室)
2019年1月28日	第 11 回 ① 超音波診断装置 (放射線技術室) ② 超音波診断装置 (産婦人科) ③ 人工心肺装置 (臨床工学室)
2019年3月18日	第 12 回 ① 放射線治療計画装置 (放射線科)

18. 図書委員会

日 付	内容等
2018年8月30日	2018年度 第 1 回 ① 平成29年度の決算報告について ② 平成30年度の予算執行状況について ③ 雑誌の変更について ④ 雑誌の廃棄について ⑤ 外国雑誌の電子化について ⑥ 医中誌Webプラン変更の提案について ⑦ New England Journal of Medicineの正規購入について ⑧ nature.com Completeについて

19. 研修委員会

日 付	内容等
2018年5月23日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 研修委員会名簿について ② 平成30年度 オリエンテーション評価について ③ 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会について(報告) ④ 平成29年卒 研修医の評価について ⑤ 平成28年卒 研修医(修了者)の指導環境評価について ⑥ 平成30年度の取り組みについて ⑦ その他
2018年10月3日	第 2 回 ① 研修医の評価について ② 医学部学生見学におけるアンケート集計について ③ 平成30年度の取り組みについて ④ その他
2019年2月27日	第 3 回 ① 平成29年卒 研修医の評価等について ② 平成30年卒 研修医評価について ③ 研修医の時間外について ④ 指導者ミーティングについて ⑤ 平成31年度 研修委員会について ⑥ 平成31年度 オリエンテーションについて ⑦ その他

19-1. 研修医評価部会

日 付	内容等
2018年9月10日	2018年度 第 1 回 ① 研修医の評価について
2018年9月27日	第 2 回 ① 研修医の評価について
2018年10月24日	第 3 回 ① 研修医の評価について

20. 研修管理委員会

日 付	内容等
2018年7月11日	2018年度 第 1 回 ① 委員長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会について(報告) ④ 平成29年卒 研修医(2年次)について ⑤ 平成30年卒 研修医(1年次)について ⑥ 平成28年卒研修医(修了者)指導環境評価について ⑦ 平成30年度の取り組みについて ⑧ 平成31年度採用 初期臨床研修医選考について ⑨ 平成30年度 研修委員会 委員について ⑩ 平成30年度 研修管理委員会開催日程について
2018年11月28日	第 2 回 ① 院長あいさつ ② 研修医による研修状況説明 ③ 平成31年度採用初期臨床研修医 マッチング結果について ④ 平成29年卒 研修医(研修医2年次)について ⑤ 平成30年卒 研修医(研修医1年次)について ⑥ 今年度の取り組みについて ⑦ 平成32年度 臨床研修制度一部改正について
2019年3月13日	第 3 回 ① 院長あいさつ ② 研修医リーダーによる研修状況説明 ③ 平成29年卒研修医の評価等について ④ 平成30年卒研修医評価について ⑤ 平成31年度 当院の研修理念と基本方針について ⑥ 研修医の時間外について ⑦ 指導者ミーティングについて ⑧ 平成31年度 オリエンテーションについて ⑨ 平成31年度 委員会予定について ⑩ その他

21. 安全衛生委員会(労働安全)

日 付	内容等
2018年4月26日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 市民病院安全衛生管理体制について ② 4月の実施状況について ③ 5月の実施目標について ④ 平成29年度事業及び活動報告 ⑤ 平成30年度 市民病院交通事故削減目標について ⑥ 交通事故撲滅キャンペーンについて ⑦ その他(災害発生状況等)
2018年5月31日	第 2 回 ① 5月の実施状況について ② 6月の実施目標について ③ 平成29年度事業及び活動報告について(未報告分) ④ 「交通安全標語」募集について ⑤ その他(災害発生状況等)
2018年6月30日	第 3 回 ① 6月の実施状況について ② 7月の実施目標について ③ 「交通安全に関する標語」優秀作品の選考について ④ 平成29年度 1回目 労働基準監督署への報告書について ⑤ 平成30年度 新レク募集結果と内容検討について ⑥ その他(災害発生状況等)
2018年7月26日	第 4 回 ① 7月の実施状況について ② 8月の実施目標について ③ ストレスチェック検査の実施について ④ 新院内レクリエーションについて ⑤ その他(災害発生状況等)
2018年8月23日	第 5 回 ① 8月の実施状況について ② 9月の実施目標について ③ ストレスチェック関係について ④ その他(災害発生状況等)
2018年9月28日	第 6 回 ① 9月の実施状況について ② 10月の実施目標について ③ 院内インフルエンザワクチン接種について ④ 交通事故削減に向けて(案) ⑤ 協会けんぽにおける特定保健指導の受診について ⑥ その他(災害発生状況等)
2018年10月25日	第 7 回 ① 10月の実施状況について ② 11月の実施目標について ③ 作業環境測定結果報告について ④ 院内インフルエンザワクチン接種について ⑤ 交通事故削減に向けて ⑥ 額縁の落下対策について検討 ⑦ その他(災害発生状況等)

2018年11月29日	第 8 回 ① 11月の実施状況について ② 12月の実施目標について ③ 結核感染検査(Tスポット)におけるハイリスク部署対象者について ④ 巡視時の情報共有 ⑤ 長時間勤務者状況一覧 ⑥ 平成30年度 8月開催健康講座アンケート結果 ⑦ その他(災害発生状況等)
2018年12月27日	第 9 回 ① 12月の実施状況について ② 1月の実施目標について ③ 院内額縁撤去とラミネート加工のお願いについて ④ その他(災害発生状況等)
2019年1月24日	第 10 回 ① 1月の実施状況について ② 2月の実施目標について ③ ハイリスク部署結核感染検査(Tスポット)の実施 ④ VDT健診の実施について ⑤ 額縁対策に関する検討事項 ⑥ ハラスメントに関する現状と対策について ⑦ 働き方改革に伴う長時間勤務者把握と、有給取得に関して ⑧ 平成29年度 2回目 労働基準監督署への報告書について ⑨ その他(災害発生状況等)
2019年2月28日	第 11 回 ① 2月の実施状況について ② 3月の実施目標について ③ ストレスチェック関係について ④ ハラスメント対策に関して ⑤ 額縁対策の管理課案について ⑥ 平成31年度 職員健康講座案 ⑦ 長時間勤務の対応に関して ⑧ 平成31年度 ワクチン事業について ⑨ 来年度院内レクリエーションについて ⑩ その他(災害発生状況等)
2019年3月28日	第 12 回 ① 3月の実施状況について ② 平成31年度 市民病院安全衛生委員会年間計画について ③ 4月の実施目標について ④ 院内レクリエーション募集について ⑤ 院内職員駐車場巡視状況について ⑥ 額縁安全対策の実施について ⑦ 平成31年度 ストレスチェックに関して ⑧ その他(災害発生状況等)

22. 教育・研究委員会

【未開催】

23. 省エネルギー推進委員会

日 付	内容等
2019年3月11日	2018年度 第 1 回 ① 運用改善型省エネ支援サービスの実績報告 （平成30年度のエネルギー使用量報告など） ② 照明設備LED化の実績と計画について ③ ESCO事業について

24. 情報セキュリティ委員会

日 付	内容等
2018年6月25日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 情報セキュリティ強化支援業務の実施について ② 平成30年度 情報セキュリティ研修の実施について ③ 情報セキュリティアクシデント及びインシデントの発生状況について
2018年12月17日	第 2 回 ① 情報セキュリティ研修(管理者向け) ② 平成30年度 情報セキュリティ内部監査の実施について ③ 情報セキュリティポリシーの見直しについて ④ 疑似メールの送付について
2019年3月11日	第 3 回 ① 情報セキュリティポリシー等の遵守状況について 点検の結果 疑似メール訓練の結果 内部監査の結果 手順書の改定案 今後の取り組み ② 情報セキュリティ等発生状況について

25. 医療情報委員会

日 付	内容等
2018年8月24日	2018年度 第 1 回 ① 今年度開発案件について ② 電子保存に関する運用管理規程等の改正について ③ 会計表示盤の増設について ④ 院内グループウェアの更新について ⑤ その他
2018年12月13日	第 2 回 ① 本年度開発案件 ② 来年度開発予算 ③ 病理検査報告書の未確認について ④ 病院総合情報システムの監査について

26. 診療記録管理委員会

日 付	内容等
2018年6月22日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 第1回診療記録監査 結果報告について ② 平成30年度 紙カルテの廃棄・XPの売却について ③ 定期報告 ④ その他
2018年9月28日	第 2 回 ① 平成30年度 第2回診療記録監査 結果報告について ② 定期報告 ③ その他
2019年3月8日	第 3 回 ① 平成30年度 第3回診療記録監査 結果報告について ② 診療記録監査実施要領の改正について ③ 来年度の診療記録監査実施計画及び委員について ④ 診療記録管理室業務手順書の改正について ⑤ 指導医承認におけるコメントの表示について ⑥ その他

27. 医師事務作業軽減委員会

日 付	内容等
2018年4月24日	2018年度 第 1 回 ① 医師事務作業補助者の現状報告 (1) ドクタークラーク (2) 外来クラーク ② 医師事務作業補助者業務計画書について (1) 医師事務作業補助者の増員 (2) 書類作成等 (3) データ症例登録等 (4) 次回診察予約(変更)の入力 (5) 処置オーダー(診療情報提供料)の入力

28. がん診療委員会

日 付	内容等
2019年3月22日	第 11 回 ① 地域がん診療連携拠点病院の指定更新について ② 各部会からの報告事項 がん登録部会、がん教育部会、化学療法部会、緩和ケア・相談支援部会 ③ がん診療委員会パス部会の設置について ④ ピアサポート事業及びがん患者サロンの実績報告 ⑤ 平成31年度のがん患者サロンの開催について

28-1. がん登録部会

【未開催】

28-2. がん教育部会

日 付	内容等
2019年3月5日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度の教育セミナーの実施状況について ② 平成31年度以降の教育セミナーについて ③ 薬物専門医の養成について

平成30年度豊橋がん診療フォーラム

日 付	内容等
2018年5月17日	第 65 回／参加人数 66人 ① 手作りのサイコオンコロジー ② 当院の免疫チェックポイント阻害薬
2018年7月19日	第 66 回／参加人数 85人 ① 胃癌術後の補助化学療法と栄養サポートの重要性 ② 胃切除術後に経口摂取不良となった患者への多職種が連携した関わり
2018年9月6日	第 67 回／参加人数 43人 ① 臨床研究法とその対応 ② 骨髄異形成症候群に合併したランゲルハウス細胞肉腫の一例
2018年11月17日	第 68 回／参加人数 57人 ① 進行肝細胞癌に対する分子標的治療薬の現状と今後の展望 ② 造影超音波検査による肝腫瘍の質的診断
2019年3月14日	第 69 回／参加人数 72人 ① 多発性骨髄腫の病態と最新の治療戦略 ② 転倒への不安を強く認めた患者への作業療法介入
参加人数計 323人	

28-3. 化学療法部会

日 付	内容等
2018年5月9日	2018年度 第 1 回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 PDCAサイクルについて 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況
2018年7月11日	第 2 回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 PDCAサイクルについて 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況
2018年9月12日	第 3 回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 月別データ ③ 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 ④ 外来治療センター 化学療法患者数 ⑤ 抗がん剤調製本数推移 ⑥ その他 PDCAサイクルについて 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況 外来治療センター 予約時間別患者数 調剤状況確認の電話状況
2018年11月14日	第 4 回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 治療実績 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 時間外オーダー入力件数(外来処方) 締切り後のオーダー入力件数(入院処方) ③ PDCAサイクル(B型肝炎再活性化への対策) ④ 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況 ⑤ その他 入院オーダーしかできないレジメンについて(当院採用CDDPレジメン) ⑥ 平成30年度がん診療委員会化学療法部会名簿

2019年1月9日	第 5 回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 治療実績 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル (B型肝炎再活性化への対策) 時間外オーダー入力件数(外来処方) 締切り後のオーダー入力件数(入院処方) ④ 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況 ⑤ その他 MSI - H(マイクロサテライト不安定性)の検査とペムブロリズマブの適用について 免疫チェックポイント阻害薬を使用している患者が救急外来を受診した時の対応について ゴールデンウィークの外来治療センター運用について 希望科:一般外科、消化器内科、血液・腫瘍内科、産婦人科、脳神経外科
2019年3月13日	第 6 回 ① 前回議事録の確認 ② 外来治療センター 治療実績 月別集計表 外来治療センター 治療実績 外来治療センター 曜日別集計表 外来治療センター 希望日以外の予約件数 外来治療センター 1日平均治療件数 外来治療センター 月別治療件数 外来治療センター 時間外オーダー一覧表 外来治療センター 化学療法患者数 抗がん剤調製本数推移 ③ PDCAサイクル(B型肝炎再活性化への対策) 時間外オーダー入力件数(外来処方) 締切り後のオーダー入力件数(入院処方) ④ 入院化学療法予定患者のオーダー入力状況 ⑤ その他 ゴールデンウィーク(4/30(火)、5/3(金))の外来治療センター運用のお知らせ) 化学療法中の患者の診察時の注意 新規検査項目(委託検査)について

28-4. 緩和ケア部会

日 付	内容等
2018年4月25日	2018年度 第 1 回 ①「緩和ケア研修会」について ② 緩和ケアチームの活動について ③ 平成29年度の緩和ケア関係実施状況
2018年8月22日	第 2 回 ①「緩和ケア・相談支援部会」への改編について ② がん診療連携拠点病院の整備指針について ③ 緩和ケア研修会について ④ がん相談支援センターの業務について ⑤ 意思決定支援(ACP)の提供体制について

29. 保険診療委員会・DPCコーディング委員会

日 付	内容等
2018年5月16日	第 145 回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 (査定実例):PET-CT、オブジーボ (返戻実例):不適切病名 『副作用チェックのために「PT、APTT」検査を実施』ボタンの活用について 連絡文書について 平成29年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2018年7月18日	第 146 回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 (返戻実例):救急医療管理加算1→2へ 連絡文書について 初診料算定ルールの変更について 平成30年度 退院患者包括／出来高比較推移 他病院のDPCと出来高点数の比較について ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について DPC詳細不明病名チェックにおける事例

2018年9月19日	第 147 回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 (査定事例) (誤った査定から学んだ事例) (返戻事例):不適切病名 連絡文書について 初診料の算定ルール(案) 平成30年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2018年11月21日	第 148 回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 (返戻事例) 平成30年度 退院患者包括／出来高比較推移 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2019年1月16日	第 149 回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 (返戻事例):頭部MRIの算定について 入院しなかった理由について 平成30年度 退院患者包括／出来高比較推移 初診料の算定ルールについて ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について
2019年3月19日	第 150 回 ① 前回議事録の確認について ② 査定の状況について ③ その他 (返戻事例):インフルエンザに関するもの 経気管肺生検法の算定について 平成30年度 退院患者包括／出来高比較推移 初診料の算定ルールについて 保険診療に関する講習会参加状況 ④ DPCコーディング委員会 DPCコーディング事例報告について DPCコーディングルールより

30. クリニカル・パス委員会

【未開催】

31. 健康診断事業運営委員会

【未開催】

32. 患者総合支援センター運営委員会

日 付	内容等
2018年6月20日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 新委員の紹介 ② 平成29年度の実績報告 ③ 平成30年度 患者総合支援センターの取り組み ④ 患者サポート体制充実加算における当センターと他部門との連携について ⑤ Bridge Vol.4について ⑥ 平成30年度患者総合支援センターセミナー及び介護関係事業所との交流会の開催について
2018年9月20日	第 2 回 ① 業務報告 ② 患者総合支援センター部門管理について ③ ACP(アドバンスケアプランニング)ワーキングについて ④ 平成30年度 第2回患者総合支援センターセミナーについて
2018年12月21日	第 3 回 ① 業務報告 ② 患者サポート体制加算における患者支援に係る取組みについて ③ 組合事務所(旧第7会議室)の跡地利用について ④ 平成30年度 第3回患者総合支援センターセミナーについて
2019年3月14日	第 4 回 ① 平成32年度 機構改革について ② 患者総合支援センター工事について ③ 加算算定実績について ④ 入退院業務支援システムについて

33. 虐待対策委員会

日 付	内容等
2018年12月13日	2018年度 第 1 回 ① 虐待対策委員会 委員について ② 平成30年度 虐待通告の実績 ③ 今年度の取組み ④ 児童虐待対策講演会について

34. 退院調整検討委員会

病棟ラウンド 180回開催

35. 呼吸療法運営委員会

日 付	内容等
2018年6月13日	第 15 回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の委員会名簿とRSTチーム名簿について ③ RST活動報告 ④ 人工呼吸器使用状況からの報告 ⑤ 呼吸ケアチーム加算算定実績について ⑥ 平成30年度 RST活動計画(案) ⑦ 人工呼吸器設定変更へ看護師の関わり方について ⑧ 平成30年度 RST教育講演会開催について
2019年2月27日	第 16 回 ① 前回議事録の確認 ② RST活動のまとめ ③ 人工呼吸器使用状況からの報告 ④ 呼吸ケアチーム加算算定実績について ⑤ MRI対応搬送用人工呼吸器について(保管場所と使用後の点検管理) ⑥ 呼吸器回路の変更について

36. 医療安全管理委員会・リスクマネジメント部会

日 付	内容等
2018年4月5日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度委員会委員について ② 平成30年2月分 インシデント報告について ③ 平成29年度 重点目標の達成度調査結果 ④ 平成30年度 年間計画について ⑤ 医療安全管理の動向について ⑥ その他
2018年5月10日	第 2 回 ① 平成30年3月分 インシデント報告について ② 平成29年度 インシデント年間集計について ③ 平成30年度 重点目標について ④ 平成30年度 院内安全ラウンドについて ⑤ 医療安全管理の動向について ⑥ その他
2018年6月7日	第 3 回 ① 平成30年4月分 インシデント報告について ② リスクマネジメント講習会(薬剤)の開催について ③ 医療安全管理の動向について ④ その他
2018年7月5日	第 4 回 ① 平成30年5月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2018年8月2日	第 5 回 ① 平成30年6月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2018年9月6日	第 6 回 ① 平成30年7月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ 内部監査について ④ その他
2018年10月4日	第 7 回 ① 平成30年8月分 インシデント報告について ② 内部監査の結果について ③ 医療安全管理の動向について ④ その他
2018年11月1日	第 8 回 ① 平成30年9月分 インシデント報告について ② 平成30年度上半期(4月～9月)インシデント集計について ③ 医療安全管理の動向について ④ その他
2018年12月6日	第 9 回 ① 平成30年10月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他

2019年1月10日	第 10 回 ① 平成30年11月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2019年2月7日	第 11 回 ① 平成30年12月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他
2019年3月7日	第 12 回 ① 平成31年1月分 インシデント報告について ② 医療安全管理の動向について ③ その他

医療安全研修会の実施

日 付	内容等	受講者数
2018年7月10日	リスクマネジメント講習会 「注射薬・抗がん薬について」	159人
2018年7月17日	リスクマネジメント講習会 「処方薬・麻薬について」	167人
2018年9月12日	医療安全講習会第1回 「職員間のコミュニケーション」	220人
2018年9月20日	リスクマネジメント講習会 「電気設備・ライフライン」	120人
2018年9月21日	リスクマネジメント講習会 「電気設備・ライフライン」	143人
2018年10月23日	リスクマネジメント講習会 「医療被ばく低減・MRIに潜む危険性」	174人
2018年11月8日	リスクマネジメント講習会 「基礎から見直す呼吸療法・酸素療法」	234人
2018年11月19日	リスクマネジメント講習会 「もうこわくない 輸液ポンプ・シリンジポンプ」	230人
2019年1月29日	医療安全講習会第2回 「今、当院で何が起きているか!？」	226人
2019年2月12日	医療安全講習会第2回 「今、当院で何が起きているか!？」	109人

37. 医療機器安全管理委員会・透析機器安全管理部会

日 付	内容等
2019年3月6日	2018年度 医療機器安全管理委員会 ① 平成30年度 医療機器保守実施報告 ② 平成30年度 医療機器研修実施報告 ③ 平成30年度 AED使用状況報告 ④ 平成31年度 医療機器研修・保守管理計画案について ⑤ 単回使用機器の再滅菌申請件数確認 ⑥ 平成30年度PMDA報告事例 ⑦ AEDキャビネットアラームについて ⑧ その他

37-1. 透析機器安全管理部会

日 付	内容等
2018年8月29日	第13回 透析機器安全管理部会(血液浄化センター) ① 平成30年度 透析機器安全管理部会委員確認 ② 平成30年度 水質管理、細菌検査報告(平成30年度上半期) ③ 平成30年度 透析機器管理報告 ④ 医療機器異常報告 ⑤ その他
2019年2月20日	第14回 透析機器安全管理部会(血液浄化センター) ① 平成30年度 水質管理・細菌検査報告(平成30年度下半期) ② 平成31年度 水質管理に関する予定報告(平成31年度計画) ③ 平成30年度 透析機器管理報告 更新対象機器報告 ④ 平成30年度 更新機器更新計画 ⑤ 平成31年度 予算機器更新計画 ⑥ その他 平成31年度透析機器点検予定

38. 栄養管理委員会

日 付	内容等
2018年5月23日	第 27 回 ① 平成30年度栄養管理委員会名簿について ② 平成29年度食事アンケートの結果について ③ 病院給食改善会議、検討項目集計について
2018年11月7日	第 28 回 ① ペプタメンスタンダード(消化態栄養剤・食品)の採用依頼について ② 栄養指導実績について ③ 医師の検食実施状況と実施依頼について ④ その他:たんぱくゼリーの終売、メイバランスカップゼリーへの切換えについて
2019年2月6日	第 29 回 ① 平成30年度 患者満足度調査(入院中の食事)の結果について ② 平成30年度 食事アンケート調査について ③ 病院給食改善会議、検討項目集計について ④ 栄養指導について

39. NST運営委員会

日 付	内容等
2018年5月9日	第 35 回 ① 平成30年度 NST運営委員会名簿について ② 平成29年度 NST活動実績について ③ 栄養管理計画書について ④ 栄養サポートチーム加算について ⑤ 平成30年度 NST教育カリキュラムの実施について ⑥ NST年間計画について
2019年3月7日	第 36 回 ① 栄養管理計画書について ② 栄養サポートチーム加算について ③ NST教育カリキュラムの実施について

NST定期教育講演会

日 付	内容等
2018年4月20日	第 138 回 口から食べる幸せをサポートする包括的支援スキル -地域連携における急性期医療の役割- 講師 小山珠美(看護師) (NPO法人口から食べる幸せを守る会 理事長)
2018年5月16日	第 139 回 臨床検査値の見方について 講師 榊原沙知(中央臨床検査室) NST回診依頼について 講師 藤崎順子・田中多久美(看護局)
2018年6月21日	第 140 回 当院の輸液製剤について 講師 坂部米治(薬局) 当院の患者食について 講師 藤田克宣(栄養管理室)
2018年9月19日	第 141 回 経皮経食道胃管挿入術(PTEG／ピーテグ)の必要性和管理のコツ 講師 大石英人(独立行政法人国立病院機構 村山医療センター 外科部長)
2018年10月17日	第 142 回 NST(チーム医療)について 講師 柴田佳久(肛門外科部長兼一般外科第二部長)
2019年1月16日	第 143 回 栄養食事指導の取組みと治療食について 講師 藤田克宣(栄養管理室) DPC(包括医療)について、経腸栄養剤について、栄養食事指導料について 講師 山本晃士(医事課)
2019年2月20日	第 144 回 ※褥瘡勉強会と共催 褥瘡と栄養 講師 小池公子(栄養管理室) 褥瘡の治療(薬剤) 講師 菰田容子(薬局)

40. 褥瘡対策委員会

日 付	内容等
2018年6月7日	第 34 回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の要綱等について ③ 昨年度の褥瘡発生・治療の実績について ④ 今年度の活動計画について
2019年3月15日	第 35 回 ① 前回議事録の確認 ② 今年度の褥瘡発生・治療の実績について ③ 褥瘡対策チーム活動のまとめについて

41. 薬事委員会

日 付	内容等
2018年5月30日	2018年度 第 1 回 ① 前回議事録について報告 ② 試用薬品5品目について審議 ③ 試用薬品15品目について審議 ④ 変更薬品について ⑤ 中止薬品について ⑥ その他
2018年6月27日	臨時 ① 採用薬品7品目について審議 ② 後発医薬品への変更について審議 ③ その他
2018年8月29日	第 2 回 ① 前回議事録について報告 ② 採用薬品24品目について審議 ③ 試用薬品10品目について審議 ④ 変更薬品について審議 ⑤ 中止薬品について審議 ⑥ その他
2018年9月26日	臨時 ① 採用薬品5品目について審議 ② 後発医薬品への変更について審議 ③ その他
2018年11月28日	第 3 回 ① 前回議事録について報告 ② 試用薬品3品目について審議 ③ 試用薬品13品目について審議 ④ 変更薬品について審議 ⑤ 中止薬品について ⑥ その他

2019年1月30日	臨時 ① 採用薬品8品目について審議 ② 後発医薬品への変更について審議 ③ 中止薬品について ④ その他
2019年2月27日	第 4 回 ① 前回議事録について報告 ② 新規採用薬品41品目について審議 ③ 新規試用薬品4品目について審議 ④ 変更薬品について審議 ⑤ 中止薬品について審議 ⑥ その他
2019年3月20日	臨時 ① 新規採用薬品4品目について審議 ② 規格変更薬品について審議 ③ 中止薬品について審議 ④ その他

42. 治験審査委員会

日 付	内容等
2018年5月30日	2018年度 第 1 回 ① 前回議事録について報告 ② 平成29年度 治験・フェイズⅣ実施状況の報告 ③ 初回審議 ④ 安全性に係る報告 ⑤ 重篤な有害事象に関する報告 ⑥ 治験実施計画の変更 ⑦ 治験実施状況の報告 ⑧ 終了治験の報告 ⑨ 治験迅速審査の報告 ⑩ 迅速審査の報告(13件)
2018年6月27日	第 2 回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 治験迅速審査の報告 ⑦ 開発中止等の報告 ⑧ 治験実施状況の報告(当日追加) ⑨ 迅速審査の報告(5件)
2018年8月29日	第 3 回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 治験実施状況の報告 ⑦ 迅速審査の報告(15件) ⑧ その他(GPSP省令の改正と製造販売後調査等について(当日追加))
2018年9月26日	第 4 回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 終了治験の報告 ⑦ 治験迅速審査の報告 ⑧ 迅速審査の報告(7件)
2018年11月28日	第 5 回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 治験実施計画の変更 ⑤ 治験実施状況の報告 ⑥ 治験終了の報告 ⑦ 治験迅速審査の報告 ⑧ 開発中止の報告 ⑨ 製造販売後調査迅速審査の報告(20件) ⑩ その他(初回審議時等の治験依頼者の出席について承認された)

2019年1月30日	第 6 回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 治験実施状況の報告 ⑦ 製造販売後調査迅速審査の報告(20件)
2019年2月27日	第 7 回 ① 前回議事録について報告 ② 初回審議 ③ 安全性に係る報告 ④ 重篤な有害事象に関する報告 ⑤ 治験実施計画の変更 ⑥ 製造販売後調査迅速審査の報告(3件)
2019年3月20日	第 8 回 ① 前回議事録について報告 ② 安全性に係る報告 ③ 重篤な有害事象に関する報告 ④ 治験実施計画の変更 ⑤ 治験実施状況の報告 ⑥ 終了治験の報告 ⑦ 治験迅速審査の報告 ⑧ 製造販売後調査迅速審査の報告(11件)

43. 輸血療法委員会

日 付	内容等
2018年4月17日	第 142 回 ① 前回議事録確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 廃棄率集計 ④ RBC、FFP、ALBの年度別使用量及び廃棄率の推移 ⑤ 輸血副作用集計 ⑥ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例及びクリオプレシピテート使用状況 ⑦ 副作用発生時の運用について ⑧ 輸血関連同意書について ⑨ 委員の確認 ⑩ その他
2018年6月19日	第 143 回 ① 前回議事録確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 輸血副作用集計 ④ 廃棄率集計 ⑤ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例及びクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 輸血オーダ機能強化 ⑦ 委員について ⑧ その他

2018年8月21日	第 144 回 ① 前回議事録確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 輸血副作用集計 ④ 廃棄率集計 ⑤ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例及びクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 自己血MAP採血について ⑦ その他
2018年10月16日	第 145 回 ① 前回議事録確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 輸血副作用集計 ④ 廃棄率集計 ⑤ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例及びクリオプレシピテート使用状況 ⑥ インシデント報告 ⑦ CMV〈サイトメガロウイルス〉陰性血の運用 ⑧ 血液製剤搬送装置の運用案(救急外来) ⑨ その他
2018年12月18日	第 146 回 ① 前回議事録確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 輸血副作用集計 ④ 廃棄率集計 ⑤ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例及びクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 輸血機能強化実施報告(12月11日実施) ⑦ 血液搬送装置使用状況報告 ⑧ その他
2019年2月19日	第 147 回 ① 前回議事録確認 ② RBC、FFP、ALBの使用量推移と輸血管理料 ③ 輸血副作用集計 ④ 廃棄率集計 ⑤ 製剤の大量使用・ノークロス依頼事例及びクリオプレシピテート使用状況 ⑥ 臨床輸血看護師制度研修報告 ⑦ 血液型『型保留』の場合の輸血オーダー方法 ⑧ 審議事項 ⑨ 委員の変更について ⑩ その他

44. 臨床検査連絡委員会

日 付	内容等
2018年6月26日	2018年度 第 1 回 1. 定期報告事項 (1) 委員名簿 確認 (2) 第45回臨床検査連絡委員会 議事録 (3) 検査実施状況について (4) 平成30年度 機器更新について 2. 報告および協議事項 (1) 平成30年度新規業務について ① ゲノム診療センターとの関わり ② 病棟・外来採血室の立ち上げ (2) 「新規自費検査登録申請書」の運用について (3) 解剖結果の確認・連絡方法について(運営会議にて報告済) (4) 国際標準検査管理加算 (ISO15189認定) 取得について (5) その他各科からの要望

45. 剖検・CPC委員会

日 付	内容等
2018年5月16日	2018年度 第 1 回 ① 新委員会メンバーについて ② 平成29年度解剖数について ③ 解剖承諾書について ④ 慰霊祭について ⑤ CPCの運用について ⑥ その他

46. 放射線技術室連絡委員会

日 付	内容等
2019年3月26日	第 25 回 ① CT3(救急CT)の運用について ② 平成31年度更新X線TV装置の選定について ③ その他

47. リハビリテーションセンター運営委員会

日 付	内容等
2018年9月21日	2018年度 第 1 回 ① 退院時リハビリテーション指導について ② 西3病棟における早期離床リハビリテーション加算取得について ③ その他

48. 放射線安全委員会

日 付	内容等
2018年6月18日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 放射線安全委員について ② 平成29年度 従事者登録と教育および健康診断の実施報告 ③ 平成29年度 管理状況報告書の提出について ④ 平成30年度 保管線源の登録について ⑤ 放射線障害防止法改正の概要及び今後のスケジュールについて ⑥ 治療用照射装置(X線)の出力線量測定結果についての報告 ⑦ 放射線業務従事者の受ける眼の水晶体の等価線量限度の見直し

49. PET診療放射線安全委員会

日 付	内容等
2018年6月18日	2018年度 第 1 回 ① PET件数検査の状況および安全管理について

50. 医療ガス安全・管理委員会

日 付	内容等
2019年3月15日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度 医療ガス設備保守点検の結果について ② 液化酸素ガスの保有数量の状況について ③ 医療ガス工事に関する工事について ④ 平成31年度 委員及び実施責任者の選任について ⑤ その他

51. 豊橋市医師会・豊橋市民病院病診連携協議会

【V 診療業務概要 活動報告 患者総合支援センターに記載】

52. 地域医療支援委員会

日 付	内容等
2018年5月10日	2018年度 第 1 回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成29年度 紹介率逆紹介率の状況 平成29年度の地域連携登録医の状況 平成29年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成29年度の地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績 平成30年度地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修計画 ② 地域医療連携ネットワークシステム運用開始について ③ その他
2018年8月9日	第 2 回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成30年度 紹介率逆紹介率の状況 平成30年度の地域連携登録医の状況 平成30年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成30年度の研修実績計画について ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について ③ その他
2018年11月1日	第 3 回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成30年度 紹介率逆紹介率の状況 平成30年度の地域連携登録医の状況 平成30年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成30年度の研修実績計画について ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について
2019年2月14日	第 4 回 ① 地域医療支援病院の取り組み状況について 平成30年度 紹介率逆紹介率の状況 平成30年度の地域連携登録医の状況 平成30年度の地域連携登録医による共同利用等の状況 平成30年度の研修実績計画について ② 豊橋市民病院からの情報提供事項について ③ その他 次年度委員の選出及び委員会開催日程について

52-1. 共同利用運営委員会

【未開催】

52-2. 地域医療従事者研修委員会

【未開催】

53. 総合周産期母子医療センター運営委員会

日 付	内容等
2018年4月27日	2018年度 第 1 回 ① 委員会設置要綱及び委員名簿 ② 2017年度総合周産期母子医療センター活動状況 ③ 症例検討 ④ その他(バースセンター症例、周産期医療の体制構築に係る指針)
2018年8月24日	第 2 回 ① 委員会設置要綱及び委員名簿 ② 2018年4月～7月度総合周産期母子医療センター活動状況 ③ 症例検討 ④ その他(バースセンター症例)
2018年12月14日	第 3 回 ① 2018年4月～10月度総合周産期母子医療センター活動状況 ② 症例検討 ③ その他(バースセンター症例)

54. 認知症対策委員会

日 付	内容等
2018年5月15日	2018年度 第 1 回 ① 認知症対策委員会と認知症サポートチームのメンバー変更について ② 年間事業計画 ③ 認知症サポートチームラウンド年次推移について ④ 平成29年度 認知症サポートチームラウンド実績について ⑤ 平成29年度 院内デイケア報告と今後の運用について ⑥ 認知症研修会について ⑦ その他
2018年10月16日	第 2 回 ① 認知症対応マニュアル改訂について ② 認知症サポートチーム実績報告 ③ 今年度の認知症研修会報告と今後の研修予定について ④ その他

55. 臓器提供運営委員会

日 付	内容等
2018年6月19日	2018年度 第 1 回 ① 愛知県施設内移植情報担当学会議の状況報告 ② 第521例目の脳死下臓器提供手術の検証 ③ ポテンシャルドナーの事例報告
2018年9月18日	第 2 回 ① 愛知県施設内移植情報担当学会議の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告 ③ 脳死下臓器提供症例院内報告会の検討 ④ ドナー適応評価チェックシートの検討 ⑤ 摘出チーム派遣の検討
2018年12月18日	第 3 回 ① 愛知県施設内移植情報担当学会議の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告 ③ 脳死下臓器提供症例院内報告会の実施報告
2019年3月19日	第 4 回 ① 愛知県施設内移植情報担当学会議の状況報告 ② ポテンシャルドナーの事例報告 ③ 平成31年度事業計画(案)

56. ハラスメント防止対策委員会

日 付	内容等
2018年6月18日	2018年度 第 1 回 ① 平成30年度に発生した苦情事案について ② 相談方法の周知について ③ その他(委員会開催時期について等)
2019年3月7日	ハラスメント防止研修

57. 糖尿病対策委員会

日 付	内容等
2018年6月7日	第 3 回 ① 協議事項について 血糖管理システムの構築と運用について 糖尿病看護実践ガイドブック(仮称)について 糖尿病テキストの改訂について ② 報告事項について 前回議事録 30年度の委員会運営要綱及びチーム運営要領 30年度 糖尿病週間イベントについて 東海糖尿病治療研究会「第32回糖尿病患者教育担当者セミナー」の準備状況について
2019年1月31日	第 4 回 ① 報告事項について 第32回糖尿病患者教育担当者セミナーについて 第33回糖尿病患者教育担当者セミナーについて 平成30年度 糖尿病週間について 電子カルテ インスリンシステムの進捗状況 糖尿病看護実践ガイドブック(仮称)について ② 協議事項について 糖尿病教室の運営メンバーについて 簡易血糖測定器の新機種選定について ③ その他 次回委員会開催日程について

58. 血液浄化センター運営委員会

日 付	内容等
2018年12月6日	第 3 回 ① 近隣病院の運営状況について ② 平成30年度 診療報酬改定が血液浄化部門へ及ぼす影響について ③ その他

59. 施設基準管理委員会

日 付	内容等
2018年7月31日	第 2 回 ① 施設基準管理委員会設置要綱及び名簿について ② 前回議事録の確認について ③ 適時調査及び歯科共同指導の改善状況について ④ 平成30年 診療報酬改定に伴う届出状況について ⑤ 施設基準の点検について ⑥ 今後の進め方
2019年3月14日	第 3 回 ① 施設基準管理委員会設置要綱及び名簿について ② 前回議事録の確認について ③ 平成30年度の施設基準届出状況について ④ 施設基準の点検状況について ⑤ 今後届出予定の施設基準について ⑥ 今後の進め方

60. ゲノム診療委員会

日 付	内容等
2018年8月31日	① 第1回がんゲノム医療連携協議会の内容について ② NCCオンコパネルの申請順について ③ ゲノム診療に関する進捗状況について BRCA Analysis診断システム パネル検査 ④ その他 ゲノム診療センター受診の流れ ゲノム診療センターの共通のメールアドレス

61. 豊橋市民病院薬薬連携協議会

日 付	内容等
2019年3月5日	2018年度 第 1 回 ① 前回議事録について報告報告 ② 調剤過誤について ③ 院外処方専用薬について ④ 薬薬連携研修会について ⑤ その他

編集後記

秋桜が風に揺れ、朝夕はしのぎやすくなって参りました。今年度も9月に病院年報「第28巻」を発刊することができました。編纂にあたりましては、資料の提供など多くの職員の協力により、発刊にこぎつけることができましたことを委員一同感謝しています。

さて、病院年報は、スタッフの研究成果も含まれる1年間の診療実績の集積です。診療実績をまとめる方法もさることながら、元となる診療情報の精度管理ができていなければ、まとめられた業績は信頼することができません。診療情報の精度管理は、まさに診療情報管理士の仕事であり、医事課と診療記録管理室の役割が重要であると考えます。また、病院年報の診療情報の抽出には、抽出方法を保存できるデータウェアハウスシステムに大いに依存していますが、常に様々な方法で抽出した情報の精度を確認することが極めて重要だと思えます。

私の編集委員長役目は終わりますが、編集委員には現状に満足せず改良に努めるとともに、診療情報の精度を向上させたいと、情報の抽出方法についても検証を続けていくことを望むばかりです。

年報編集委員会委員長 杉浦 勇

編集委員

平成31年4月1日

区 分	職 名	氏 名
委 員 長	副院長 兼医局血液・腫瘍内科第一部長 兼輸血・細胞治療センター長 兼診療記録管理室長 兼臨床研究管理室長 兼卒後臨床研修センター長	杉 浦 勇
編 集 委 員	循環器内科部長	成 瀬 賢 伸
編 集 委 員	消化器内科第四部長	松 原 浩
編 集 委 員	一般外科第三部長 兼外来治療センター長	吉 原 基
編 集 委 員	小児科第二部長 兼臨床研究管理室副室長	伊 藤 剛
編 集 委 員	産婦人科第三部長 兼女性内視鏡外科部長 兼シミュレーション研修センター副センター長	梅 村 康 太
編 集 委 員	放射線技術室主査	山 口 稔
編 集 委 員	中央臨床検査室室長補佐	内 田 一 豊
編 集 委 員	薬局次長補佐兼医療安全管理室室長補佐	佐 藤 勝 紀
編 集 委 員	看護局管理科長	清 田 綾 子
編 集 委 員	管理課課長補佐	津 滝 敦 子
編 集 委 員	医事課課長補佐	大 林 寿 彦
編 集 委 員	医療情報課課長補佐	原 瀬 正 敏

事 務 局	医療情報課情報管理グループ	小 島 早 智
事 務 局	医療情報課情報管理グループ	可 児 恵 梨 奈
事 務 局	医療情報課情報管理グループ	安 藤 美 沙

平川敏夫(ひらかわとしお)
《白樹》1960年 紙本着彩 173×149cm
豊橋市民病院蔵

平川が樹林を描き始めたのは、1953年の13号台風を契機としている。当地方も甚大な被害を受け、渥美の浜にスケッチに出かけた平川は、なぎ倒され、波に洗われて白骨化したような樹々を目の当たりにした。翌年、同じ場所を訪れてみると、そこには新たな芽吹きが見られ、自然のたくましい生命力に驚嘆したという。その光景は数年の間平川の内に入り、59年の伊勢湾台風襲来を機に本格的に樹木シリーズに取り組むこととなった。

本作品はそうしたなかでも最初期に手がけた記念碑的な作品であり、白い樹枝の先まで生命力がみなぎり、地面に茂る下草からは若木も生え出ている。以後こうした死と再生を象徴する「白い樹」のイメージは、平川の中で重要な位置を占めるようになり、水墨表現へと移行する80年代以降は、染色技術を応用した白抜きの画法によって深遠な世界を形成した。

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

- 1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
- 1. よく働き豊かな町をつくりましょう
- 1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
- 1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
- 1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

病院年報 第28巻

令和元（2019）年 9 月発刊

発 刊

豊橋市民病院

〒441-8570

豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL（0532）33-6111（代表） FAX（0532）33-6177

編 集

豊橋市民病院年報編集委員会

印 刷

共和印刷株式会社



豊 橋 市 民 病 院

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL 〈0532〉 33-6111

FAX 〈0532〉 33-6177

インターネットホームページ

<https://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>